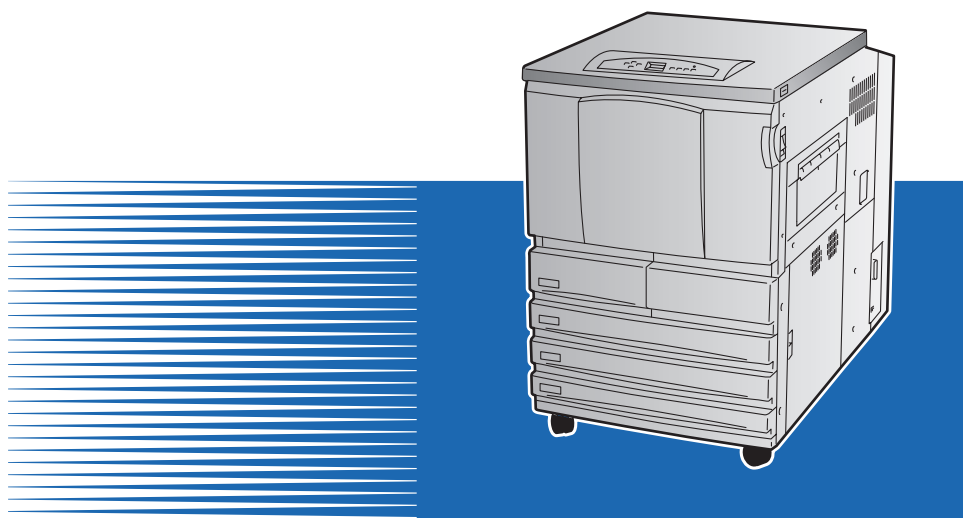


NEC

MultiWriter 6600

レーザープリンター



ユーザーズマニュアル

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。このユーザーズマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	指示を守らないと、 <u>人が死亡する、または重傷を負う</u> おそれがあることを示します。
 注意	指示を守らないと、 <u>火傷やけがのおそれ、および物的損害</u> の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起 注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	<u>毒性の物質による被害</u> のおそれがあることを示します。		<u>火傷を負う</u> おそれがあることを示します。
	<u>破裂する</u> おそれがあることを示します。		<u>けがをする</u> おそれがあることを示します。
	<u>レーザー光による失明</u> のおそれがあることを示します。		<u>指などがはさまれる</u> おそれがあることを示します。
	<u>発煙または発火</u> のおそれがあることを示します。		<u>特定しない一般的な注意・警告</u> を示します。
	<u>感電</u> のおそれがあることを示します。		

行為の禁止 行為の禁止は「⊘」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。 <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。 <u>感電</u> のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。 <u>発火</u> するおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。 <u>感電</u> や <u>発火</u> のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。 <u>感電</u> や <u>火傷</u> などの <u>傷害</u> が起こるおそれがあります。		

行為の強制 行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。 <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		アース線を接続してください。 <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。
---	--	---	---

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内 容
 重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
 チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Netscape、Netscape Navigatorは米国 Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

i486は米国Intel Corporationの商標です。

HPは米国Hewlett-Packard Companyの商標です。

ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。

Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。

Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。

MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

Printing Force Fuji Xeroxロゴが適用された商品には、富士ゼロックス株式会社および富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社のプリンター技術が活用されています。Printing Force Fuji Xeroxロゴは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。

Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0, Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

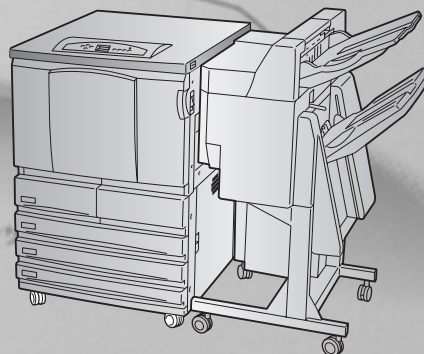
MultiWriter 6600は高性能なCPUを採用し、スループットの高速化を実現した、レーザープリンターです。さらに、大容量給紙、大容量排紙、用途に合わせた豊富な給紙、排紙を実現しています。

MultiWriter 6600の特長を以下に示します。

- 最高71ページ/分の印刷速度（A4サイズ横の場合）
- 500万ページの長寿命エンジン搭載
- 両面印刷ユニットを標準装備
- 大容量ホッパー、排紙トレイ、フィニッシャーなどのオプション品を用意
- ネットワークインターフェース標準装備
- 4段カセット標準
- 最大給紙容量6740枚（オプション装着時）
- 最大排紙容量2600枚（オプション装着時）

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウェア「PrintAgent」に対応しています。PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認することができます。

マニュアルをお読みになり、MultiWriter 6600を十分にご活用ください。



2003年9月 初版
2003年12月 第2版

目次

安全にかかわる表示	i
はじめに	iii
マニュアルの種類と使い方	viii
目的別検索ガイド	ix
「活用マニュアル（閲覧用）」を見るには	x
「活用マニュアル（印刷用）」を印刷するには	xi
活用マニュアルの内容	xiii

安全にお使いいただくために 1

警告ラベルについて	1
安全上のご注意	2
無線 LAN アダプターに関する安全上のご注意	7
MultiWriter 6600について	9

1章 プリンターの設置 13

1 設置に必要なスペースを用意する	15
設置してはいけない場所	17
2 箱の中身を確認する	18
3 各部の名称を確認する	19
4 コンピューターに接続する	21
5 ネットワークに接続する	22
Step 1 ネットワークケーブルを接続する	23
Step 2 IP アドレスとサブネットマスクを 設定する	24
LAN インターフェースの場合	24
LAN アダプターの場合	29
無線 LAN アダプタの場合	29
Step 3 コンフィグレーションページを 印刷する	34

2章 プリンターソフトウェアの インストール 35

プリンターソフトウェア CD-ROM について	36
プリンターソフトウェアの動作環境	37
インストール方法の選択	39
「インストールプログラム」からの インストール	40
「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール	46
Windows XP、Windows Server 2003 日本語版	46
Windows 2000 日本語版	48
Windows Me 日本語版	50
Windows 98 日本語版	51
Windows 95 日本語版	52
プリンタードライバの削除	54
Windows XP、Windows Server 2003、 Windows 2000 日本語版	54
Windows Me/98/95/NT 4.0 日本語版	55
PrintAgentの追加・削除	56
日本語MS-DOS環境	58
プリンターを選択する	58
プリンターを設定する	59
MS-DOS 環境での両面印刷設定	59

3章 用紙のセット 61

用紙について	62
使用できる用紙	62
定形外用紙のご使用について	63
用紙についての注意事項	63
用紙のセット方向	64
ホッパーに用紙をセットする	66
トレーに用紙をセットする	68
大容量ホッパーに用紙をセットする	70
定形外用紙をホッパーにセットする	72
用紙をセットする時の注意	74
はがき、往復はがき	74
OHP フィルム、ラベル紙	74
定形外用紙	75
プレ印刷用紙	75

4章 操作パネルについて 77

ディスプレイ	78
ランプ	79
スイッチ	80
通常のスイッチ機能	81
メニューモード時のスイッチ機能	84
シフト時のスイッチ機能	85
節電中のスイッチ機能	85
メニューモード	86
メニューモードでの設定変更のしかた	86
メニューモード設定項目一覧	87
メモリスイッチの設定変更のしかた	90
メモリスイッチ設定項目一覧	91
メニューツリー	93
リレー給紙の設定	96
Step1 リレー給紙を有効にする	96
Step2 給紙方法を設定する	96
グループホッパーの設定	97
Step1 グループホッパーを有効にする	97
Step2 給紙方法を設定する	97

5章 印刷するには 99

使用できる用紙サイズと種類	100
各用紙サイズでの動作対応表	100
各用紙種類での動作対応表	101
各給紙位置での動作対応表	101
印刷手順	102
アプリケーションから印刷する	102
印刷の詳細設定 (プロパティダイアログボックスの開き方)	103
定形外用紙に印刷する	105
定形外サイズの用紙に印刷する	105
厚紙に印刷する	108
機能の紹介	109

6章 日常の保守 111

トナーカートリッジの交換	111
トナーカートリッジ取り扱い上のご注意	112
トナーカートリッジの交換手順	112
クリーニングカートリッジの交換	116
クリーニングカートリッジ 取り扱い上のご注意	116
クリーニングカートリッジの交換手順	117
ドラムカートリッジの交換	119
ドラムカートリッジ取り扱い上のご注意	119
ドラムカートリッジの交換手順	120
使用済み消耗品の回収について	122
清 掃	123

7章 故障かな?と思ったら ... 125

修理に出す前に	125
印刷できないときは	126
アラーム表示が出ているときは	128
印刷に異常が見られるときは	130
思うように印刷できないときは	134
PrintAgentを正しく動作させるために	138
PrintAgentを動作させる前に	138
PrintAgentをインストール/ アンインストールする時の注意事項	138
共有プリンターの利用/提供について	139
クライアント・サーバーシステムで お使いの場合	140
PrintAgentの機能を十分に 発揮させるために	141
その他の注意事項	142
PrintAgentの動作中は	143
PrintAgentの制限事項	143
OSをアップグレードする場合	143
紙づまりのときは	144
紙づまりの発生箇所	144
紙づまりの処理	146
[A] プリンター右側面下部での紙づまり	147
[B] フィニッシャー上部での紙づまり	148
[C] フィニッシャー排出部での紙づまり	149

□ プリンター内部での紙づまり	150
■ ホッパー 1～4 の紙づまり	152
■ トレー内部での紙づまり	153
■ ホッパー 5（大容量ホッパー）での 紙づまり	154
■ プリンター排出部での紙づまり	154
■ ホッパー 5（大容量ホッパー） トップカバーでの紙づまり	155
ピックミス、紙づまり処理後の確認	156
プリンターを運搬するときは	158
プリンター・消耗品を廃棄するときは	158

8章 ユーザーサービス 159

お客様登録申込書について	160
保証について	160
保守サービスについて	161
プリンターの寿命について	161
補修用性能部品および消耗品について	161
ユーザーズマニュアルの再購入について ..	162
情報サービスについて	162
プリンターソフトウェアを フロッピーディスクで必要な場合	162

9章 オプション 167

オプション品の紹介	169
オプション	169
消耗品	172
大容量ホッパー	173
大容量ホッパーの取り付け	173
大容量ホッパーへの用紙のセット	173
大容量ホッパーの切り替え	173
テスト印刷	174
リレー給紙について	175
大容量ホッパーの取り外し	176
フィニッシャー	177
フィニッシャーの取り付け	177
テスト印刷	177

フィニッシャーの取り外し	177
排紙トレイ	178
排紙トレイの取り付け、取り外し	178
LANアダプター	179
LANアダプターの取り付け	179
LANアダプターの取り外し	180
増設メモリー	181
増設メモリーの取り付け	181
テスト印刷	182
増設メモリーの取り外し	182
ハードディスク	183
ハードディスクの取り付け	183
テスト印刷	183
ハードディスクの取り外し	183
使用できるプリンターケーブル	184

付録 技術情報 185

仕 様	185
用紙の規格	187
用紙設計に関する事項	189
用紙の紙質	189
用紙サイズ	191
用紙坪量と幟料	191
用紙の水分率	191
平滑度	192
用紙色	192
プレ印刷とプレ印刷用インク	193
バインダー穴、カット	195
ミシン目用紙	196
ラベル紙	197
メールシール用紙（封筒タイプ）	198
メールシール用紙（はがきタイプ）	199
穴あき紙	200
再生紙	202
エンボス紙	202
シークレットラベル紙	202
透かし入り紙	203
コート紙	203

ノンカーボン紙	203
OCR 用紙	204
用紙の納入条件	205
用紙の加工	205
梱包および包装	207
用紙の保管条件	208
保管条件	208
保管形態	208
印刷物の保存条件	209
用紙設計および管理の指針についての補足	210
印刷範囲	213
用語解説	214
索引	223

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 6600本体や付属のプリンターソフトウェアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル（本書）」と電子マニュアルの「活用マニュアル（添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録）」があります。また、各プリンターソフトウェアの詳細については画面上の「ヘルプ」をご覧ください。



MultiWriter 6600 ユーザーズマニュアル（本書）

プリンターのセットアップから、プリンターの基本的な操作方法、および困ったときの対処方法などを、この1冊で説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。



閲覧用



印刷用

MultiWriter 6600 活用マニュアル（電子マニュアル）

（プリンターソフトウェアCD-ROMに収録）

ネットワーク環境で印刷する場合の設定方法、プリンターソフトウェアやメニューモードの詳細、および技術情報などについて説明しています。

活用マニュアルには、HTML形式を採用した汎用のブラウザで閲覧する「活用マニュアル（閲覧用）」と、PDF形式を採用したAdobe社のAcrobat Readerで参照および印刷ができる「活用マニュアル（印刷用）」があります。ご使用の目的に応じて活用してください。記載内容については「活用マニュアルの内容」（xiiiページ）をご覧ください。

また、活用マニュアル（閲覧用）の開き方についてはxページ、活用マニュアル（印刷用）の開き方、および印刷方法についてはxiページをご覧ください。

ユーザーズマニュアルと活用マニュアルそれぞれを、目的に応じてお使いいただくために、次ページに目的別検索ガイドを示します。

目的別検索ガイド

セットアップするには

プリンターを安全に使うために

プリンターを設置する
コンピューターと接続する
ネットワークに接続する

プリンターソフトウェアを
インストールする
プリンターソフトウェアについて

IPP、LPR (TCP/IP) を使って印刷する

ユーザズマニュアル

安全に
お使いいただくために

1章 プリンターの設置

2章 プリンター
ソフトウェアの
インストール

活用マニュアル

2章 プリンター
ソフトウェアの
インストール

3章 ネットワーク
での設定

セットアップができたなら

用紙について詳しく知りたい

スイッチ・ランプについて

アプリケーションから印刷する

便利な機能を使って印刷する

3章 用紙のセット

4章 操作パネル

5章 印刷するには

5章 用紙のセット

6章 操作パネル

4章 より進んだ使い方

必要に応じて

メニューモードを使って設定する

トナーカートリッジ等の消耗品を交換する
プリンターの清掃について

うまく印刷できないときには
紙づまりのときは

保守サービスについて知りたい

オプションについて

ユーティリティを使って
IPアドレスを設定する

ネットワークの印刷困ったときには

このプリンターの性能は？

制御コードを使う

印刷範囲が知りたい

文字コード表が見たい

わからない用語がある

7章 メニューモード

6章 日常の保守

8章 日常の保守

7章 故障かな？
と思ったら

8章 ユーザーサービス

10章 ユーザーサービス

9章 オプション

1章 オプション

3章 ネットワーク
での設定

9章 故障かな？
と思ったら

付録 技術情報

付録 技術情報

用語解説

「活用マニュアル（閲覧用）」を見るには

活用マニュアル（閲覧用）はHTMLファイル形式です。添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されており、お手持ちのコンピューターの画面上でブラウザーを使って閲覧できます。なお、閲覧するにはブラウザーはMicrosoft Internet Explorer 5.0以上またはNetscape Navigator 4.5以上が必要です。あらかじめインストールして以下の手順を行ってください。

① お使いのOS（日本語版）を起動する。

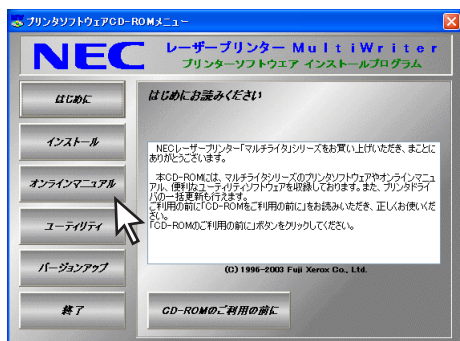
② プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

「プリンターソフトウェアCD-ROMメニュー」が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

③ [オンラインマニュアル]をクリックする。

右側のボックスにオンラインマニュアルの名称が表示されます。



④ 右側のボックスの[MultiWriter 6600活用マニュアル（閲覧用）]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。



ブラウザーが起動して、活用マニュアルのトップページが表示されます。



「活用マニュアル（印刷用）」を印刷するには

活用マニュアル（印刷用）はPDFファイル形式です。活用マニュアルをお手元で見られるように印刷したい場合には、活用マニュアル（印刷用）をお使いください。なお、印刷するにはAdobe Acrobat Reader 4.0以上が必要です。あらかじめインストールしてください。

このオンラインマニュアルはA4サイズの大きさと作成されています。ここではWindows XPの環境でMultiWriter 6600を使って活用マニュアルを両面印刷する手順を説明します（あらかじめプリンタードライバーをインストールする必要があります。本書の2章を参照してインストールしてください）。他のOSをお使いの方は多少画面表示が異なりますが、手順は同じです。

① 前ページの手順①～③を行い、オンラインマニュアル一覧を表示する。

② 右側のボックスの[MultiWriter 6600活用マニュアル（印刷用）]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。



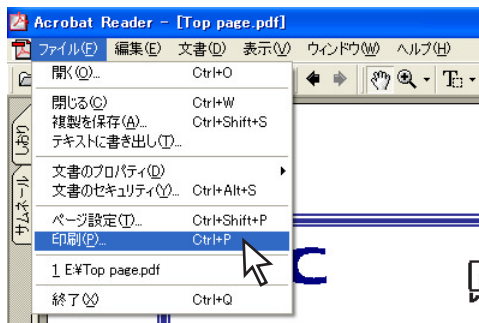
Adobe Acrobat Reader が起動して、活用マニュアル（印刷用）のトップページが表示されます。

③ 印刷したい章を選び、クリックする。

印刷したい章のイメージアイコンをクリックしてください。希望の章が開きます。

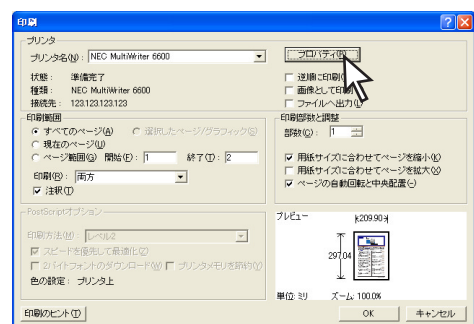
④ [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

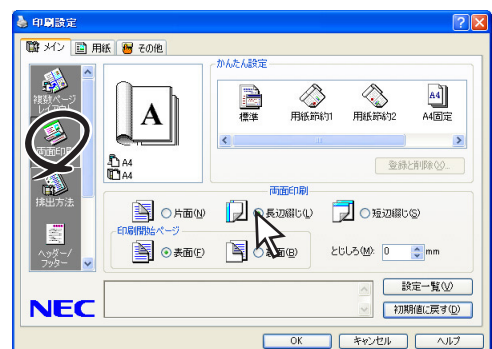


⑤ [プロパティ]をクリックする。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

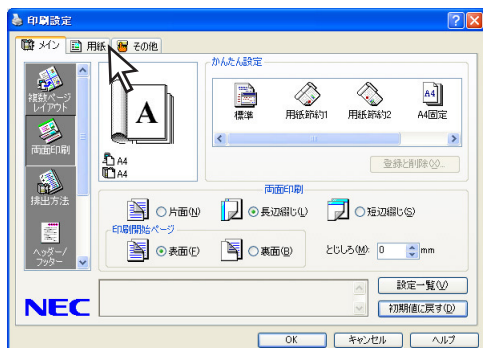


⑥ [メイン]シートの左側にある[機能選択バー]から[両面印刷]を選び、[長辺縦じ]をクリックする。



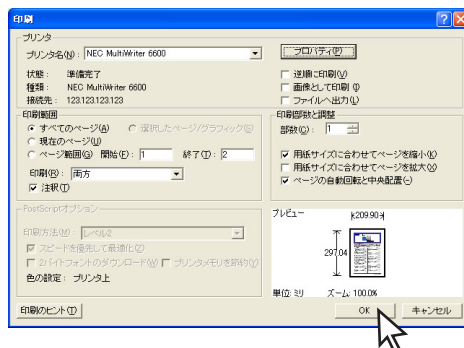
7 [用紙]タブをクリックする。

[用紙]シートが表示されます。



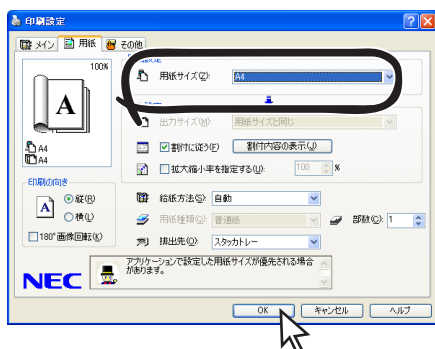
9 印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

両面印刷で出力されます。



8 [用紙サイズ]から[A4]を選択し、[OK]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。



活用マニュアルの内容

活用マニュアルに記載されている主な内容は、以下のとおりです。

1章 オプション

別売品（オプション）の紹介、取り付け、取り外し手順および、使用できるコンピューターとプリンターケーブルを記載しています。

2章 プリンターソフトウェアのインストール

プリンターソフトウェアをインストールしてプリンターを使用できる手順について記載しています。また、プリンター管理者用のインストール手順、PrintAgentの追加・削除についても説明しています。

- プリンターソフトウェアCD-ROMについて
- プリンターソフトウェアの動作環境
- インストール方法の選択
- 「インストールプログラム」からのインストール
- 「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール
- プリンタードライバの削除
- PrintAgentの追加・削除
- プリンター管理者用インストール
- 日本語MS-DOS環境

3章 ネットワークでの設定

MultiWriterを使ってネットワーク印刷するための設定手順について説明しています。

- LANインターフェースおよび無線LANアダプターを使用するためのIPアドレスなどの設定手順
- 接続先の設定とプリンタードライバのインストール

IPP (Internet Printing Protocol)、UNIX用印刷サービス (LPR)、Standard TCP/IP Port (LPR)、LPRバイトカウント機能、NEC Internet Printing System (IPP)、Microsoft TCP/IP印刷 (LPR)、ターミナルサービス環境

- ユーティリティによるネットワークの設定
EASY設定ユーティリティ、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ、無線LAN導入ウィザード、WWWブラウザ、Telnet、UNIXコマンド
- より便利なネットワーク機能
DHCP、SNMP、アクセス制限

4章 より進んだ使い方

プリンターソフトウェアを使ったMultiWriterの便利な機能の紹介および設定方法について説明しています。

- 両面印刷の設定
- 複数ページ印刷
- 仕分け印刷の設定（合紙機能、オフセット排紙機能、丁合い機能、電子ソート機能）
- 大量・連続印刷
- 拡大・縮小印刷
- かんたん設定
- 定形外用紙サイズの設定
- ヘッダー／フッター機能
- 印刷位置の調整
- ユーザー名の表示
- プリンタステータスウィンドウ
- 保守情報のメール通知
- PrintAgentによる印刷ログの出力
- プリンタードライバのバージョンアップ
- PrintPort連携機能

5章 用紙のセット

使用できる用紙の種類や用紙についての注意事項、ホッパー、定形外用紙カセット、トレイへの用紙セット方法について説明しています。（記載内容は本書と同じです。）

6章 操作パネル

プリンターの操作パネル上のディスプレイ、ランプ、スイッチについて詳しく説明しています。

7章 メニューモード

ESC/Pエミュレーションモード含めてメニューモードの詳細について説明しています。

- メニューモードでの設定変更のしかた
- メニューモード設定項目一覧（メモリースイッチの設定変更のしかた、メニューツリー）
- メニューの詳細
- メモリースイッチの内容
- 動作エミュレーションの切り替え（ESC/Pエミュレーションモード）

8章 日常の保守

消耗品の交換手順、清掃手順について説明しています。（記載内容は本書と同じです。）

9章 故障かな?と思ったら

故障かな?と思った場合の原因と処置方法を以下の症状に分けて説明しています。また、プリンターの運搬、消耗品の廃棄について記載しています。

- 修理に出す前に
- 印刷できないときは
- アラーム表示が出ているときは
- 印刷に異常が見られるときは
- 思うように印刷できないときは
- オフセット排紙機能が動作しないときは
- フィニッシャー機能がうまく動作しないときは
- PrintAgentシステムが起動しないときは
- プリントステータスウィンドウがおかしいときは
- リプリント機能が動作しないときは
- PrintAgentを正しく動作させるために
- ネットワークで思うように印刷できないときは
- 紙づまりのときは
- プリンターを運搬するときは
- プリンター・消耗品を廃棄するときは

10章 ユーザーサービス

お客様登録された方へ用意されているさまざまなユーザーサービス、プリンターの寿命、ユーザーズマニュアルの再購入について説明しています。

付録 技術情報

本書に記載しているプリンターの仕様、用紙の規格の他に文字コード表、印刷範囲などの詳細な技術情報について記載しています。

- 仕様
- 用紙の規格
- 文字の種類
- 文字コード表
- 印刷範囲
- NPDLの初期状態
- 制御コード
- 機能拡張制御コード
- ディスプレイ表示一覧
- テスト印刷のプリント結果
- 増設メモリー対応表
- 電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表
- インターフェース
- 用語解説

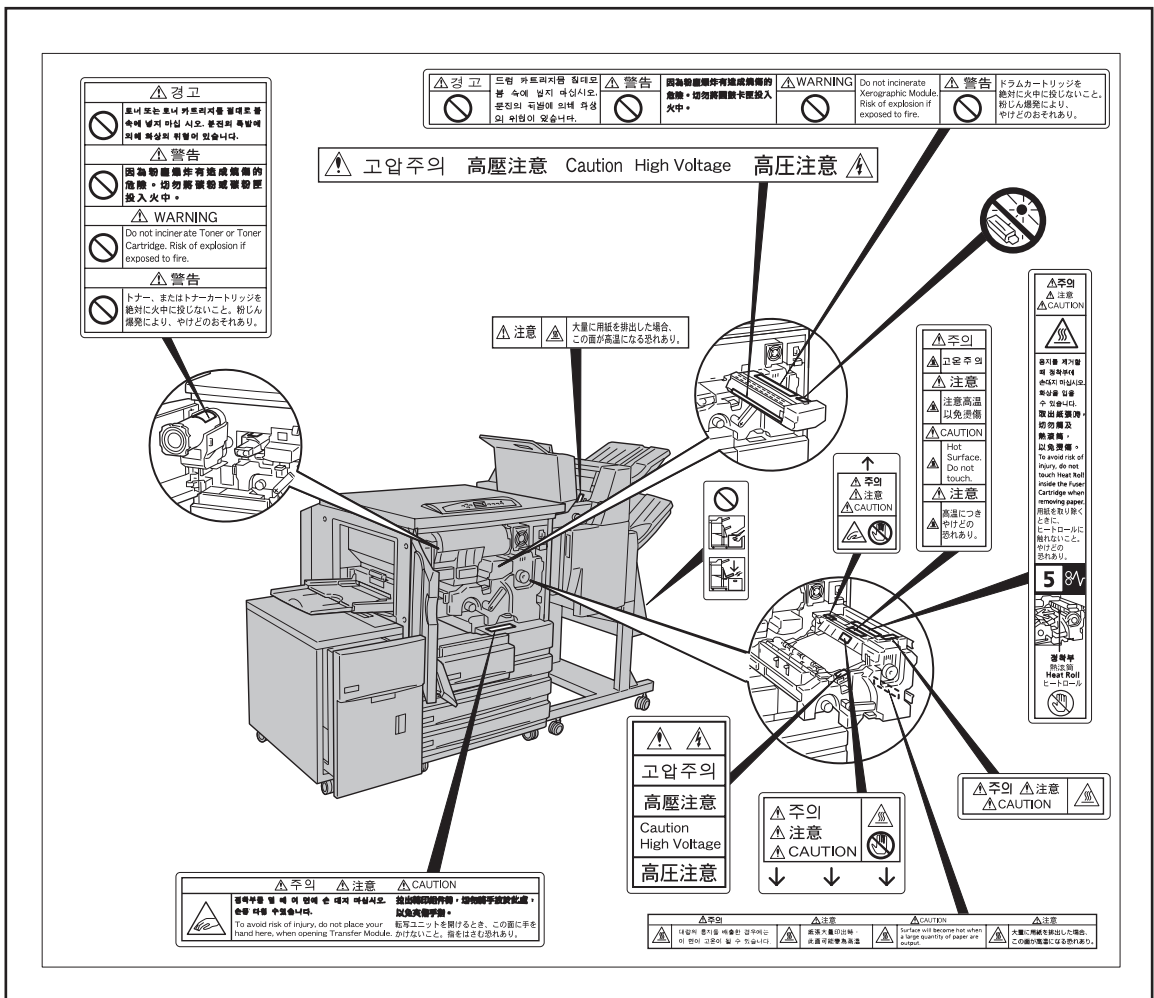


安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 6600プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NECサービス窓口にご連絡ください。



安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。



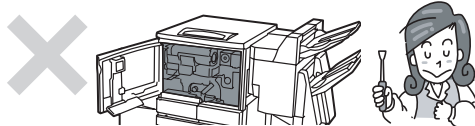
警告

プリンターの内部を
のぞかない



このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

分解・修理・改造は
しない



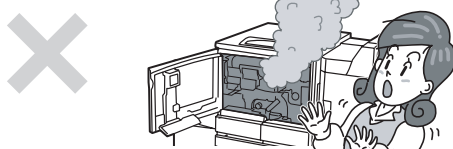
ユーザズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を
差し込まない



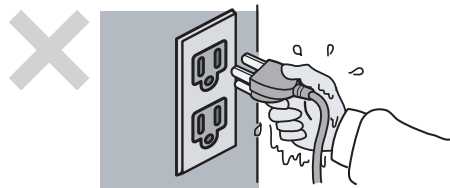
通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

煙や異臭、異音が
したら電源OFF



万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグ
を触らない



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

トナーカートリッジを
火の中に投げ入れない



トナーカートリッジを火の中に投げ入れないでください。トナーカートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、火傷をするおそれがあります。



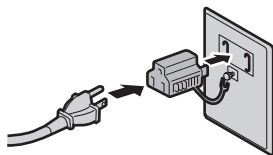
警告

電源コードのアース線を取り付ける



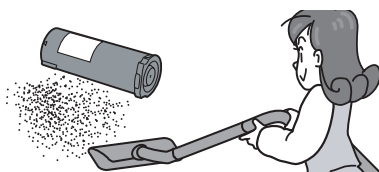
アースを付けずに使用しないでください。

2極/3極変換プラグを使用するときは、以下のことに注意してください。



- 2極/3極変換プラグを使用するときは、アース線を次のいずれかに取り付けてください。
 - － 電源コンセントのアース端子
 - － 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
 - － 接地工事（D種）を行っている接地端子
- アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線を外す場合は電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。
- 次のようなところにはアース線を接続しないでください。
 - － ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
 - － 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
 - － 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアース役目を果たしません。）

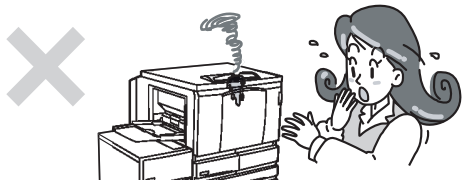
掃除機でトナーを吸い取らない



床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固くしぼった布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

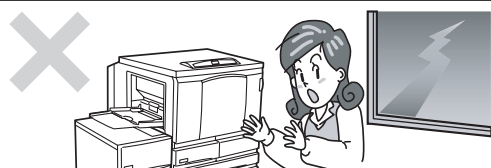
⚠ 注意

壊れた液晶ディスプレイ
には触らない



壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が鳴りだしたら
プリンターに触らない



火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンターには触らないでください。

電源コードに薬品類
をかけない



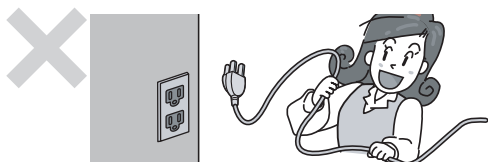
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に
異物を入れない



プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードを抜くときは
コードを引っ張らない



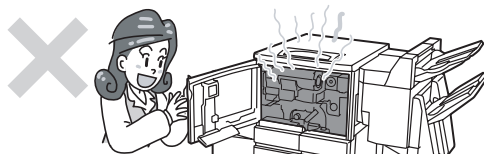
電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コード
は使わない



電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

高温注意



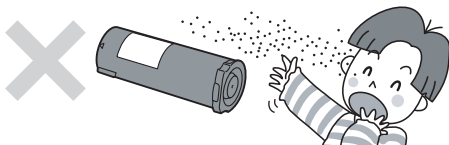
プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になるフューザーユニットという部品があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意



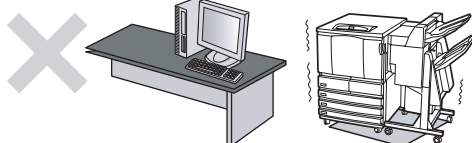
プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

目や口にトナーを入れない



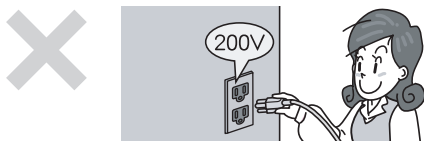
トナーカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

不安定な場所に置かない



プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない



電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

直射日光が当たる場所には置かない



プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

作動中のフィニッ
シャーに触れない



フィニッシャーが作動しているとき、作動部分には触れないでください。指をはさみ、けがをするおそれがあります。

プリンターを移動する
時は2人以上で



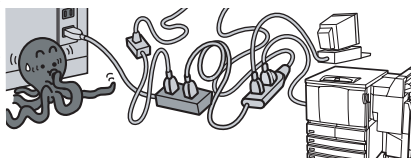
プリンターの質量は約185kgです。
プリンターを移動するときは、2人以上で作業してください。

専用電源コード
以外は使わない



プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

電源コードを
たこ足配線にしない



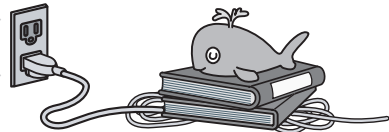
コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端
に差し込まない



電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまっただま、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

電源コードは曲げたり
ねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

無線LANアダプターに関する安全上のご注意

オプションの無線LANアダプターを取り付けた場合の注意事項について説明します。



警告

心臓ペースメーカーに
近づけない



埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANアダプターをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

使用禁止区域では
使用しない



心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANアダプターを使用しないでください。また、医療機関側が無線LANアダプターの使用を認めた区域でも近くで医療用電気機器が使用されている場合にはプリンターの電源は切ってください。

無線LANアダプターの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

飛行機内では
使用しない



飛行機内では無線LANアダプターを装着したプリンターの電源は切ってください。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANアダプターもその該当機器となります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

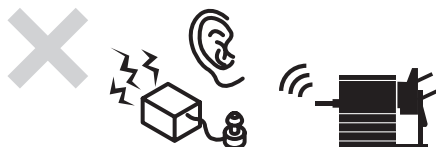
ぬれた手で触らない



無線LANアダプターがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANアダプターやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

⚠ 注意

補聴器のそばで
使用しない



補聴器を装着されている方、またはその近くで無線LANアダプターを使用しないでください。補聴器を装着されている方の近くで無線LANアダプターを使用すると、補聴器にノイズを引き起こし事故の原因となるおそれがあります。

MultiWriter 6600について

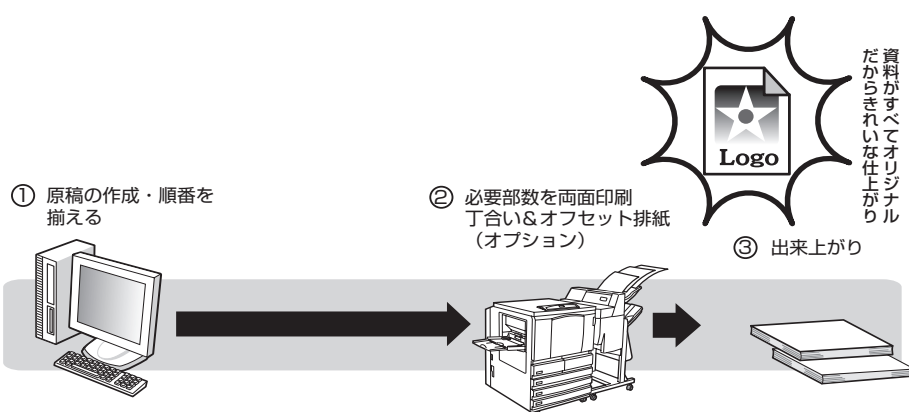
MultiWriter 6600に搭載されているPrintAgentの機能を使うと、MultiWriterでコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がパソコン上でできます。

コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。



コピー機を使わずに必要な部数をそのまま印刷

MultiWriter 6600は簡単仕分け印刷として合紙機能を標準、オフセット排紙をオプションでサポートしています。例えば、会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要な分だけ直接印刷すれば、オリジナルの品質で資料が作成できます。



¥ コピー機よりコストが安い

MultiWriter 6600を使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージや定期保守費用などを必要としません。MultiWriterはトナーカートリッジ化にすることで、トナー交換の作業を容易にしています。

さらに、約33,000*¹ ページ印刷可能なトナーカートリッジ（型番：PR-L6600-12）は、1枚あたり約0.68円*²と低コストです。MultiWriterの導入は同等機能のコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが半分以下で済みます。

*¹ A4 サイズ1枚あたりの画像面積比（1ページ中の黒い部分の面積比と印刷範囲との比率）が約5%の片面連続印刷時。

*² 平成15年9月現在



高速印刷・電子ソートですばやい仕上がり

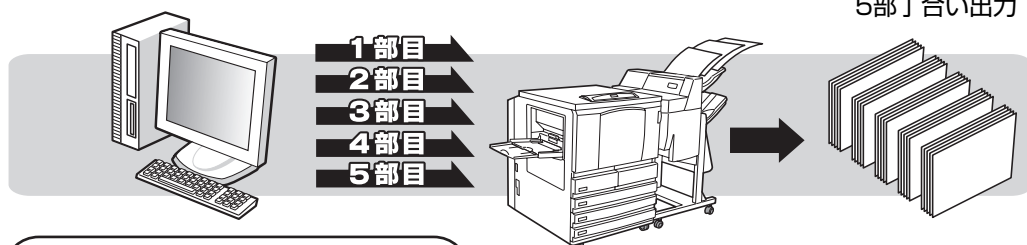
MultiWriter 6600は、毎分71ページの高速印刷を実現。しかも電子ソート機能^{*1}を使えばプリンターのメモリーに印刷データを蓄えて必要部数を印刷するので、パソコンからプリンターへ部数分のデータ転送が不要です^{*2}。これによって、トータル印刷処理時間が短縮されます。

*1 ハードディスク（オプション）を追加することにより、多量のページを蓄えることができます。

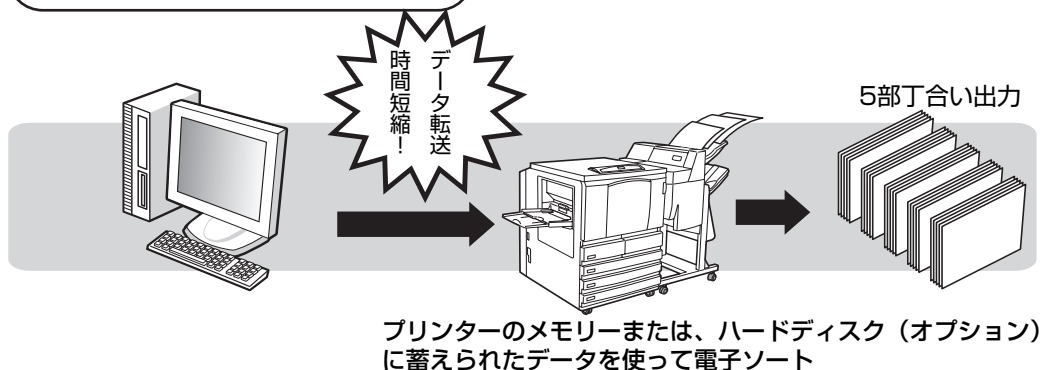
*2 増設メモリー容量、ページ数により必要枚数分データ転送を行う場合があります。

従来の丁合い機能を使った出力

部数分のデータ転送が必要



電子ソート機能を使った出力





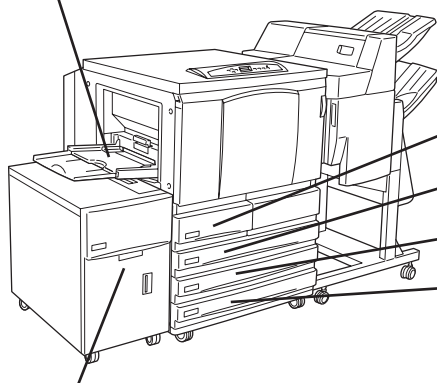
用紙がなくなると自動的に切り替え（グループホッパー）

給紙元として使っているいくつかのホッパーを組み合わせることで1つのグループにします*¹。印刷中、そのグループ化したホッパーの中で用紙が足りなくなると*²、次のホッパーに自動的に切り替わる*³ので、連続印刷・多量印刷ができてとても便利です。オプションの大容量ホッパー（4,200枚積載可）があると便利です。

- *¹ グループ A、グループ B の 2 つのグループを設定可能。プリンタードライバーからは、ホッパーの組み合わせを気にせず、直接グループホッパーを指定することができます。
- *² 操作パネルのディスプレイで、用紙がなくなったホッパーを確認することができます。
- *³ グループ化されたホッパー内の用紙が足りなくなったホッパーには、印刷中でも用紙をつぎ足すことができます。このことによりノンストップ印刷が可能となります。

トレイ（標準）40枚

MultiWriter 6600の用紙容量は、標準ホッパー、トレイ、大容量ホッパーを合わせて最大6,740枚になります。



ホッパー 1段目（標準）1000枚

ホッパー 2段目（標準）500枚

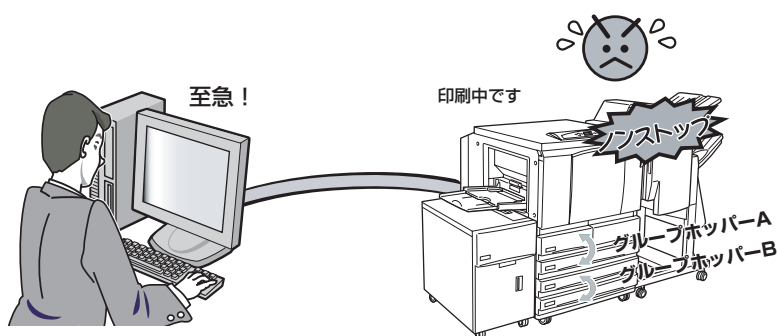
ホッパー 3段目（標準）500枚

ホッパー 4段目（標準）500枚

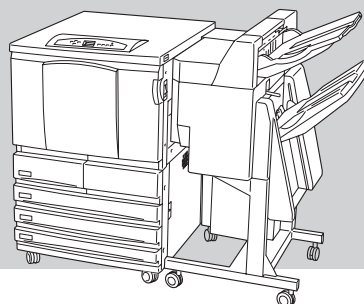
大容量ホッパー（オプション）4200枚



プリンターのホッパーをフルに活用して、紙を補給する手間なく印刷ができます。



1章 プリンターの設置



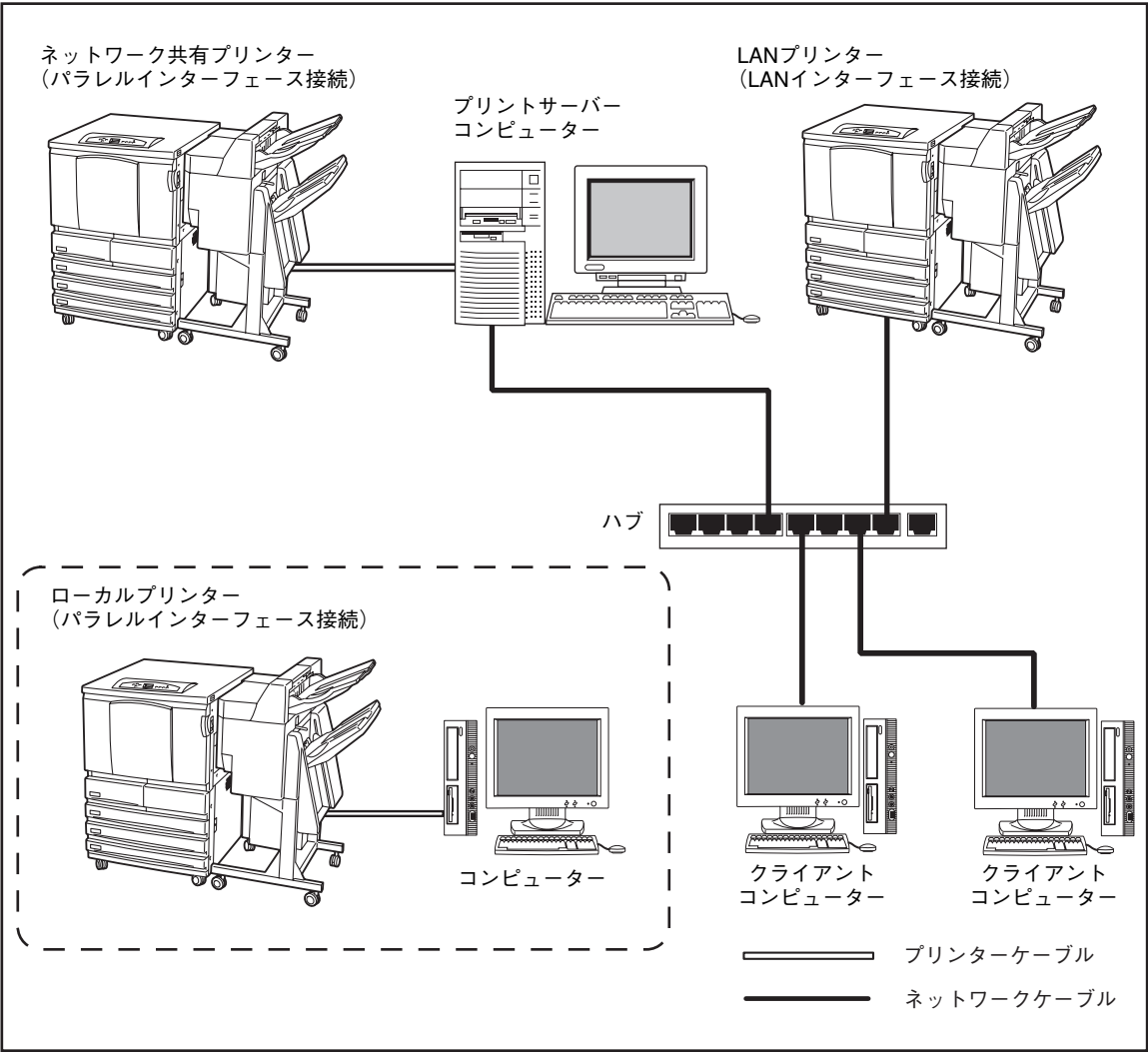
この章では、MultiWriter 6600の設置にあたっての注意事項と梱包内容について説明します。MultiWriter 6600の設置は、サービス担当者が行います。

以下の順番で箱の中身や各部の名称を確認してください。

- 1 設置に必要なスペースを用意する
- 2 箱の中身を確認する
- 3 各部の名称を確認する
- 4 コンピューターに接続する
- 5 ネットワークに接続する

MultiWriter 6600はパラレルインターフェース接続およびネットワーク接続ができます。お使いの環境や目的に合わせて接続してください。

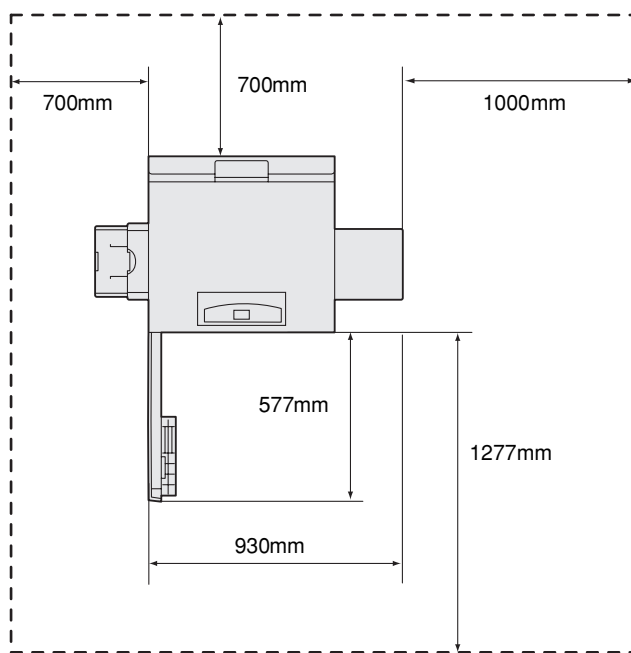
以下は、MultiWriter 6600の接続例です。



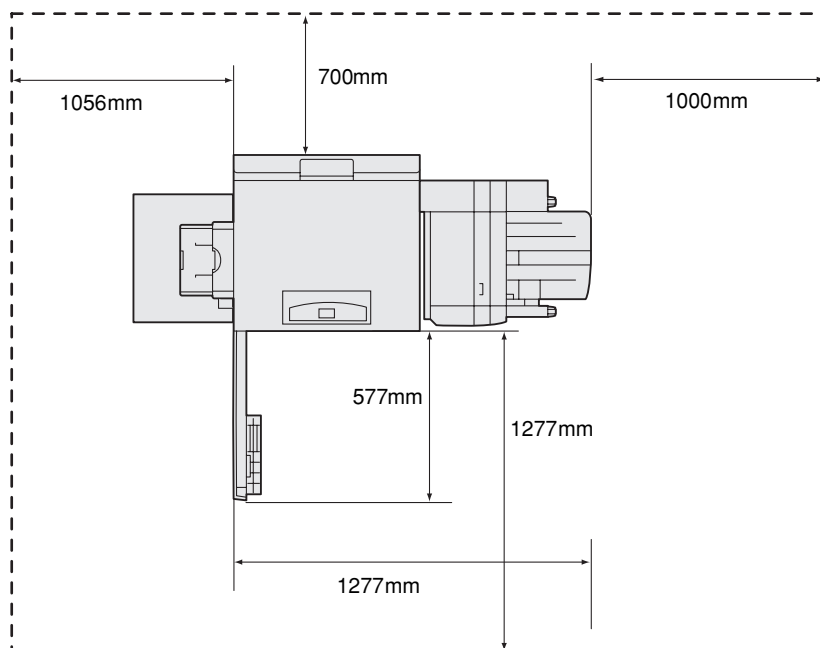
MultiWriter 6600の接続例

1 設置に必要なスペースを用意する

MultiWriter 6600 を安全、快適にご使用いただくためには17ページの「設置してはいけない場所」をよくお読みになり、下図に示すスペースを確保してください。

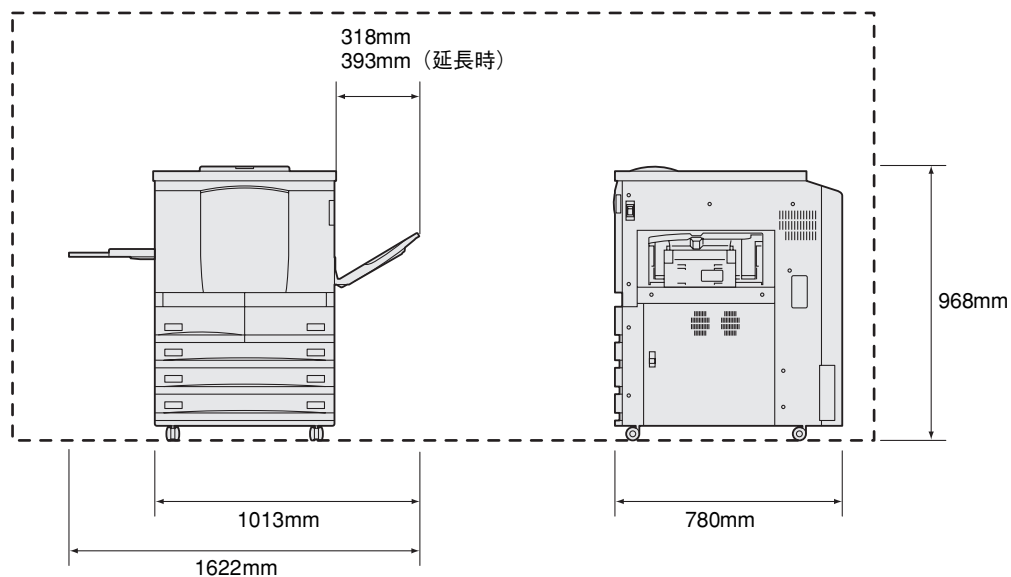


本体+オプション装着時（排紙トレイ）



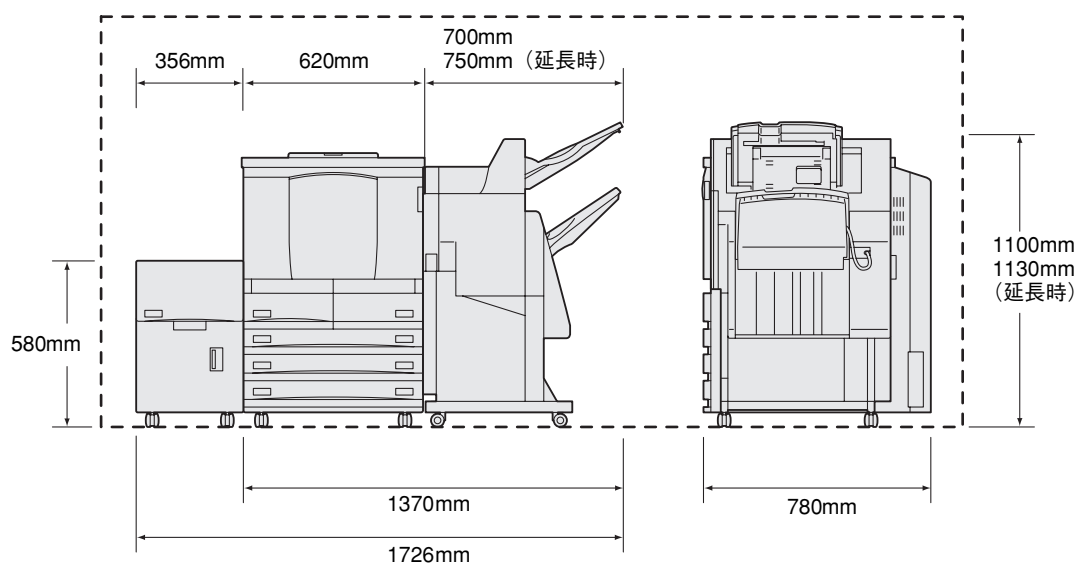
本体+オプション装着時（フィニッシャー、大容量ホッパー）

設置に必要なスペース（上から見たところ）



本体+オプション装着時
(排紙トレイ)

設置に必要なスペース (正面および横から見たところ)

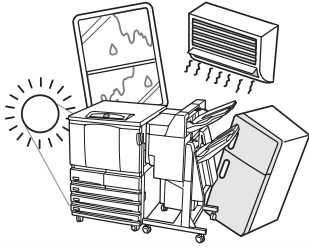


本体+オプション装着時
(大容量ホッパー+フィニッシャー)

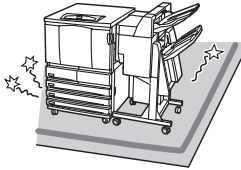
設置に必要なスペース (正面および横から見たところ)

設置してはいけない場所

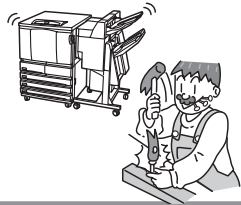
次のような場所には設置しないでください。



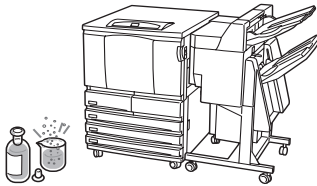
直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。



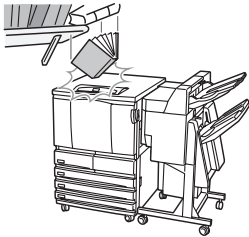
じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。



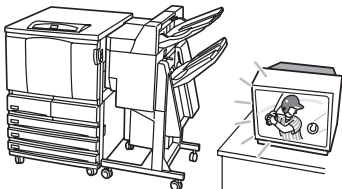
強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。



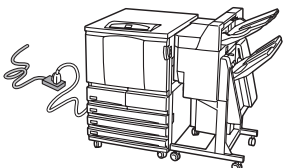
腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。



上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しなくなることがあります。



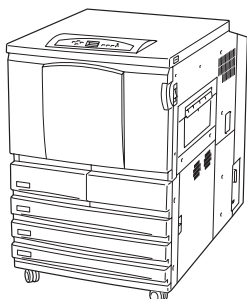
ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンターのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。



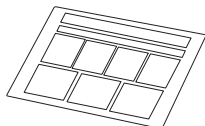
添付の電源コードだけで、コンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

2 箱の中身を確認する

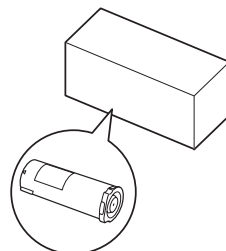
☐ MultiWriter 本体



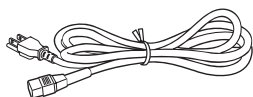
☐ リーフレット



☐ トナーカートリッジ*



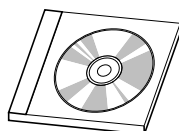
☐ 電源コード



☐ 変換プラグ
(2極/3極)



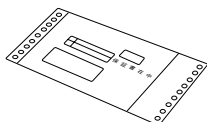
☐ プリンターソフトウェア
CD-ROM (活用マニュアル収録)



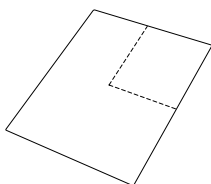
☐ ユーザーズマニュアル
(本書)



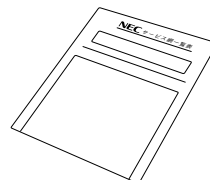
☐ 保証書



☐ お客様登録申込書



☐ NECサービス網一覧表



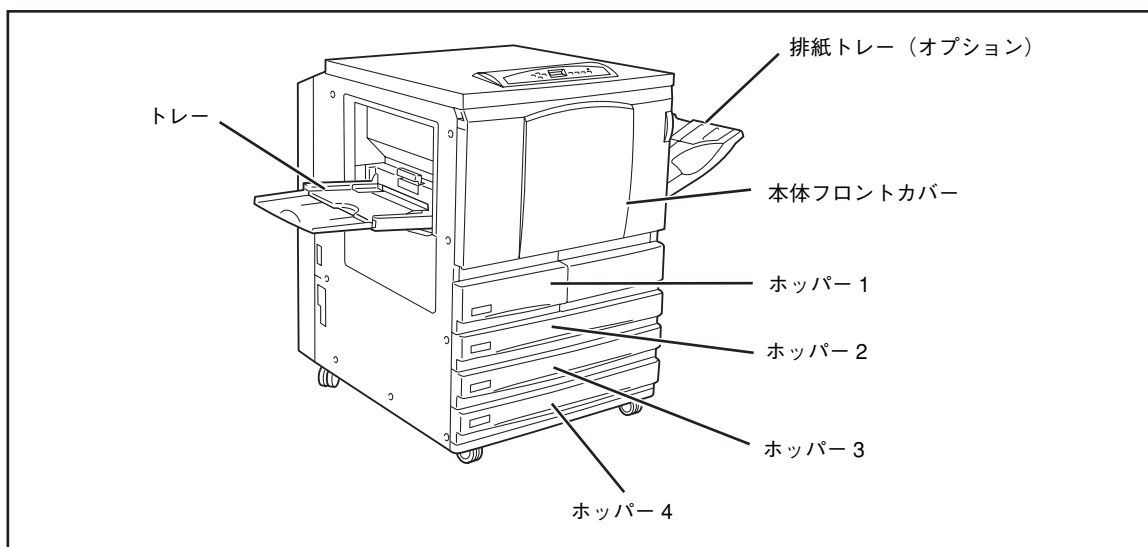
* 添付品のトナーカートリッジは約 33,000 ページ (A4 用紙、画像面積比 5% 連続印刷時) 印刷可能です。

プリンターの箱を開けたら次のことを忘れずに行ってください。

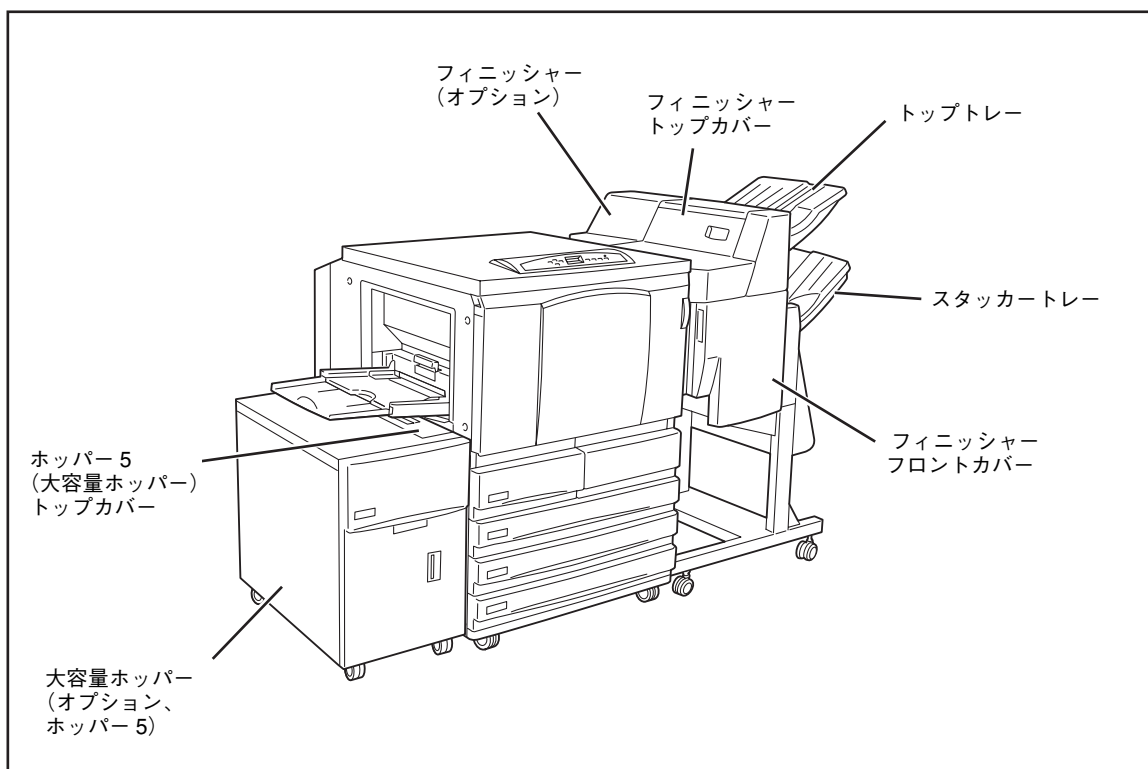
- お客様登録申込書に所定事項を記入して投函してください。(FAXでも受け付けております。詳しくはお客様登録申込書をお読みください。)
- 保証書、NECサービス網一覧表をなくさないよう大切に保管してください。

3 各部の名称を確認する

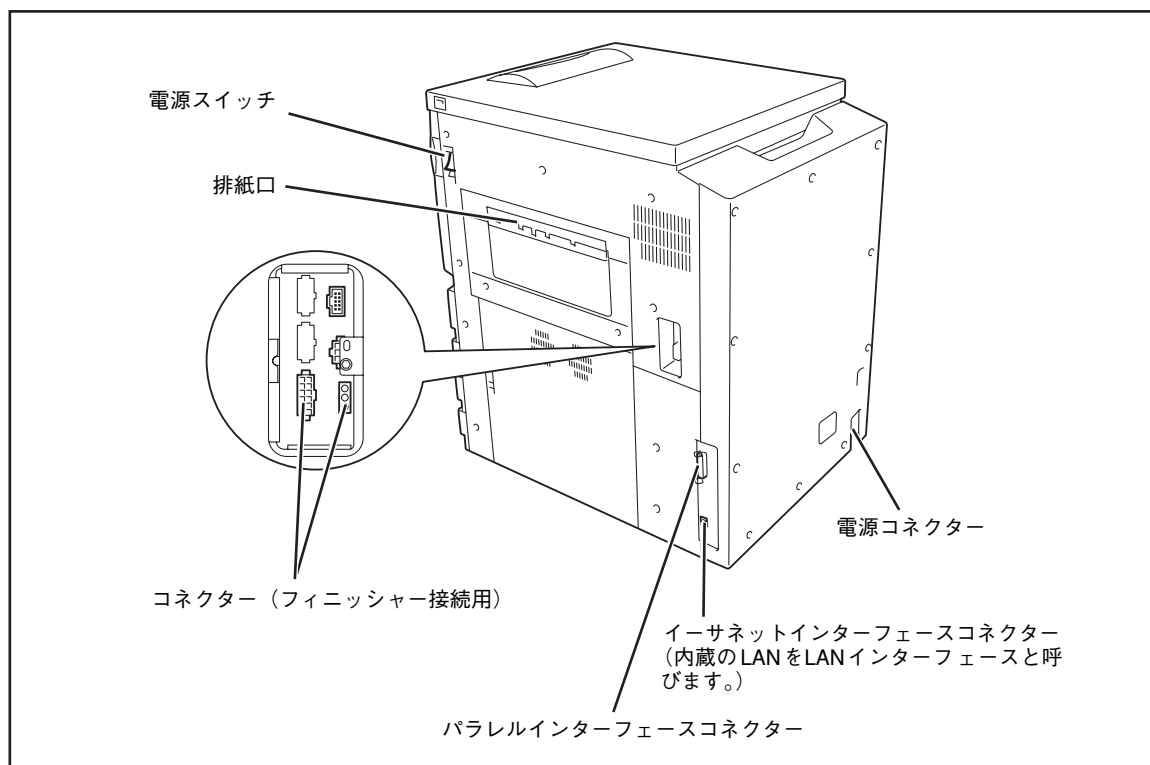
プリンターを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。



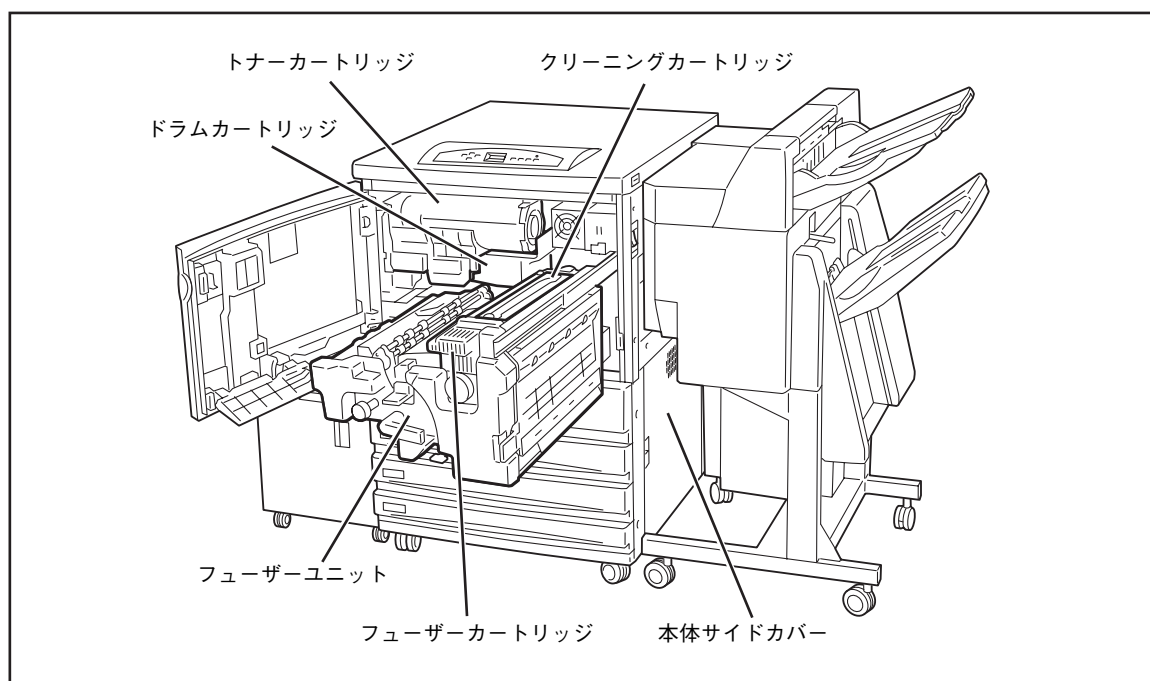
プリンター+排紙トレイ (オプション) 前面



プリンター+フィニッシャー (オプション) +大容量ホッパー (オプション) 前面



プリンター側面と背面



プリンター内部

4 コンピューターに接続する

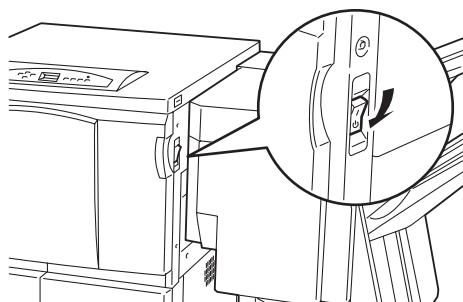
ここでは、プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する方法を説明します。プリンターをネットワークへ接続してお使いになる場合は、「ネットワークに接続する」(22ページ)に進んでください。

本プリンターにはプリンターケーブルは添付しておりません。お使いになる環境に合わせて別途お買い求めになる必要があります。プリンターケーブルの種類については、「使用できるプリンターケーブル」(184ページ)をご覧ください。ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルを確認してください。

重要

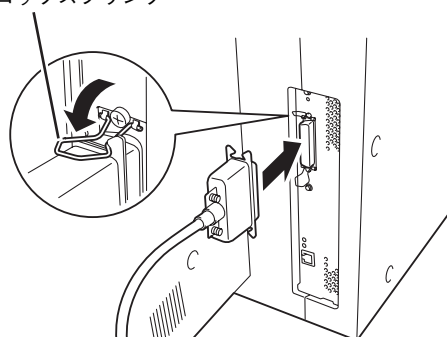
パソコン本体とプリンターとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどを使用すると、機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。

- ①** プリンターおよびコンピューターの電源をOFFにする。



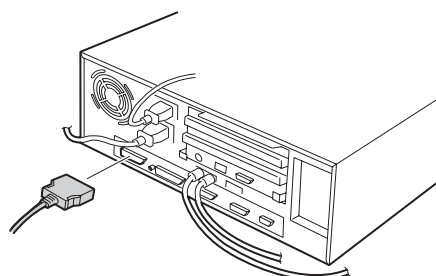
- ②** プリンターケーブルのコネクタをプリンター背面のインターフェースコネクタに差し込み、コネクタ両端のロックスプリングで固定する。

ロックスプリング



- ③** プリンターケーブルのもう一方のコネクタをコンピューターに接続する。

コンピューターのインターフェース用コネクタの位置については、コンピューターのマニュアルを参照してください。



これでコンピューターへの接続は終了です。

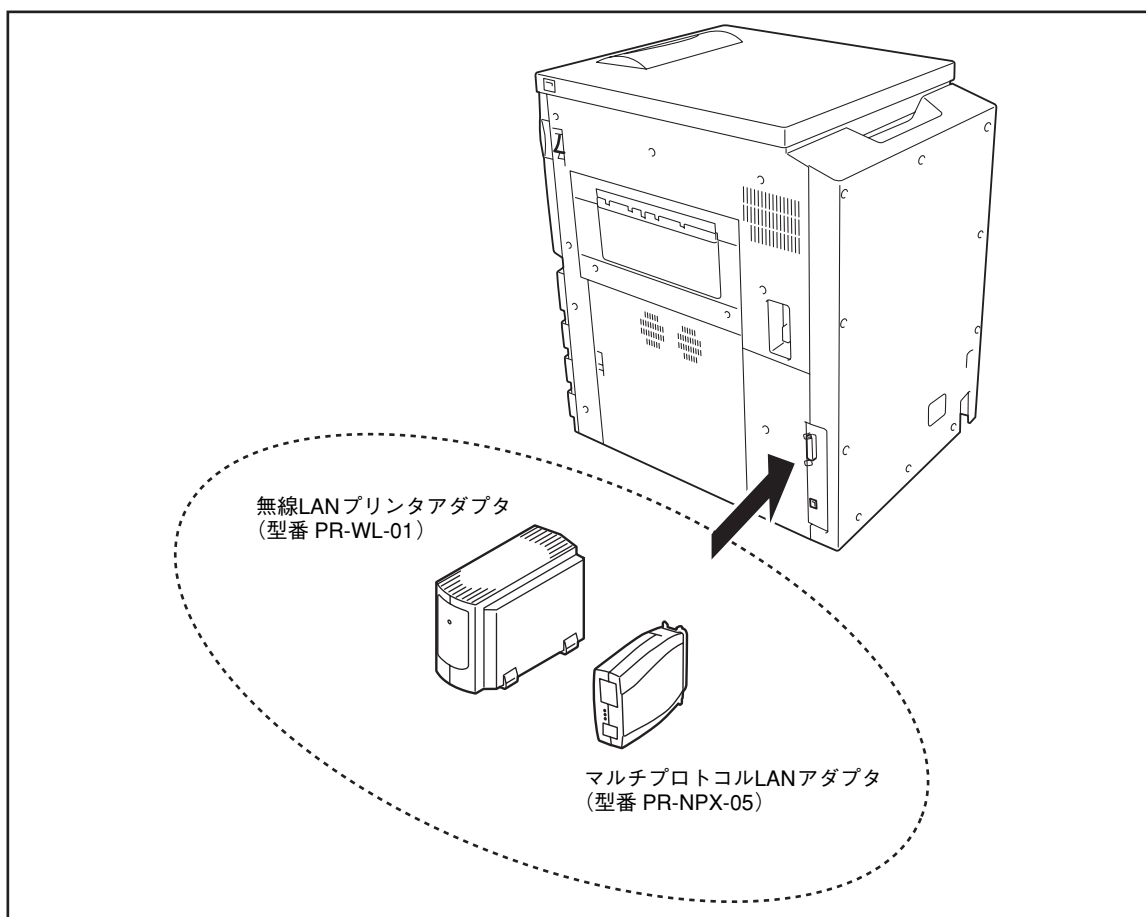
次に、「2章 プリンターソフトウェアのインストール」(35ページ)に進み、プリンターソフトウェアをインストールしてください。

5 ネットワークに接続する

MultiWriter 6600はLANインターフェースを標準で装備していますので、そのままネットワークに接続して、ネットワークプリンターとしてお使いいただけます。

ここでは、ネットワークに接続するために必要な手順を以下のステップで手順を説明します。

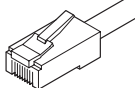
- Step 1** ネットワークケーブルを接続する
- Step 2** IPアドレスとサブネットマスクを設定する
 - LANインターフェースの場合
 - 無線LANプリンタアダプタの場合
- Step 3** コンフィグレーションページを印刷する



ネットワークオプションの取り付け例

Step 1 ネットワークケーブルを接続する

標準のLANインターフェース／LANアダプターは、ネットワークに接続するインターフェースとして10BASE-Tおよび100BASE-TXの2種類に対応しています。ネットワークケーブルは添付されていないため、次の表に従って適切なケーブルを別途お求めの上、接続してください。接続手順は以下をご覧ください。

ケーブルタイプ	コネクターの形状	型番
Ethernet (10BASE-T) Fast Ethernet (100BASE-TX)		PK-CA117 PK-CA118

重要

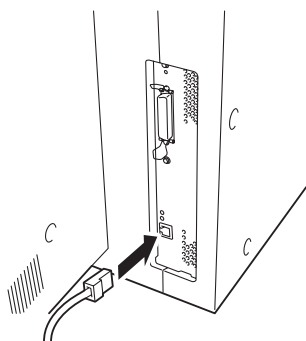
- ケーブルを接続する前に、他のネットワーク利用者が印刷やファイルの転送を行っていないことを確認してください。
- プリンターとLANアダプターの電源を必ずOFFにしてからケーブルを接続してください。ONのまま接続するとプリンターの誤動作の原因となります。

1 ネットワークケーブルのコネクターを接続する。

ネットワークケーブル接続後の確認については、LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。

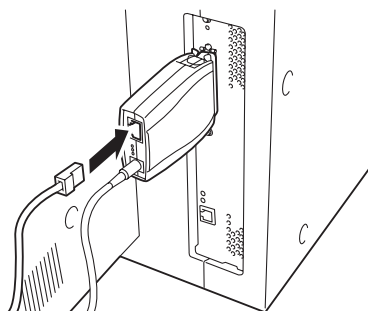
<標準のLANインターフェースをご使用の場合>

プリンターの電源をOFFにし、ケーブルのコネクターをイーサネットインターフェースのコネクターに差し込みます。



<LANアダプターをご使用の場合>

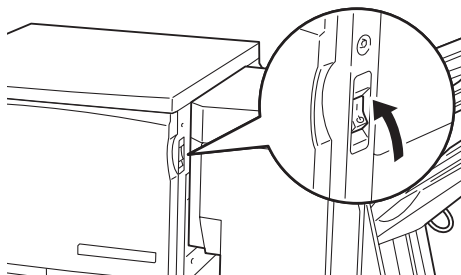
LANアダプターの電源コードを壁付きACコンセントから抜き、ネットワークケーブルのコネクターをLANアダプターのイーサネットインターフェースのコネクターに差し込みます。



2 電源を入れる。

<標準のLANインターフェースをご使用の場合>

プリンターの電源をONにします。



<LANアダプターをご使用の場合>

LANアダプターの電源コードのプラグを壁付きACコンセントに差し込み、プリンターの電源をONにします。

ネットワークケーブルの接続ができれば、次の「Step2 IPアドレスとサブネットマスクを設定する」に進んでください。

Step 2 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

MultiWriter 6600をネットワーク環境で利用するために、プリンターにIPアドレスとサブネットマスクを設定する必要があります。設定方法には主に以下の4通りがあります。

- プリンターの操作パネルを使って設定する（操作パネルについては4章参照）
- EASY設定ユーティリティ（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する
- 無線LANプリンタ導入ウィザード（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する

接続されているLANオプションごとに適切な設定方法で説明します。以下のページを参照してください。

- LANインターフェース 24ページ
- LANアダプター 29ページ
- 無線LANアダプター 29ページ

LANインターフェースの場合

ここでは、プリンターの操作パネルを使った設定方法を説明します。その他の設定方法は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「3章 ネットワークでの設定」をご覧ください。設定するIPアドレス、サブネットマスクなどの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

重要

DHCPサーバーをお使いの場合は、「DHCPを有効にする」（28ページ）をご覧ください。手順に従ってください。

IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する

- 1** 操作パネルの[印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。



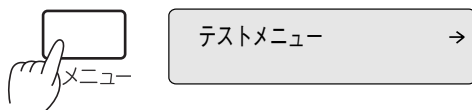
- 2** データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

○データ

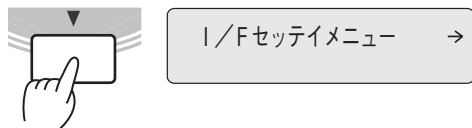
- 3** [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー →”と表示します。

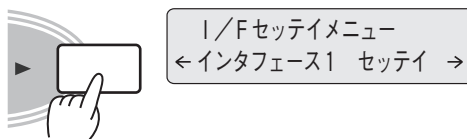


- 4** ディスプレイに“I/Fイセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

メニューの内容については「メニューツリー」(93ページ)を参照してください。

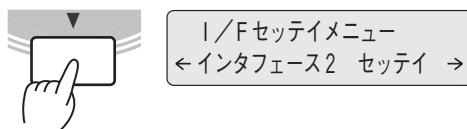


- 5** [▶]スイッチを1回押す。



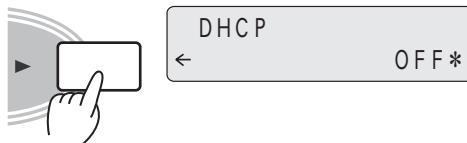
- 6** [▼]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に“←インタフェース2 セッテイ →”と表示されます。



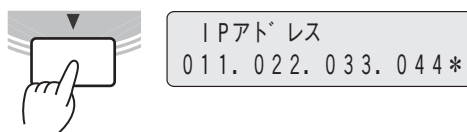
- 7** [▶]スイッチを1回押す。

ディスプレイ上段に“DHCP”と表示されます。



- 8** [▼]スイッチを1回押す。

ディスプレイに“IPアドレス”と表示されます。



- 9** IPアドレスを設定する。

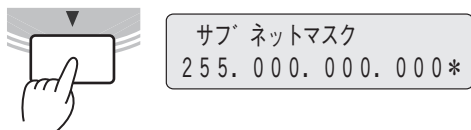
[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

→ 0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチで手順⑧に戻って入力し直してください。

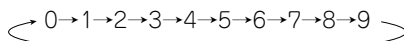
10 [▼] スイッチを押す。

ディスプレイに“サブネットマスク”と表示されます。



11 サブネットマスクを設定する。

〔設定変更〕スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。



カーソルを移動させるには、[▶] スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀] スイッチで手順⑧に戻って入力し直してください。

ゲートウェイアドレスの設定を行う場合は、上記の「IPアドレスとサブネットマスクを設定する」と同様の手順で操作パネルからゲートウェイアドレスを設定することができます。「メニューツリー」(93ページ)を参照して設定してください。

12 [メニュー終了] スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。



13 コンフィグレーションページを印刷する。

手順については「Step 3 コンフィグレーションページを印刷する」(34ページ)を参照してください。

14 コンフィグレーションページの印刷例を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。

これでネットワークへの接続は完了です。

次に、「2章 プリンターソフトウェアのインストール」(35ページ)に進み、プリンターソフトウェアをインストールしてください。

工場出荷時の印刷例

NEC Network Interface Configuration Page		
<Network Information>		
*1	F/W Version	: 02.06.000.1.0008312253
	ID Number	: NFE-290000
	Printer Name	: NFE-290000
*1	MAC Address	: 00:20:4C:29:00:00
	H/W Description	: NEC NetworkPrinter700087
	10Base/100Base	: " Auto (10Base) "
	Half/Full Duplex	: " Auto (Half Duplex) "
	Printing Log	: " Off "
<Self-Diagnosis>		
	Link Test	: " OK "
	Network Status	: " OK "
<TCP/IP>		
*2	IP Address	: 11.22.33.44
*2	Subnet Mask	: 255.0.0.0
	Gateway Address	: 0.0.0.0
	Auto IP Address	: " On "
	Max. Number of Session	: 64
	Session Timeout [sec]	: 120
	Keep Alive	: " On "
	FTP Timeout [min]	: 10
	DHCP	: " Off "
	e-Mail Service	: " Off "
	Current Active Session	: 0

IPアドレス、サブネットマスク設定変更後の印刷例

NEC Network Interface Configuration Page		
<Network Information>		
*1	F/W Version	: 02.06.000.1.0008312253
	ID Number	: NFE-290000
	Printer Name	: NFE-290000
*1	MAC Address	: 00:20:4C:29:00:00
	H/W Description	: NEC NetworkPrinter700087
	10Base/100Base	: " Auto (10Base) "
	Half/Full Duplex	: " Auto (Half Duplex) "
	Printing Log	: " Off "
<Self-Diagnosis>		
	Link Test	: " OK "
	Network Status	: " OK "
<TCP/IP>		
*3	IP Address	: 123.123.123.123
*3	Subnet Mask	: 255.255.255.0
	Gateway Address	: 0.0.0.0
	Auto IP Address	: " On "
	Max. Number of Session	: 64
	Session Timeout [sec]	: 120
	Keep Alive	: " On "
	FTP Timeout [min]	: 10
	DHCP	: " Off "
	e-Mail Service	: " Off "
	Current Active Session	: 0

- * 1 ID Number および、MAC Address は LAN インターフェース個々の情報を示します。
- * 2 IP アドレス、サブネットマスクの工場出荷値です。

DHCPを有効にする

DHCPサーバーをお使いの場合は、以下の手順でDHCPを有効にしてください。設定はプリンターの操作パネルでメニューモードに入って行います。メニューモードについては4章の「メニューモード」(86ページ)を参照してください。

① [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



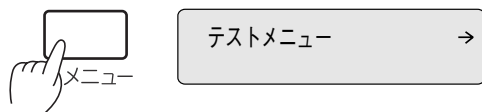
② データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

○データ

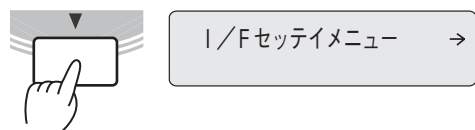
③ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー →”と表示されます。

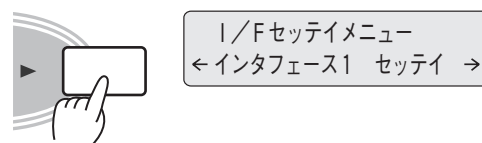


④ ディスプレイに“I/Fセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

メニューの内容については「メニューツリー」(93ページ)を参照してください。

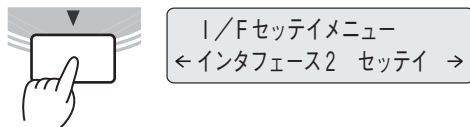


⑤ [▶]スイッチを1回押す。



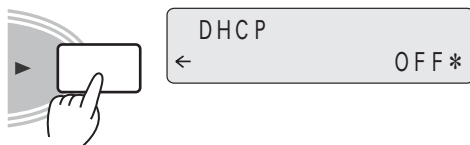
⑥ [▼]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に“←インタフェース2 セッテイ →”と表示されます。



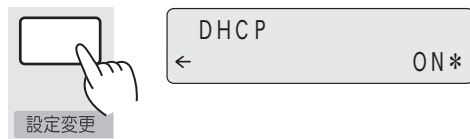
⑦ [▶]スイッチを1回押す。

ディスプレイ上段に“DHCP”と表示されます。



⑧ [設定変更]スイッチを押す。

“ON” に設定されます。



⑨ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。



DHCPが有効になりました。



IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスはDHCPサーバーから取得した値が表示されます。また、表示されるまでは多少時間がかかる場合があります。

LANアダプターの場合

LANアダプターでネットワークに接続するために、ネットワークインターフェースIPアドレスとサブネットマスクを設定します。設定方法については、LANアダプターに添付のマニュアルを参照してください。

無線LANアダプターの場合

無線LANプリンタアダプタ（型番 PR-WL-01）でネットワークに接続するために、ネットワークインターフェースのIPアドレスとサブネットマスクなどを設定します。設定方法には、以下の2通りがあります。

- 無線LANプリンタ導入ウィザード（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する
- EASY設定ユーティリティ（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する

✓ チェック

- EASY設定ユーティリティや無線LANプリンタ導入ウィザードをお使いになれない環境の場合は、プリンターの操作パネルを使って設定します。設定手順はLANインターフェースの場合と同じです。本章の「LANインターフェースの場合」（24ページ）をご覧ください。
- 無線LANアダプターの詳細については無線LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。
- 設定するIPアドレス、サブネットマスクなどの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

無線LANプリンタ導入ウィザードを使って設定する

本プリンターに添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使って、無線LANアダプタを装着したプリンターと無線LANカード、アクセスポイントの設定を画面の指示に従って設定していきます。

このユーティリティは、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMの[WIRELESS]フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。以下に、起動方法までを説明します。

🔑 重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を[コンピュータの管理者]でログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、[コンピュータの管理者]または、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピュータとプリンターがIPルータなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。
- 無線LANプリンタ導入ウィザードの場合、コンピュータのディスプレイは800×600ピクセル以上の解像度、High Color（16ビット色）以上の設定を推奨します。
- 暗号キーを変更する場合は無線LANアダプターを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピュータの設定を変更してください。
- 「ネットワークタイプ」、「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違えて設定した場合は、いったん工場出荷状態に戻し再度設定を行ってください。工場出荷状態へ戻す手順は、無線LANアダプターに添付のマニュアルをご覧ください。

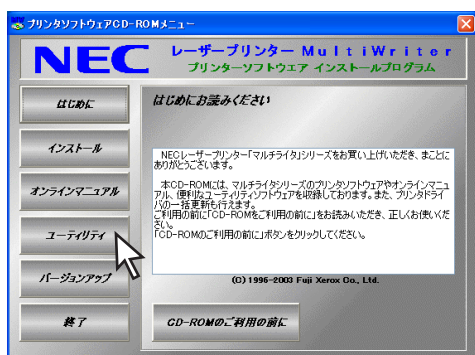


ご使用の前に、起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。

- ① お使いのOS（日本語版）を起動する。
- ② プリンターソフトウェア CD-ROM をセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

- ③ 画面左側の[ユーティリティ]をクリックする。



- ④ [無線LANプリンタ導入ウィザード]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。

プリンターソフトウェアCD-ROM内の[WIRELESS]フォルダーが開きます。



- ⑤ [SetupWiz.EXE] アイコンをダブルクリックする。

[無線LANプリンタ導入ウィザード]ウィンドウが表示されます。

- ⑥ [次へ]をクリックする。

[設定方法の選択]が表示されます。



設定方法の選択

- 初期設定
プリンターが出荷時の状態、または無線LANアダプタの設定を初期化してから再度設定したい場合には、こちらを選択してください。
- 設定変更
コンピューター・プリンター間の通信が可能な状態から、無線LANアダプタの設定を変更したい場合には、こちらを選択してください。
- 通信確認
設定後の通信確認のために、現在のコンピューターの設定で通信可能なプリンターを表示確認する場合には、こちらを選択してください。

以降の設定に関しては、無線LANプリンタ導入ウィザードの説明欄に詳細な説明を記載しています。説明文をよく読んで設定を行ってください。

EASY設定ユーティリティを使って設定する

ここでは、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「EASY設定ユーティリティ」を使った設定方法を説明します。その他の設定方法は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「3章 ネットワークでの設定」をご覧ください。

詳細については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMの[EASY]フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。

重要

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、[コンピュータの管理者]または、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログインしてください。権限を持たないユーザーでログインした場合には設定できません。
- プリンターに IP アドレスを設定する場合は、プリンターに IP アドレスを設定するために使うコンピュータとプリンターがIPルーターなどを介さない（同じサブネットマスク内）で接続された環境で行ってください。

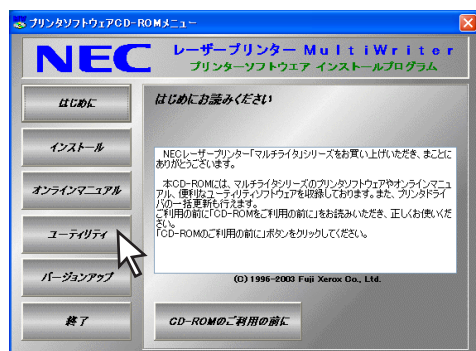
1 お使いのOS（日本語版）を起動する。

2 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

[プリンターソフトウェアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

3 [ユーティリティ]をクリックする。



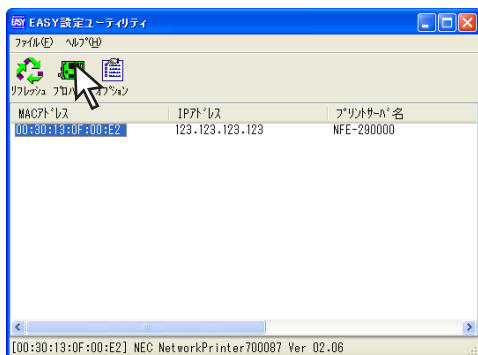
4 [EASY設定ユーティリティ]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。

プリンターソフトウェアCD-ROM内の[EASY]フォルダーが開きます。



5 [NICSET.EXE] アイコンをダブルクリックする。

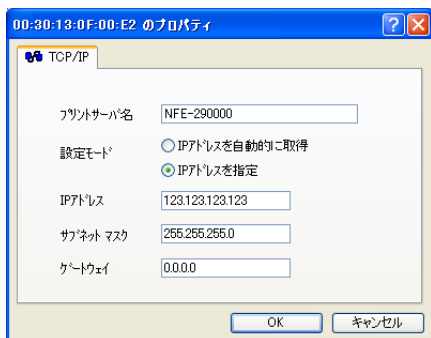
- ⑥ 一覧からプリンターの MAC アドレスを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする。



一覧にプリンターが表示されない場合は、[リフレッシュ] ボタンをクリックし、再検索を行ってください。

- ⑦ プリントサーバー名を確認する。

ネットワーク上から見たプリンターの名前が[プリントサーバー名]ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。



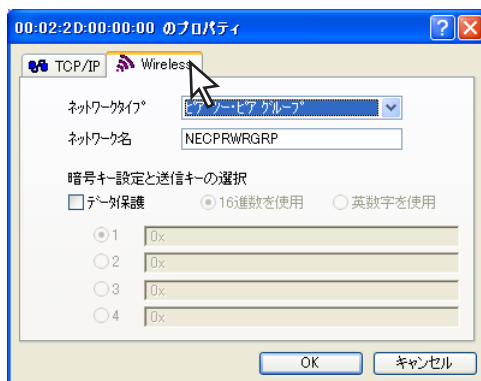
- ⑧ [設定モード]で[IPアドレスを指定]を選択する。

- ⑨ IPアドレス、サブネットマスクを入力する。

- ⑩ ゲートウェイアドレスを設定する。

ゲートウェイ（ルーター）を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。

- ⑪ [Wireless]タブをクリックする。



- ⑫ [ネットワークタイプ]で接続する無線LAN環境を選択する。

- ピア・ツー・ピア グループ
ネットワーク名（ESS-ID）を設定する無線LANカードを取り付けたコンピュータとピア・ツー・ピア グループ接続します。
- アクセスポイントN
NEC無線LANアクセスポイント（PK-WL002H）経由でネットワークに接続します。
- アクセスポイント
IEEE802.11b準拠のアクセスポイント経由でネットワークに接続します。

- ⑬ ネットワーク名を入力する。

接続したいアクセスポイントやネットワークに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

- ⑭ 必要に応じて、[データ保護]をチェックする。

チェックを付けると、WEP（Wired Equivalent Privacy）データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。

15 必要に応じて、[暗号キー]を入力する。

暗号キーは、アクセスポイントやコンピューターが、無線LANプリンターにデータを送信する時に使用する暗号キーと同じものを設定します。暗号キーは5文字（16進数で10桁）または13文字（16進数で26桁）のどちらかの文字数のみで設定することができます。

また、暗号キーは次のように使用します。

- 無線LANプリンターが受信する無線メッセージを復号します。4つまで設定することが可能です。
- 無線LANプリンターが送信する無線メッセージを暗号化します。番号1～4の左側にあるラジオボタンにマークされた1つが暗号キーとして使用されます。マークしたキーは必ず設定する必要があります。

重要

- 暗号キーを変更する場合は無線LANアダプタを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。
 - 「ネットワークタイプ」、「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違えて設定した場合は、いったん工場出荷状態に戻してから再度設定を行ってください。
-

使用できる文字について

- [英数字を使用する]を選択したときは、半角英数字と文字記号（「*」アスタリスクを除く）が使えます。
- [16進数を使用する]を選択したときは、「0～9」、「A～F」が使えます。

16 [OK] をクリックして、EASY設定ユーティリティを終了する。

以上で設定は完了です。

次に、「2章 プリンターソフトウェアのインストール」（35ページ）に進み、プリンターソフトウェアをインストールしてください。

Step 3 コンフィグレーションページを印刷する

コンフィグレーションページとは、ネットワークインターフェースのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレスなどのネットワークの設定情報が一覧できる情報ページのことです。ネットワークケーブルを接続したとき、またはネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページを印刷して設定内容の確認を行ってください。

MultiWriter 6600 に標準装備されているLANインターフェースのコンフィグレーションページ（LANステータス）の印刷は、プリンターの操作パネルから行います。LANアダプターの場合は種類によって手順が異なりますのでLANアダプターに添付のマニュアルをご覧ください。コンフィグレーションページを印刷してください。

1 プリンターの電源スイッチをONにする。

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可能ランプ点灯）になったことを確認します。



コンフィグレーションページを印刷する前に用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は「3章 用紙のセット」（61ページ）を参照してセットしてください。

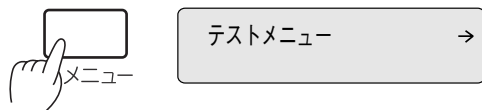
2 プリンターの操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。

印刷可能ランプが消灯します。



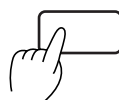
3 [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー →”と表示されます。



4 [▶]スイッチを1回、[▲]スイッチを2回押す。

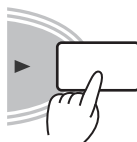
ディスプレイ下段には“←LANステータス ジョコウ →”と表示されます。



テストメニュー
←LANステータス ジョコウ →

5 [▶]スイッチを押す。

データランプが点灯し、ネットワークインターフェースの設定情報の印刷を開始します。



インサッチュウ

6 コンフィグレーションページを参照してネットワークインターフェースの設定内容を確認する。

27 ページのコンフィグレーションページの印刷例を参考にしてください。

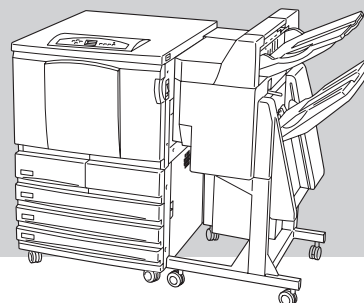
印刷例は工場出荷時におけるネットワークインターフェースの設定情報と、IPアドレスとサブネットマスクの設定変更後の印刷例です。

ネットワークへのセットアップ後やプリンターの設定を変更した後は必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

以上で設定は完了です。

2章

プリンターソフトウェア のインストール



この章では、Windows XP^{*1}、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98^{*2}、Windows 95 日本語版環境にプリンターソフトウェア^{*3}をインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。また、その他の環境で使用する際の設定も説明します。

重要

- MultiWriter のプリンターソフトウェアを正しくインストールするためには、インストールする前に「PrintAgentを正しく動作させるために」（138ページ）をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

• Windows Server 2003をお使いのお客様へ

本書にWindows Server 2003の記述がない場合は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

• フロッピーディスクでインストールする場合

本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンターソフトウェアCD-ROMから作成したプリンターソフトウェアディスクを使用してインストールをする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクの入れ替えを行ってください。

*1 以下、本書で Windows XP と表記している場合は、Windows XP Home Edition と Professional を含みます。

*2 以下、本書で Windows 98 と表記している場合は、Windows 98 Second Edition を含みます。

*3 プリンターソフトウェアは、次の 2 つのソフトウェアから構成されます。

- プリンタードライバ : Windows 環境でプリンターへの印刷制御を行うソフトウェアです。
- PrintAgent : 印刷統合管理ソフト「PrintAgent（プリントエージェント）」は、ネットワークプリンターで印刷する方のために豊富なサービスを提供するソフトウェアです。

プリンターソフトウェアCD-ROMについて

MultiWriter 6600に添付のプリンターソフトウェアCD-ROMは、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95のコンピューター環境に対応した、ソフトウェアを提供しています。

このCD-ROMは、ISO9660フォーマットに従って作成されています。CD-ROMの構成は以下のとおりです。

□ メニュープログラム

- はじめに
プリンターソフトウェアCD-ROMについて注意事項などが書かれています。ご使用になる前にお読みください。
- インストール
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95に対応したプリンターソフトウェアをインストールできます。
- オンラインマニュアル
「MultiWriter 6600 活用マニュアル」の閲覧用（HTML形式）と、印刷用（PDF形式）の2つが収録されています。オンラインマニュアルを閲覧するためにはブラウザ、印刷するためには「Adobe Acrobat Reader」が必要です。詳細については「マニュアルの種類と使い方」（viiiページ）またはメニュープログラム内のユーティリティをご覧ください。
- ユーティリティ
 - － ドキュメント・ハンドリング・ソフトウェア「DocuWorks（体験版）」
 - － NEC Internet Printing System（Windows 98、Windows 95対応版およびWindows NT 4.0対応版）
 - － NEC TrueTypeバーコードフォントキット
NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。
 - － NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体
 - － 帳票エディタ「帳楽」お試し版
 - － EASY設定ユーティリティ
 - － 無線LANプリンタ導入ウィザード
 - － Adobe Acrobat Reader
 - － PrintPortオフライン印刷ツール
- バージョンアップ
CD-ROMに収録されている最新のプリンタードライバにアップデートできます。詳細や手順についてはご利用になる前に、「ご利用の前に」（Update.txt）または活用マニュアルの4章「より進んだ使い方」をご覧ください。

その他に、MultiWriterシリーズのプリンターソフトウェアを収録しています。詳しくは、それぞれのソフトウェアに関連するフォルダー内にある、「はじめにお読みください」（Readme.txt）をご覧ください。

プリンターソフトウェアの動作環境

MultiWriter 6600に添付のプリンターソフトウェアの動作環境は以下のとおりです。

接続方法	動作コンピューター* ¹	対応 OS	メモリー
ネットワークインターフェース パラレルインターフェース	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT 互換機 (DOS/V 対応 機)	Windows XP* ² (日本語版) Windows Server 2003* ³ (日本語版) Windows 2000 (日本語版) Windows NT 4.0 (日本語版) Windows Me (日本語版) Windows 98 (日本語版) Windows 98 Second Edition (日本語版) Windows 95 (日本語版)	OSの動作条件に準じます。
	PC9800シリーズ		

*¹ OSによって動作するコンピューター条件が異なります。詳しい動作条件は各OSのマニュアルを参照してください。

*² Windows XP 64-Bit Edition には対応していません。

*³ 64 ビットバージョン Windows Sever 2003 には対応していません。



チェック

メモリーについては、PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでご使用の場合、プリントサーバーには64M/バイト以上 (Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は256M/バイト以上) のメモリーを搭載し、運用されることを推奨します。

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- LANインターフェースでプリンターがネットワークに接続されている。
- オプションのLANアダプターでプリンターがネットワークに接続されている。(対応している型番については「9章 オプション」(167ページ)をご覧ください。)
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANアダプタ (型番 PR-WL-01) で接続されている。
- 共有プリンターの場合 (クライアント・サーバー接続)、プリントサーバーコンピューターのOSが Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウェアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネットワークボード/カード/アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。



重要

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

プリンターソフトウェアの容量

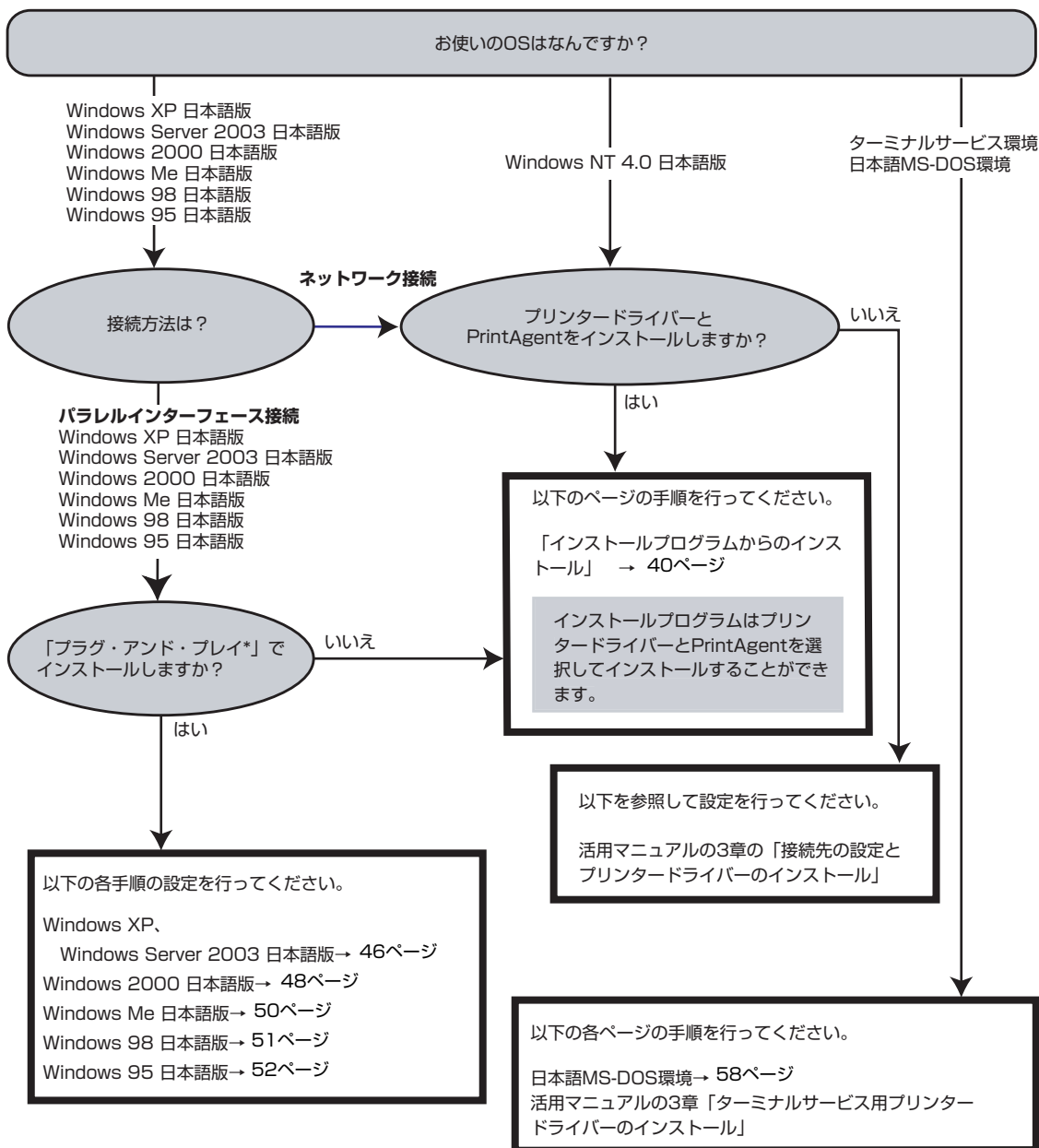
プリンターソフトウェアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に以下の表で確認してください。

インストール方法	Windows XP、 Windows Server 2003、 Windows 2000 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版	Windows Me、 Windows 98、 Windows 95 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約10.7MB	約10.7MB	約9.7MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け（最大）	最大 約12.8MB	最大 約12.8MB	最大 約11.8MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約13.4MB	最大 約13.4MB	最大 約12.3MB
プリンタードライバーのみ	約4.5MB	約4.5MB	約3.5MB

インストール方法の選択

プリンターソフトウェアをコンピュータにインストールする前に、お使いになるコンピュータの条件に従ってインストール方法を選択します。以下のフローチャートの矢印に進み、それぞれのページへ進んでください。

なお、プリンターを管理したり、LANインターフェース、またはLANアダプターなどのネットワークの設定を行う場合は、「管理者インストール」をする必要があります。インストール手順については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されている活用マニュアル2章の「プリンター管理者用インストール」をご覧ください。



* 「プラグ・アンド・プレイ」機能とは、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows Me、Windows 98、Windows 95がインストールされているコンピュータで新しい周辺機器などを接続すると、コンピュータの起動時や接続時にその周辺機器を検出し、自動的にインストールが実行される機能です。

「インストールプログラム」からのインストール

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95で動作しているコンピュータでMultiWriterをご利用になる場合、プリンターソフトウェアCD-ROMのインストールプログラムを使ってプリンターソフトウェア（プリンタードライバおよびPrintAgent）をインストールします。

プリンターソフトウェアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

- パラレルインターフェースで接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順⑦で、[ローカルポート]を選択します。
- LANインターフェースまたはLANアダプターで接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順⑦で、[NEC TCP/IP Port]を選択します。

ここではWindows XP 日本語版を例にとり、プリンターソフトウェア（プリンタードライバおよびPrintAgent）のインストール手順を説明します。



Windows XPにインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にインストールするには、[Administrators]または[Domain Admins]、[Power Users]グループのメンバーである必要があります。

① Windows XP 日本語版を起動する。

② プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

[プリンターソフトウェアCD-ROMメニュー]が起動します。

お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

③ [インストール]をクリックする。

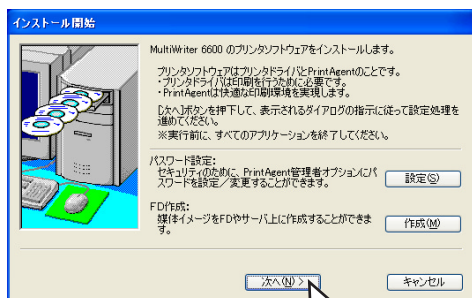


- ④ 右側のボックスから[MultiWriter 6600]を選んで[インストール開始]をクリックする。



お使いのOS にインストール可能なプリンター名が表示されます。

- ⑤ [次へ]をクリックする。



はじめに、プリンタードライバをインストールする設定を行います。

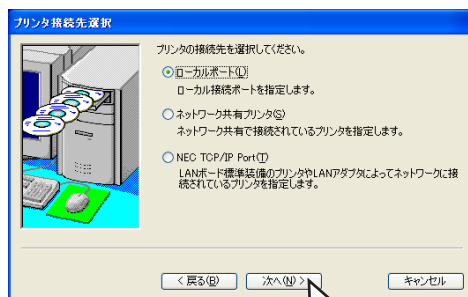
- ⑥ [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだ場合は、手順⑧へ進んでください。



- ⑦ プリンターの接続先を選ぶ。

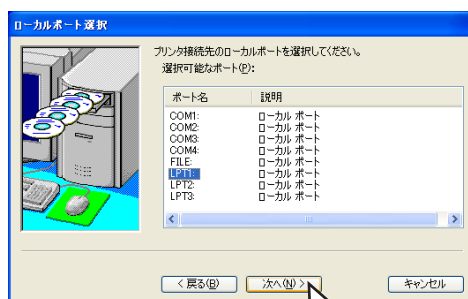
ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「[ローカルポート]」を選んだ場合へ進んでください。



- [ローカルポート]は、コンピュータがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- [ネットワーク共有プリンタ]は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- [NEC TCP/IP Port]は、プリンターがLANインターフェースまたはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

<[ローカルポート]を選んだ場合>

希望するポートを選び[次へ]をクリックする。
手順⑧へ進んでください。

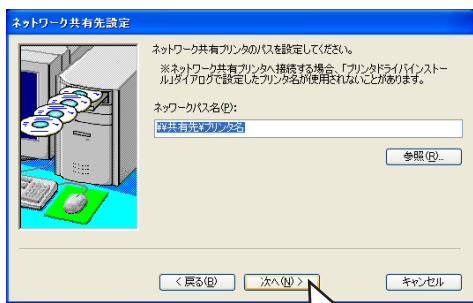


<[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合>

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。

手順⑨へ進んでください。



<[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合>

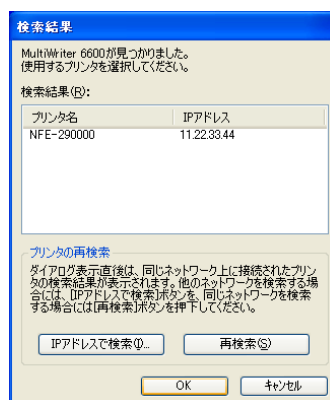
LAN インターフェースまたはLANアダプターのIPアドレス、またはホスト名を設定し、[次へ]をクリックする。



IPアドレスまたはホスト名を設定する場合は、LAN インターフェースまたはLANアダプターのIPアドレスが設定されている必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者におたずねください。

IPアドレスを設定する場合

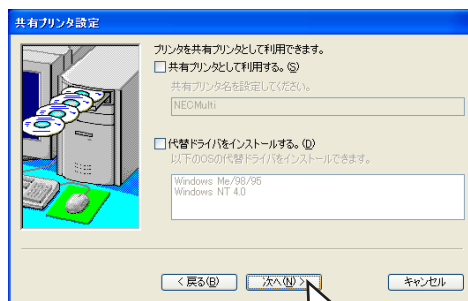
[検索]をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、[OK]をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。



⑧ [次へ]をクリックする。

ネットワークに接続され、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順⑨へ進んでください。

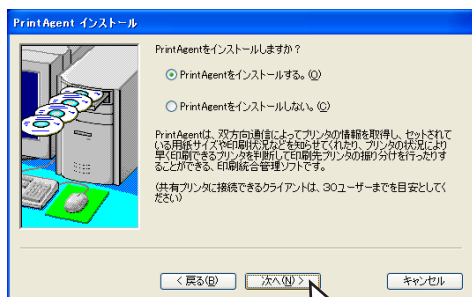


すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

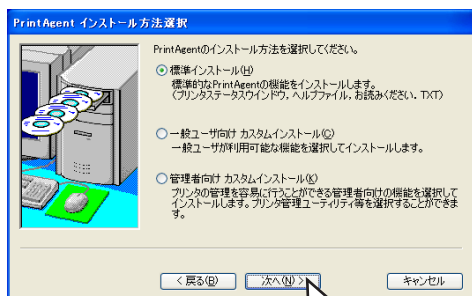
続いて、PrintAgentのインストールを行います。

- ⑨ [PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

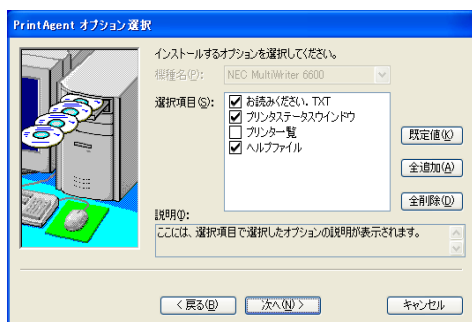
[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは、手順⑫へ進んでください。



- ⑩ 使用目的に応じて[標準インストール]または[一般ユーザ向けカスタムインストール]のインストール方法を選び、[次へ]をクリックする。

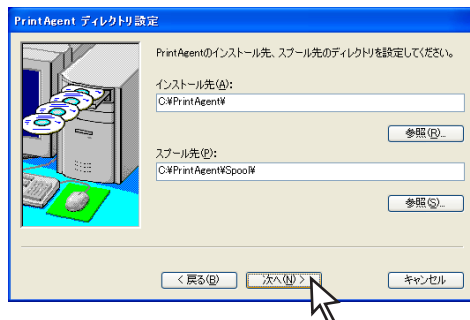


[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選べると、標準的なソフトウェアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]をクリックしてください。[全追加]をクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

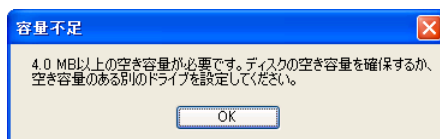


- ⑪ PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定する。フォルダーを確認して[次へ]をクリックする。

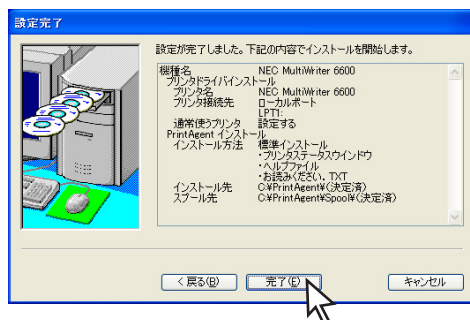
すでに他の機種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⑫へ進んでください。



次のメッセージが出たときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更する、または不要なファイルを削除してください。

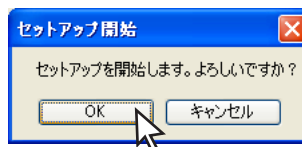


- ⑫ 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。

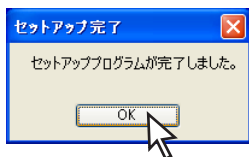


- ⑬ [OK]をクリックする。

ソフトウェアのインストールが開始されます。

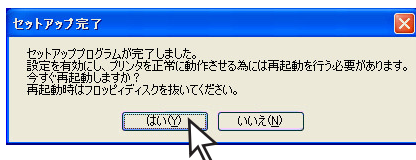


- 14 インストールが終了したら[OK]をクリックする。



✓チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピュータを再起動してください。



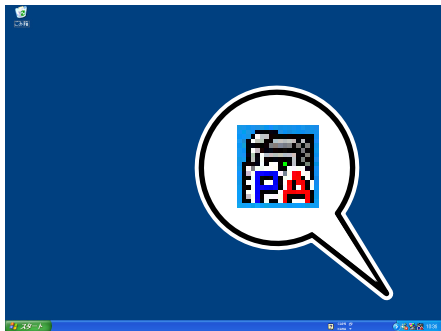
- 15 プリンターソフトウェアが正常にインストールされていることを確認する。

カスタムインストールでインストールを行った場合、選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

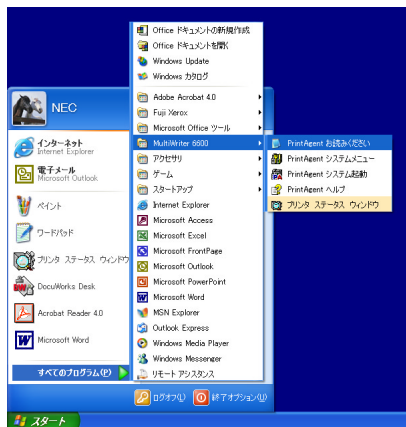
- [プリンタとFAX]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 6600]アイコンが登録されている。



- タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。



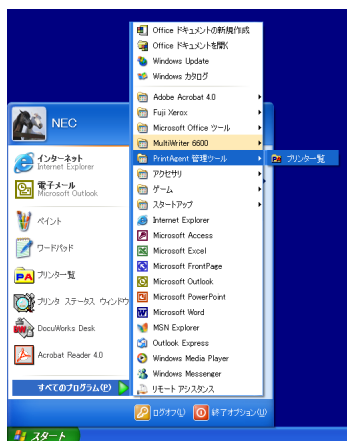
- スタートメニューの[すべてのプログラム]に[MultiWriter 6600]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。



✓チェック

Windows XP、Windows Server 2003 以外の場合は、スタートメニューの[プログラム]から確認することができます。

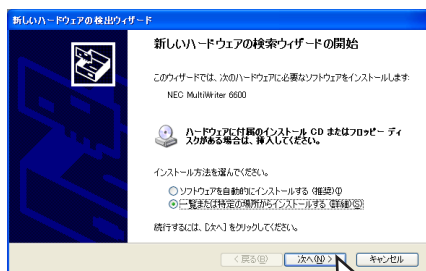
- スタートメニューの[すべてのプログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、[プリンター一覧]が登録されている。(カスタムインストールでプリンター一覧を選択した場合)



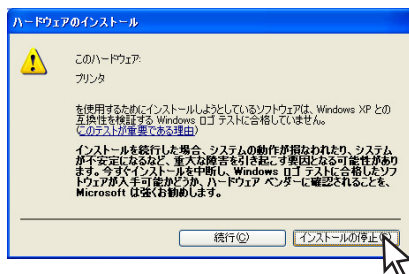


Windows XP、Windows Server 2003
をご使用の場合、プリンターソフトウエア
をインストール後にプリンターを接続する
と「新しいハードウェアの検出ウィザード」
が表示されることがあります。この場合は、
以下の手順でウィザードを終了してくださ
い。

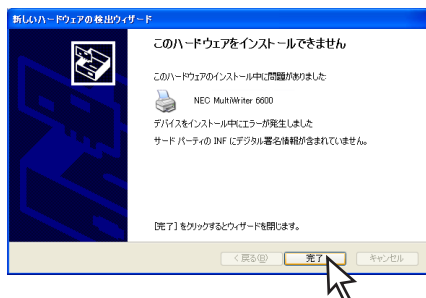
1. [次へ] をクリックする。



2. [ハードウェアのインストール] で、[インストールの停止] をクリックする。



3. [完了] をクリックする。



「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール

ここでは、Windows 日本語版において「プラグ・アンド・プレイ」機能を使ってプリンターソフトウェアをインストールする手順について説明します。

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

- ① プリンターケーブルを接続する。
- ② MultiWriter 6600の電源をONにする。

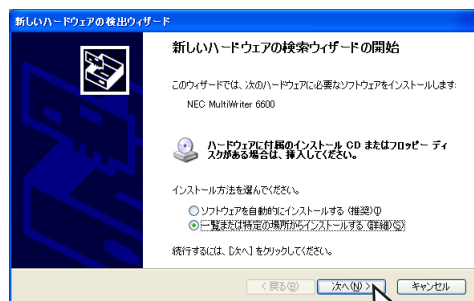
- ③ コンピューターの電源をONにする。

Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

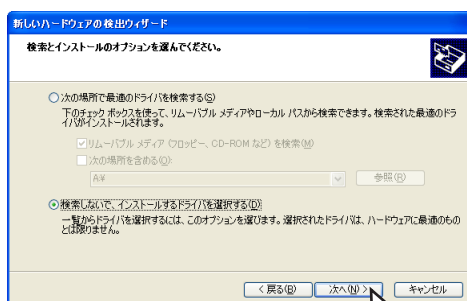
- ④ [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] を選び、[次へ] をクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、40ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

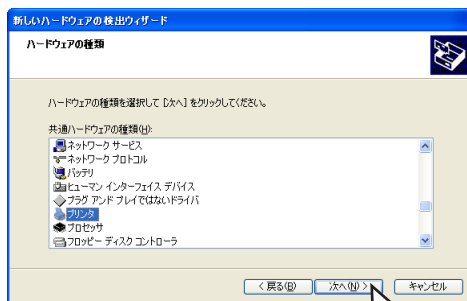


接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

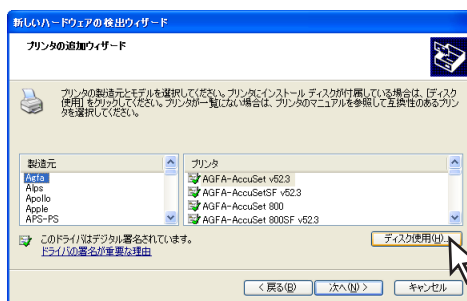
- ⑤ [検索しないでインストールするドライバを選択する] を選び、[次へ] をクリックする。



- ⑥ [プリンタ] を選び、[次へ] をクリックする。



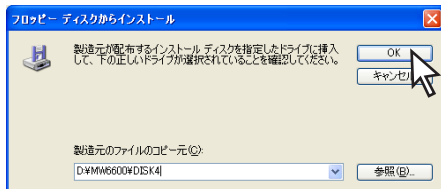
- ⑦ [ディスク使用] をクリックする。



8 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

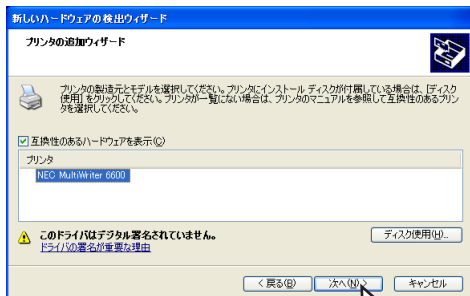
9 ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロンの(:)、円記号(¥)に続けて「MW6600¥DISK4」と入力します。



10 使用するプリンター名を選び、[次へ]をクリックする。

インストールを開始します。

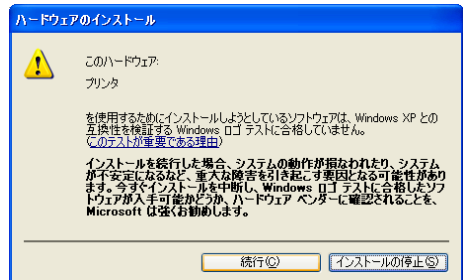


✓ チェック

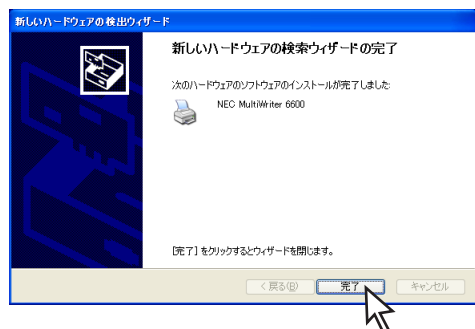
以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウェアは、弊社により動作を確認されています。

[続行]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止]をクリックした場合はインストールが中止されます。



11 [完了]をクリックする。



これでプリンタードライバのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順⑥(41ページ)で[プリンタードライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

- 1 プリンターケーブルを接続する。
- 2 MultiWriter 6600の電源をONにする。

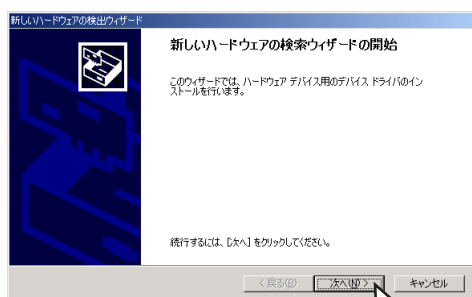
- 3 コンピューターの電源をONにする。

Windows 2000 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検索ウィザード画面が表示されます。

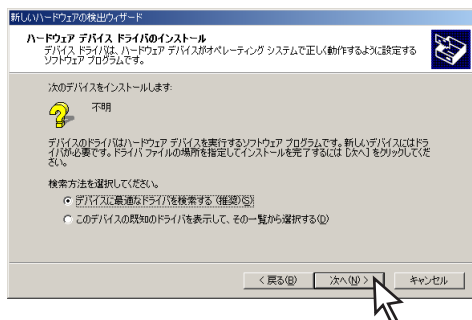
- 4 [次へ]をクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかった場合、40ページの『インストールプログラム』からのインストールを行ってください。

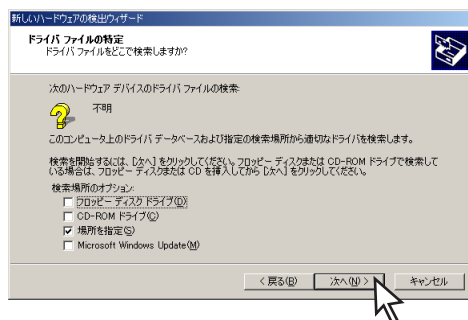


接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

- 5 [デバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。



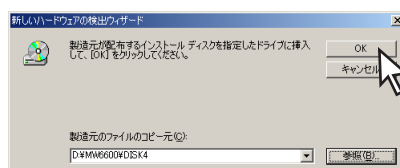
- 6 [場所を指定]を選び、[次へ]をクリックする。



- 7 プリンターソフトウェア CD-ROM をセットする。

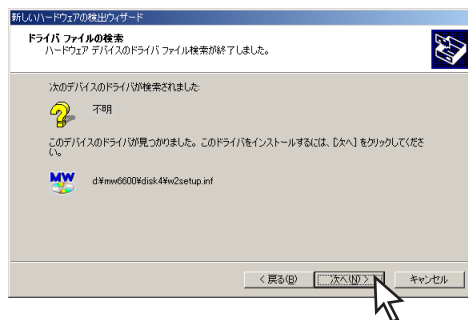
- 8 ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROM ドライブ名、コロン (:), 円記号 (¥) に続けて「MW6600¥DISK4」と入力します。



- 9 内容を確認し、[次へ]をクリックする。

インストールを開始します。



10 [完了]をクリックする。



✓ チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウェアCD-ROM に収録されているプリンターソフトウェアは、弊社により動作を確認されています。

[はい]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[いいえ]をクリックした場合はインストールが中止されます。



これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順⑥（41ページ）で[プリンタードライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

- 1 プリンターケーブルを接続する。
- 2 MultiWriter 6600の電源をONにする。
- 3 コンピューターの電源をONにする。

Windows Me 日本語版を起動します。

[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示された後、[新しいハードウェアの追加ウィザード]が表示されます。

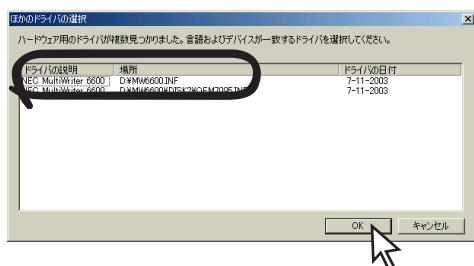
- 4 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
- 5 [適切なドライバを自動的に検索する]を選び、[次へ]をクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかった場合、40ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順を行ってください。



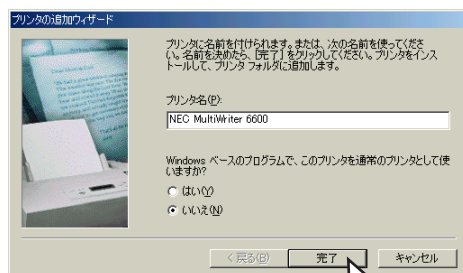
接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

- 6 選択項目の中の[場所]がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、[OK]をクリックする。



- 7 プリンター名を確認し、[完了]をクリックする。

プリンタードライバーのインストールが開始されます。

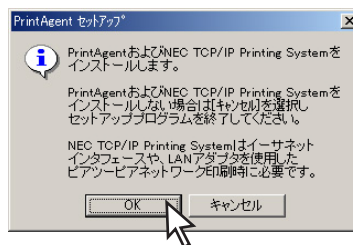


- 8 [完了]をクリックする。

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。



- 9 PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。



このあとは41ページの手順⑤からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

- 1 プリンターケーブルを接続する。
- 2 MultiWriter 6600の電源をONにする。

- 3 コンピューターの電源をONにする。

Windows 98 日本語版を起動します。

- 4 [次へ]をクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかった場合、40 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順を行ってください。



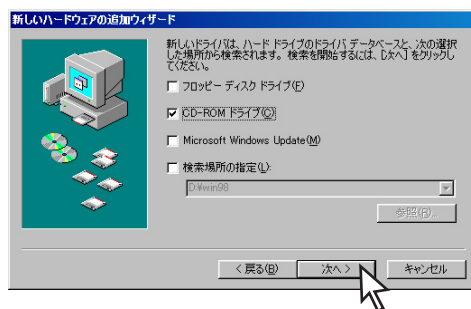
接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

- 5 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。



- 6 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

- 7 選択項目の中から[CD-ROM ドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。

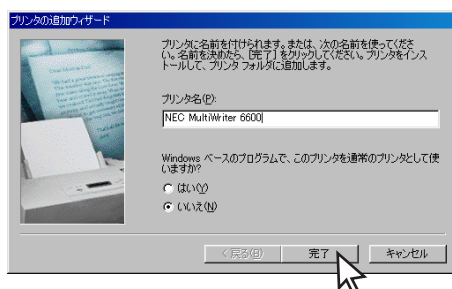


- 8 [次へ]をクリックする。



- 9 プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

プリンタードライバーのインストールが開始されます。



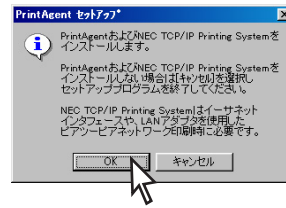
10 [完了]をクリックする。

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。



11 PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。

このあとは41ページの手順⑤からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。



Windows 95 日本語版

ここでは、Windows 95 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

- 1 プリンターケーブルを接続する。
- 2 MultiWriter 6600の電源をONにする。
- 3 コンピューターの電源をONにする。

Windows 95 日本語版を起動すると[デバイスドライバウィザード]が[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示されます。

これらのダイアログボックスが表示されなかった場合、40ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

— **✓ チェック** —

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

<[デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示された場合>

プリンターソフトウェアCD-ROMをセットし、[次へ]をクリックする。

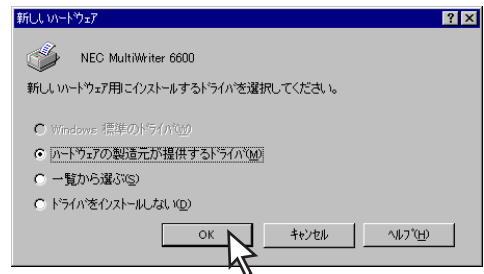
手順④に進んでください。



<[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示された場合>

[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選び、[OK]をクリックする。

手順⑦に進んでください。



4 [完了]をクリックする。



- 5 プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

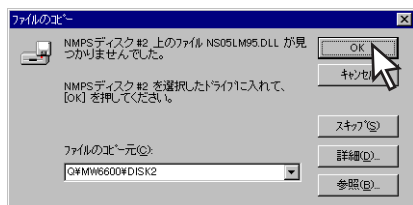


- 6 [OK]をクリックする。



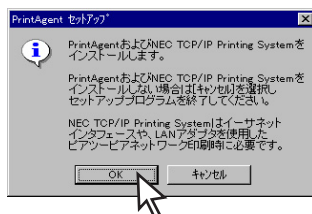
- 7 [ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロンの(:)、円記号(¥)に続けて「MW6600¥DISK2」と入力します。



プリンタードライバーのインストールが開始されます。

- 8 PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。



このあとは41ページの手順5からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストール手順を終了します。

プリンタードライバーの削除

ここではプリンタードライバーの削除手順を説明します。必要なファイルが削除されてしまったなどでプリンターが正常に動かなくなったときはプリンタードライバーを再インストールする必要があります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度、既存のプリンタードライバーを削除（アンインストール）してから行います。

重要

- プリンタードライバーの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- プリンターが印刷中の場合は、プリンタードライバーの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。

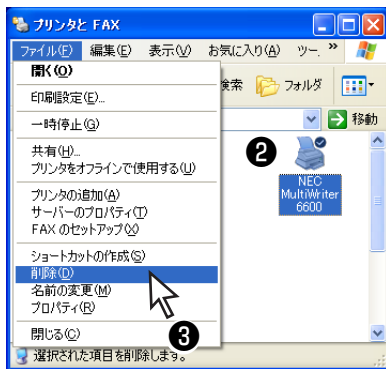
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 日本語版

1 [プリンタとFAX]フォルダーを開く。

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。Windows 2000の場合は[プリンタ]フォルダーを開く。

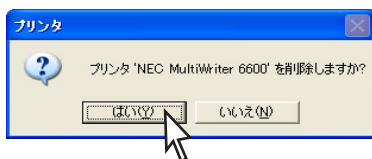
2 [NEC MultiWriter 6600]アイコンをクリックする。

3 [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。



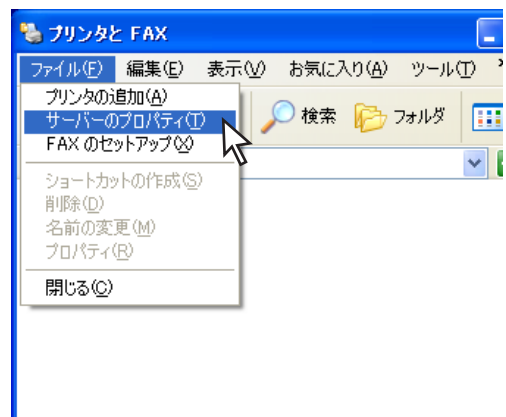
4 [はい]をクリックする。

MultiWriter 6600のプリンタードライバーが削除されます。



5 [ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をクリックする。

[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。



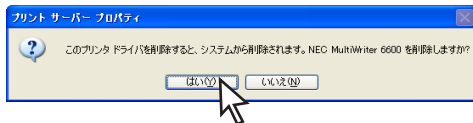
6 [ドライバ]タブをクリックする。

7 [インストールされたプリンタドライバ]から[NEC MultiWriter 6600]をクリックする。

8 [削除]をクリックする。



9 [はい]をクリックする。



✓ チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、OSの再起動後、手順⑤からやり直してプリンタードライバーを削除してください。



10 [インストールされたプリンタドライバ]から[NEC MultiWriter 6600]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。

[プリントサーバーのプロパティ]と[プリンタとFAX]フォルダーを閉じます。

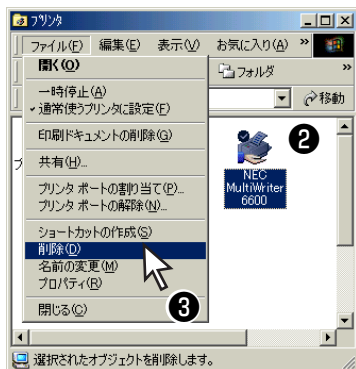
Windows Me/98/95/NT 4.0 日本語版

1 [プリンタ]フォルダーを開く。

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

2 [NEC MultiWriter 6600]アイコンをクリックする。

3 [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。



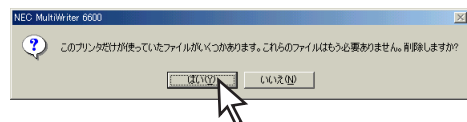
4 [はい]をクリックする。

MultiWriter 6600のプリンタードライバーが削除されます。



✓ チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックしてください。



PrintAgentの追加・削除

MultiWriter 6600のプリンターソフトウェアのインストーラーでは、プリンターソフトウェアの機能ごとに、追加と削除をすることができます。

ここではPrintAgentの追加と削除方法を説明します。

重要

追加・削除の手順を始める前に7章の「PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項」（138ページ）をお読みください。

① [コントロールパネル]フォルダーを開く。

② [プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。

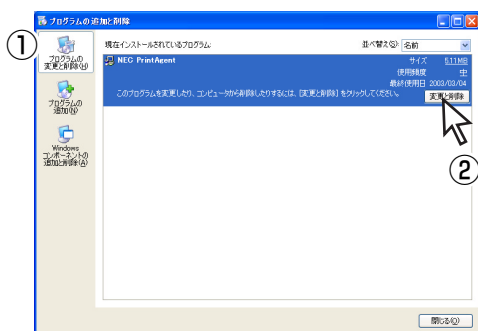
Windows XP、Windows Server 2003 以外の場合は[アプリケーションの追加と削除]をクリックします。

③ [PrintAgent オプション選択] ダイアログボックスを開く。

<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合>

① 左側の[機能選択]バーから[プログラムの変更と削除]をクリックする。

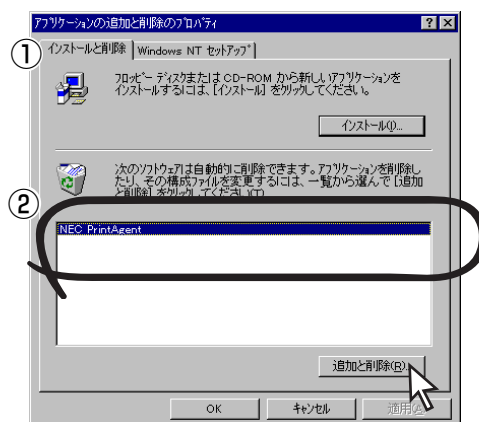
② [NEC PrintAgent]を選んで、[変更/削除]をクリックする。



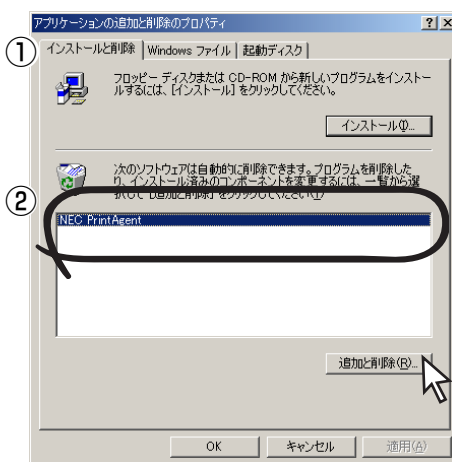
<Windows NT 4.0, Windows Me, Windows 98, Windows 95の場合>

① [インストールと削除]シートを開く。

② 自動的に削除できるソフトウェアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。



Windows NT 4.0

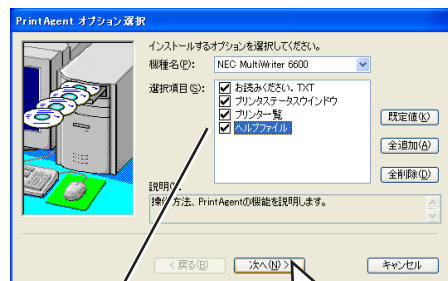


Windows Me、Windows 98、Windows 95

4 対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。

また、複数機種のチェックを付ける（外す）と複数機種のオプションを同時に追加（削除）することができます。



管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

✓ チェック

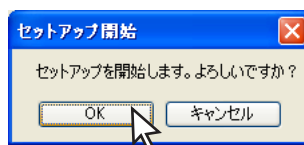
- 他の MultiWriter シリーズのプリンターソフトウェアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウェアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウェアCD-ROMがセットされている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

5 [完了]をクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。



6 [OK]をクリックする。



7 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

8 すべてのオプションを削除した場合はソフトウェアの一覧から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。

他機種のPrintAgentがインストールされている場合は、ソフトウェアの一覧からPrintAgentは削除できません。

日本語MS-DOS環境

ここでは、日本語MS-DOS環境から印刷するために必要なプリンターの設定内容を説明します。

プリンターを選択する

使用しているアプリケーション上で印刷するときにプリンターの名称を指定します。指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。（ただしアプリケーションによっては機能の一部が使用できないことがあります。）

優先順位	プリンター名称	動作モード* ¹
1	MultiWriter 4550、2130、2360	ページプリンター (またはレーザープリンター)
2	MultiWriter 3650N	
3	MultiWriter 2850N、2850	
4	MultiWriter 2350N、2350、2150	
5	MultiWriter 2800N、2800、2300N	
6	MultiWriter 2300、2100、210S	
7	MultiWriter 2650M、2250H	
8	MultiWriter 2650、2650E、2250	
9	MultiWriter 4050M、4050、6050	
10	MultiWriter 2050	
11	MultiWriter 2200X2、2200XE、2000X2	
12	MultiWriter 2200X	
13	MultiWriter 2000X	
14	MultiWriter 2000FW	
15	MultiWriter 2200NW2、PC-PR2000/6W	
16	MultiWriter 2200NW、MultiWriter 2000E	
17	PC-PR2000/4R、PC-PR2000/4W	
18	PC-PR4000E/4、PC-PR4000/4	
19	MultiWriter 1250、1400X、1000EW、PC-PR1000E/4W、PC-PR1000E/4、PC-PR1000/4R、PC-PR1000/4、PC-PR2000/2、PC-PR2000/4あるいはNPDL Level 2	
20	PC-PR1000、PC-PR1000/2	
21	PC-PR2000あるいはNPDL	
22	PC-PR602R* ² 、* ³ 、PC-PR602* ² 、* ³ 、PC-PR601* ² 、* ³	201PLエミュレーション
23	PC-PR201/47、PC-PR201/45L、PC-PR201/60、PC-PR201/80A、PC-PR201/65A、PC-PR201/60A、PC-PR101/60あるいは201PL	
24	PC-PR201X、PC-PR201J、PC-PR201GS、PC-PR201/45、PC-PR101GS	
25	PC-PR201G、PC-PR201V、PC-PR201V2、PC-PR201H3、PC-PR101G、PC-PR101G2	
26	上記以外の PC-PR201 系、PC-PR101 系プリンター (PC-PR201、PC-PR201F2、PC-PR201H2、PC-PR101、PC-PR101F2、PC-PR101E、PC-PR101E2など)	

*¹ ほとんどのアプリケーションでは、プリンターの動作モードを自動に切り替えています。したがって、本プリンターの動作モードは 201PL エミュレーションモード（お買い上げ時の設定）のままご使用になれます

*² A4 ポートレート桁数が 80 桁のとき、用紙の左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。

*³ 文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンター設定を変更してください。

プリンターを設定する

MS-DOS環境でコンピューターをお使いの場合、プリンターの設定はメニューモードを使って行います。メニューモードの操作方法、メニューツリーについては93～95ページ、各設定項目については添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「7章 メニューモード」を参照してください。

PC-PR201系、101系プリンターを選択した場合

プリンターの指定でPC-PR201系、あるいは101系プリンターを選択した場合、アプリケーションと本プリンターは次のような設定が標準です。

- ソフトウェア： シートフィーダー付き、単票（カット紙）、連続送り
 プリンター： 201PLエミュレーションモード、136桁モード有効、用紙位置中央

MS-DOS環境での両面印刷設定

MS-DOS環境で両面印刷する際に必要な情報について説明します。MS-DOS環境で印刷する場合はメニューモード、および操作パネルの[両面]スイッチにより設定します。

両面印刷の設定

MS-DOSアプリケーションを使って両面印刷する場合は、次の設定を変更してください。

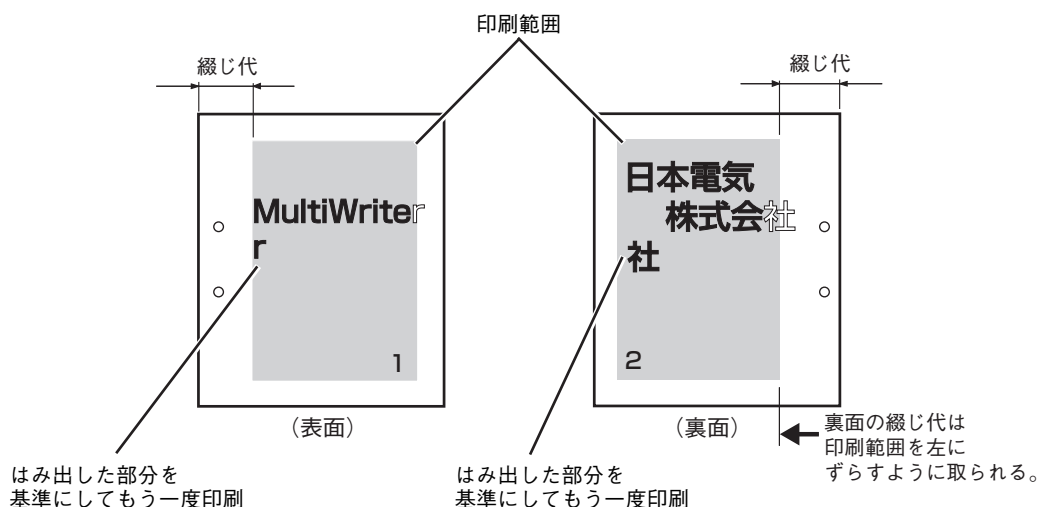
両面印刷のために必要な設定項目

メニューモード設定項目	備考
印字位置設定メニュー - 表面微調整 - 裏面微調整	表面、裏面ともに TM: +3.9 ～ -3.9ミリ LM: +3.9 ～ -3.9ミリ
印刷機能メニュー：両面印刷設定 - 初期設定ON - 初期設定OFF	—
印刷機能メニュー：両面印刷設定 - とじしろロング1 - とじしろショート1 - とじしろロング2 - とじしろショート2	添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されている活用マニュアル7章の「印刷機能メニュー」を参照してください。
印刷機能メニュー：両面印刷設定：余白	0 ～ 20ミリ
印刷機能メニュー：両面印刷設定 - クリップON - クリップOFF	余白を多く取り過ぎた場合、印刷からはみ出たデータを次ページに印刷する（ON）か、消去する（OFF）かを設定します。

クリッピング機能について

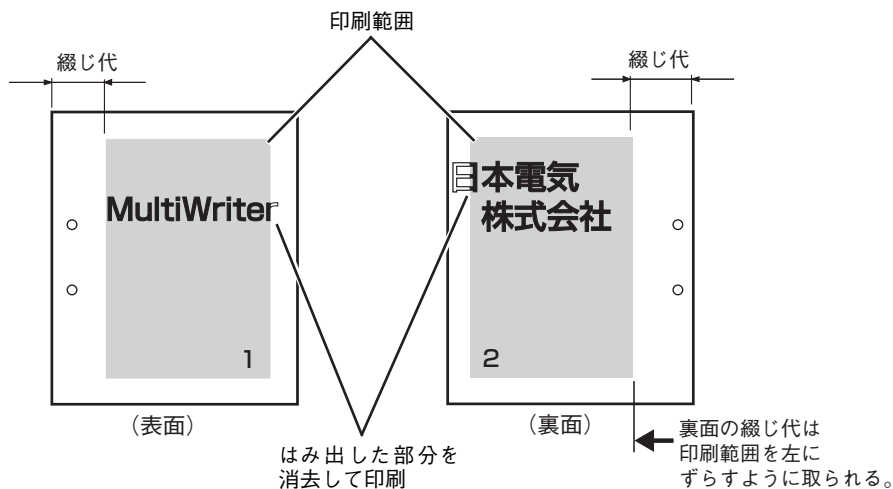
余白（とじしろ）を多く取り過ぎると、印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能とは、このような場合に印刷範囲からはみ出したデータを次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま印刷するかを選択します。ただし、両面印刷時にのみ有効で、メニューモードで設定します（メニューモードについては86ページを参照してください）。

- 「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1行ずつずれることになります。（アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります）。



クリップOFF（チェックしていない）の場合

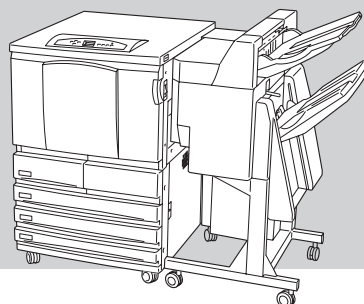
- 「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。



クリップON（チェックしている）の場合

3章

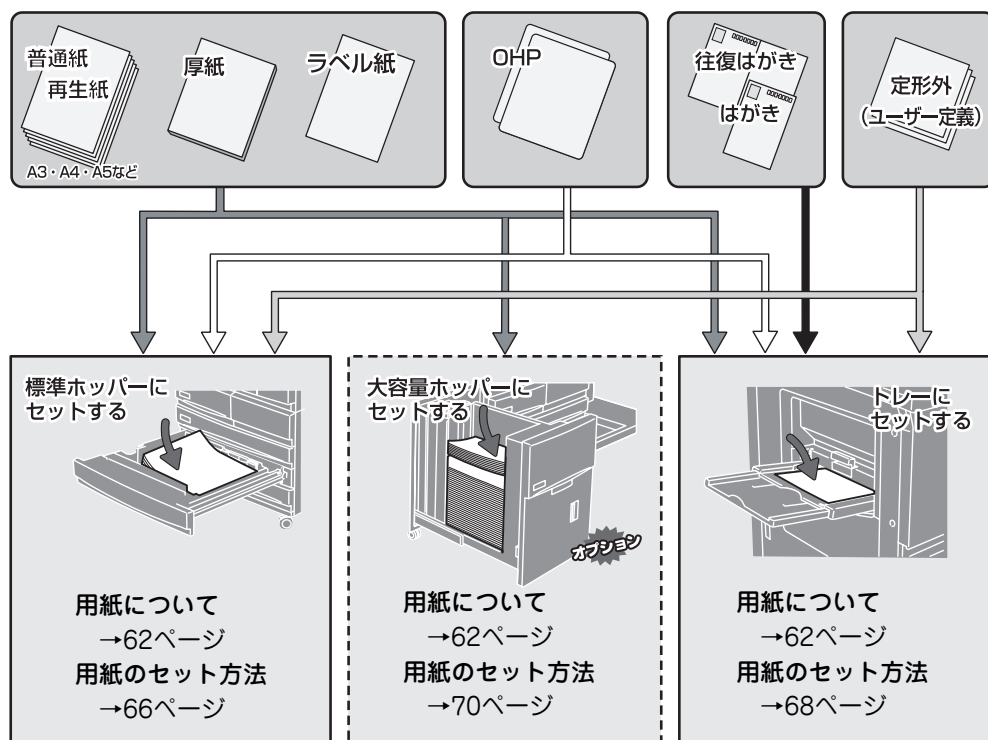
用紙のセット



この章では、MultiWriter 6600で利用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。

MultiWriter 6600は豊富な給紙機構（ホッパーおよびトレイ）をもつプリンターです。用途に合わせて使い分けてください。

本プリンターでは大量給紙するのに便利なリレー給紙機能をご利用できます。ホッパー（1～4）、トレイ、ホッパー5（大容量ホッパー）に用紙をセットし印刷中に用紙がなくなると、自動的に同じ用紙サイズがセットされている給紙先に切り替える機能です。設定手順については9章の「リレー給紙について」（175ページ）をご覧ください。

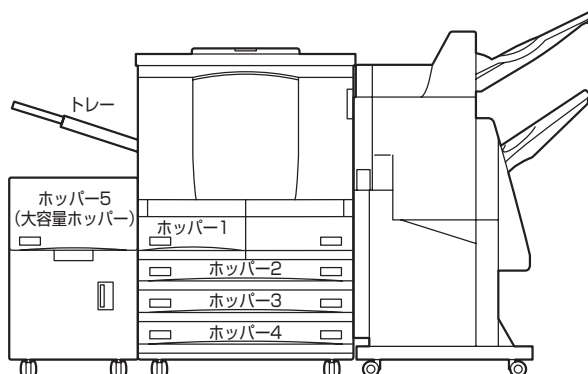


用紙について

ここでは本プリンターで使用できる用紙、用紙のセット方向について説明します。用紙をセットする前に必ずお読みになり、使用できる用紙を確認してから印刷してください。

使用できる用紙

本プリンターで使用できる用紙の種類、サイズ、および枚数は以下の表のとおりです。用紙の規格、印刷範囲については付録の「用紙の規格」（187ページ）を参照してください。



給紙口	セットできる用紙			両面印刷
	種類	サイズ	枚数*1	
ホッパー 1	普通紙*2 (乾式PPC用紙)	A4、B5、レター	1000	○
	厚紙 (～150g/m ²)	A4、B5、レター	—	○
ホッパー 2 ・ ホッパー 3 ・ ホッパー 4	普通紙*2 (乾式PPC用紙)	A3、B4、A4、B5、A5、レター	500	○
	厚紙 (～150g/m ²)	定形外用紙 (148～297mm×182～432mm)	—	○
	OHPフィルム	A4	—	×
	ラベル紙	A4、B4	—	×
ホッパー 5 (大容量ホッパー)	普通紙*2 (乾式PPC用紙)	A4、B5、レター	4200	○
	厚紙 (～150g/m ²)	A4、B5、レター	—	○
	ラベル紙	A4	—	×
トレイ	普通紙*2 (乾式PPC用紙)	A3、B4、A4、B5、A5、レター	40	×
	厚紙 (～197g/m ²)	定形外用紙 (100～297mm×148～432mm)	—	×
	OHPフィルム	A4	—	×
	ラベル紙	A4、B4	—	×
	はがき	官製はがき、官製往復はがき	—	×

*1 坪量 64.0g/m² (連量 55kg) の用紙を使用した場合です。普通紙以外は用紙厚によりセット枚数が異なります。

*2 坪量 64.0g/m²～128g/m² (連量 55～110kg) の用紙です。用紙種類の選択については、次の表を参照してください。

使用できる用紙坪量とプリンタードライバーの用紙種類の選択の関係は、以下の表のとおりです。

本マニュアルでの用紙分類	用紙坪量目安	プリンタードライバーでの用紙種類	両面印刷
普通紙	64～128g/m ²	普通紙	○
厚紙	129～150g/m ²	厚紙1	○
	151～197g/m ²	厚紙2	×
ラベル紙	—	ラベル紙	×
OHP	—	OHP	×



厚紙1、2と用紙の坪量の関係は、目安です。用紙の種類などにより定着性は変化します。テスト印刷を実施し、定着性を確認してください。

定形外用紙のご使用について

MultilWriter 6600では、次の方法により定形外サイズの下紙に印刷ができます。

- トレー（標準）
幅：100～297mm × 長さ：148～432mm
- ホッパー 2、ホッパー 3、およびホッパー 4
幅：148～297mm × 長さ：182～432mm



- 定形外用紙をご使用になる際は、必ず事前確認を行ってからご使用ください。
- 用紙の縦横比が極端なサイズの下紙では、紙づまりや斜行の原因となる場合があります。
(例) 幅：148mm × 長さ：432mm、幅：297mm × 長さ：148mmなど
目安として、縦横比1：2程度までの下紙をご使用ください。

用紙についての注意事項

用紙をセットする前に以下の注意事項をお読みください。また、はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙、プレ印刷用紙、定形外用紙をセットする際の注意事項については74～76ページに記載しています。併せてお読みください。

- 次のような用紙への印刷は避けてください。ご使用になると印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
 - 無塵紙
 - 裏写り防止用の白粉（マイクロパウダー）が塗布された用紙
 - 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
 - カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
 - ざら紙や繊維質の下紙など、表面が滑らかでない用紙
 - ミシン目のある用紙

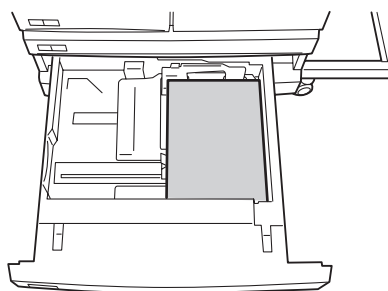
- 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
 - シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
 - ステープル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
 - 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
 - すでに一度印刷した用紙
- 再生紙、ラベル紙の使用については制限があります。「付録 技術情報」（185ページ）を参照してください。
 - はがき、往復はがき、OHPフィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。
 - 吸湿した用紙への印刷は避けてください。ご使用になるとしわの原因となるおそれがあります。しわが発生した場合は、新しい用紙と交換してください。
 - 高温・高湿や低温・低湿などの環境条件でプリンターを使用する場合は、常温に比べて用紙が環境の影響を受けやすいため、用紙の保管方法に注意する必要があります。ご使用にならない用紙は、プリンター内に放置せずに梱包時の包装紙やダンボール箱に入れて保管してください。
 - 用紙の保管について
用紙の保管について次の点に注意してください。印刷不良、紙づまり、故障の原因となります。
 - 湿気を避ける。
 - 使用直前まで開封しない。
 - 用紙が変形しないような状態で保管する。
 - 保管場所と使用場所との間に環境の差がある場合は、使用場所の環境になじませるような保管をする。

用紙のセット方向

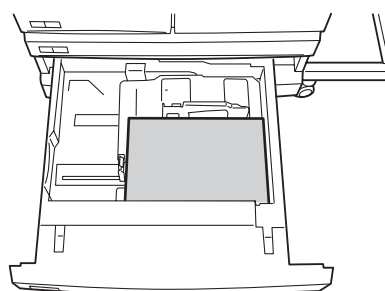
横置きにセットできる用紙サイズは、A4、B5、レターの3種類です。

縦置きにセットできる用紙サイズは、A3、A4、A5、B4、B5、レター、官製はがき、官製往復はがきの8種類です。また、はがき、往復はがきをトレーにセットする場合は、あらかじめ「用紙をセットする時の注意」の「はがき、往復はがき」（74ページ）をお読みください。

給紙先／用紙サイズ		A3		A4		A5		B4		B5		レター		はがき	往復はがき
		タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	タテ	タテ
標準ホッパー	1	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×
	2	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	3	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	4	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
大容量ホッパー	5	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×
トレー		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

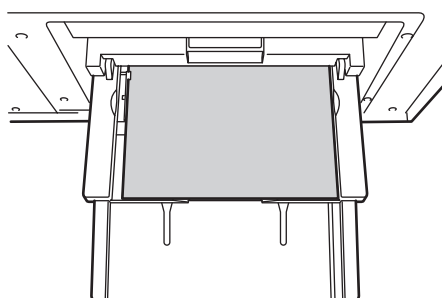


横置き

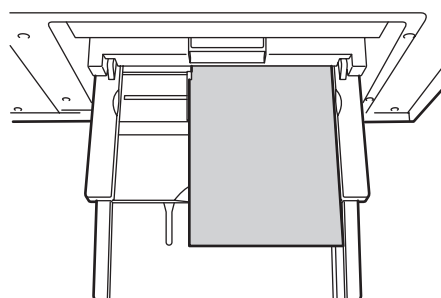


縦置き

ホッパー部



横置き



縦置き

トレイ部

ホッパーに用紙をセットする

ホッパーから印刷するには、各ホッパーに用紙をセットします。用紙はホッパー 1 には坪量 64.0g/m^2 (連量 55kg) の普通紙なら 1000 枚まで、ホッパー 2～4 には坪量 64.0g/m^2 (連量 55kg) の普通紙なら各 500 枚までセットできます。各ホッパーで使用できる用紙については、「用紙について」(62 ページ) をご覧ください。

重要

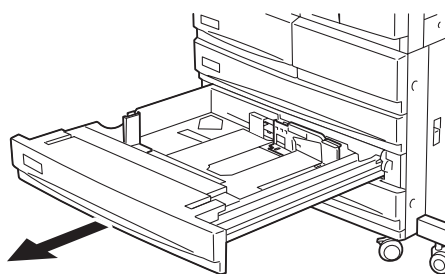
ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をホッパーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかつたり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。

ここでは例としてホッパー 3 に用紙をセットするときの手順を示しますが、ホッパー 2～4 に用紙をセットする場合も同じです。ホッパー 1 に用紙をセットする場合はエンドガイドはありませんので用紙の先端を押し当ててセットしてください。

- ① ホッパーの取っ手を引いて、手前に止まるところまで引き出す。

注意

ホッパーを引き出すときはゆっくりと引き出してください。ホッパーを勢いよく引き出すとひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

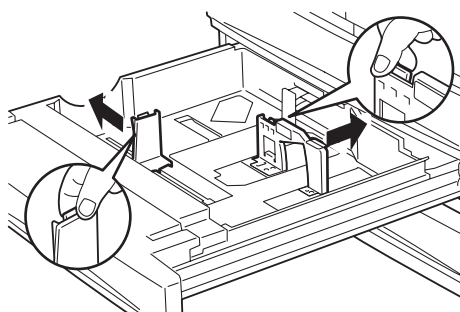


- ② サイドガイドとエンドガイドのつまみをつまんで、セットする用紙サイズに広げる。

用紙サイズの位置は、ホッパーの底面に表示されています。

チェック

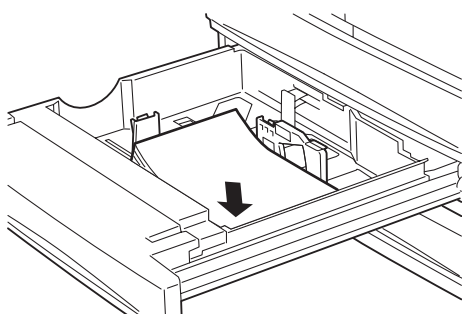
サイドガイドとエンドガイドを正しく合わせないと、紙づまりの原因になります。



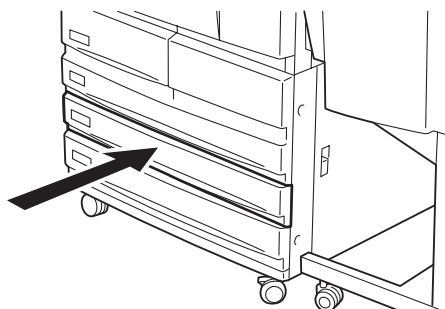
- 3** 用紙の先端をそろえ、印刷したい面を上にしてホッパーの右手前に合わせてセットする。



- 包みから出した新しい用紙はさばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙上限線を超えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因となります。
- 1つのホッパー内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。



- 4** ホッパーを奥に突き当たるところまでゆっくりと押し込む。



普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」→「ヨウシシュベツ」でセットした用紙の種別を設定する必要があります。詳細は4章の「メニューツリー」(93ページ)を参照してください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

トレーに用紙をセットする

トレーには普通紙やラベル紙をはじめ、厚紙、はがき、往復はがき、OHPフィルム、定形外用紙をセットすることができます。

トレーの容量は坪量64.0g/m²（連量55kg）の普通紙で約40枚です。ラベル紙、はがき、往復はがき、OHPフィルムは約20枚までセットすることができます。

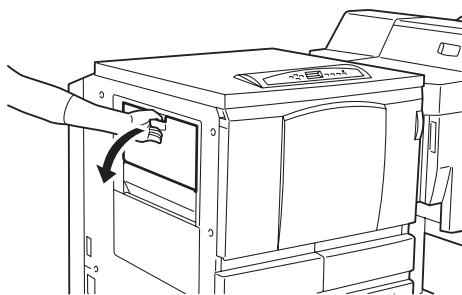
重要

- トレーに用紙以外の物や手を載せないでください。トレーが破損するおそれがあります。
- トレーから印刷しないときは、必ずトレーを閉じてご使用ください。ほこりや異物が入りやすくなり、プリンターの破損や故障のおそれがあります。
- トレーにセットする用紙は両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をトレーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。

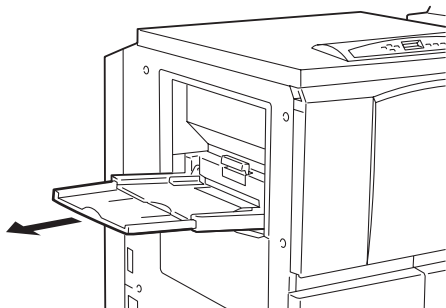
チェック

普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」－「ヨウシシュベツ」－「トレー ヨウシシュベツ」でそれぞれセットした用紙の種別に設定する必要があります。詳細は4章の「メニューツリー」（93ページ）を参照してください。

- ①** プリンターの左側面の取っ手を持ち、トレーを開く。



- ②** セットする用紙のサイズに応じて延長トレーを延ばす。



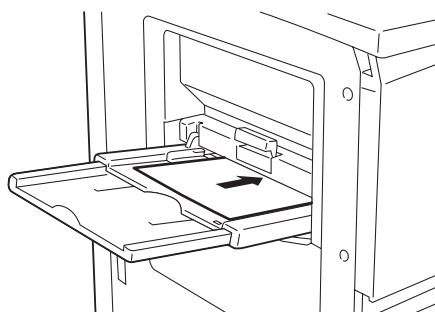
- ③** 用紙の端をそろえ、印刷したい面を上にして、トレーの手前に合わせ、奥に差し込む。

重要

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でトレーにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

チェック

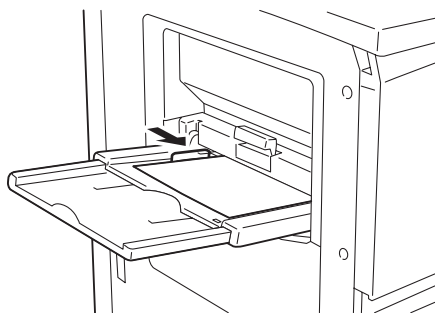
トレーから給紙する場合は、用紙の間に空気が入るように、紙をさばいてください。これにより複数枚の紙送り（重送）や紙づまりなどの発生を防ぎます。



4 セットした用紙にサイドガイドを軽く当てる。



- サイドガイドを正しく合わせないと、紙づまりの原因になります。
- 用紙上限の線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- トレーにセットできる用紙の枚数は40枚までです。



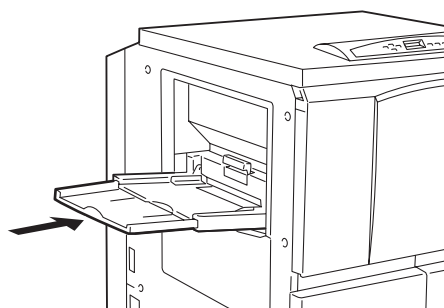
5 操作パネルで、セットした用紙サイズを設定する。

操作パネルの[印刷可]スイッチを押してから、[トレイ]スイッチを押して、用紙サイズを設定します（操作パネルの詳細は、77 ページ参照）。



- [トレイ] スwitchを1回押すごとに用紙サイズは以下のように変わります。
「A4タテ→A4ヨコ→A5タテ→B4タテ→B5タテ→B5ヨコ→LTタテ→LTヨコ→ハガキ→ハガキ2→A3タテ」
- Windows環境で定形外サイズを印刷する場合、操作パネルで用紙サイズを設定する必要はありません。

6 印刷が終了したら、引き出した延長トレイとトレイを元に戻す。



大容量ホッパーに用紙をセットする

ホッパー5にはA4、B5、レターをセットすることができ、坪量64.0g/m²（連量55kg）の普通紙なら4,200枚までセットできます。

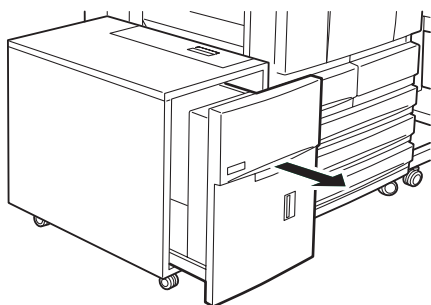
重要

ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をホッパーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかつたり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。

- ① 大容量ホッパーの取っ手を持って、手前に止まるところまで引き出す。

注意

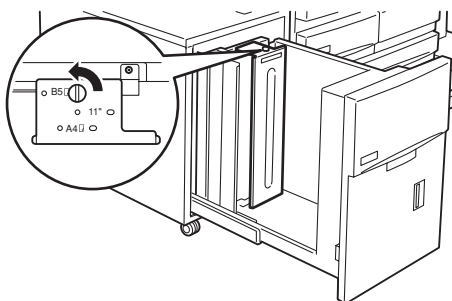
大容量ホッパーを引き出すときはゆっくりと引き出してください。ホッパーを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。



- ② ノブスクリューを外してサイドガイドを外し、セットする用紙サイズに合わせてボトムプレート上の各用紙サイズ穴に差し込み合わせて、ノブスクリューで固定する。

チェック

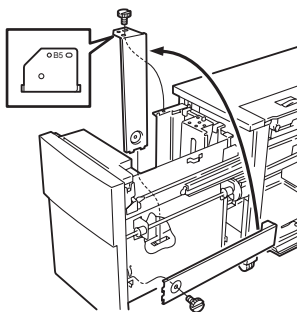
- 工場出荷時は A4 サイズに設定されています。
- 変更可能な用紙サイズは B5 サイズとレター（11インチ）サイズです。
- サイドガイドを正しくセットしないと紙づまりの原因になります。



- ③ <セットする用紙サイズがB5サイズの場合> 引き出したホッパーの右側下部に取り付けられているエンドガイドをノブスクリューを外して取り外し、ボトムプレート上の用紙サイズ穴（B5）に差し込み合わせてノブスクリューで固定する。

チェック

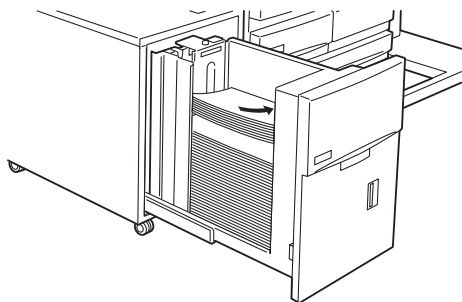
エンドガイドを正しくセットしないと紙づまりの原因となります。



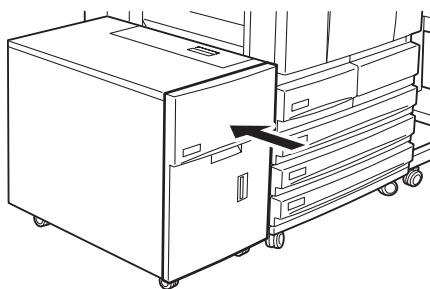
- 4** 用紙の先端をそろえ、印刷したい面を上にしてホッパーの右側に合わせてセットする。

✓ チェック

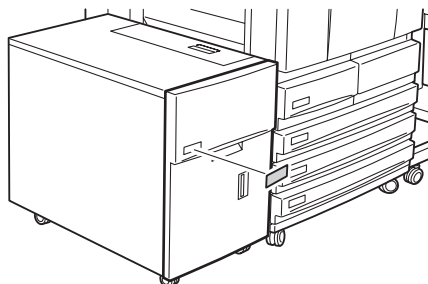
- 包みから出した新しい用紙はさばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙上限線を超えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因となります。
- 1つのホッパー内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因となります。



- 5** ホッパーを奥に突き当たるところまでゆっくりと押し込む。



- 6** セットしたサイズ用の用紙サイズシール（付属品）をホッパーに貼る。



✓ チェック

普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」→「ヨウシシュベツ」でセットした用紙の種別を設定する必要があります。詳細は93～95ページのメニューツリーを参照してください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

定形外用紙をホッパーにセットする

定形外用紙は、ホッパー 2～4 にセットすることができます。ホッパー内のサイドガイドとエンドガイドを用紙サイズに合わせてプリンターに添付されているネジで固定します。

片方向通信の場合は、プリンタードライバーのプロパティで「プリンタ構成シート」を開き、使用するホッパーを選択する必要があります。

重要

セットする用紙は両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をホッパーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかつたり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。

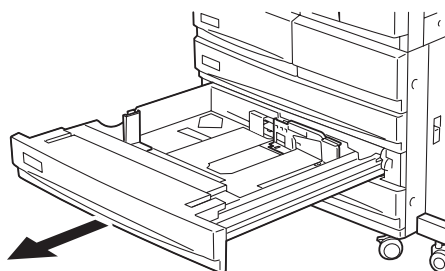
チェック

ネジ留めできるドライバーを用意してください。

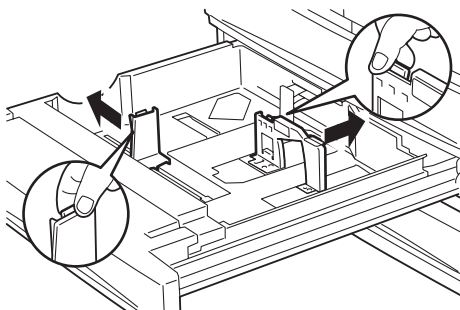
- 1 定形外用紙をセットするホッパーの取っ手を引いて、手前に止まるところまでゆっくりと引き出す。

注意

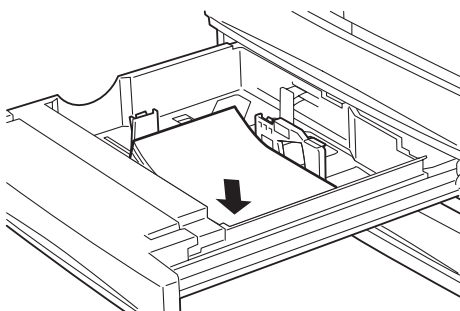
ホッパーを引き出すときはゆっくりと引き出してください。ホッパーを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。



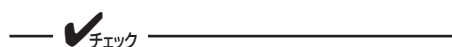
- 2 サイドガイドとエンドガイドのつまみをつまんで、セットしたい定形外用紙のサイズに広げる。



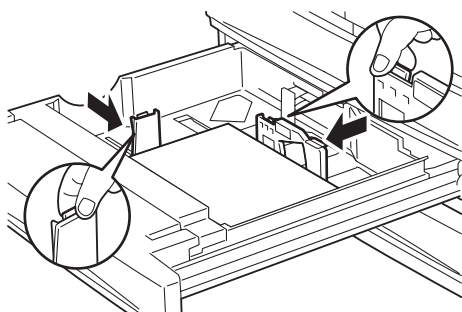
- 3 用紙の先端をそろえ、印刷する面を上にしてホッパーの右手前に合わせてセットする。



- 4** サイドガイドとエンドガイドのつまみをつまんで、セットした用紙にサイドガイドとエンドガイドを軽く押し当てるようにする。



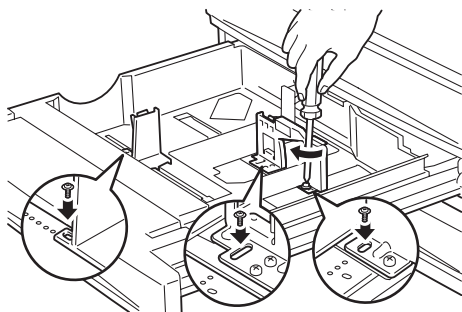
サイドガイドとエンドガイドを正しく合わせないと、紙づまりの原因になります。



- 5** 用紙をいったん取り出して、ドライバーを使って、3か所をネジで留める。



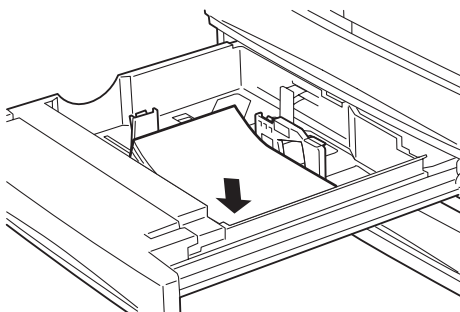
- ネジは添付品箱の中にあります。
- ネジを留める箇所はプラスチックでできています。ネジを強く締めすぎないでください。破損の原因となります。



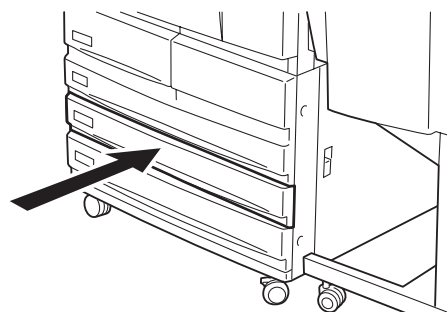
- 6** 用紙をそろえ、印刷したい面を上にして用紙をセットし直す。



- 用紙上限線を超えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因となります。
- 1つのホッパー内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因となります。



- 7** ホッパーを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。



- 8** プリンターの操作パネルで、メニューモードの「ヨウシメニュー」から定形外用紙をセットしたホッパー (X) に対する「ホッパXタイプケイガイ」を選択し、「ミシヨウ」から「シヨウ」に設定を変更し、「ハバ」および「ナガサ」をセットした用紙サイズに変更する。

詳細は4章の「メニューツリー」(93ページ) を参照してください。

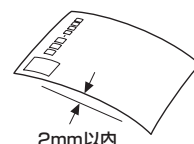
用紙をセットする時の注意

はがき、往復はがき

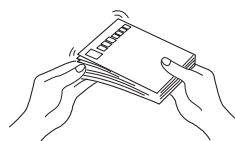


往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でトレーにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるようにし、反りの方向が右の図のようになるように直してからセットしてください。



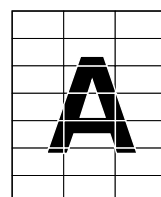
- 印刷所で印刷を施された官製はがき（年賀状など）には裏書き防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面についている粉を乾いた布などで軽く払ってください。
- はがきをまとめてセットする場合は、はがきを十分にばいてからセットしてください。



- 印刷したはがきをポストに入れるときは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。
- 往復はがきを使用する場合は、プリンタードライバーの用紙サイズで「往復はがき」を選択してください。

OHPフィルム、ラベル紙

- OHPフィルム、ラベル紙は十分にさばいてからセットしてください。
- OHPフィルムは使用環境、種類によっては静電気が発生し、正常に給紙できないことがあります。その際は、ホッパーおよびトレーに1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないことがあります。その際は、反りを直して印刷してください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。



- 次のような状態のラベル紙への印刷は避けてください。印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となります。
 - － 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
 - － 部分的に使用したラベル紙
 - － ラベルがはがれかかっているラベル紙
 - － カールしているラベル紙
 - － 表面にのりがしみ出ているラベル紙

定形外用紙

重要

形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角でない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

チェック

定形外用紙は、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95からの印刷が可能です。

- 対応可能な用紙の厚み（坪量）は、定形用紙に比べて扱える範囲がせまくなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。
- 用紙の紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。
- 用紙の種類、繊維目方向によっては印刷後、大きくカールするものがあります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。

プレ印刷用紙

プレ印刷用紙は、PPC用紙に比べ印刷時の転写不良や定着時のカールが大きくなる傾向にあるので、PPC用紙に比べ斜行やひどい場合は角折れ、紙づまりなどの障害率が高くなる場合があります。本プリンターの印刷位置誤差が許容される範囲および使用用紙を事前に確認の上、十分使用可能という範囲においてプレ印刷用紙を使用する場合は、以下の収納および保管条件を守ってください。

- 原則として、プレ印刷をしてから環境の影響を避けるため、即納入の形態をとること。
- プレ印刷業者から納入された用紙は保管環境を守り、プレ印刷時点より6か月を最大保管期間とする。

詳細については下記のチェックポイントを参照してください。

- プレ印刷用紙を使用する場合には、用紙は推奨紙に準ずる上質なPPC用紙を使用してください。（プレ印刷をする際の表面に薄く塗る水分や油分による影響や、インク自身の収縮により、用紙は変形しやすくなります。）
- プレ印刷は、片面のみで行ってください。
- プレ印刷の事前のチェックポイント

☐ 定着部のジャム（紙づまり）、巻き込み角折れの有無

内容： プレ印刷時に、印刷面に薄く水分を含ませ、印刷後、乾燥させるような印刷は、水分が多かったり、乾燥が不十分だったりして、通常用の紙より多くの水分を含んでいます。このように水分等がある状態で定着すると激しいカールを伴い、定着ローラーへの巻き込みジャムあるいは爪へ当たり、角折れが起こることがあります。

処置： プレ印刷業者と相談の上、印刷方法、用紙の変更、梱包方法などを含め、協議してください。

☐ 転写不良の有無、用紙カールの程度

内容： プレ印刷のインクの凹凸や部分的吸湿、包装などの不備により用紙が変形し、OPCドラムに密着できなくなります。

処置： 包装方法、保管方法をチェックし、改善してください。また、必要に応じて印刷方法、用紙を変更してください。

☐ 重送の有無

内容： プレ印刷のインクにより用紙とインクがくっついています。

処置： プレ印刷業者に印刷方法などの変更を依頼してください。

☐ ジャム（紙づまり）

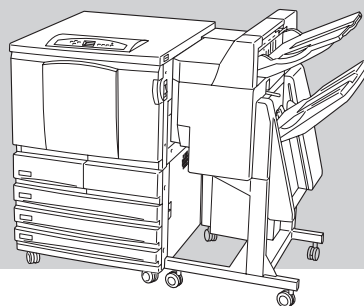
内容： マイクロパウダー*¹ やインクなどによって用紙の摩擦力が下がることにより、フィード力が失われジャムが多発します。2,000～7,000枚印刷後くらいから発生するようなケースがあります。

処置： マイクロパウダーやある種のインクには滑りやすい物質が含まれています。マイクロパウダーを使用している場合は使用を中止してください。また、インクに問題がある場合は印刷方法（インク）の変更などを行ってください。

*¹ マイクロパウダーとは、プレ印刷時に、裏にプレ印刷のバック転写が生じないように利用するものです。また、インク自身にもその役割を持っているものがあります。

4章

操作パネルについて

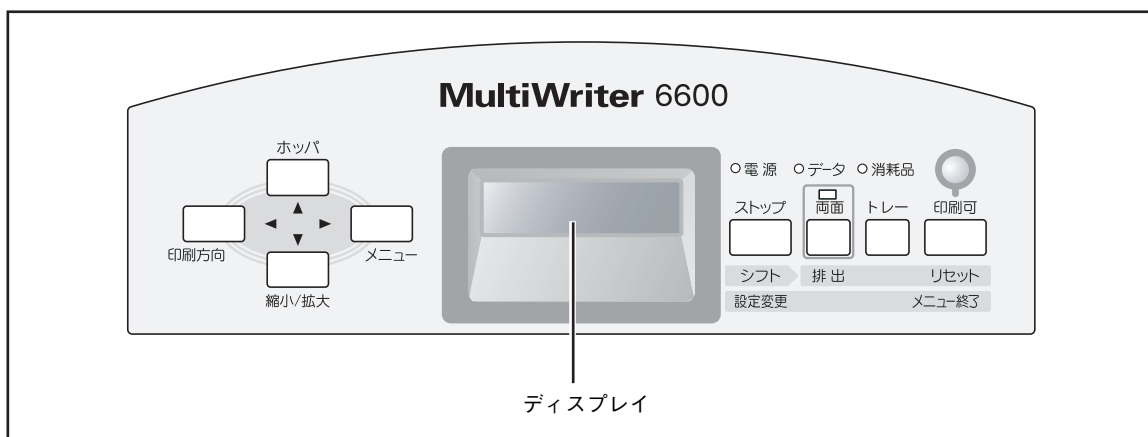


4

操作パネルについて

この章では、操作パネルやメニューモードなどプリンターの操作の基本的なことについて説明しています。

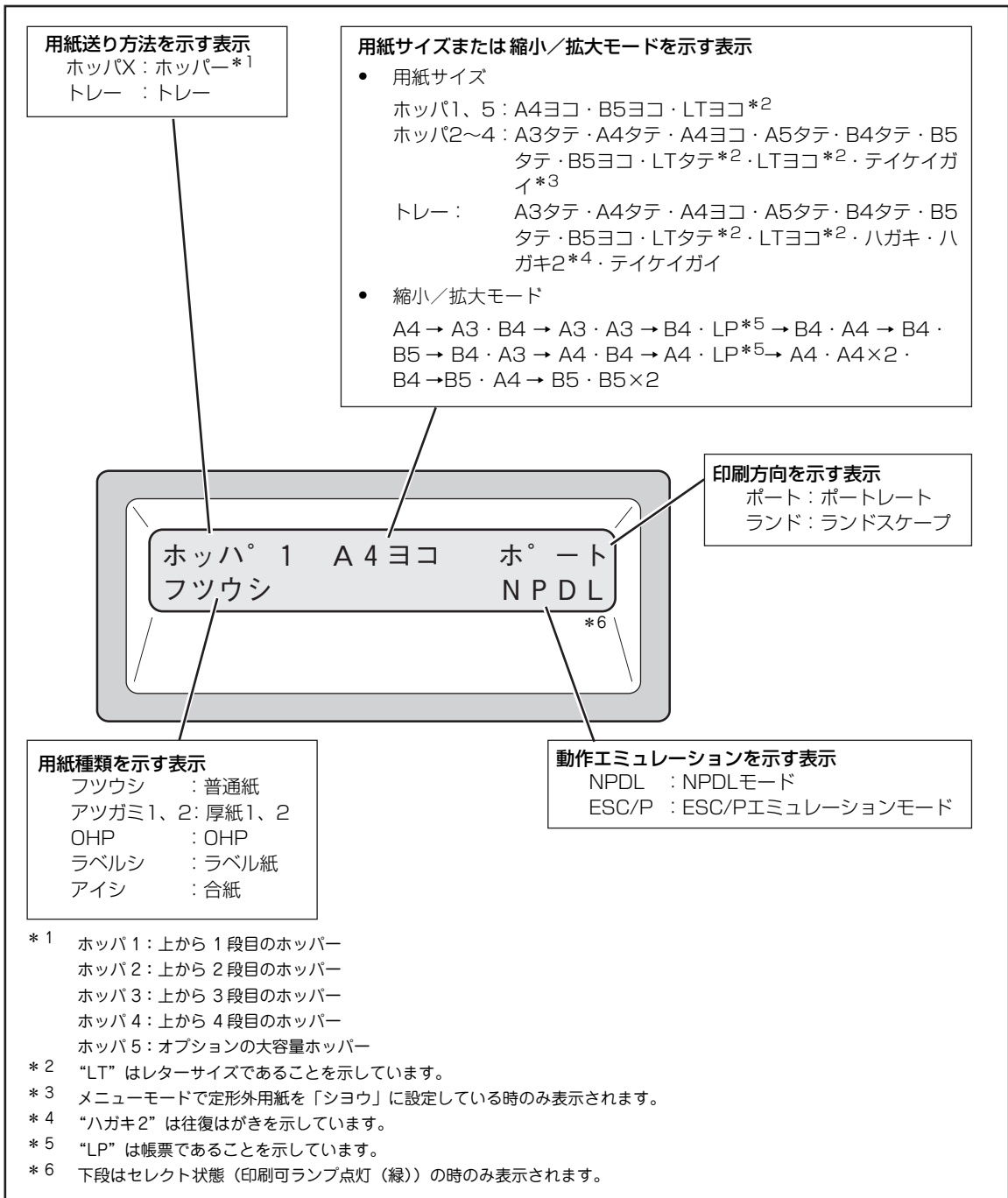
操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。ここでは主に NPDL (Level2) で使用する時の、操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。



操作パネル

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。



ディスプレイの表示

その他の表示内容については7章の「アラーム表示が出ているときは」（128ページ）、「メニューツリー」（93ページ）または、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの付録「ディスプレイ表示一覧」をご覧ください。

ランプ



印刷可ランプ（緑／赤）

- 点灯（緑） プリンターがセレクト状態（印刷データを受信できる状態）になっています。
- 点滅（赤） 点滅を繰り返し、30秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。ホッパーに用紙がない、カバーが開いているなど、プリンターにエラーが発生している状態を示します。詳細については7章の「アラーム表示が出ているときは」（128ページ）をご覧ください。
- 消灯 プリンターがディセレクト状態（印刷データを受信できない状態）になっています。

○ 電源

電源ランプ（緑）

- 点灯 プリンターの電源がONになっています。
- 消灯 プリンターの電源がOFFになっています。

○ データ

データランプ（橙）

- 点灯
 - プリンター内に印刷データが残っています。
 - プリンターはデータを受信中ではありません。
- 点滅 プリンターが印刷データを受信中です。
- 消灯
 - プリンター内にデータが残っていません。
 - プリンターはデータを受信中ではありません。

○ 消耗品

消耗品ランプ（赤）

- 点灯 消耗品の寿命が近づいている、または消耗品の寿命です。新しい消耗品と交換してください。交換に必要な消耗品は、ディスプレイを確認してください。詳細については「6章 日常の保守」（111ページ）をご覧ください。
- 消灯 消耗品が十分にあります。

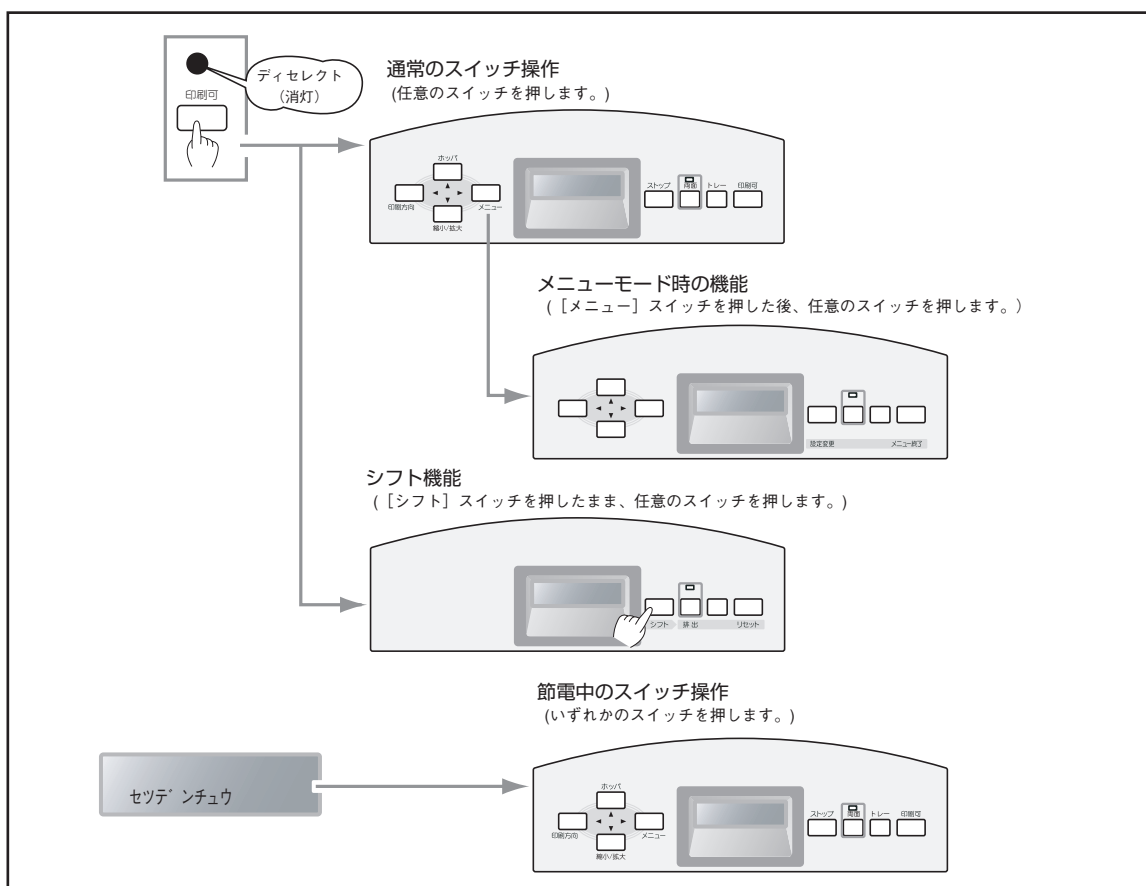


両面ランプ（緑）

- 点灯 両面印刷モードに設定されています。
- 消灯 両面印刷モードではありません。

スイッチ

プリンターの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチは2つまたは3つの機能をもっています。



スイッチのモード

- | | | |
|-----------------|---|--|
| 通常スイッチ機能 | — | [印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態（印刷可ランプが消灯している状態）になって初めて機能します（[ストップ]スイッチを除く）。 |
| メニューモード時のスイッチ機能 | — | [メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。 |
| シフト時のスイッチ機能 | — | [シフト]スイッチを押しながら押しと働く機能です。 |
| 節電中のスイッチ機能 | — | 節電状態に入ると働く機能です。節電状態を解除します。 |

✓ チェック

- 印刷可ランプが赤に点滅している間はそのどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については7章の「アラーム表示が出ているときは」（128ページ）をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。
- 操作パネルで、誤った操作を行った場合は、ブザーが鳴ります。

通常のスイッチ機能

印刷可



〔印刷可〕スイッチ

このスイッチはプリンターが初期化中でないとき、およびテスト印刷中でないときに機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態（セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯）と受信できない状態（ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯）に交互に切り替わります。

トレー



〔トレー〕スイッチ

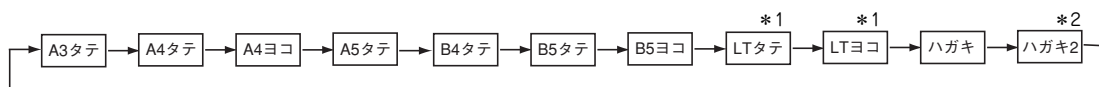
このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先をトレーにする。

ホッパーから用紙を給紙する状態でこのスイッチを押すと、トレーから用紙を給紙する状態に切り替わります。

トレー給紙の用紙サイズを変更する。

トレー給紙を選択中に、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。



チェック

本スイッチによる設定とトレーにセットされる用紙のサイズを一致させてください。

*1「LT」は「レター」を意味します。

*2「ハガキ2」は「往復はがき」を意味します。

両面



〔両面〕スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

両面印刷モードにする（両面印刷モードを解除する）。

両面ランプが消灯している状態でこのスイッチを押すと、両面印刷モードになります。

このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。

次の場合、両面ランプが点灯していても印刷は片面で行われます。

- トレーから印刷を行った場合
- 用紙種別で「厚紙2」、「OHP」、または「ラベル紙」を指定した場合
- フェースアップ排紙を指定した場合

ストップ



[ストップ] スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。

印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

アラーム音を止める。

アラームが発生してブザーが鳴っているときに、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。



メニュー

[メニュー] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

メニューモードに入る。

このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

ホッパ



[ホッパ] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先を切り替える。

トレイから用紙を給紙する状態でこのスイッチを押すと、ホッパーから用紙を給紙する状態に切り替わります。

給紙先を選択する（ホッパーを使用しているとき）。

ホッパー給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙するホッパーの設定が切り替わります。（選択されたホッパーがディスプレイに表示されます。）

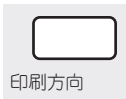


* オプションの大容量ホッパー装着時のみ表示されます。



チェック

- トレーから用紙を給紙する状態でホッパー給紙に切り替えると、メニューモードのホッパー初期設定で指定されているホッパーが選択されます。
- メニューモードで「合紙モード」が設定されている場合、「合紙モード」で設定されているホッパーは表示されません。通常印刷ではそのホッパーは使用できませんので、選択するホッパーが「合紙モード」に設定されているかどうか注意してください。



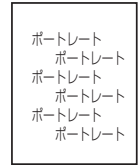
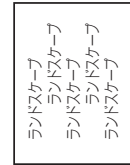
[印刷方向] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択する。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。

用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。



[縮小 / 拡大] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

✓ チェック

- アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド (FS f c1 c2 c3) によってA3、B4、または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズの入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の「NPD (Level2) リファレンスマニュアル」または使用しているアプリケーションのソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

縮小 / 拡大モードの設定をする。

このスイッチを押すと以下のような縮小 / 拡大印刷ができます。印刷する用紙サイズによって、以下の順序でモード選択されます。

- A3サイズに印刷する

A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 → (繰り返し)

- A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP→A4^{*1} → A3→A4 → A4×2^{*2} → B5→A4 → A4 → (繰り返し)

- B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4^{*1} → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 → (繰り返し)

- B5サイズに印刷する

B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2^{*3} → B5 → (繰り返し)

*1 LP は帳票サイズ (136 桁×66 行) を意味します。

*2 A4 × 2 は A4 サイズの 2 ページ分のデータを A4 用紙 1 枚に印刷します。

*3 B5 × 2 は B5 サイズの 2 ページ分のデータを B5 用紙 1 枚に印刷します。

メニューモード時のスイッチ機能



〔メニュー終了〕スイッチ

メニューモードを終了させる。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

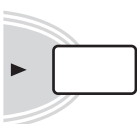


〔設定変更〕スイッチ

設定変更したい項目（レベル3）を選択する。

メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。

なお、メニューモードのレベルについては、「メニューツリー」（93ページ）を参考にしてください。



〔▶〕スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（〔→〕スイッチとして機能）。

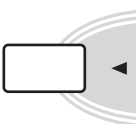
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル（レベル2またはレベル3）の項目を選択することができます。



〔▲〕スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（〔↑〕スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。



〔◀〕スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（〔←〕スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル（レベル1またはレベル2）の項目を選択することができます。



〔▼〕スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（〔↓〕スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」（93ページ）をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能



〔シフト〕スイッチ

このスイッチが押されている間、〔両面〕スイッチおよび〔印刷可〕スイッチの2つは、それぞれのスイッチの下に表記された機能「排出」、「リセット」が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。



〔排出〕スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している（ディスプレイに“データガノコッティマス”と表示されている）ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

〔シフト〕スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。ただし、インタフェース設定がECPモードでディセレクト中に受信したデータは排出されません。



プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。



〔リセット〕スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム（保守員コール以外）中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

〔シフト〕スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態（電源スイッチON直後の状態）になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。



リセットすると、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態（電源ON直後の状態）に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの付録の「NPDの初期状態」をご覧ください。

節電中のスイッチ機能

プリンターの節電状態を解除する。

節電状態（ディスプレイに“セツデンチュウ”が表示されている）で〔印刷可〕スイッチ、〔トレイ〕スイッチ、〔両面〕スイッチ、〔ストップ〕スイッチ、〔メニュー〕スイッチ、〔ホッパ〕スイッチ、〔印刷方向〕スイッチ、〔縮小/拡大〕スイッチのいずれかのスイッチを押すと節電状態を解除します。

メニューモード

メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

メニューモードでの設定変更のしかた

- ①** [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。



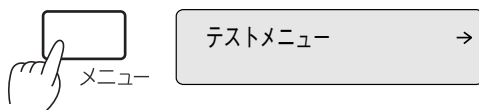
- ②** データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

○データ

- ③** [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに「テストメニュー →」と表示します。



- ④** メニューモードの設定を変更する。

メニューモードの内容は次ページの「メニューモード設定項目一覧」および「メニューツリー」(93ページ)を参照してください。

メニューモード中は次の5つのスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

[◀]、[▼]、[▶]、[▲] スイッチ：

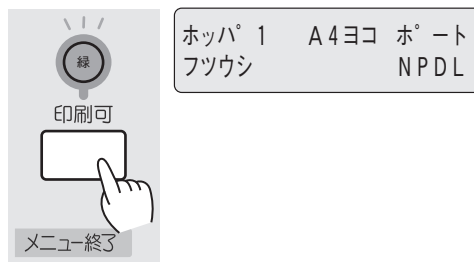
このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。

[設定変更] スイッチ：

押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

- ⑤** [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。変更した設定内容は、このスイッチを押すことによって記憶されます。もしこのスイッチを押さずに電源を落としてしまうと、設定内容の変更は記憶されませんので、ご注意ください。



メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。これらの設定の一部はメモリスイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。

詳細については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「7章 メニューモード」を参照してください。

メニューモード設定項目一覧

○：有効 ×：無効

設定項目		説 明	メモリスイッチ (MSW)	ESC/P エミュレーション
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリスイッチの状態など、各プリンターの状態が印刷されます。	×	○
	連続印刷	連続印刷を行います。	×	○
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	×	○
	LANステータス	標準LAN（インタフェース2）の設定状態を印刷します。	×	○
	通信ログ印刷	標準LAN（インタフェース2）の通信ログを印刷します。	×	○
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“99”まで設定できます。	×	○
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時に選択されるホッパー／トレイを設定します。	×	○
	用紙種別設定	使用する用紙の種別を選択します。	×	○
	合紙モード設定	合紙（色紙など）給紙するホッパー／トレイを設定します。 ^{*1}	×	× ^{*2}
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。 ^{*3}	×	○
	グループ設定	グループホッパー機能を利用するかどうかを設定します。	×	× ^{*2}
	ホッパ2定形外設定	定形外用紙の有効・無効を選択します。	×	× ^{*2}
	ホッパ3定形外設定	有効に設定されているときは、用紙サイズを設定します。	×	× ^{*2}
	ホッパ4定形外設定		×	× ^{*2}

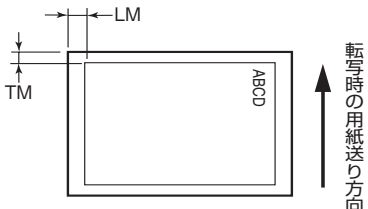
^{*1} 合紙モードに設定されたホッパー／トレイは通常印刷では使用できません。[ホッパ]または[トレイ]スイッチから選択もできません。合紙モードを設定する場合は、通常使用するホッパーと違うホッパーを選択してください。また、トレイを合紙に設定する場合は、合紙設定を行う前に用紙サイズを[トレイ]スイッチで選択しておいてください。

^{*2} メニューモードでの設定は可能ですが、ESC/P エミュレーションの印刷ではこの機能を使用することはできません。

^{*3} リレー給紙は、リレー前のホッパー（トレイ）とリレーに使用するホッパー（トレイ）を共に ON に設定してください。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効 ×：無効

設定項目		説 明	メモリー スイッチ (MSW)	ESC/P エミュレー ション
印字位置 設定 メニュー	ホッパ1微調整		×	○
	ホッパ2微調整		×	○
	ホッパ3微調整		×	○
	ホッパ4微調整		×	○
	ホッパ5微調整*1		×	○
	トレー微調整		×	○
	表面微調整		×	○
	裏面微調整		×	○
印刷機能 メニュー	両面印刷設定	両面印刷するかしないか、綴じ代付加、余白、クリップの設定をします。	×	○
	排出方法*2	排紙方法（フェースアップ、フェースダウン）と排出先（トッパートレー、スタッカートレー、排紙トレイ）を選択します。	×	○
運用 メニュー	節電機能	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○
	節電時間設定	節電機能有効時の節電に入るまでの時間設定を行います。	×	○
	自動排出*3	自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。	×	○
	メモリー設定	プリンターメモリーの使用方法を選択します。	×	○
フォント メニュー	1バイト系ゼロ*4	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	×	○
	ANK	1バイト系コードのフォントのANK文字を選択します。	×	○
	漢字	標準フォント（2バイト文字）を選択します。	×	○ *5
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	×	1983固定
	国別	各国文字セットを選択します。	○	○
動作 メニュー	動作エミュレーション	2つのインターフェースの初期動作エミュレーションの設定を行います。	×	○
	動作自動切り替え	2つのインターフェースの動作自動切り替えを使用するかどうか、自動切り替え時間の設定を行います。	×	○

*1 大容量ホッパ（オプション）装着時。

*2 プリンターに接続されている排出先が、排紙トレイ（オプション）またはフィニッシャー（オプション）で設定内容が変わります。

*3 コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのデータ量が多い場合、自動排出までの待ち時間（最大 30 秒）以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。

*4 OCR-B フォントを使用した場合は、設定に関わらず「0」で印刷されます。

*5 「ミンチョウ」「ゴシック」は ESC/P コマンドの「FS k（漢字の書体選択）」によって切り替えることができます。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効 ×：無効

設定項目		説 明	メモリー スイッチ (MSW)	ESC/P エミュレー ション
NPDL設定 メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの 一行あたりの文字数を設定します。	○	○
	エミュレーション	ページプリンタモードか201PLEミュレーションモード かを選択します。	○	×
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のとき は、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○ *1
I/F設定 メニュー	インターフェース 1*2	動作双方向の設定（ニブルモード、ECPモード、なし） とオプションのLANアダプターのIPアドレス、サブ ネットマスクを設定します。	×	○
	インターフェース2	標準LANのIPアドレス、サブネットマスクなどを設定 します。	×	○
設定初期化 メニュー	メニュー初期化	メニュー項目を初期設定に戻します。	×	○
	LAN初期化	LAN項目を初期設定に戻します。	×	○
	全初期化	メニュー項目、LAN項目のすべてを初期設定に戻し ます。	×	○
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を読み出します。	×	○
	記憶	メニューモード内の各種機能設定と、[トレイ]スイッ チで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。	×	○
メモリー スイッチ メニュー	メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがまとめられています。		91 ～92 ページ参照	

*1 常に 136 桁モードになります。

*2 I/F 設定を変更した場合は、プリンターの電源を再投入する必要があります。また、I/F 設定メニューの動作双方向が「ECP モード」に設定されていて、パラレルインターフェースコネクタにオプションの無線 LAN プリンタアダプタ（型番 PR-WL-01）が接続されている場合、IP アドレスとサブネットマスクが有効になります。

メモリースイッチの設定変更のしかた

ここでは、ブザー機能の有効/無効のメモリースイッチの設定変更を例にして説明します。対象となるメモリースイッチは「3-8」です。

① プリンターの電源をONにする。

② [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。



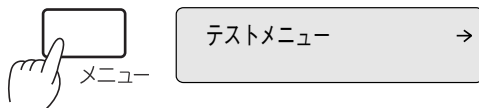
③ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

○データ

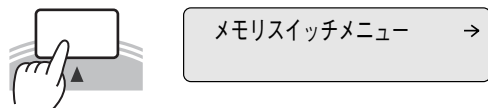
④ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー →”と表示します。



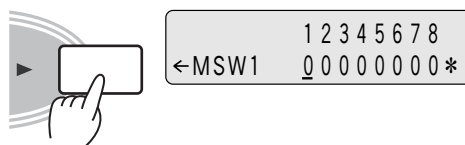
⑤ [▲]スイッチを1回押す。

ディスプレイに“メモリースイッチメニュー →”と表示します。

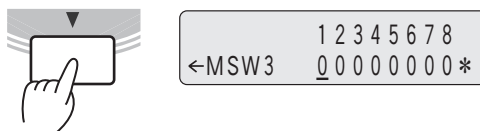


⑥ [▶]スイッチを1回押す。

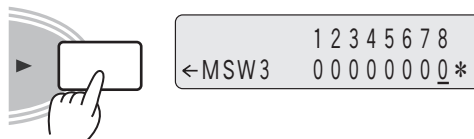
MSW1が表示されます。



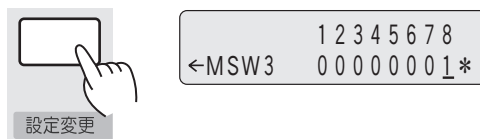
⑦ [▲]スイッチ、または[▼]スイッチを押して、MSW3を表示させる。



⑧ [▶]スイッチを7回押して、カーソルをMSW3-8に移動する。

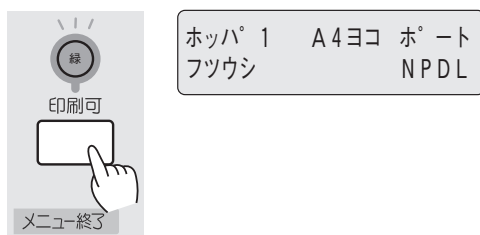


⑨ [設定変更]スイッチを1回押して、MSW3-8を“1”に変更する。



⑩ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。



メモリースイッチ設定項目一覧

メモリースイッチは1か0を選択することによって、他のメニューと同じように様々な機能を設定することができます。メモリースイッチは1-1から10-8まであります（未使用のスイッチもあります）。表中の太文字は工場出荷時の設定を示しています。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容

○：有効 ×：無効

番号	機 能	0	1	ESC/P モード での動作
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1/0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。（活用マニュアルの7章参照） すべて0（日本語）		○
1-2				
1-3				
1-4	グレースケールの網点の切り替え	粗い	細い	×
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	有効	無効	○
1-6	自動復帰改行の切り替え	復帰改行	復帰のみ	×
1-7	印刷指令の切り替え	CRのみ	CR+その他	×
1-8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行	○
2-1	1バイト系コードのゼロの字体の切り替え *1	0	∅	○
2-2	電源投入時のエミュレーションモードの切り替え	201PLエミュレーション	ページプリンター（NPDL）	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	ネイティブモード	コピーモード	×
2-4～2-5	（未使用）			—
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	78桁	80桁	○
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	4/5倍	2/3倍	○
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定（136桁モード）	4つのスイッチの1/0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。（1/10インチ単位）（設定内容については、活用マニュアルの7章参照） すべて0（0インチ）		○
3-2				
3-3				
3-4				
3-5	用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）	左	右	○
3-6	用紙位置の設定（136桁モード）	左端合わせ	中央合わせ	○
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	無効	有効	×
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え	有効	無効	○
4-1～4-2	（未使用）			—
4-3	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え	初期化する	初期化しない	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え	出力する	出力しない	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	反時計回り	時計回り	○
4-6～4-8	（未使用）			—

*1 OCR-B フォントを使用した場合は、設定に関わらず「0」で印刷されます。

メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容（続き）

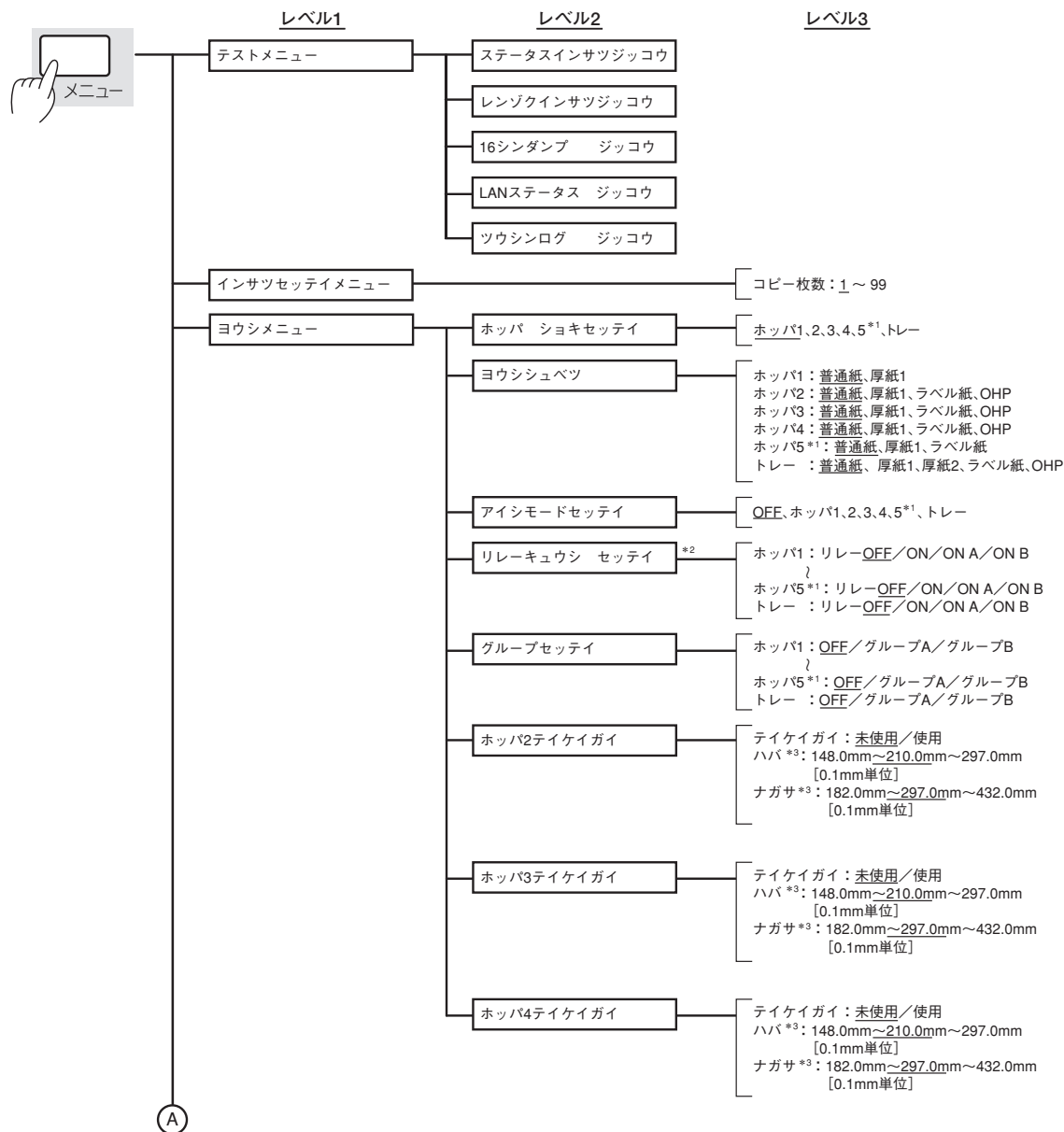
○：有効 ×：無効

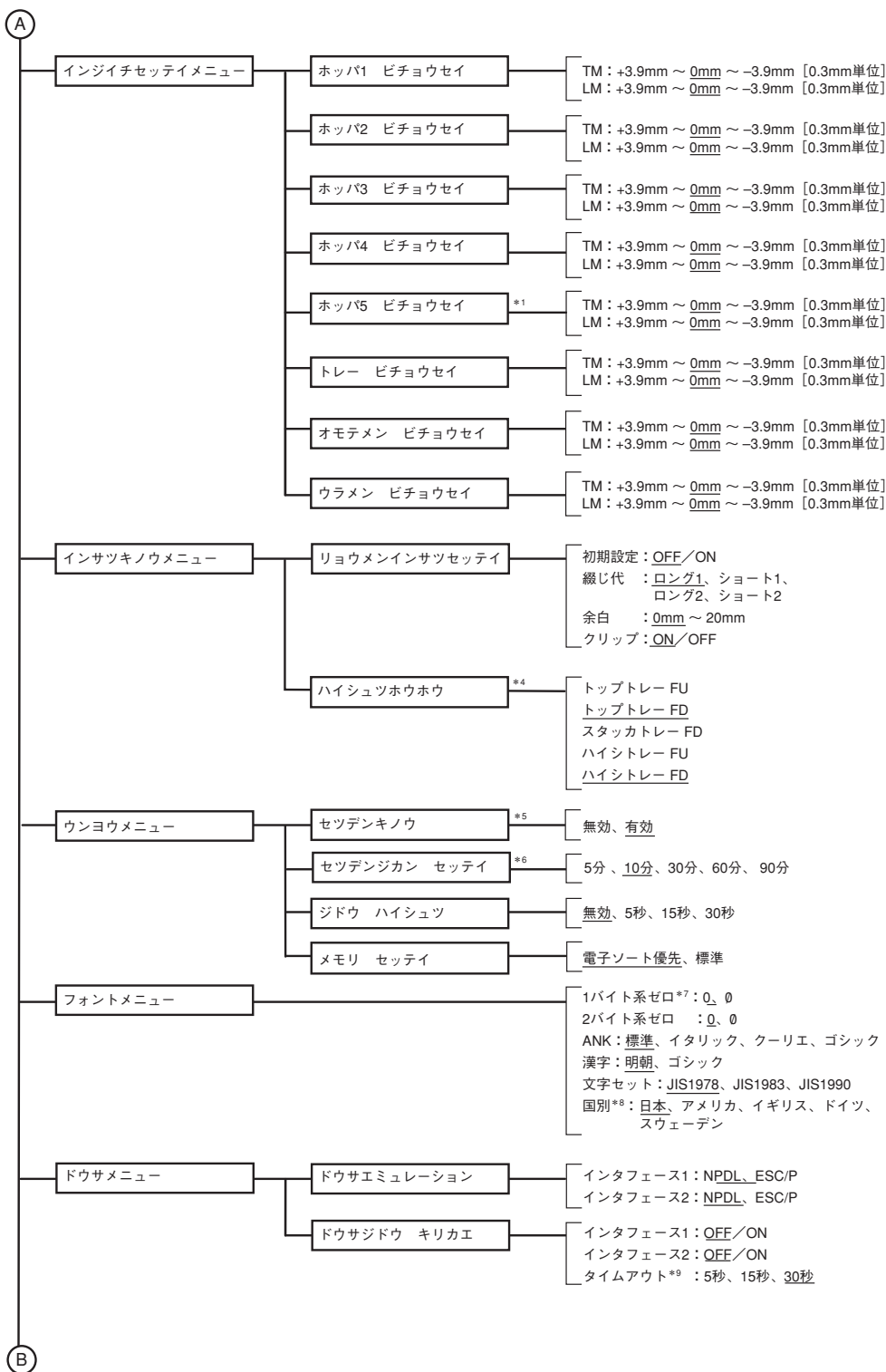
番号	機 能	0	1	ESC/P モード での動作
5-1	同期コードの無効／有効の切り替え *1	無効	有効	○
5-2～5-8	(未使用)			—
6-1～6-6	(未使用)			—
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	使用する	使用しない	○
6-8	(未使用)			—
7-1	データストロープ信号のデータラッチ タイミング [インタフェース1]	前縁ラッチ	後縁ラッチ	○
7-2～7-6	(未使用)			—
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを 表示する／しないの切り替え	表示する	表示しない	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しない の切り替え	自動縮小する	自動縮小しない	×
8-1 8-2	ビジアクノリッジ (BUSY— $\overline{\text{ACK}}$) のタイ ミング [インタフェース1] (組み合わせとタイミングについては活用 マニュアルの7章参照)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY— $\overline{\text{ACK}}$ のタイミ ングを切り替えます。 タイミングA (8-1：0、8-2：0)		○
8-3 8-4	アクノリッジ ($\overline{\text{ACK}}$) の幅 [インタフェース1] (組み合わせとタイミングについては活用 マニュアルの7章参照)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 $\overline{\text{ACK}}$ の幅を切り替えま す。 1 μ s (8-3：0、8-4：0)		○
8-5～8-8	(未使用)			—
9-1	(未使用)			—
9-2	ページフォーマット反転をする／しない の切り替え	反転しない	反転する	○
9-3～9-8	(未使用)			—
10-1 ～10-8	(未使用)			—

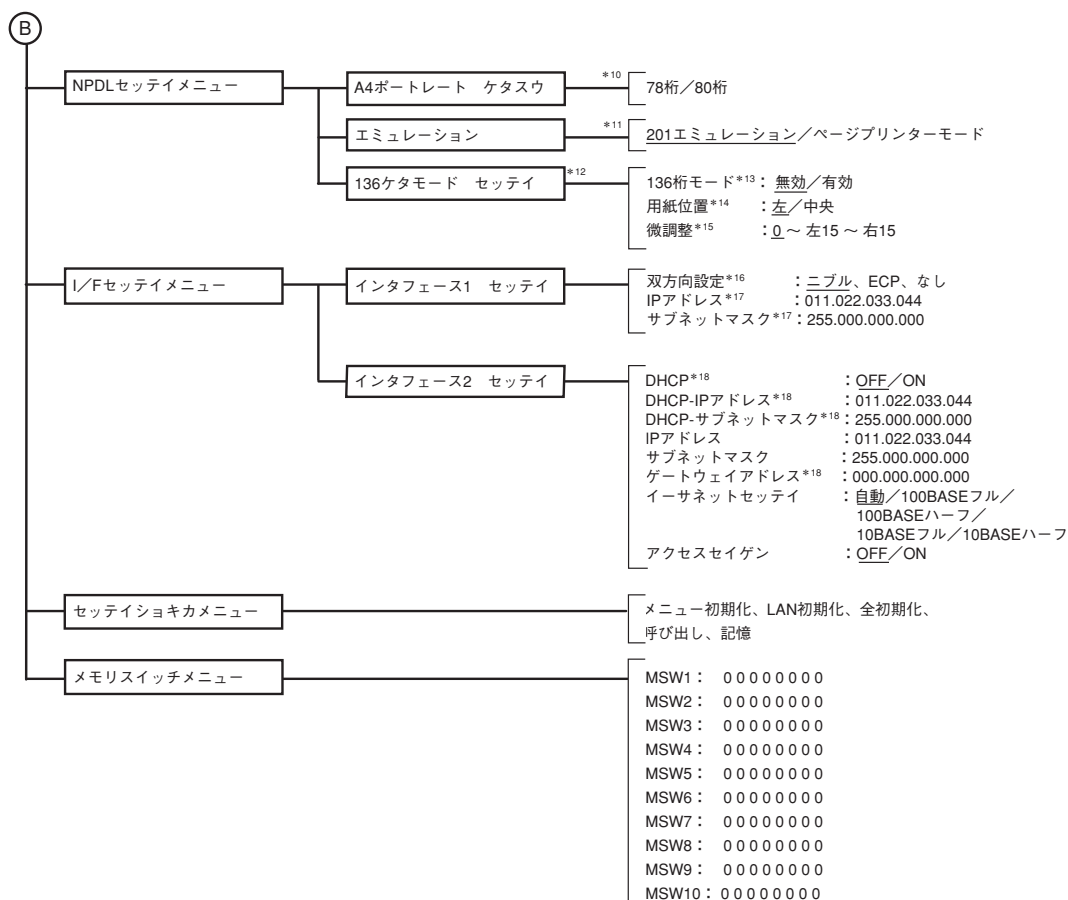
^{*1} 本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。

次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。(下線部分は出荷時の設定値です。)

「*」で示す補足的な説明は95ページにあります。詳しくは添付のプリンターソフトウェアCD-ROMの活用マニュアル「7章 メニューモード」を参照してください。







- * 1 大容量ホッパー（オプション）装着時に表示されます。
- * 2 グループ設定された場合に「リレー ON A」または「リレー ON B」を表示します。その際は「リレー OFF」または「リレー ON」に変更できません。
- * 3 「ティケイガイ」の設定が「シヨウ」のときのみ表示されます。
- * 4 プリンターに接続されている排出先が排紙トレイ（オプション）の場合は、「ハイトレー FU」または「ハイトレー FD」、フィニッシャー（オプション）の場合は「トップトレイ FD」、「スタックトレイ FD」、「トップトレイ FU」を表示します。
- * 5 MSW6-7 と同期します。
- * 6 「運用メニュー」の「節電機能」が有効のときのみ表示されます。
- * 7 MSW2-1 と同期します。
- * 8 MSW1-1 ~ MSW1-3 と同期します。
- * 9 「動作自動切り替え」でいずれかのインターフェースの設定が ON のときのみ表示されます。
- * 10 MSW2-7 と同期します。
- * 11 MSW2-2 と同期します。
- * 12 201 エミュレーションモード時のみ表示されます。
- * 13 MSW3-7 と同期します。
- * 14 136 ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6 と同期します。
- * 15 136 ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-1 ~ MSW3-5 と同期します。
- * 16 「双方向設定」の変更を有効にするためには、プリンターの電源を再投入する必要があります。
- * 17 オプションの無線 LAN アダプタ（型番 PR-WL-01）が装着されていて、「双方向設定」が「ECP」に設定されているときのみ表示されます。
- * 18 DHCP が ON の時は、DHCP サーバーから取得した IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが表示されます。この値は参照のみであり、設定の変更はできません。DHCP サーバーから値が取得できない場合は、工場出荷値が表示されます。（DHCP=OFF の設定値はクリアされます。）

リレー給紙の設定

リレー給紙とは、印刷を行っている時に給紙先の用紙がなくなった場合に用紙がセットされている別の給紙先に自動的に切り替える機能です。この機能を利用するためには同じサイズ、同じ用紙のセット方向、および同じ用紙種別の用紙がホッパー、トレイ、または大容量ホッパーにセットされていて、プリンターのリレー給紙設定を有効にする必要があります。

また、A4、B5、レターの用紙サイズをセットした場合は用紙のセット方向を同じにする必要があります。リレー給紙機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

Step 1 リレー給紙を有効にする

Step 2 給紙方法を設定する

Step1 リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

① メニューモードに入る。

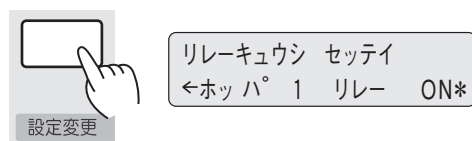
[印刷可] スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー] スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

② 操作パネルの[▼]、[▶]、[設定変更]スイッチを押して、“ヨウシメニュー”の“リレーキューシ”をONにする。

詳しくは、「メニューツリー」(93～95ページ)をご覧ください。

—  チェック —

リレー給紙させるホッパーまたはトレイすべての“リレーキューシ”をONにしてください。



③ [メニュー終了] スイッチを押す。

④ 設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはトレイの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。

Step2 給紙方法を設定する

印刷を開始するときに[給紙方法]で[自動]を選択します。

① プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

② ホッパーの給紙方法が[自動]になっていることを確認する。

プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、5章の「印刷の詳細設定」(103ページ)を参照してください。

③ [印刷] ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。

グループホッパーの設定

グループホッパーは、複数のホッパーおよびトレイを1つのホッパーとして取り扱うことで、用紙を補給する手間が省けます。グループ化は、2個までできます。

グループホッパー機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

Step 1 グループホッパーを有効にする

Step 2 給紙方法を設定する

Step1 グループホッパーを有効にする

グループホッパーを有効にするために、プリンターの設定を行います。

① メニューモードに入る。

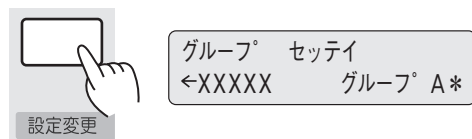
[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

② 操作パネルの[▼]、[▶]、[設定変更]スイッチを押して、“ヨウシメニュー”の“グループセッテイ”を“グループA”または“グループB”にする。

詳しくは、「メニューツリー」(93ページ)をご覧ください。

—  チェック —

グループにするすべてのホッパーまたはトレイを“グループA”または“グループB”に設定してください。



③ [メニュー終了]スイッチを押す。

④ 設定が終わったら、グループホッパーを有効にしたホッパーおよびトレイの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。

Step2 給紙方法を設定する

印刷を開始するときに[給紙方法]で[グループA]または[グループB]を選択します。

① プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

② ホッパーの給紙方法が[グループ A]または[グループB]になっていることを確認する。

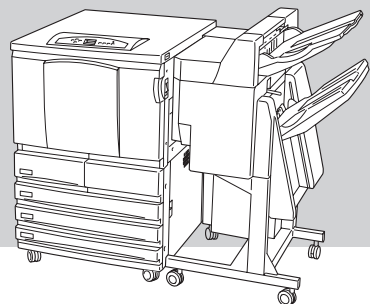
プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、5章の「印刷の詳細設定」(103 ページ)を参照してください。

③ 用紙の種類、用紙のサイズがプリンターメニューモードと同じになっていることを確認する。

④ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。

5章

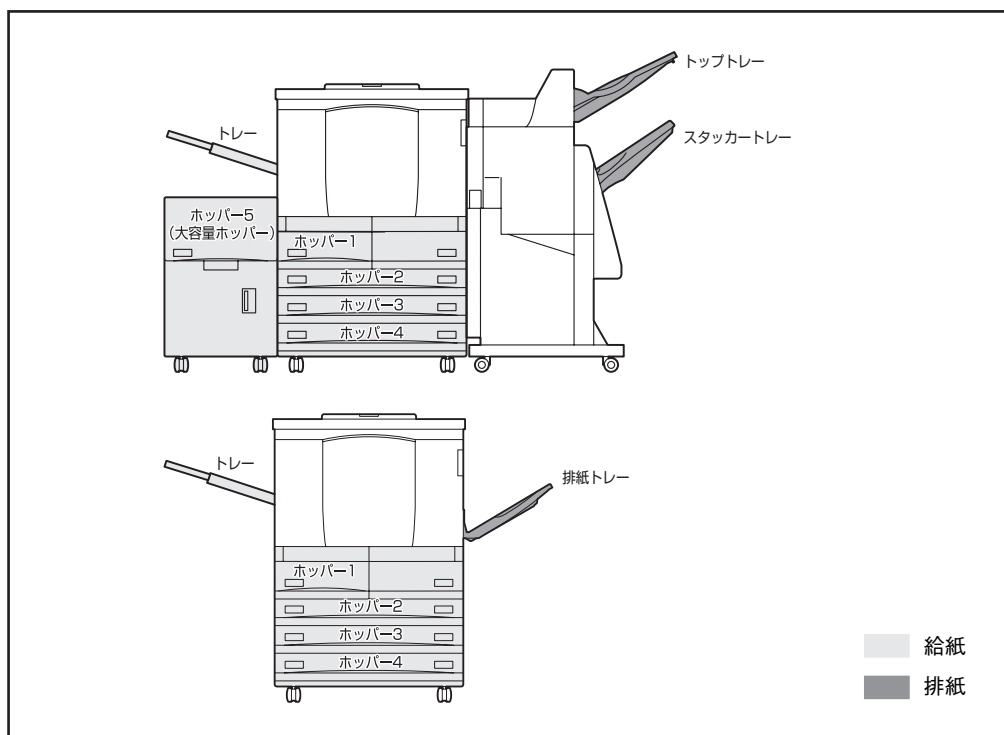
印刷するには



この章では、アプリケーションから印刷する手順、および定形外用紙に印刷する手順を説明します。また、本プリンターのもつ便利な機能を紹介します。

実際に印刷を始める前に、ホッパーやトレイで使える用紙サイズおよび用紙の種類を次ページの表で、ご確認ください。

また、用紙が給紙、排紙される場所は以下のとおりです。



給紙・排紙箇所

使用できる用紙サイズと種類

各用紙サイズでの動作対応表

給紙先、排紙先、および排紙機能に対応している用紙サイズおよび用紙方向は以下の表のとおりです。

給紙方法・排紙方法／ 用紙サイズ			A3	A4		A5	B4	B5		レター		官製 はがき	往復 はがき	定形外	
			タテ	ヨコ	タテ	タテ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	タテ	タテ	長さ	幅
給紙方法	ホッパー 1		—	○	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	
	ホッパー 2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	182.0 ～ 432.0 mm	148.0 ～ 297.0 mm
	ホッパー 3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—		
	ホッパー 4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—		
	ホッパー 5		—	○	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	
	トレー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ ^{*1}	○ ^{*1}	148.0 ～ 432.0 mm
排紙方法	フェース アップ *2	排紙 トレー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		トップ トレー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		スタッカ トレー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	フェース ダウン	排紙 トレー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		トップ トレー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		スタッカ トレー	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—	—	○ ^{*3}
オフセッ ト排紙	排紙トレー		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	トップトレー		○	○	○	—	○	○	○	○	○	—	—	○ ^{*4}	
	スタックカートレー		○	○	○	—	○	○	○	○	○	—	—	○	
両面印刷	フェースアップ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	フェースダウン		○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	

*1 縦給紙のみ。

*2 フェースアップでの排出先はフィニッシャー接続の場合、トップトレーのみに排出可能。

*3 長さ 148.0～432.0mm、幅 182.0～297.0mm の定形外用紙のみ排出可能。

*4 幅 170.0mm 以下の定形外用紙はオフセット排紙不可。

各用紙種類での動作対応表

給紙先、排紙先、および排紙機能に対応している用紙の種類は以下の表のとおりです。

給紙方法・排紙方法／用紙種類			普通紙	厚紙 1	厚紙 2	ラベル紙	OHP
給紙方法	ホッパー 1		○	○	—	—	—
	ホッパー 2		○	○	—	○	○
	ホッパー 3		○	○	—	○	○
	ホッパー 4		○	○	—	○	○
	ホッパー 5		○	○	—	○	—
	トレー		○	○	○	○	○
排紙方法	フェースアップ	排紙トレー	○	○	○	○	○
		トップトレー	○	○	○	○	○
		スタッカートレー	—	—	—	—	—
	フェースダウン	排紙トレー	○	○	○	○	○
		トップトレー	○	○	○	○	○
		スタッカートレー	○	○	—	—	—
オフセット排紙	排紙トレー		—	—	—	—	—
	トップトレー		○	○	○	○	○
	スタッカートレー		○	○	—	—	—
両面印刷	フェースアップ		—	—	—	—	—
	フェースダウン		○	○	—	—	—

各給紙位置での動作対応表

排紙先および排紙機能に対応している給紙先は以下の表のとおりです。

排紙方法／給紙位置			ホッパー 1	ホッパー 2	ホッパー 3	ホッパー 4	ホッパー 5	トレー
排紙方法	フェースアップ*1	排紙トレー	○	○	○	○	○	○
		トップトレー	○	○	○	○	○	○
		スタッカートレー	—	—	—	—	—	—
	フェースダウン	排紙トレー	○	○	○	○	○	○
		トップトレー	○	○	○	○	○	○
		スタッカートレー	○	○	○	○	○	○
オフセット排紙	排紙トレー		—	—	—	—	—	—
	トップトレー		○	○	○	○	○	○
	スタッカートレー		○	○	○	○	○	○
両面印刷	フェースアップ		—	—	—	—	—	—
	フェースダウン		○	○	○	○	○	—

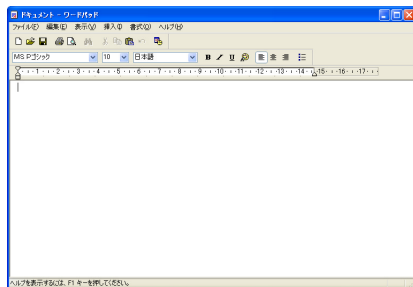
*1 フェースアップでの排出先はフィニッシャー接続の場合、トップトレーのみに排出可能。

印刷手順

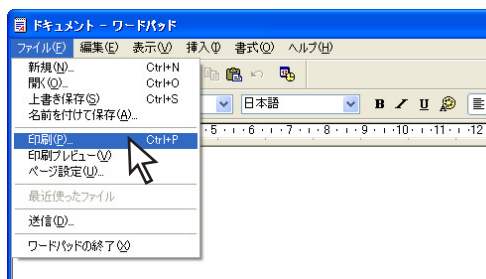
アプリケーションから印刷する

ここでは、Windows XPに付属されている日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、およびWindows 95の場合は多少画面の表示が異なりますが基本的な操作は同じです。

- 1 [スタート]メニューからワードパッドを起動し、印刷したいデータを開く。

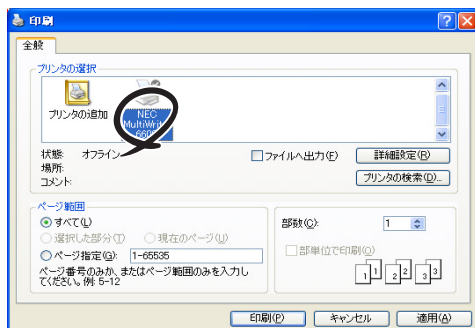


- 2 [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

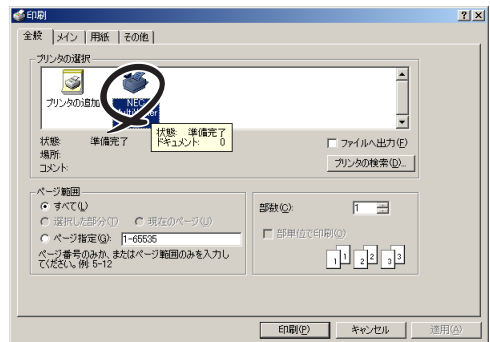


- 3 [印刷]ダイアログボックスの[プリンタの選択]に[NEC MultiWriter 6600]が選択されていることを確認する。

選択されていない場合は、[プリンタの選択]から[NEC MultiWriter 6600]を選択してください。

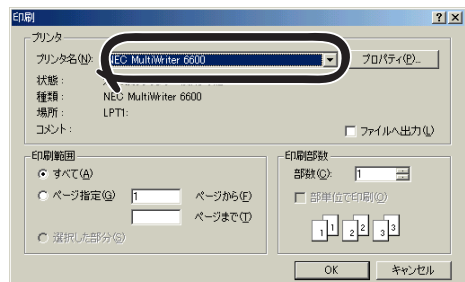


Windows XP、Windows Server 2003



Windows 2000

Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、[プリンタ名]から[NEC MultiWriter 6600]を選択してください。



Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95、

- 4 必要に応じてプロパティ ダイアログボックスで印刷の詳細を設定する。

プロパティダイアログボックスの開き方については次ページをご覧ください。

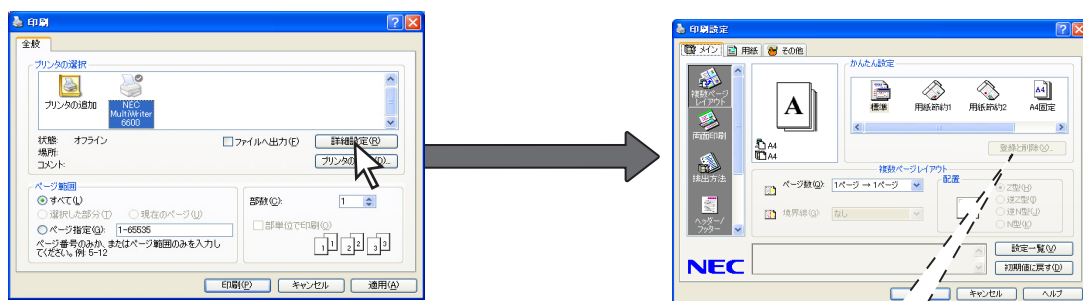
- 5 ページ範囲と印刷部数を指定して、[OK]をクリックする。

印刷の詳細設定（プロパティダイアログボックスの開き方）

印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。設定内容などの詳細については各プロパティダイアログボックスのヘルプをご覧ください。以下は、アプリケーションメニューからプロパティダイアログボックスを開いた例です。

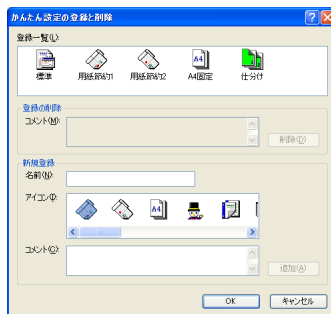
各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と[プリンタとFAX]フォルダー（Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、[プリンタ]フォルダー）から開く方法があります。アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、[プリンタとFAX]フォルダーから開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

Windows XP、Windows Server 2003の場合



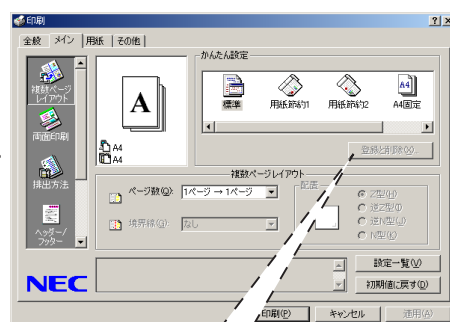
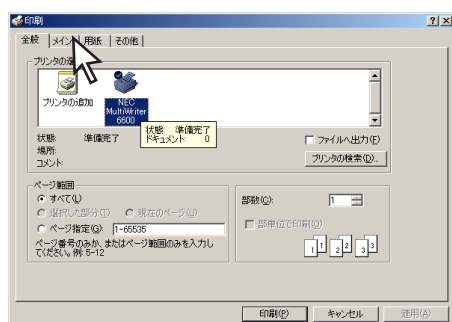
[詳細設定]をクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。

[かんたん設定の登録と削除] ダイアログボックス



[プリンタとFAX]フォルダーからプロパティダイアログボックスを開いた場合に、[メイン]シートの[登録と削除]ボタンをクリックすると「かんたん設定」の登録が行えます。「かんたん設定」とは、よく使う印刷設定をあらかじめ登録しておける機能です。詳細は活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。

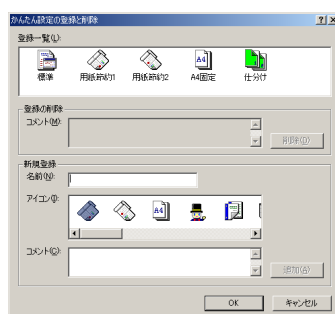
Windows 2000、Windows NT 4.0*の場合



各シートをクリックして設定します。

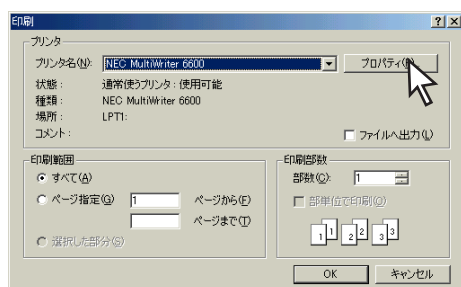
* Windows NT 4.0の場合は印刷のダイアログ画面イメージが多少異なります。

「かんたん設定の登録と削除」ダイアログボックス

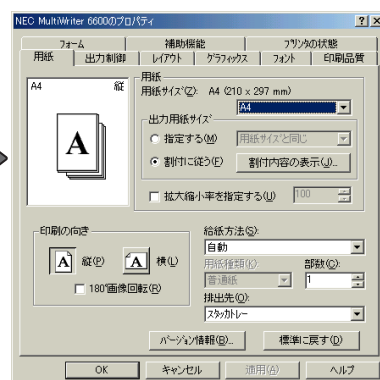


「[プリンタ] フォルダからプロパティダイアログボックスを開いた場合に、[メイン]シートの[登録と削除]ボタンをクリックすると「かんたん設定」の登録が行えます。「かんたん設定」とは、よく使う印刷設定をあらかじめ登録しておける機能です。詳細は活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合



「[プロパティ]」をクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。



定形外用紙に印刷する

定形外サイズ用紙や厚紙などの用紙に出力するには、以下の手順を行ってください。

定形外サイズ用の用紙に印刷する

Step 2およびStep 3は、OSごとに説明します。

Step 1 定形外用紙をセットする（詳細は3章を参照してください。）

Step 2 ユーザー定義サイズを設定する

Step 3 ユーザー定義サイズで印刷する

ホッパーに定形外サイズの用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。（用紙については付録の「用紙の規格」（187ページ）をご覧ください。）

✓ チェック

- プリンターにセットできる用紙サイズは、トレイでは幅 100.0 ～ 297.0mm、長さは 148.0 ～ 432.0mmです。ホッパー 2～4では幅148.0～297.0mm、長さは182.0～432.0mmです。
- メニューで「テイケイガイ」を「シヨウ」に設定したときは、定形用紙（A4 など）がセットされても定形外用紙として扱われます。

Step 1 定形外サイズの用紙をセットする

手順は、3章の「定形外用紙をホッパーにセットする」（72ページ）を参照してください。

Step 2 ユーザー定義サイズを設定する

定形外用紙の用紙サイズをユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OSごとに説明します。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、複数の用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）を追加することができます。設定できる用紙サイズは幅100～594mm、長さは148～840mmです。詳しくはOSのヘルプを参照してください。
- Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合、設定できる用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）は一種類のみです。設定できる用紙サイズは幅100～297mm、長さは148～432mmです。

各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と［プリンタとFAX］フォルダー（Windows XP、Windows Server 2003以外は［プリンタ］フォルダー）から開く方法があります。

アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、［プリンタとFAX］フォルダー（Windows XP、Windows Server 2003以外は［プリンタ］フォルダー）から開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

① [プリンタとFAX]フォルダーを開く。

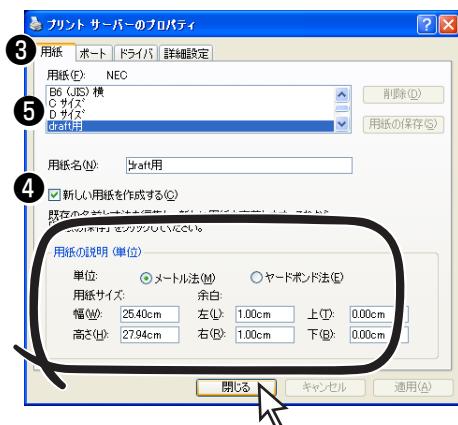
Windows XP、Windows Server 2003 以外の場合は、[プリンタ]フォルダーを開きます。

② [ファイル]メニューから[サーバーのプロパティ]をクリックする。

③ [用紙]シートを開く。

④ [新しい用紙を作成する]をチェックして、任意の用紙名、用紙サイズを入力し、[用紙の保存]をクリックする。

⑤ ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して[閉じる]をクリックする。



Windows XP、Windows Server 2003、
Windows 2000



Windows NT 4.0

これで新しい用紙サイズが追加されました。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

① [プリンタ]フォルダーを開く。

② 使用するプリンターのアイコンをクリックする。

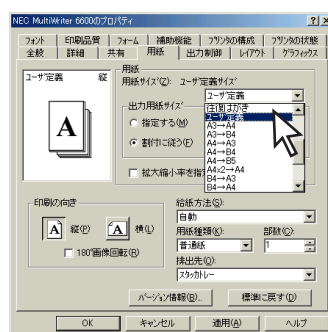
③ [ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックする。

[プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

④ [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから[ユーザ定義]を選ぶ。

✓チェック

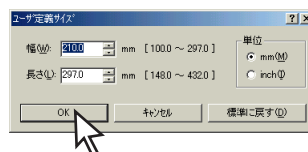
坪量129g/m²を超える用紙の場合 [用紙種類] ダイアログボックスで [厚紙 1] を指定してください。



⑤ 用紙の[幅]と[長さ]を入力し、[OK]をクリックする。

✓チェック

プリンターにセットできる用紙サイズ内の大きさ (幅100 ~ 297mm、高さ148 ~ 432mm) を設定してください。



⑥ [OK]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを閉じる。

これでユーザー定義の用紙サイズが設定できました。

Step 3 ユーザ定義サイズで印刷する

<Windows XP、Windows Server 2003、
Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

- 1 アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。

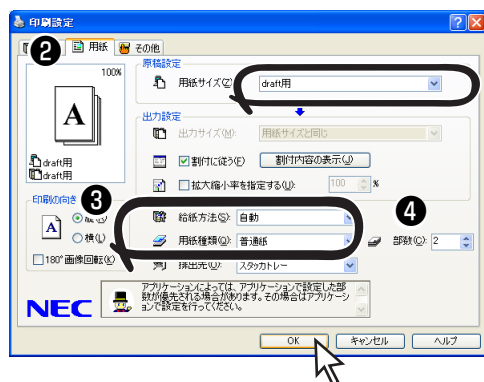
アプリケーションによっては、この手順後に[印刷]ダイアログボックスの[詳細設定]または、[プロパティ]をクリックします。

- 2 [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、Step2で追加した用紙サイズを選択する。

— ☒ チェック —
坪量129g/m²を超える用紙の場合、[用紙種類]ボックスで[厚紙]を指定してください。

- 3 [給紙方法]と[用紙種類]を指定する。

- 4 印刷部数を指定し、[印刷]（または[OK]）をクリックする。



<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

- 1 アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。

- 2 [プロパティ]をクリックする。

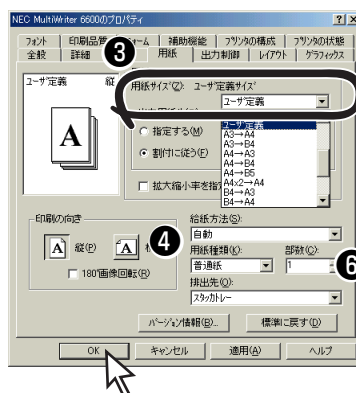
- 3 [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、[ユーザ定義]を選択する。

— ☒ チェック —
坪量129g/m²を超える用紙の場合、[用紙種類]ボックスで[厚紙]を指定してください。

- 4 [給紙方法]と[用紙種類]を指定する。

- 5 [ユーザ定義サイズ]ダイアログボックスで[幅]と[長さ]を確認し、[OK]をクリックする。

- 6 印刷部数を指定し、[OK]をクリックする。



厚紙に印刷する

ホッパーまたはトレーに厚紙をセットする場合はあらかじめ設定できる用紙の厚さを確認しておいてください。(用紙については付録の「用紙の規格」(187ページ)をご覧ください。)

ホッパー 1～5では厚紙1(坪量129～150g/m²)まで、トレーでは厚紙2(坪量151～197g/m²)まで、選択できます。使用できる用紙坪量と用紙種類の関係は、下表のとおりです。

用紙種類	用紙坪量
普通紙	64～128g/m ²
厚紙1	129～150g/m ²
厚紙2	151～197g/m ²

Step 1 厚紙をセットする

手順は、「3章 用紙のセット」(61ページ)を参照してください。

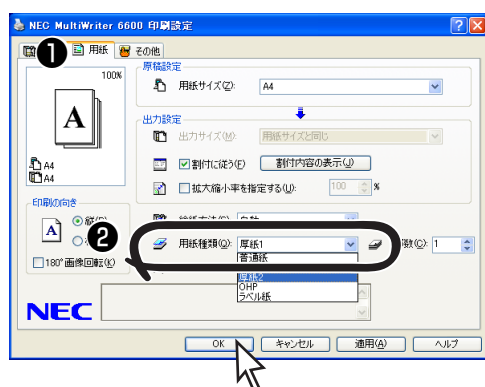
Step 2 用紙の種類を選択する

印刷を開始するときに「用紙種類」で「厚紙1」または、「厚紙2」を選択します。

① プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの「用紙」シートを開く。

② 用紙の種類が「厚紙 1」または、「厚紙 2」になっていることを確認する。

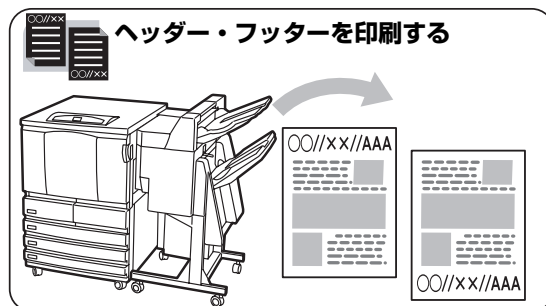
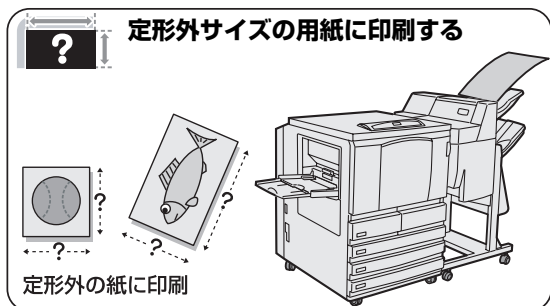
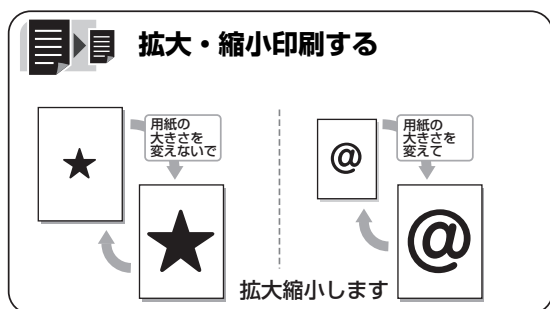
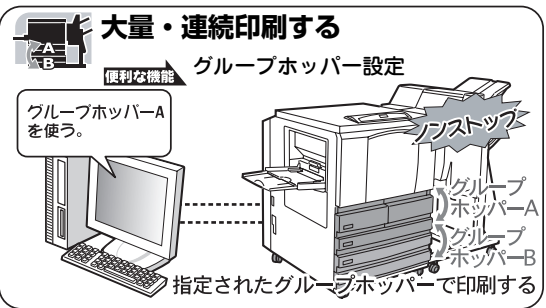
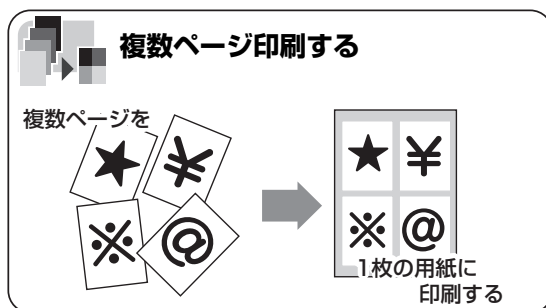
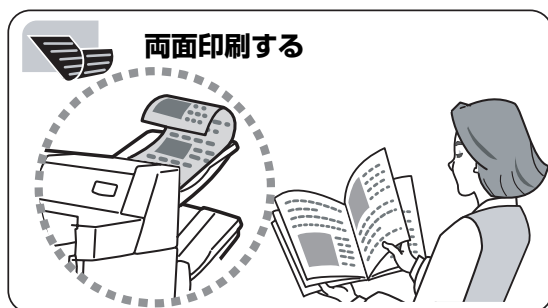
③ 「印刷」ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。



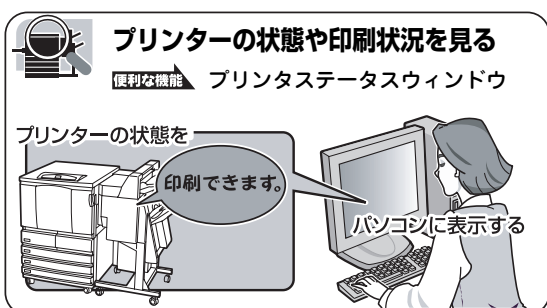
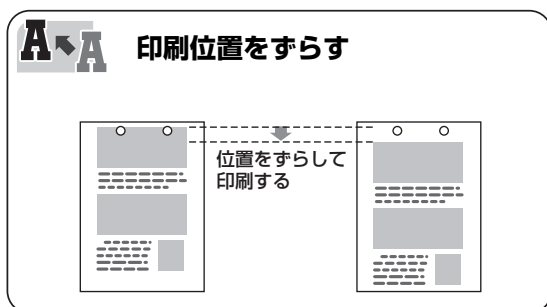
機能の紹介

前に説明した以外にも本プリンターにはいろいろな機能があります。様々な機能を組み合わせて、ネットワーク環境でMultiWriterを一元管理することなどができます。ここではその便利な機能について紹介します。

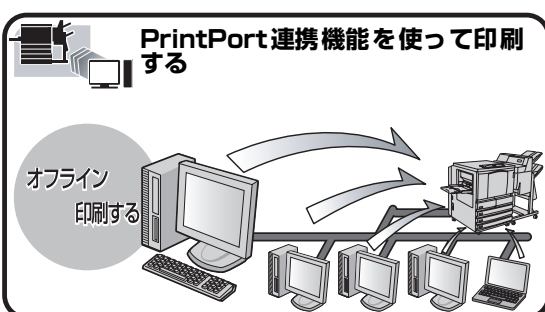
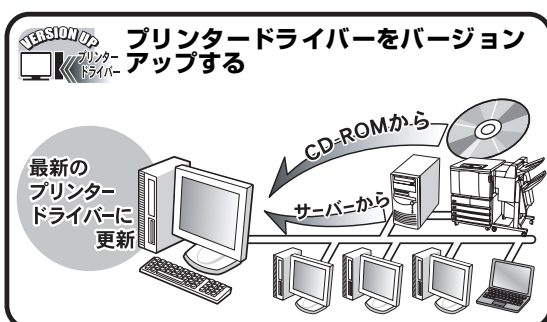
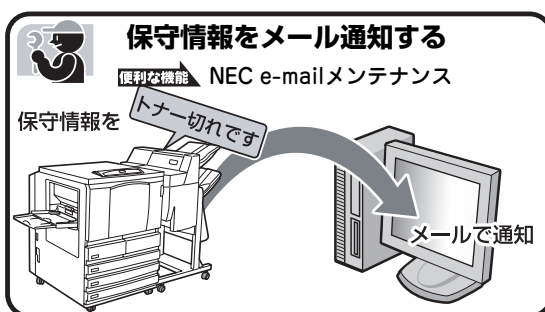
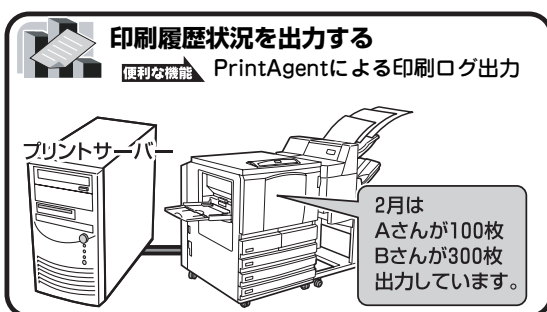
各機能の詳細、および設定方法については添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されている活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。



次ページに続く

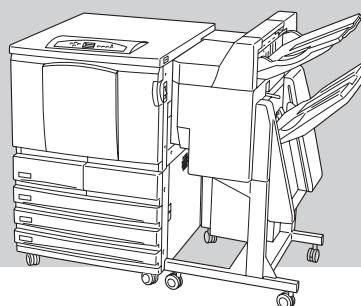


以下に記載した項目は、ネットワーク環境でMultiWriterを使用するときに便利な機能です。MultiWriterを一元管理することができます。



6章

日常の保守



この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃は、MultiWriter 6600を正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。プリンター内部の清掃については、定期保守の時にサービス担当者が行います。

トナーカートリッジの交換

消耗品ランプが点灯し、ディスプレイに次の表示が出たら、トナーカートリッジの交換時期です。

ディスプレイ表示	意味	対処方法
XXXX トナーサ ンショウ	トナーカートリッジ内のトナーが少なくなってきました。	トナーカートリッジを速やかに交換してください。
76 トナーナシ カートリッジ コウカン	トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。	

新しいトナーカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などでお求めになれます。

本プリンターでお使いになれるトナーカートリッジは、PR-L6600-12です。詳しくは「9章 オプション」(167ページ)をご覧ください。

トナーカートリッジ取り扱い上のご注意

トナーカートリッジの取り扱いについては、以下の注意事項をお読みください。



使用済みのトナーカートリッジを、絶対に火中に投げないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

✓ チェック

- 弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用した場合、装着本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジをご利用ください。
- トナーが衣服についた場合は乾いた布でふき取り、そのあと衣服を水洗いしてください。また、トナーに毒性はありませんが、粒子を吸い込まないように注意してください。

トナーカートリッジの交換手順

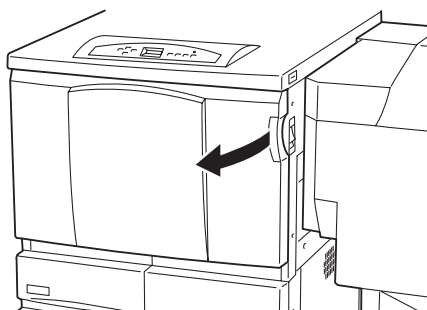


- 「高温注意」ラベルが貼られている周辺には絶対に触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らせた布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

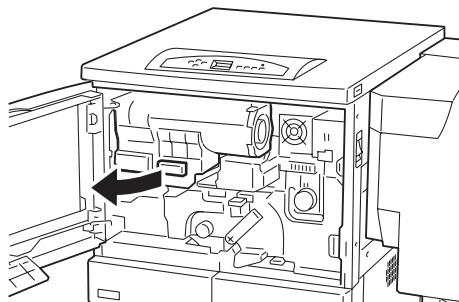
✓ チェック

新しいトナーカートリッジを使い始めてしばらくの間は、網点画像や1ドットラインの印刷濃度が薄くなっている場合があります。

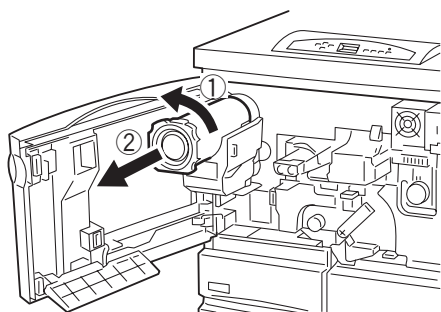
- ①** プリンターの印刷動作が停止していることを確認し、フロントカバーを開ける。



- ②** 取っ手を下から持って、トナーカートリッジを左方向へ開ける。



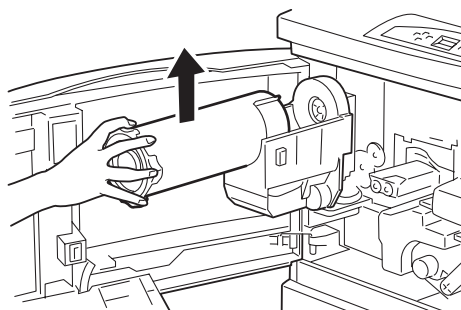
- ③ トナーカートリッジを左方向へ「カチッ」と音がするまで回し、手前に止まるところまで引き出す。



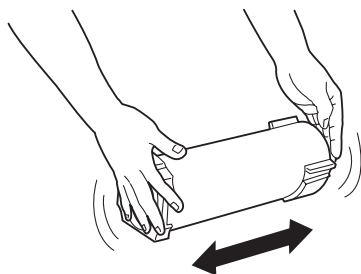
- ④ トナーカートリッジを上へ持ち上げて、取り出す。

⚠ 注意

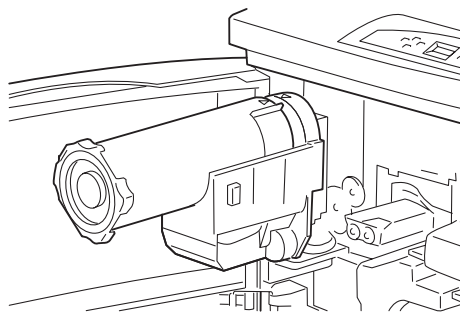
「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。



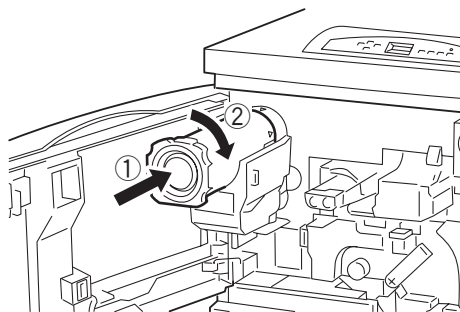
- ⑤ 新しいトナーカートリッジを左右によく振る。



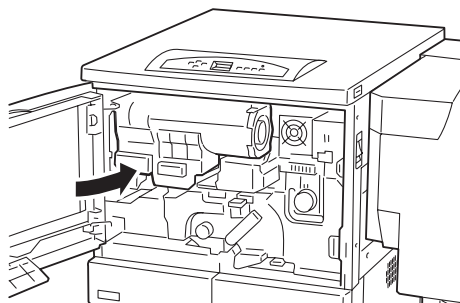
- ⑥ プリンター本体の▼マークと、新しいトナーカートリッジ先端の▲マークとを合わせるようにして、トナーカートリッジを置く。



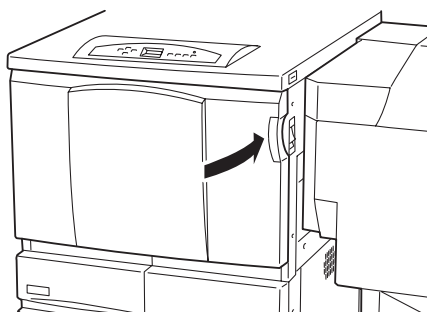
- ⑦ トナーカートリッジを奥に押し込んでから、右方向へ止まるところまで回す。



- ⑧ 取っ手を下から持って、トナーカートリッジを矢印の方向へ「カチッ」という音がするまで戻す。



9 プリンターのフロントカバーを閉じる。



チェック

「トナーナシ」表示からのエラー解除では、
フロントカバーを閉じた後[印刷可]スウィッ
チを押してください。

トナーカートリッジの寿命

MultiWriter 6600に添付されているトナーカートリッジ（PR-L6600-12相当品）の寿命は、A4用紙で画像面積比率（1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率）約5%の連続印刷を行ったとき、約33,000ページになります。以下は、画像面積比率約5%を目安とした文書例です。

トナーカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「トナーカートリッジ」には寿命33,000枚（A4、画像面積比5%）のものがああります。

ここで画像面積比5%の意味及びトナーカートリッジの寿命について説明します。

従来、シリアル系ドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等においては、消耗品であるインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対し、本プリンタの様なページプリンタにおいては、「何枚」という単位で表現されています。

この様に、表現が「文字数」から「枚数」に変化した理由は、

- ① ページプリンタにおいては、処理の単位がページ単位であること。
- ② ①にも関連して、グラフィック等、文字数では十分把握できない様な印刷を行うケースが増えてきている。

の2つが考えられます。

トナーカートリッジの寿命を決定するものの1つに、そのトナーカートリッジ内部に収納されているトナーの量があります。トナーをすべて消費してしまえばトナーカートリッジの寿命となります。（これは従来のインクリボンにおいてインクがなくなるまでをリボンの寿命と呼んだのと同じことです）。

従って「枚数」で寿命と考えるときは、1ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

1ページ中の印刷領域（印刷用紙の上下左右端から各々5mmの部分を除く領域）に黒い部分がどの位の割合であるかを表したものが画像面積比です。1ページの中に印刷が全くない状態が0%、印刷領域全域が真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が100%です。

この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから「画像面積比何%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が5%より高い場合、33,000枚印刷する前にトナーカートリッジの寿命となる場合があります。

なお、この印刷サンプルが画像面積比約5%相当の目安となります。

画像面積比5%の印刷例



チェック

- トナーカートリッジの寿命は画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によって異なります。
- 画像面積比率は、お使いのコンピューターの環境（OS、アプリケーション、使用フォントなど）により変化します。

クリーニングカートリッジの交換

クリーニングカートリッジは、フューザーの汚れをふき取ります。新しいクリーニングカートリッジの寿命は、約50,000ページです（印刷方法によって若干の差があります）。

消耗品ランプが点灯し、ディスプレイに次の表示が出たら、クリーニングカートリッジの交換時期です。

ディスプレイ表示	意味	対処方法
XXXXX クリーナー ジ ュミョウ	クリーニングカートリッジの交換時期が近づいています。	クリーニングカートリッジを速やかに交換してください。
80 ユニット ジ ュミョウ クリーナー	クリーニングカートリッジの交換時期です。	

新しいクリーニングカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などでお求めになれます。

本プリンターでお使いになれるクリーニングカートリッジは、PR-L6600-34です。詳しくは「9章 オプション」（167ページ）をご覧ください。

クリーニングカートリッジ取り扱い上のご注意

クリーニングカートリッジの取り扱いについては、以下の注意事項をお読みください。

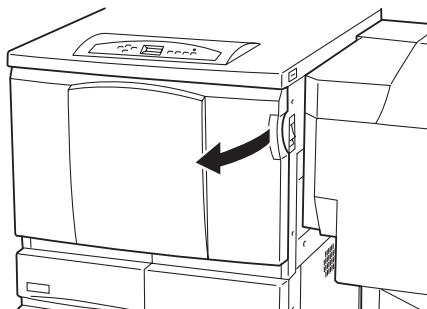


注意

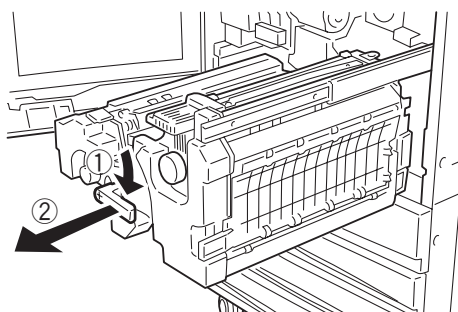
「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺（フューザーユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

クリーニングカートリッジの交換手順

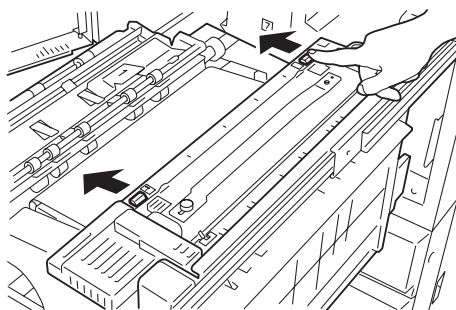
- ① プリンターの印刷動作が停止していることを確認し、フロントカバーを開ける。



- ② フューザーユニットの中央にあるレバーを時計回りに水平になるまで回して、手前に止まるところまでフューザーユニットを引き出す。



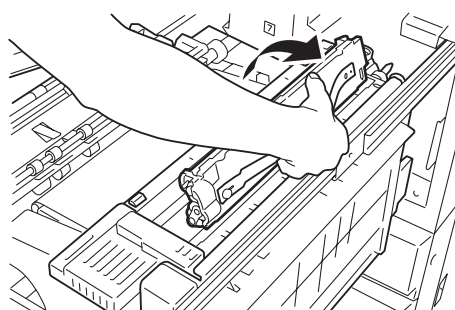
- ③ 両端にあるオレンジ色の四角いボタンを押して、左にずらす。



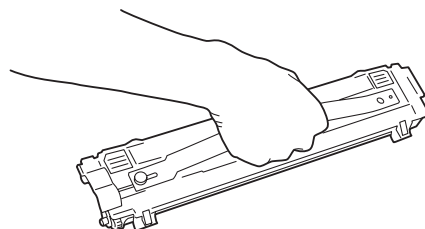
- ④ 中央にあるオレンジ色のベルトを持って、右端へ傾けるように倒して、そのまま持ち上げ、取り出す。

⚠ 注意

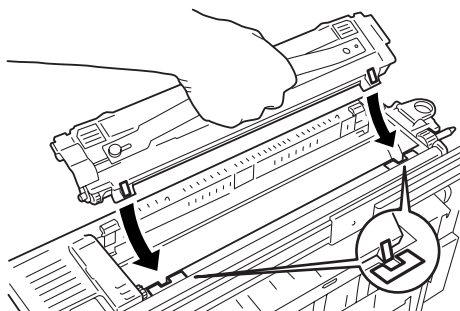
「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。



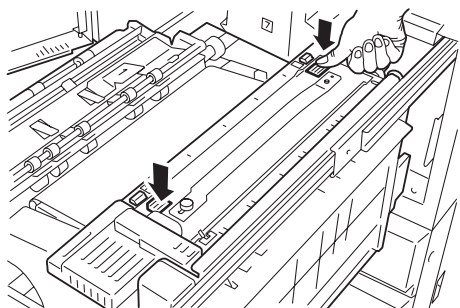
- ⑤ 新しいクリーニングカートリッジを取り出す。



- 6** クリーニングカートリッジの両端にあるツメと、プリンターのフューザーユニット（定着部）にある凹印マークを向かい合わせにしてセットする。



- 7** クリーニングカートリッジの両端にあるオレンジ色の四角い横線マークの上から下方に、「カチッ」と音がするまで押して、ロックする。

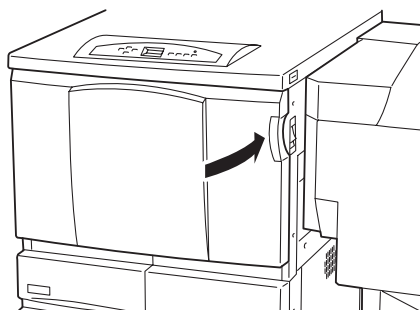


- 8** フューザーユニットを完全に奥まで押し込み、中央にあるレバーを「カチッ」と音がするまで、反時計回りに回す。

レバーを回せない場合は、フューザーユニットを途中で引き出してから、再度押し込んでください。



- 9** プリンターのフロントカバーを閉じる。



ドラムカートリッジの交換

消耗品ランプが点灯し、ディスプレイに次の表示が出たら、ドラムカートリッジの交換時期です。新しいドラムカートリッジの印刷目安は約110,000枚です。ただし、印刷内容、印刷方法によっては“ハイトナー”（廃トナー）がいっぱいになり、印刷目安よりも早く交換時期になることがあります。

ディスプレイ表示	意味	対処方法
XXXX ド ラムジ ュミョウ	ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。	ドラムカートリッジを速やかに交換してください。
80 ユニット ジ ュミョウ ド ラム	ドラムカートリッジの交換時期です。	
XXXX ド ラムジ ュミョウ ハイトナー	ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。	
80 ユニット ジ ュミョウ ド ラム ハイトナー	ドラムカートリッジの交換時期です。	

新しいドラムカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などでお求めになれます。

本プリンターでお使いになれるドラムカートリッジは、PR-L6600-31です。詳しくは「9章 オプション」(167ページ)をご覧ください。

ドラムカートリッジ取り扱い上のご注意

ドラムカートリッジの取り扱いについては、以下の注意事項をお読みください。



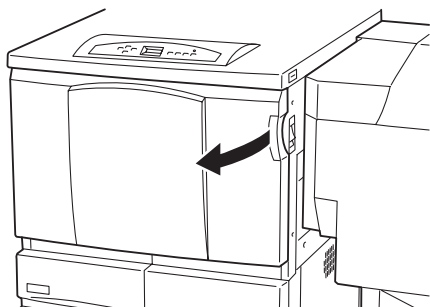
ドラムカートリッジを絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。



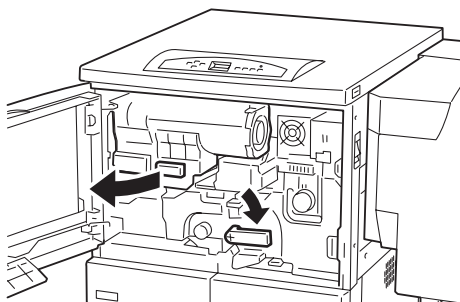
- 弊社が推奨していないドラムカートリッジを使用した場合、装着本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するドラムカートリッジをご利用ください。
- ドラム表面は手で触らないでください。ドラム表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。
- ドラムを直射日光に当てたり、室内蛍光灯の光に5分以上当てたりしないでください。印字が汚れたり、写らない箇所が発生したりします。

ドラムカートリッジの交換手順

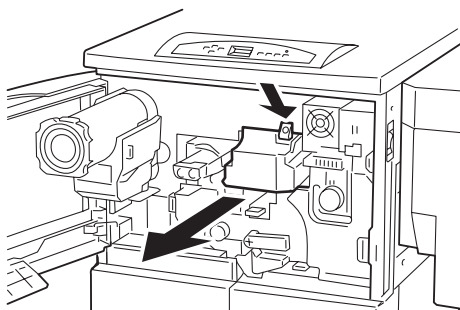
- ① プリンターの印刷動作が停止していることを確認し、フロントカバーを開ける。



- ② 取っ手を下から持って、トナーカートリッジを左方向へ開き、フューザーユニットの中央にある緑色のレバーを時計回りに水平になるまで回す。



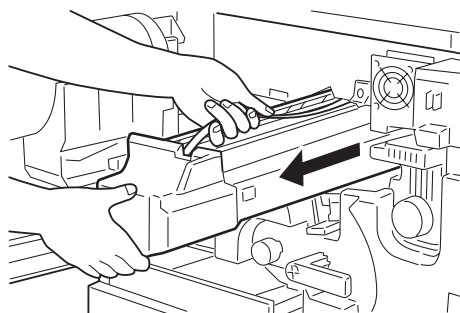
- ③ ドラムカートリッジ上部のオレンジ色のボタンを押しながら、ドラムカートリッジを手前に、半分ほどゆっくりと引き出す。



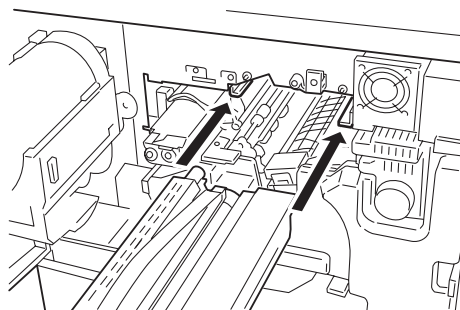
⚠ 注意

「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

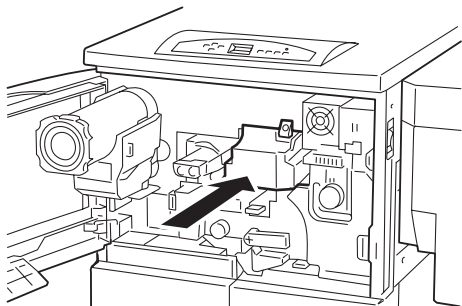
- ④ 上部の取っ手を持ち、ドラムカートリッジを手前に、まっすぐに引いて取り出す。



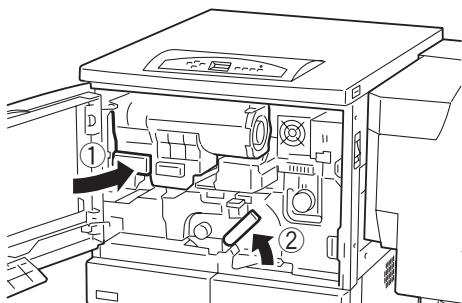
- ⑤ 新しいドラムカートリッジを袋から出して、両端のガイドをプリンターの本体のレールに載せる。



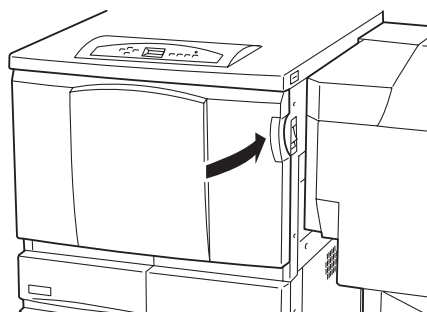
- ⑥ 「カチッ」と音がするまで、ドラムカートリッジをまっすぐに押し込む。



- ⑦ 取っ手を下から持って、トナーカートリッジユニットを矢印の方向へ「カチッ」と音がするまで戻す。中央にあるレバーを「カチッ」と音がするまで反時計回りに回す。



- ⑧ プリンターのフロントカバーを閉じる。



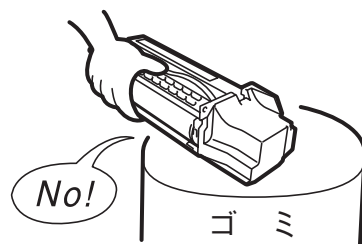
✓ チェック

「ユニットジュミョウ」からのエラー解除では、フロントカバーを閉じた後に [印刷可] スイッチを押してください。

使用済み消耗品の回収について

ご使用済みのNEC製ドラムカートリッジおよびトナーカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。

ご使用済みのNEC製ドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、クリーニングカートリッジは捨てずに、回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口までお持ち寄りください。なお、その際は損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。



- ドラムカートリッジ・トナーカートリッジの回収に関するWebページ
「ECOLOGY & TECHNOLOGY」
URL : http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/toner_recycle.html

清 掃

MultiWriter 6600はプリンターの表面が汚れているとき、糸くずのでない乾いた布で拭いてください。プリンター内部の清掃は定期保守の時にサービス担当者が行いますので、お客様が清掃する必要はありません。

⚠ 注意

- 清掃するときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源スイッチをOFFにした直後は、フューザーユニット周辺およびプリンター内部の金属部は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。
- 「高温注意」ラベルが貼られている箇所（フューザーユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

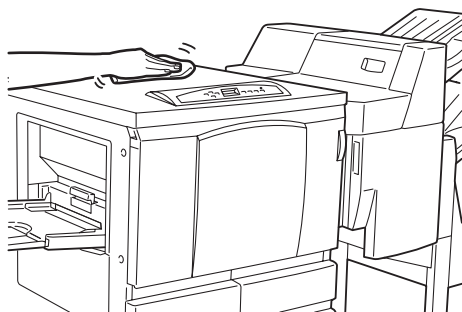


チェック

清掃にベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。カバー類の変色、変形、ひび割れの原因となります。

① 外部の清掃をする。

プリンター表面の汚れは、やわらかい布に水またはうすめた中性洗剤を少量含ませて、軽くふいてください。

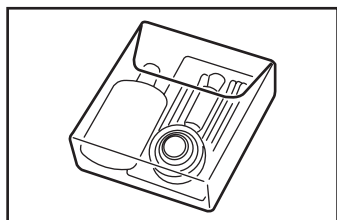


② 乾いた布で拭く。

③ 内部の点検をする。

清掃用にクリーニングキットを別売しています。

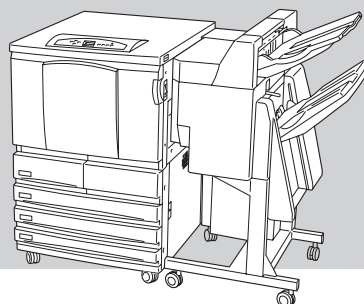
クリーニングキット（型番 PC-PR601-14）



プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

7章

故障かな?と思ったら



この章では、「故障かな?」と思ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処置方法を説明します。下記以外の症状については添付のCD-ROMに収録されている活用マニュアルをご覧ください。

- 印刷できないときは
- 印刷に異常が見られるときは
- PrintAgentを正しく動作させるために
- アラーム表示が出ているときは
- 思うように印刷できないときは
- 紙づまりのときは

また、プリンター本体、および消耗品の廃棄方法についても記載しています。その他プリンターソフトウェアを利用する際の補足情報はプリンターソフトウェアの「はじめにお読みください」(Readme. txt) に記載されています。これらはプリンターソフトウェアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

修理に出す前に

「故障かな?」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

- ① 電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。
- ② 定期的な清掃を行っていたか、またトナーカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認する。
- ③ 本章の126ページ～137ページを参照し、該当する症状があれば、記載されている処理を行う。

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあると、修理の際の有力な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。

海外でのご使用について

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でのご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

印刷できないときは

プリンターにデータを送ったのに印刷ができないなどの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	電源スイッチがOFFになっている。 → 電源スイッチをONにしてください。 電源コードがきちんと差し込まれていない。 → プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 プリンター本体背面下のブレーカスイッチがOFFになっている。 → ブレーカスイッチを上げてスイッチをONにしてください。 コンセントに電気が供給されていない。 → 配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	印刷可ランプが消灯している。 → [印刷可] スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 プリンターケーブルまたはネットワークケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていない（データランプ消灯）。 → 「使用できるプリンターケーブル」（184ページ）または「1章 プリンターの設置」（13ページ）を参照して、プリンターケーブルまたはネットワークケーブルの種類を確認後、接続してください。 改ページまたは排出コードがない（データランプ点灯）。 → [シフト] スイッチを押しながら[排出] スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウェアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 用紙がなくなったか、または指定されたサイズ用の紙がない（印刷可ランプ（赤）点滅）。 → 「3章 用紙のセット」（61ページ）を参照して、用紙を補給してください。 印刷可ランプ（赤）が点滅している。 → 「アラーム表示が出ているときは」（128ページ）をご覧ください。 データ受信中（データランプ（橙）点滅） → 本プリンターはページ単位で処理するため、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。もう少しお待ちください。 MultiWriter 6600が「通常使うプリンタ」として選択されていない。 → MultiWriter 6600を「通常使うプリンタ」として選択してください。 コンピューターのメモリーが不足している。 → コンピューターのメモリーを増やしてください。

症状	原因と処理方法
ホッパーにセットした用紙サイズを認識しない	用紙のセットのしかたが悪い。 → 3章の「ホッパーに用紙をセットする」(66ページ)、3章の「大容量ホッパーに用紙をセットする」(70ページ)を参照して、用紙をセットし直してください。 用紙ガイドが正しくセットされていない。 → 3章の「ホッパーに用紙をセットする」(66ページ)、3章の「大容量ホッパーに用紙をセットする」(70ページ)を参照して、サイドガイド、エンドガイドを用紙に合わせてセットし直してください
トレイから印刷ができない	給紙方法が自動またはホッパーになっている。 → プリンタードライバーの給紙方法をトレイに設定し直してください。 用紙のセットのしかたが悪い。 → 3章の「トレイに用紙をセットする」(68ページ)を参照して用紙をセットし直してください。 用紙の設定が間違っている。 → 4章の「スイッチ」(80ページ)を参照して操作パネルでセットした用紙サイズを設定してください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、印刷可ランプ（赤）が点滅し、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回鳴ります。



メモリースイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ホッパ° 1 A4ヨコ ホキユ フツウシ この位置にホッパー番号（1～5）が表示されます。 トレー A4タテ セット フツウシ	用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズ of 用紙がない。 → 表示されているサイズの用紙をそれぞれ指定された場所に補給してください。
ホッパ° 1 A4ヨコ ポート XXXX カクニン この位置に補給する用紙種別が表示されます。	指定された用紙種別とプリンターに設定されている用紙種別が一致していない。 → 表示されている用紙種別と一致する用紙を指定された場所に補給してください。指定された用紙種別がすでに補給されていれば、[印刷可] スイッチを押すことでアラームが解除されます。
72 カバ °ーオーフ°ン XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX この箇所に開いているカバーの名称が表示されます。	カバーが開いている。 → それぞれ指示されたカバーをきちんと閉じてください。 “ホンタイ フロントカバー” “ホンタイ サイドカバー” “ホッパ5 トップカバー” “フィニッシャ フロントカバー” “フィニッシャ トップカバー” “フィニッシャ コンパイルトレー”
74 カミツ° マリ XX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX この箇所に解除箇所が表示されます。	紙づまりが発生している。 → 「紙づまりのときは」（144ページ）を参照して、つまった用紙を取り除いてください。
75 ヨウシサイズ° エラー XXXXX XXXXX この箇所にホッパー番号（1～5）、トレーと解除箇所が表示されます。	指定サイズと異なる用紙がセットされている。 → プリンター内部につまった用紙を取り除いた後、指定サイズの用紙をホッパーまたはトレーにセットして、[印刷可] スイッチを押してください。
76 トナーナシ カートリッジ° コウカン	トナーカートリッジの交換時期を示している。 → 「トナーカートリッジの交換」（111ページ）に従って、トナーカートリッジを交換後、フロントカバーをきちんと閉じて、[印刷可] スイッチを押してください。

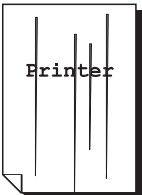
ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
77 テイキホシュ XXX	定期保守(フューザーユニットなどの交換)の必要な時期を示している。 → サービス担当者または販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありません。 [印刷可] スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。 “77 テイキホシュ” アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。
80 ユニット ジュミョウ XXXXX XXXXX 廃トナーがいっぱいになったことで ドラムカートリッジの寿命が発生した 場合は、この箇所にハイトナーが 表示されます。 この箇所にドラムまたはクリーナーが 表示されます。	ユニットの寿命を示している。 → 「6章 日常の保守」(111ページ)を参照して寿命が発生しているユニットを交換し、フロントカバーをきちんと閉じて [印刷可] スイッチを押してください。
81 ユニット ナシ XXXX この箇所にゲンゾウキ、ドラムまたは クリーナーが表示されます。	ユニットが装着されていない。 → 未装着のユニットを装着し、フロントカバーをきちんと閉じてください。「ドラム」表示のとき、ドラムカートリッジナシのままフロントカバーを開閉すると「ドラムタイプチガイ」に表示が変わります。
82 セットフリオウ スタックトレシタカニン	フィニッシャーのスタックカートレーに用紙を排出中、スタックカートレーの下部に放置物があり、下降できない。 → スタックカートレー下部に放置物がある場合は移動してください。
83 ヨウシビ ックミス XXX この箇所にホッパー番号(1~5)、トレイ が表示されます。	用紙ビックミスが発生している。 → この後の「紙づまりのときは」に従って給紙できなかった用紙を取り除いて再度用紙をセットしてください。
84 フォーム オーバ - XXX 指定されたフォーム番号が表示されます。	フォーム登録に必要なメモリーが不足している。 → [印刷可] スイッチを押すことでアラームは解除されますが、表示された番号のフォームデータは登録されません。
85 スタックフル XXX この箇所に トップトレイ、スタックトレイ (フィニッシャー装着時)が表示されます。	フィニッシャーのトップトレイ、スタックカートレーいずれかに規定量を越える枚数の用紙が排出されている。 → 排出されている用紙をすべて取り除いてください。
88 ドラムタイプ チガイ カートリッジ コウカン	ドラムカートリッジのタイプが違う。 → 正しいドラムカートリッジを取り付けてください。
89 トレー ミソウチャク	トレイが装着されていない。 → トレーを装着してください。
上記以外の表示	障害が発生している。 → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口へ修理をお申し付けください。

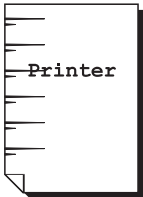
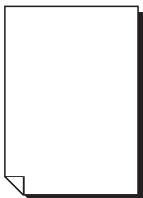
印刷に異常が見られるときは

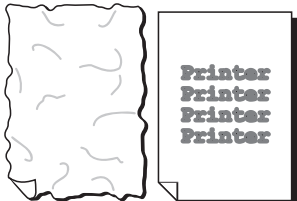
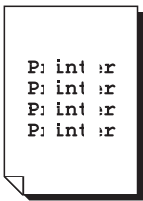
印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

✓
チェック

表に示す対処方法を実施しても現象が変わらない場合は、サービス担当者または保守サービス会社にご連絡ください。

症 状	原因と処理方法
印刷が薄い（かすれる、不鮮明な）とき 	用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → 「3章 用紙のセット」（61ページ）を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → ドラムカートリッジの交換時期です。6章の「ドラムカートリッジの交換」（119ページ）を参照して、ドラムカートリッジを交換してください。 トナーカートリッジ内にトナーが残っていない。 → トナーカートリッジの交換時期です。6章の「トナーカートリッジの交換」（111ページ）を参照して、トナーカートリッジを交換してください。 用紙が規格に合っていない。 → 付録の「用紙の規格」（187ページ）を参照して、用紙を確認してください。 プリンター内部が汚れている。 → プリンター内部の清掃が必要です。サービス担当者または販売店にご連絡ください。 折り目、シワが入った用紙をセットしている。 → 「3章 用紙のセット」（61ページ）を参照して、不良用紙を取り除くか、新しい包装の用紙と交換してください。
黒点が印刷されるとき 	ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → ドラムカートリッジの交換時期です。6章の「ドラムカートリッジの交換」（119ページ）を参照して、ドラムカートリッジを交換してください。 用紙が規格に合っていない。 → 付録の「用紙の規格」（187ページ）を参照して、用紙を確認してください。 クリーニングカートリッジの寿命。 → クリーニングカートリッジの交換時期です。6章の「クリーニングカートリッジの交換」（116ページ）を参照して、クリーニングカートリッジを交換してください。
黒い線が印刷されるとき 	ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → ドラムカートリッジの交換時期です。6章の「ドラムカートリッジの交換」（119ページ）を参照して、ドラムカートリッジを交換してください。

症 状	原因と処理方法
等間隔に汚れがおきるとき 	用紙搬送路に汚れが付着している。 → 数枚テスト印刷をしてください。 ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → ドラムカートリッジの交換時期です。6章の「ドラムカートリッジの交換」(119ページ) を参照して、ドラムカートリッジを交換してください。
黒く塗りつぶされた部分に白点 が現れたとき 	用紙が規格に合っていない。 → 付録の「用紙の規格」(187ページ) を参照して、用紙を確認してください。 ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → ドラムカートリッジの交換時期です。6章の「ドラムカートリッジの交換」(119ページ) を参照して、ドラムカートリッジを交換してください。
指でこするとかすれるとき 	用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → 「3章 用紙のセット」(61ページ) を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 用紙が規格に合っていない。 → 付録の「用紙の規格」(187ページ) を参照して、用紙を確認してください。
用紙全体が黒く印刷されたとき 	ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → ドラムカートリッジの交換時期です。6章の「ドラムカートリッジの交換」(119ページ) を参照して、ドラムカートリッジを交換してください。 高圧電源が故障している可能性がある。 → サービス担当者または販売店にご連絡ください。
何も印刷されない 	一度に複数枚の用紙が搬送されている(重送)。 → 「3章 用紙のセット」(61ページ) を参照して、用紙をセットし直してください。 トナーカートリッジ内にトナーが残っていない。 → トナーカートリッジの交換時期です。6章の「トナーカートリッジの交換」(111ページ) を参照して、トナーカートリッジを交換してください。 ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → ドラムカートリッジの交換時期です。6章の「ドラムカートリッジの交換」(119ページ) を参照して、ドラムカートリッジを交換してください。 高圧電源が故障している可能性がある。 → サービス担当者または販売店にご連絡ください。

症 状	原因と処理方法
部分的に白く抜けるとき 	用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → 「3章 用紙のセット」(61ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 使用している用紙が規格に合っていない。 → 付録の「用紙の規格」(187ページ)を参照して、用紙を確認してください。 冬期はプリンター内部が結露している可能性がある。 → 電源をONにしたまま30分～1時間放置してから印刷してください。 ドラムカートリッジに問題がある可能性がある。 → 6章の「ドラムカートリッジの交換」(119ページ)を参照して、新しいドラムカートリッジと交換してください。
用紙にしわが入ったり、文字がにじむとき 	用紙が規格に合っていない。 → 付録の「用紙の規格」(187ページ)を参照して、用紙を確認してください。 用紙が正しく補給されていない。 → 「3章 用紙のセット」(61ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → 「3章 用紙のセット」(61ページ)を参照して、新しい用紙と交換してください。 高温・高湿や低温・低湿などの環境条件でプリンターを使用する場合は、常温に比べて、用紙が環境の影響を受けやすいため、用紙の保管方法に注意してください。
縦線の形状で白く抜けるとき 	ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → ドラムカートリッジの交換時期です。6章の「ドラムカートリッジの交換」(119ページ)を参照して、ドラムカートリッジを交換してください。
ななめに印刷されるとき 	用紙が規格に合っていない。 → 付録の「用紙の規格」(187ページ)を参照して、用紙を確認してください。 用紙が正しく補給されていない。 → 「3章 用紙のセット」(61ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → 「3章 用紙のセット」(61ページ)を参照して、新しい用紙と交換してください。 ホッパーのサイドガイドが正しい位置にセットされていない。 → 「3章 用紙のセット」(61ページ)を参照して、サイドガイドやエンドガイドを正しい位置にセットしてください。 セットする用紙の量が多すぎる。 → サイドガイドの用紙上限線 (MAX) 以下にセットしてください。

症 状	原因と処理方法
改行量（行の間隔）が2倍になる <pre> 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f </pre>	アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。 → ソフトウェアの用紙サイズ設定と使用する用紙サイズを合わせてください。
1行が2行にわたる <pre> 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f </pre>	→ 他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。A4ポートレート桁の用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピュータの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。
各行の文字が重なって印刷されてしまう <pre> 5 6 3 4 A B C D a b c d </pre>	アプリケーションのプリンター設定が[シリアルプリンター]になっている。 → [ページプリンター] を選択してください。
用紙の途中から印刷が始まってしまう <pre> 1 2 3 A B C a b c </pre>	→ メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。アプリケーションがシリアルプリンター専用で作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央に合わせることで正しい印刷結果が得られるようになります。

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないときは、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症 状	原因と処理方法
電源が入らない	部屋のブレーカーがOFFになっている。 → ブレーカースイッチがOFFになっている原因を調べ、問題がなければONにしてください。 電源コードが抜けている。 → プリンターの電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。その後、プリンターの電源スイッチを入れてください。 電源の電圧が適切ではない。 → 電源が100V、15Aであることを確認してください。プリンターの最大消費電力（約1360W）に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。
正常に印刷できない	他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。 → プリンタードライバーによっては接続先のポート（LPT1:、COM1:など）に対して常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバーのポートを本プリンタードライバーと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバーを削除してください。 プリンターのメモリスイッチ5-1がONになっている。 → PrintAgentの機能（プリンターステータスウィンドウの使用）をご利用になる場合、メモリスイッチ5-1をOFFにしてご利用ください。ただし、お使いのプリンターをPC-PTOSからお使いの場合は、メモリスイッチ5-1をONにする必要があります。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。 → アプリケーションのマニュアルを見て正しく設定してください。ソフトウェアによっては、わずかも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。 プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。 → メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。 → 「用紙の規格」（187ページ）を参照して、規格に合っているか確認してください。 → 本プリンターのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のカット紙プリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 以前使用していたプリンターと本プリンターとの間に印刷位置の互換性がない。 → プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6WなどのNPDLまたはNPDL(Level2)対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。

症 状	原因と処理方法
“データガノコッティマス”を表示したまま印刷を開始しない	改ページコードまたは排出コードがない。 → [印刷可] スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、[シフト] スイッチを押しながら [排出] スイッチを押してください。 → 本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 → なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくで設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただし コンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。 → ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。ソフトウェアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 → また、新たにソフトウェアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード (0Ch) を付加するようにしてください。 コンピューターからのデータ送信が途切れている。 → プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの [タイムアウト設定] の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	自動排出機能が有効になっている。 → メニューモードで自動排出を無効にしてください。 → プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 → また、各 OS でプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各 OS のマニュアルを参照してください。 綴じしろが合っていない。 → 印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	一部のソフトウェアでは、用紙位置が異なる場合がある。 → メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。 → プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	一部のソフトウェアには、ソフトウェアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。 → ソフトウェアの設定で1ページの長さを67行 (A4サイズの場合) に設定してください。

症 状	原因と処理方法
画面の文字と異なる文字が印刷された	ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。 → 「2章 プリンターソフトウェアのインストール」(35ページ)を参照して、ご使用のコンピューターおよびプリンターの指定を確認してください。 適切なエミュレーションモードを選択していない。 → 「メニューモード」(86 ページ)を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。 プリンターケーブルがきちんと接続されていない。 → プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 プリンターバッファや切り替え器を使用している。 → プリンターバッファや切り替え器を使用しない接続方法に変更してください。
両面印刷が正しく機能しない	メニューモード、メモリースイッチが合っていない。 → 給紙先がトレイになっていないか、排出がフェースアップになっていないか確認して、設定し直してください。 セットされている用紙サイズが合っていない。 → セットされている用紙サイズを確認してください。 セットされている用紙の種類が合っていない。 → 3章の「用紙について」(62ページ)を参照して、セットされている用紙の種類を確認してください。
リプリント機能が使用できない	プリンターとコンピューターの双方向通信が設定されていない。 → PrintAgent で双方向通信をサポートする設定になっていることを確認してください。 → ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。 [リプリント機能を使用する] がチェックされていない。 → <Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合> [印刷設定] ダイアログボックスの [メイン] シートを開き、[リプリント] を確認してください。 <Windows Me、Windows 98、Windows95の場合> [プロパティ] ダイアログボックスの [出力制御] シートを開き、[リプリント] を確認してください。 [リプリント機能を提供する] がチェックされていない。 → [PrintAgentのプロパティ] を開き、確認してください。(ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上の [PrintAgentのプロパティ] を開き、設定を確認してください。)
リレー給紙ができない	リレー前とリレーされるホッパー (トレイ) の用紙サイズが違うか、リレー前と後のホッパー (トレイ) が共にリレー ONになっていない。 → 同じサイズ、同じ向きに用紙をセットしてください。メニューモードでリレーしたいホッパーとリレー前のホッパー (トレイ) を共にONにします。 グループホッパーの設定が異なっている。 → 同じグループに設定してください。 リレー前とリレーされるホッパー (トレイ) の用紙種類が違う。 → メニューモードで同じ用紙種類に設定してください。

症 状	原因と処理方法
紙づまりがたびたび発生する	トレーの用紙サイズが合っていない。 → 3章の「用紙について」(62ページ)を参照して、トレーを確認し、正しいサイズの用紙と交換してください。 折り目、シワが入った用紙をトレーに補給している。 → 「3章 用紙のセット」(61ページ)を参照して、新しい包装の用紙と交換してください。 用紙がカールしている。 → 「3章 用紙のセット」(61ページ)を参照して、トレーの用紙を裏返すか、新しい包装の用紙と交換してください。 プリンター内部に、つまった用紙や紙片が残っている。 → 「紙づまりのときは」(144ページ)を参照して、つまった用紙や紙片を取り除いてください。 用紙が湿気を含んでいる。 → 「3章 用紙のセット」(61ページ)を参照して、新しい包装の用紙と交換してください。 規格外の用紙がトレーにセットされている。 → 付録の「用紙の規格」(187ページ)を参照して、規格に合った用紙と交換してください。

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項についてネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項

PrintAgentをインストールまたはアンインストールする時は以下のことに注意してください。

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- [PrintAgent セットアップ] のウィンドウが閉じるまで、CD-ROMやフロッピーディスクなどインストール元のメディアを取り出さないでください。
- PrintAgentのインストールまたはアンインストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- インストール時に指定したPrintAgentソフトウェアのフォルダー（ディレクトリー）名を変更するとアンインストールできません。インストール時のフォルダー（ディレクトリー）名に戻してからアンインストールしてください。
- プリンターのプロパティダイアログボックスを表示している時、およびMultiWriterが印刷中の時、PrintAgentをアンインストールすることができません。プリンターのプロパティダイアログボックスを閉じ、印刷が終了してからアンインストールしてください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、インストールしようとしているコンピューターに他のユーザーがログオンしている場合は、インストールはできません。各ユーザーに切り替えてすべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPにPrintAgentをインストールまたはアンインストールするユーザーは、アカウントの種類が「コンピュータの管理者」である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするには、[Administrators] または [Domain Admins] グループのメンバーである必要があります。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でPrintAgentのインストールする場合、アクセス権により使用可能なユーザーが制限されているフォルダー（ディレクトリー）にインストールしないでください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で「プリンタの追加ウィザード」より、他のコンピューターに接続されたプリンターを指定してインストールしたプリンタードライバをPrintAgentで使用している時に、さらに「プリンタの追加ウィザード」でローカル接続のプリンタードライバをインストールする場合は、「現在のドライバを使う（推奨）」ではなく、「新しいドライバに置き換える」を選択してインストールしてください。

- Windows XP、Windows Server 2003の場合は〔コントロールパネル〕の〔プログラムの追加と削除〕より、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は〔コントロールパネル〕の〔アプリケーションの追加と削除〕より起動したPrintAgentの追加と削除でPrintAgentオプションの追加をすると、セットアップに必要なファイル*1を要求する画面が表示される場合があります。この場合は、以前にインストールで使用したプリンターソフトウェアCD-ROMを挿入するか、もしくはプリンターソフトウェアCD-ROMよりインストールプログラムを実行しカスタムインストールにてPrintAgentのオプションを追加してください。

共有プリンターの利用/提供について

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、共有プリンターの提供の設定は〔コンピュータの管理者〕およびAdministrators権限のある方が変更できます。

〔共有プリンタを利用する〕、〔共有プリンタを提供する〕は、通常はONのままです。支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

• ネットワークの回線速度が遅い

低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、〔PrintAgentのプロパティ〕で〔共有プリンタを利用する〕のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。

• 転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境

転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。

考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。

- ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合

これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。

• コンピューターの処理能力が十分でない

コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

*1 フロッピーディスクをご利用の場合、メッセージに従ってNMPSディスクを挿入してください。

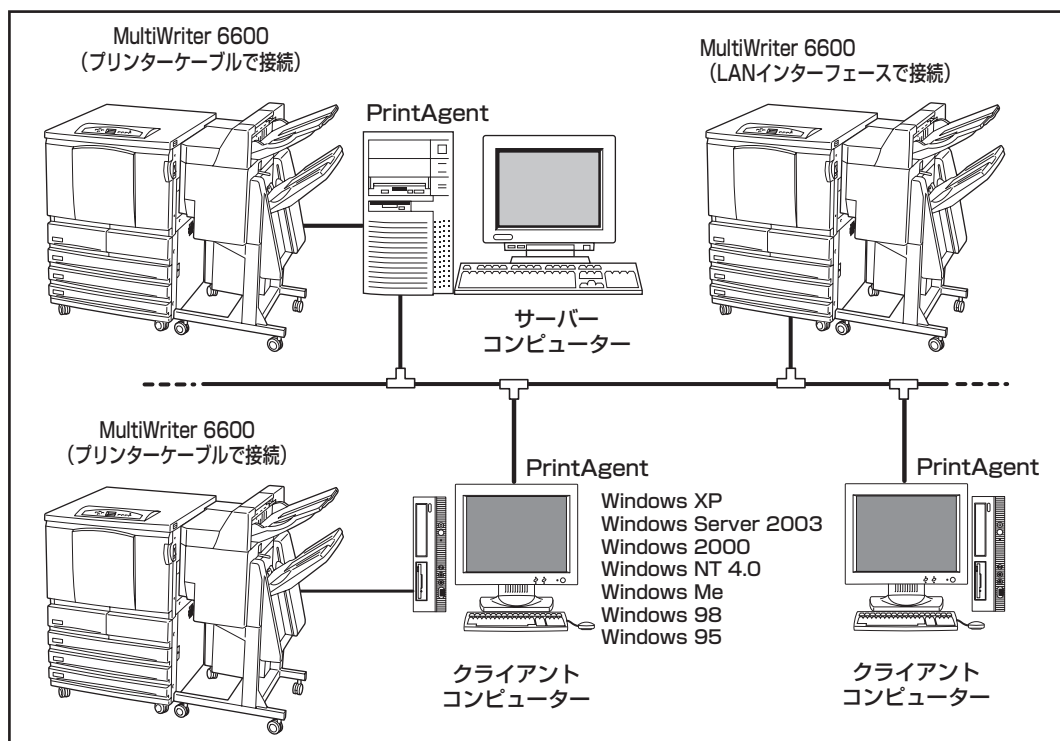
従量課金回線での課金を最小限（印刷時のみ）とするためには

- クライアントコンピューター側で「PrintAgentのプロパティ」の「共有プリンタを利用する」のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で「PrintAgentのプロパティ」の「共有プリンタを提供する」のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、プリンターの「プロパティ」の「詳細」-「スプールの設定」-「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は「プリンタのプロパティ」、Windows NT 4.0の場合は「デバイスプロパティ」の「ポート」-「双方向サポートを有効にする」のチェックを外してご利用ください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください。

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウェアはサーバーコンピューターとクライアントコンピューターの両者にインストールする必要があります。



- 1台のサーバーコンピューターに接続されたクライアントコンピューターの中でPrintAgentを使用するクライアントコンピューターは30台以下を推奨します。サーバーコンピューターの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなる、クライアントコンピューターでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は「PrintAgentのプロパティ」の設定の「共有プリンタを利用する」のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。

- プリントサーバーのコンピューターには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。(Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000日本語版をプリントサーバーコンピューターとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。)

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

- 双方向通信が可能なポートに接続してください。

OS	パラレルインターフェース接続	LAN 接続
Windows XP、 Windows Server 2003、 Windows 2000	LPTx	NEC Network Port
Windows Me、 Windows 98、 Windows 95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port

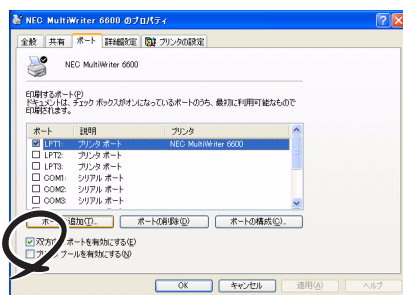


上記の表以外のポートでご利用の場合にはPrintAgentの機能はご利用になれません。双方向通信を無効に設定してください。

- 双方向通信を有効にしてください。

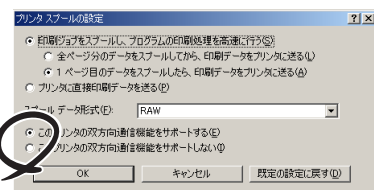
<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合>

[プロパティ] ダイアログボックスの [ポート] シートで [双方向サポートを有効にする] をチェックする。



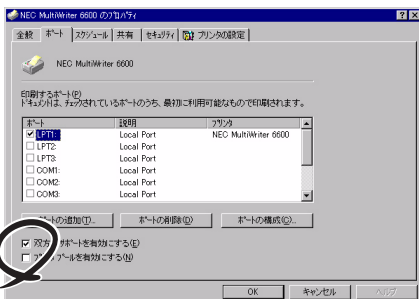
<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

[プロパティ] ダイアログボックスの [詳細] - [スプールの設定] - [このプリンタの双方向通信機能をサポートする] を選択する。



<Windows NT 4.0の場合>

[プロパティ] ダイアログボックスの [ポート] シートで [双方向サポートを有効にする] をチェックする。



7

故障かな?と思ったら

その他の注意事項

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート] - [プリンタープールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタープールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、LANインターフェース、LANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。
- PrintAgentはWindows Server 2003 Enterprise Edition 日本語版、Windows Server 2003, Data Center Edition 日本語版、Windows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Data Center Server、Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0, Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Serviceをインストールしたシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。またこれらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバをお使いください。双方向通信に対応していないプリンタードライバは添付のプリンターソフトウェアCD-ROMの以下に収録しています。

ー Windows Server 2003、Windows 2000対応ドライバ：¥MW6600¥WIN2KTS

ー Windows NT 4.0対応ドライバ：¥MW6600¥NT40TSE

プリンタードライバのインストール方法については、活用マニュアルの3章の「ターミナルサービス用プリンタードライバのインストール」を参照してください。また、OSの「プリンタの追加」機能で上記のフォルダーを指定することでプリンタードライバのインストールを行うこともできます。

- PrintAgent をインストール時に指定する PrintAgent モジュールのフォルダー名（指定しなければ「PrintAgent」になります）はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。Windows 3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などになってしまう場合があります。
- プリンターソフトウェアをインストールする際に指定する出力ポート（インターフェースコネクタ）に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート（インターフェースコネクタ）からプリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファなどを取り外してお使いください。
- コンピューターのOSがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなど同一の割り込み要求（IRQ）に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースのIRQを解放し、ネットワークアダプターで使用するIRQと競合しないように設定を変更してください。IRQの解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターのマニュアルまたは各OSのヘルプ等を参照してください。

- ドメインに参加していないWindows XPをプリントサーバーとしてご使用の場合、プリンタステータスウィンドウやリプリントが正しく動作しない場合があります。

PrintAgentの動作中は

コンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgentとプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティ（DMIToolなど）を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。（例えば、コンピューターはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。）双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照して、プリンターポート（パラレルポート）の設定を変更するか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには「メニューモード」（86ページ）を参照してください。

OSをアップグレードする場合

お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- OSをアップグレードする前に、2章の「プリンタードライバーの削除」（54ページ）、「PrintAgentの追加・削除」（56ページ）の手順に従ってプリンタードライバーおよびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウェアをインストールしてください。
- 従来OS用のPrintAgentはWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000では使用できません。Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0、Windows 3.51からWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードする場合は、PrintAgentをアンインストールしてからWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000へのアップグレードを行ってください。OSのアップグレードが正しく行えた後に、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000に対応したPrintAgentをインストールし、使用してください。



チェック

- アップグレード前のOSがWindows NT 3.51で、他のMultiWriterシリーズやPrintAgent対応プリンターのPrintAgentをインストールしてご使用の場合、PrintAgentをアンインストールした後、Windows 2000へのアップグレードを行うと、正しくアップグレードできないことがあります。できなかった場合には、「PrintAgent Eraser」をWindows NT 3.51上で使用して、PrintAgentを削除してください。
- すでにOSをWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードしてしまった場合、PrintAgentをアンインストールせずにWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000上で「PrintAgent Eraser」を使用してPrintAgentを削除してください。
- 「PrintAgent Eraser」は、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されている「¥PAEraser¥Readme.txt」をご覧ください。

7

故障かな？と思ったら

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、操作パネルの印刷可（赤）ランプが点滅し、ディスプレイに“74 カミヅマリ”、または“83 ヨウシピックミス”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態になります。



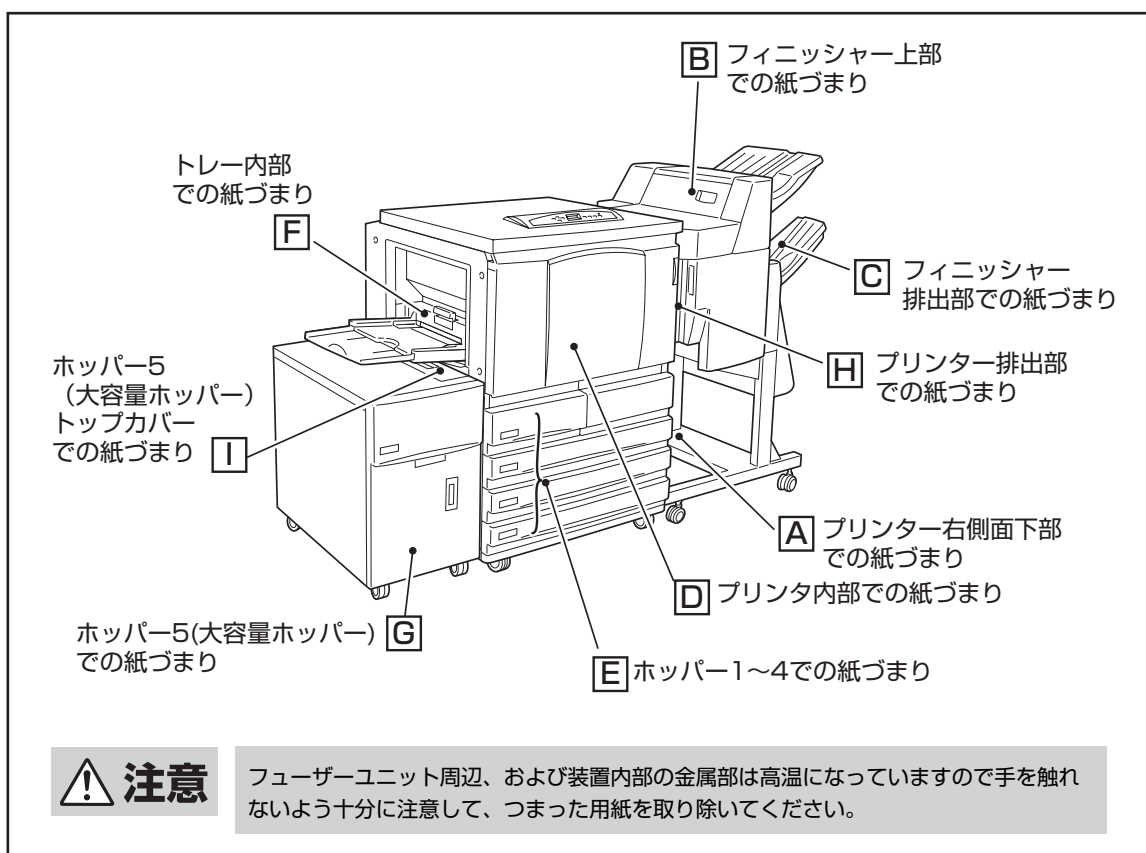
紙づまりの発生箇所

紙づまり、またはピックミス（用紙給紙ミス）のときのディスプレイ表示と発生箇所は次の表のとおりです。ディスプレイ下段の表示は紙づまり、またはピックミス（用紙給紙ミス）が発生している箇所を表しています。

ディスプレイ表示		紙づまり発生箇所
上段	下段	
“74 カミヅマリ”	“ホンタイ フロントカバー”	D、E
	“ホンタイ サイドカバー”	A
	“ホンタイ テンシャキ”	D
	“ホンタイ ティチャクキ”	D
	“ホンタイ ハイシュツブ”	H
	“ホンタイ トレー”	F
	“ホッパ5 トップカバー”	I
	“フィニッシャ トップカバー”	B
	“フィニッシャ コンバイルトレー”	C
	“ホッパ1”	E
	“ホッパ2”	E
	“ホッパ3”	E
	“ホッパ4”	E
	“ホッパ5”	G

ディスプレイ表示		紙づまり発生箇所
上段	下段	
“83 ヨウシピックミス”	“ホッパ1”	[E]
	“ホッパ2”	[E]
	“ホッパ3”	[E]
	“ホッパ4”	[E]
	“ホッパ5”	[G]
	“トレー”	[F]

ディスプレイに表示された紙づまり発生箇所から、次の図を参考にしてみつかった箇所を調べてください。みつかった箇所に応じて、146ページからの手順に従って用紙を取り除いてください。複数の箇所に用紙がつかまっているときは、カバーを開めた後、ディスプレイで表示する発生箇所が変わります。その場合は手順に従い、再度用紙を取り除いてください。



紙づまりの発生箇所

紙づまりの処理

発生箇所（**A**、**B**、**C**、**D**、**E**、**F**、**G**、**H**、**I**）に応じて、紙づまりの処理をしてください。

つまった用紙を取り除くことができたなら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

紙づまりが頻発するようでしたら「ピックアップミス、紙づまり処理後の確認」（156ページ）を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。



チェック

- つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。



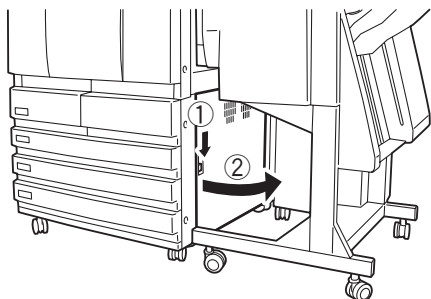
注意

- 高温注意を促すラベルが貼ってある箇所（フューザーユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどのおそれがあります。
- なお、フューザーユニットに用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、ただちに電源を切り、サービス担当者またはお買い求めの販売店にご相談ください。

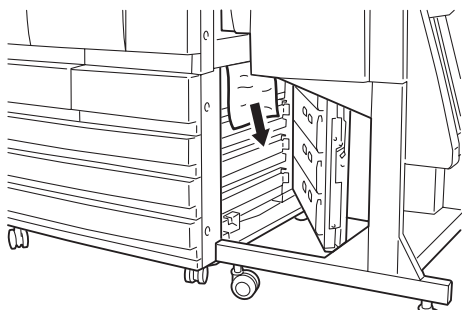
A プリンター右側面下部での紙づまり

プリンター右側面下部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

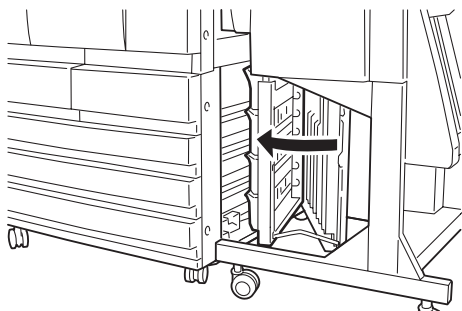
- ① プリンターのサイドカバーを開く。内側のカバーも同時に開く。



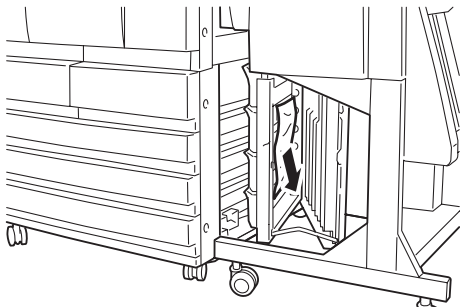
- ② つまった用紙をゆっくり取り除く。



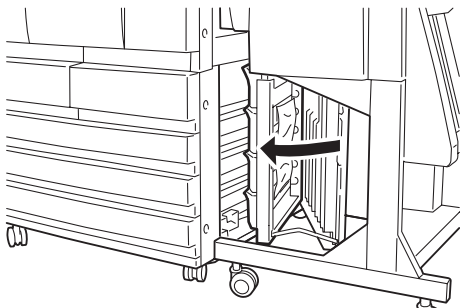
- ③ 取り除けない場合は、サイドカバーの内側のカバーを十分に開く。



- ④ つまっている用紙をゆっくり取り除く。



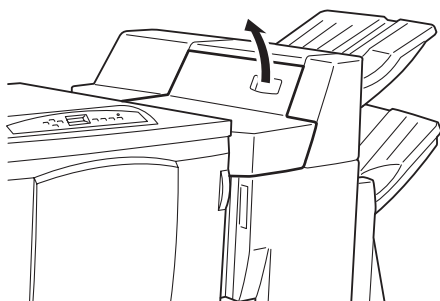
- ⑤ プリンターのサイドカバーを閉じる。



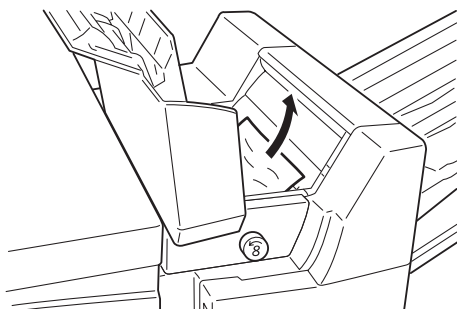
B フィニッシャー上部での紙づまり

フィニッシャー上部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

- ① フィニッシャー トップカバーの取っ手を持ち、トップカバーを開く。



- ② つまった用紙を取り除く。



- ③ 取り除きにくい場合は、手前のノブを左方向に回して、用紙を送り出す。



- ④ フィニッシャー トップカバーを閉じる。

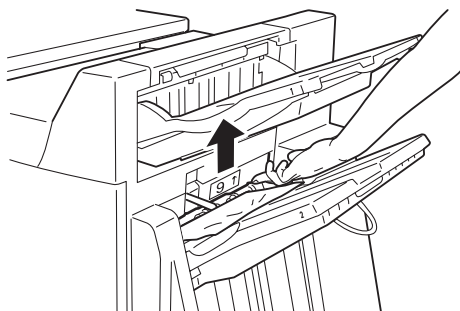
—  チェック —

カバーを完全に閉じないと、メッセージが表示され、プリンターが作動しません。また、ほかの箇所に用紙がつまんでいると、別のメッセージが表示されます。

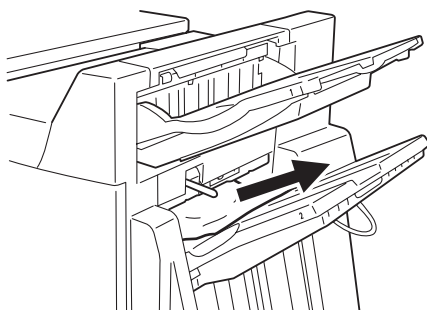
C フィニッシャー排出部での紙づまり

フィニッシャー排出部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

- ① フィニッシャーのスタックートレーの奥にある排出口カバーを持ち上げる。



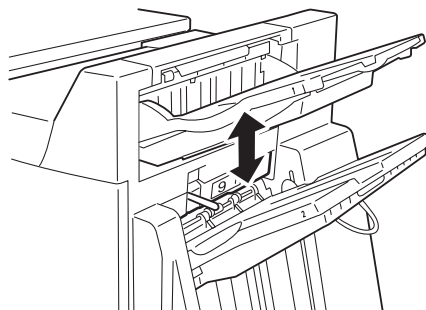
- ② つまった用紙を取り除く。



- ③ 取り除きにくい場合は、フィニッシャーのフロントカバーを開き、ノブを左方向へ回して、用紙を送りだす。用紙を取り除いたあとは、フロントカバーを閉じる。



- ④ つまっている用紙を取り除いてもメッセージが表示されている場合は、もう一度、排出口カバーを上げ下げする。



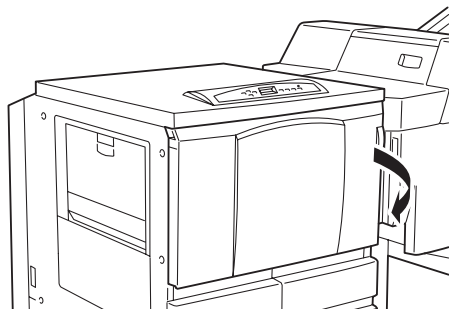
7

故障かな?と思ったら

□ プリンター内部での紙づまり

プリンター内部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

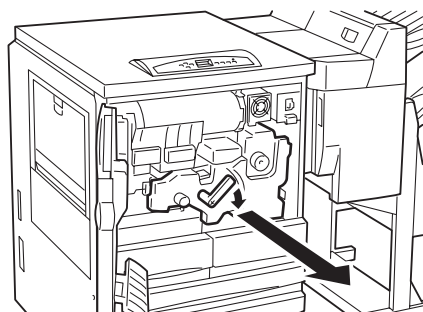
- ① プリンターのフロントカバーを開く。



- ② フューザーユニットの中央にある緑色のレバーを時計回りに水平になるまで回して、手前に止まるところまでフューザーユニットを引き出す。

⚠ 注意

フューザーユニットを引き出すときは、指をはさまないようご注意ください。

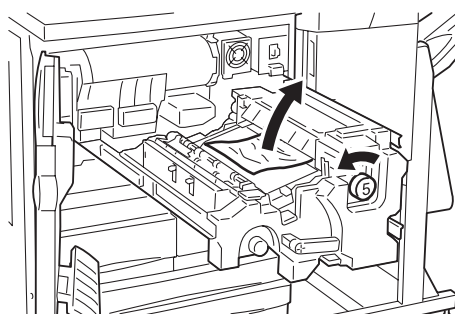


- ③ フューザーユニット上部および右側につまっている用紙を取り除く。

- ④ 取り除きにくい場合は、ノブを左方向へ回して用紙を送り出す。

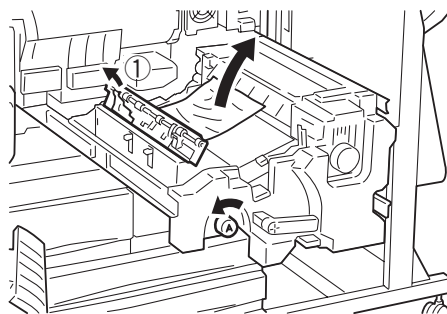
⚠ 注意

- フューザーユニットの奥に手を入れないでください。ケガや指をはさむ原因となるおそれがあります。
- 「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所（フューザーユニットやその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

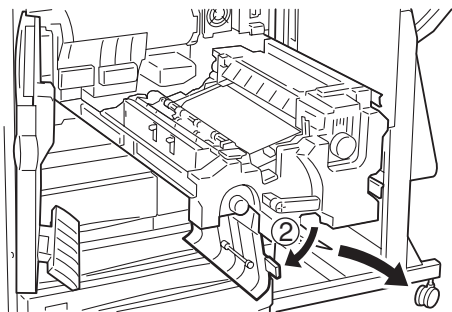


- ⑤ ①を左方向に開けながら、つまっている用紙を取り除く。

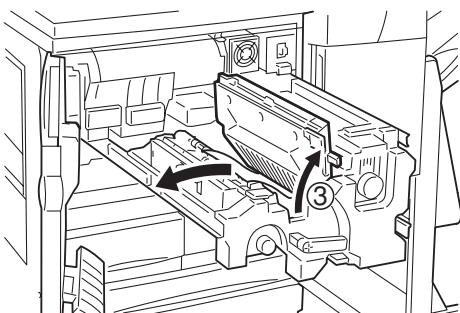
- ⑥ 取り除きにくい場合は、ノブAを反時計回りに回して用紙を送り出す。



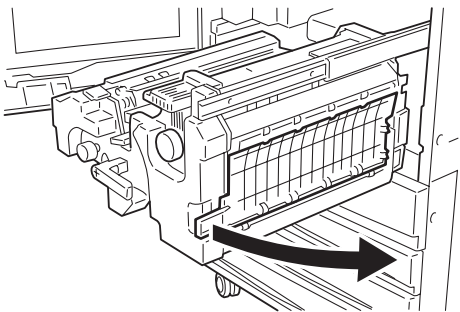
- 7** ②を下方へ開きながら、つまっている用紙を取り除く。



- 8** ③を上方向へ開きながら、つまっている用紙を取り除く。

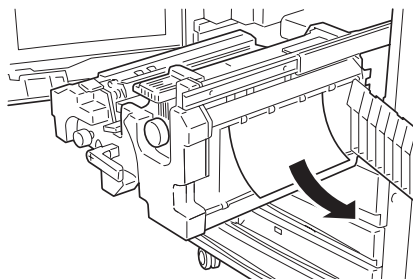


- 9** フューザーユニットの右側にあるタブを、右方向へ開く。



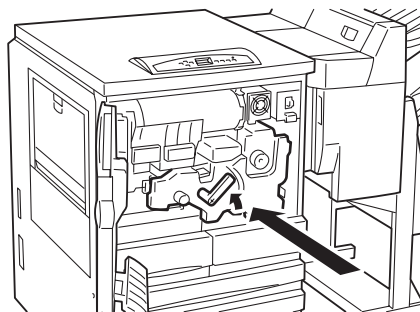
✓ **チェック**

つまっている用紙がある場合は、下方へ引っばって取り除いてください。

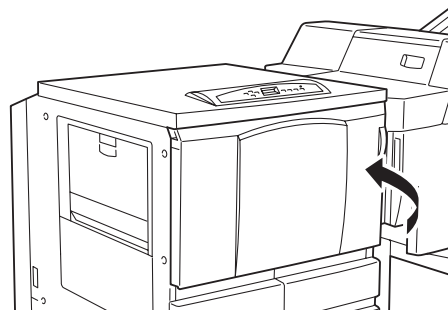


- 10** フューザーユニットの右側のタブを閉じ、フューザーユニットを完全に奥まで押し込み、中央のレバーを「カチッ」と音がするまで反時計回りに回す。

レバーを回せない場合は、フューザーユニットを途中で引き出してから再度押し込みます。



- 11** プリンターのフロントカバーを閉じる。



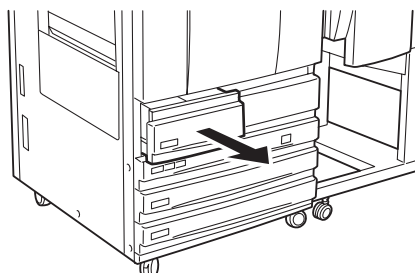
7

故障かな?と思ったら

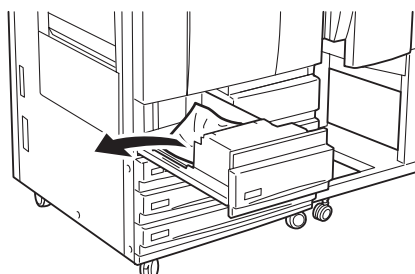
【E】 ホッパー 1～4の紙づまり

ホッパー 1～4で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

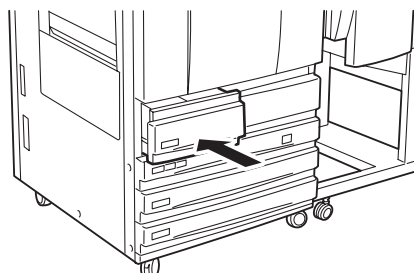
- ①** ディスプレイに表示されているホッパーを引き出す。



- ②** つまった用紙を取り除く。



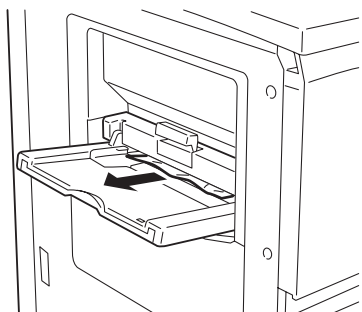
- ③** 奥に突き当たるまで、ホッパーをゆっくりと押し込む。



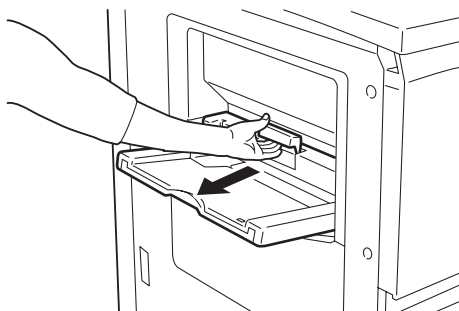
F トレー内部での紙づまり

トレー内部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

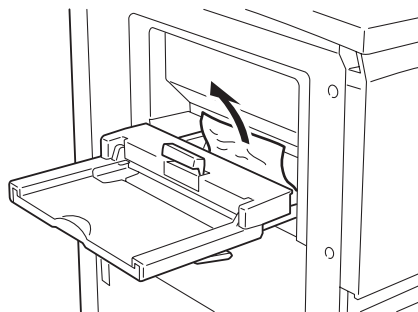
- ① トレーから、送りかけのつまった用紙を取り除く。



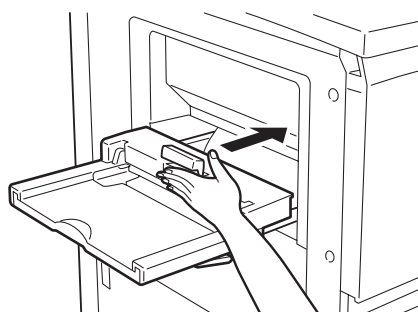
- ② 中央にあるレバーを左方向へ動かして、トレー全体が止まるところまで引き出す。



- ③ つまっている用紙を取り除く。



- ④ 奥に突き当たるところまでトレーを押し込んで戻す。



7

故障かな?と思ったら

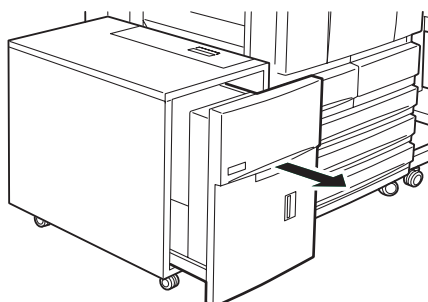
G ホッパー 5（大容量ホッパー）での紙づまり

ホッパー 5（大容量ホッパー）で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

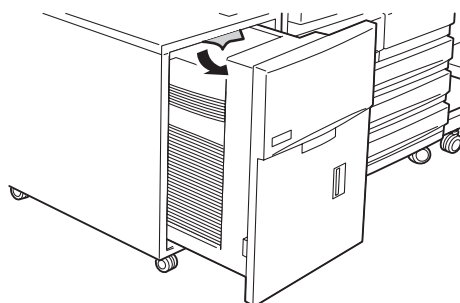
⚠ 注意

大容量ホッパーを引き出すときはゆっくりと引き出してください。ホッパーを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

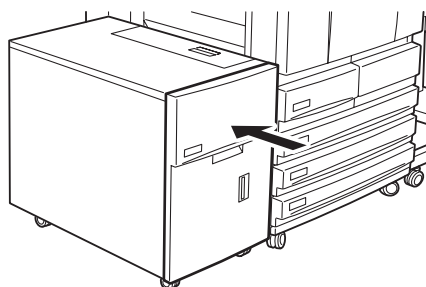
① ホッパー 5を引き出す。



② つまっている用紙を取り除く。



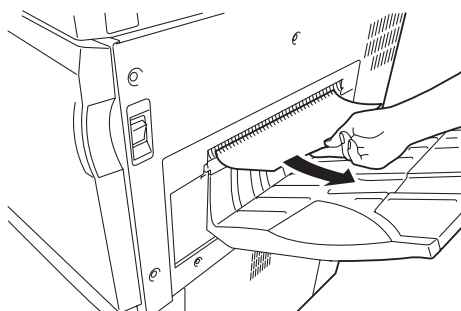
③ 奥に突き当たる場所まで、ホッパー5をゆっくり押し込む。



H プリンター排出部での紙づまり

プリンター排出部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

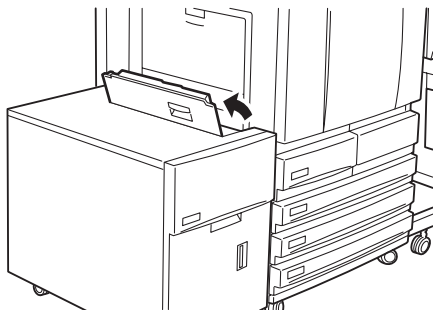
① 本体排出部にあるつまった用紙を取り除く。



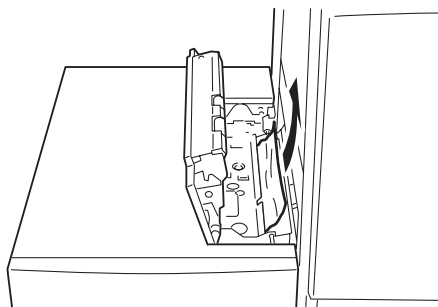
I ホッパー 5（大容量ホッパー） トップカバーでの紙づまり

ホッパー 5（大容量ホッパー）で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

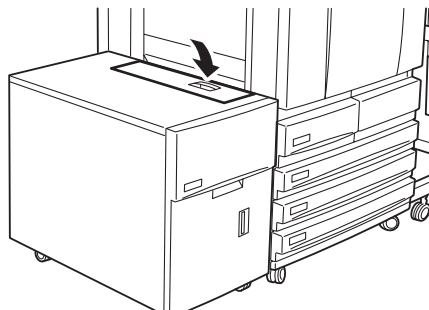
- ① ホッパー 5のトップカバーを開ける。



- ② つまっている用紙を上に引き上げて取り除く。



- ③ ホッパー 5のトップカバーを閉じる。



ピックアップ、紙づまり処理後の確認

給紙できなかった用紙または、つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために次の事項を確認してください。

- ☐ 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- ☐ 用紙は正しくセットされていますか。
- ☐ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、付録の「用紙の規格」（187 ページ）に記載されている事柄は守られていますか。
- ☐ 用紙の量が多すぎませんか。サイドガイドの用紙上限表示（▽）以下にセットされていますか。（坪量 64.0g/m²（連量55kg）の普通紙で、ホッパー 1は1000枚、ホッパー 2～4は500枚です。）
- ☐ 一度印刷した用紙を使用していませんか。
- ☐ プレ印刷用紙（すでに罫線などが印刷されている用紙）を使用していませんか。
- ☐ カバーは確実に閉じられていますか。
- ☐ ホッパーまたは大容量ホッパーが奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- ☐ ホッパーまたは大容量ホッパー内のサイドガイドが用紙サイズに合っていますか。
- ☐ トレーにセットした用紙サイズと〔トレー〕スイッチで選択した用紙サイズは合っていますか。

上記の確認後、以下の手順に従ってテスト印刷をし、印刷が正しく行われることを確認してください。（紙づまり処理直後はローラーなどに付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。）

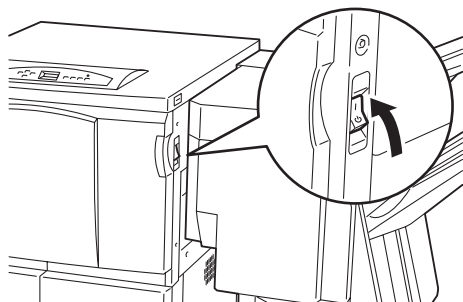
テスト印刷

① 電源スイッチをONにする。

ディスプレイに次のメッセージが順に表示されます。

イニシャライズ チュウ

ホッパ 1 A4ヨコ ホート
ウォームアップ チュウ



② 印刷可ランプが点灯することを確認する。



ホッパ 1 A4ヨコ ホート
フツウシ NPDL

③ 操作パネルの〔印刷可〕スイッチを押す。

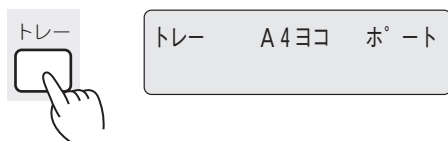
印刷可ランプが消灯します。



ホッパ 1 A4ヨコ ホート
NPDL

4 トレーに用紙をセットした場合は、ここで「[トレー]」スイッチを押し、印刷する用紙のサイズを選択する。

トレーが選択され、ディスプレイには「トレー」と表示されます。

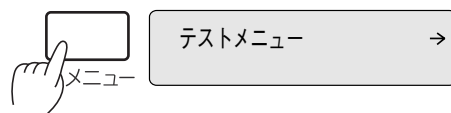


✓ チェック

- トレーの場合は、自動的に用紙サイズを検出しないので、「[トレー]」スイッチで用紙サイズを選択してください。
- トレーにセットする用紙が OHP フィルムや厚紙、ラベル紙の場合は、「メニューモード設定項目一覧」(87ページ)を参照して、メニューモードの「[トレーヨウシシュベツ]」項目で用紙種別の設定を行ってください。
- スイッチで選択した用紙サイズよりも小さい用紙に印刷したり、用紙のセット方向を間違えて印刷すると、用紙をはみ出して印刷してしまい、プリンター内部のローラーを汚す原因となります。ローラーが汚れてしまったときはテスト印刷を数枚行い、汚れを取り除いてください。

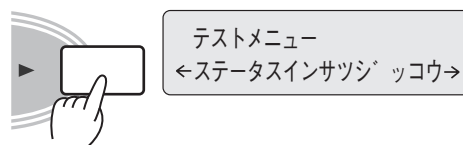
5 「[メニュー]」スイッチを押す。

ディスプレイには「テストメニュー →」と表示されます。



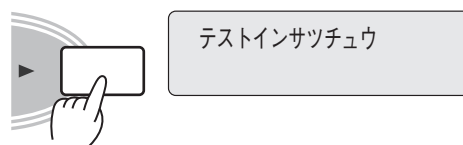
6 「[▶]」スイッチを押す。

ディスプレイ下段には「←ステータスインサツジッ コウ→」と表示されます。



7 「[▶]」スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには「テストインサツチュウ」と表示されます。



8 印刷結果を確認する。

プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、プリンターから付属品、消耗品およびオプションを取り外す必要があります。

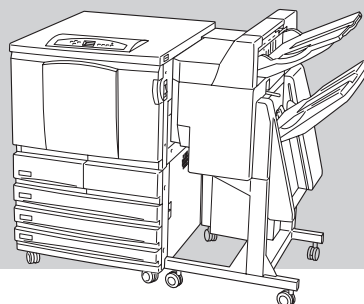
取り外し作業はサービス担当者が行いますので、添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

プリンター・消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、クリーニングカートリッジを取り外してお出してください。
- NEC製ドラムカートリッジ、トナーカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのNEC製ドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、クリーニングカートリッジは捨てずに回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際は損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。回収については、6章の「使用済み消耗品の回収について」（122ページ）を参照してください。
- 本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要となった際には、資源回収またはリサイクルにお出してください。

8章

ユーザーサービス



NECはMultiWriter 6600の「お客様登録」をされた方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサービスをお受けになる前に、ここで説明している保証およびサービスの内容について確認してください。

- お客様登録申込書について 160ページ
- 保証について 160ページ
- 保守サービスについて 161ページ
- プリンターの寿命について 161ページ
- 補修用性能部品および消耗品について 161ページ
- ユーザーズマニュアルの再購入について 162ページ
- 情報サービスについて 162ページ
- プリンターソフトウェアをフロッピーディスクで必要な場合 162ページ

お客様登録申込書について

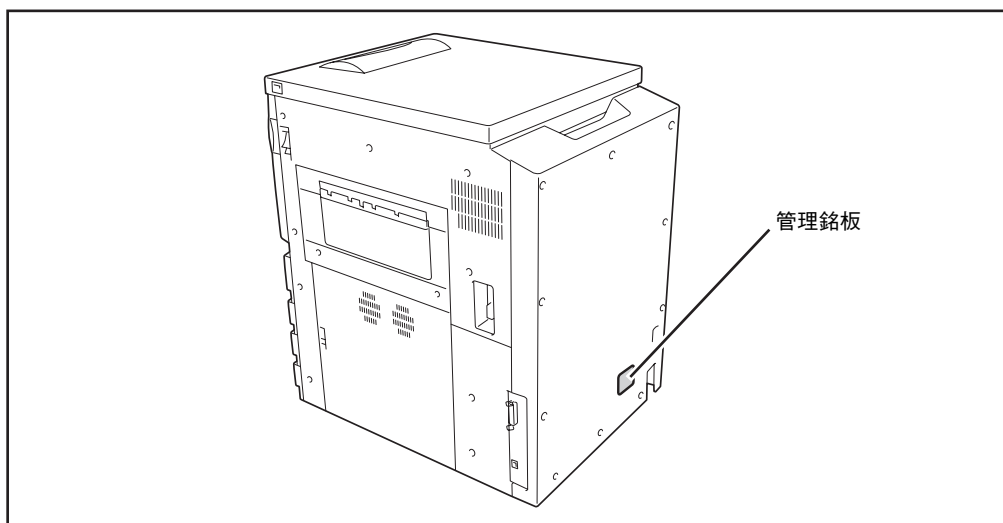
添付の「お客様登録申込書」に記載されている事項をよくお読みになり、登録してください。

保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

✓ チェック

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



管理銘板の位置

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- 契約保守 年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理 サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

保守サービスの種類

種 類	概 要	修理料金		お支払い方法	受付窓口* ¹
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合がありますのでご了承ください。) 保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールドینگ（株）
出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、引き取りさせていただいて修理する場合がありますのでご了承ください。) ご契約は不要です。	無料* ²	修理料 + 出張料	そのつど清算	

*¹ 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NEC サービス網一覧表」もしくは、インターネットのWeb ページアドレス <http://www.fielding.co.jp/per/index.htm> をご覧ください。

*² 本製品は「出張修理対象品」のため、保証期間内での出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンターの寿命について

MultiWriter 6600の製品寿命は、印刷ページ数が500万ページ、または使用年数5年のいずれか早いほうです。定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターでコピー版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、プリンターの型番が必要になりますので、あらかじめお調べの上お申し込みください。

プリンターの型番 PR-L6600

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、型番をメモしておくようにしてください。

NEC PCマニュアルセンター

URL : <http://pcm.mepros.com>

電話 : 03-5471-5215

受付時間 月曜から金曜 10:00~12:00/13:00~16:00
(土曜、日曜、祝祭日を除く)

FAX : 03-5471-3996

受付時間 24時間 (ただし、いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降になります。)

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報
インターネット「NEC8番街」 URL : <http://nec8.com/>

- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談

NEC 121コンタクトセンター

(電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。)

プリンターソフトウェアをフロッピーディスクで必要な場合

通常プリンターソフトウェアのインストールは添付のCD-ROMから行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに収録されているプリンターソフトウェアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。フロッピーディスクの作成手順については次ページの「FD作成 (インストール媒体の作成)」をご覧ください。

もし「CD-ROMドライブを持っていない」などでフロッピーディスクにコピーできない場合は、あらかじめ以下の必要事項を調べていただいた上で、最寄りのPCクリーンスポットまでご連絡ください。PCクリーンスポットの連絡先は、添付の「NECサービス網一覧表」をご覧ください。無償でご希望のフロッピーディスクをお送りします。

必要事項

- | | |
|----------------|--|
| ① プリンターの名称 | MultiWriter 6600 |
| ② フロッピーディスクタイプ | 3.5インチ型の1.44MBタイプ*1、または3.5インチ型の1.2MBタイプ*2 |
| ③ ご住所 | |
| ④ ご氏名 | |
| ⑤ ご連絡先 | 昼間ご連絡がとれる電話番号をお知らせください。また自宅が勤務先かも明記してください。 |

*1 PC98-NX シリーズを含む IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 対応機) に対応

*2 PC-9800 シリーズに対応

FD作成（インストール媒体の作成）

「FD作成」はプリンターソフトウェアCD-ROMの内容を任意の項目で構成し、フロッピーディスク、またはハードディスクなど任意の媒体にインストール用のプリンターソフトウェアをコピーする機能です。コピーされる形式は次の2通りです。

- マスターとして 本プリンター用プリンターソフトウェアをすべてコピーします（1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスクが8枚が必要です）
- 「カスタム」インストール用として 機能を選択して、インストール用のプリンターソフトウェアをコピーします。（1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスクが8枚が必要です）

プリンターソフトウェアをコピーしたハードディスクを他のコンピューターも共有できるようにしておけば、CD-ROMを使わずにネットワークを介してプリンターソフトウェアをインストールすることができます。複数台のコンピューターに同じ内容のソフトウェアを短時間にインストールしたい場合などに便利です。

ここでは、Windows XP環境でFD作成をする手順を説明します。他のOSにおいても同様の手順です。



Windows XPをお使いの場合は、アカウントの種類が「コンピュータの管理者」のユーザーが設定してください。Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0をお使いの場合は、Administrators権限を持つユーザーが設定してください。

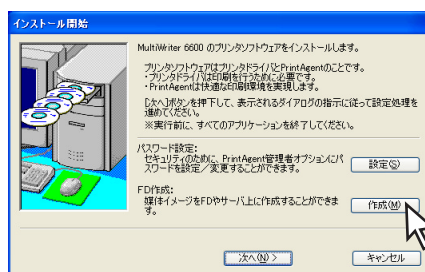
① プリンターソフトウェアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。各OSのインストール方法を参照してください。

- ① 左側のボタンから「インストール」を選択します。
- ② [MultiWriter 6600] を選んで「インストール開始」をクリックします。



② FD作成の「作成」をクリックする。

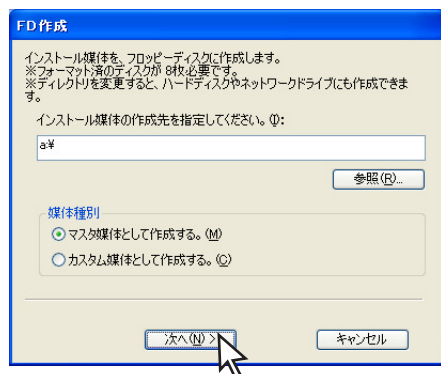


③ インストール媒体の作成先、媒体種別を指定し、「次へ」をクリックする。

作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウェアがフロッピーディスクにコピーされます。

インストール媒体作成先に、ハードディスク、ネットワークパスを指定することができます。

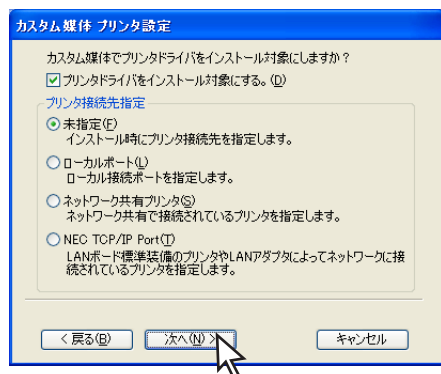
「[マスタ媒体として作成する。]」を選ぶとCD-ROMと、同様の内容をすべてコピーします。



「[マスタ媒体として作成する]」を選んだ場合
手順⑦へ進んでください。

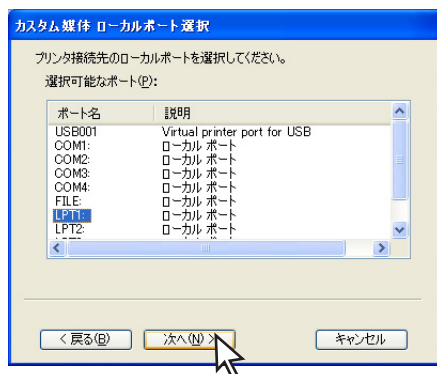
「[カスタム媒体として作成する]」を選んだ場合
手順④へ進んでください。

- 4** プリンタードライバーのインストール、プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。

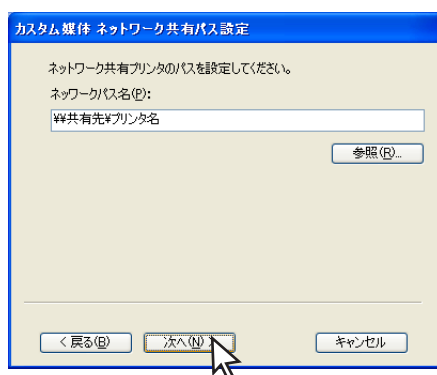


「[未指定]」を選んだ場合
手順⑤へ進んでください。

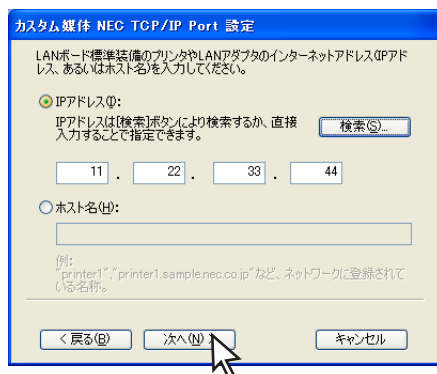
「[ローカルポート]」を選んだ場合
希望するポートを選び、[次へ]をクリックする。



「[ネットワーク共有プリンタ]」を選んだ場合
プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。



「[NEC TCP/IP Port]」を選んだ場合
LANインターフェースのIPアドレスあるいは、ホスト名を設定して [次へ] をクリックする。

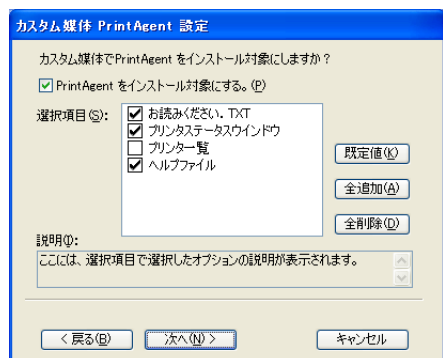


5 任意の機能を選ぶ。

[全追加] をクリックするとすべてチェックされます。
[全削除] をクリックするとすべてチェックが外れます。

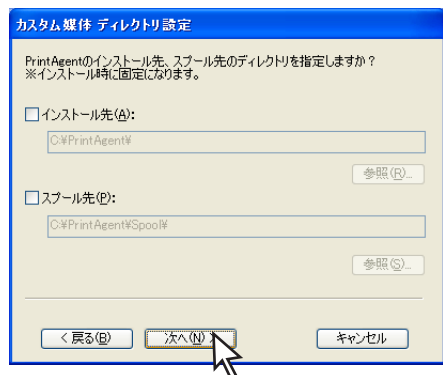
—  チェック —

ここで選択されなかった機能はクライアントでインストールした後に、クライアントで追加を行おうとしても追加できません。
インストールした機能のみ削除できます。

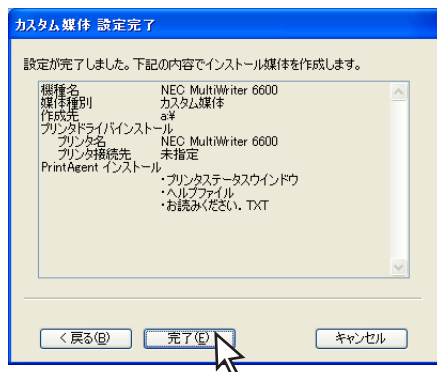


6 インストール先、スプール先を指定し、[次へ] をクリックする。

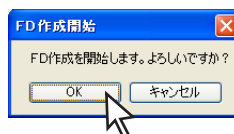
ここであらかじめインストール先を固定しておけば、個々のコンピュータからインストールするときの手順が簡略化できます。



7 設定した内容を確認し、[完了] をクリックする。

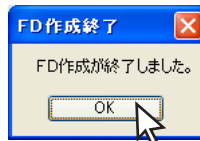


8 [OK] をクリックする。



インストール媒体の作成が始まります。

9 [OK] をクリックする。



—  チェック —

FD 作成によって作成されたフロッピーディスクは、以下のような構成になります。

Disk 1: インストールプログラム

Disk 2: Windows Me/98/95 プリンタードライバー

Disk 3: Windows NT 4.0 プリンタードライバー

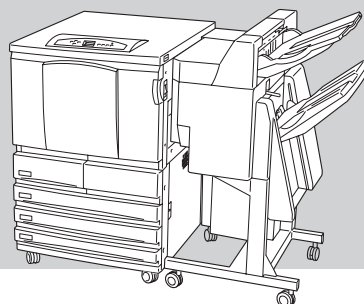
Disk 4: Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 プリンタードライバー

Disk 5～8: PrintAgent ソフトウェア

作成したフロッピーディスクでプリンターソフトウェアのインストールを行うには、Disk 1 にある SETUP.EXE を実行してください。

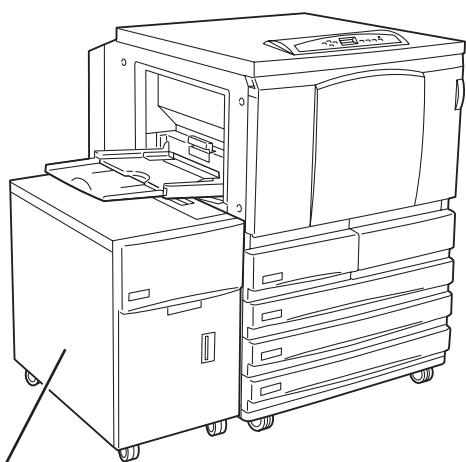
9章

オプション

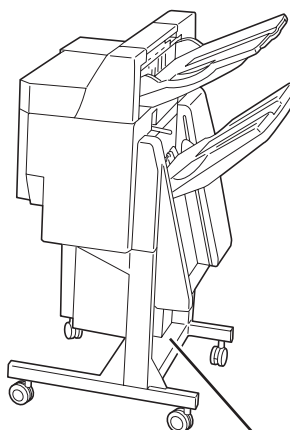


この章では、MultiWriter 6600用として提供される別売品（オプション）を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

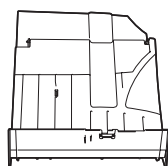
- オプション品の紹介 169ページ
- 大容量ホッパー 173ページ
- フィニッシャー 177ページ
- 排紙トレイ 178ページ
- LANアダプター 179ページ
- 増設メモリー 181ページ
- ハードディスク 183ページ
- 使用できるプリンターケーブル 184ページ



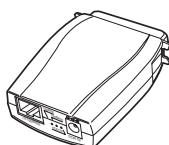
大容量ホッパ
(型番PR-L6600-03)



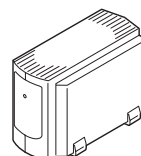
フィニッシャ
(型番PR-L6600-FS)



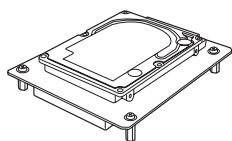
排紙トレイ
(型番PR-L6600-ST)



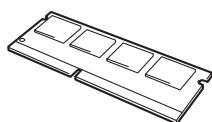
マルチプロトコルLANアダプタ
(型番PR-NPX-05)



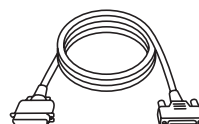
無線LANプリンタアダプタ
(型番PR-WL-01)



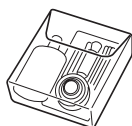
ハードディスク
(型番PR-L4550-HD)



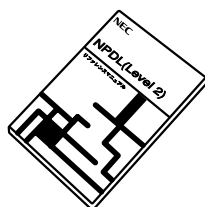
増設メモリ
(型番PR-MW-M022)
(型番PR-MW-M023)
(型番PR-MW-M024)



プリンターケーブル
(詳細は184ページ参照)



クリーニングキット
(型番PC-PR601-14)



NPD (Level 2)
リファレンスマニュアル
(型番PC-PRNPD2-RM)

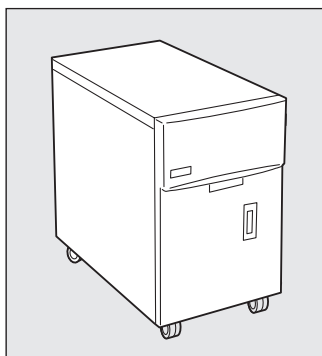
オプション一覧

オプション品の紹介

オプション品のご購入については、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などにお問い合わせください。

オプション

大容量ホッパ(型番 PR-L6600-03)

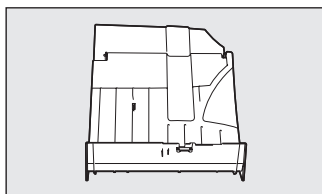


大容量ホッパーにセットできる用紙は、A4、B5、レターサイズ of 用紙で最大4,200枚 (64g/m²) までセットすることができます。用紙サイズを自動的に認識することができます。

用紙サイズラベルが添付されています。

項目	型番 PR-L6600-03
サイズ	350(W)× 652(D)× 580(H) mm
質量	45kg
用紙種類 サイズ	普通紙、厚紙：A4、B5、レター、ラベル紙 (A4)
用紙坪量	64~150g/m ²
給紙容量	最大4200枚 (64g/m ²)

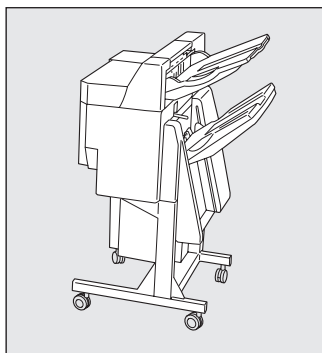
排紙トレイ (型番 PR-L6600-ST)



用紙をスタックするためのトレイです。最大500枚 (64g/m²) スタックできます。

項目	型番 PR-L6600-ST
サイズ	330(W)× 360(D) × 230(H) mm
質量	約1.5kg

フィニッシャ (型番 PR-L6600-FS)



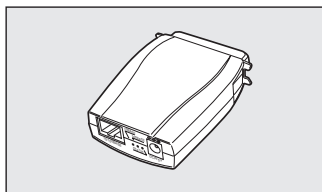
A4サイズ横置きでトップトレイは最大500枚 (64g/m²)、スタックカートレイは最大2,100枚 (64g/m²)、大容量排紙ができます。

オフセット排紙機能*があります。

項目	型番 PR-L6600-FS
サイズ	700(W)× 650(D)× 1110(H) mm
質量	約55kg
用紙サイズ	トップトレイ：A3、B4、A4、B5、A5、レター、はがき スタックカートレイ：A3、B4、A4、B5、レター
用紙坪量	トップトレイ：64~197g/m ² スタックカートレイ：64~150g/m ²
排紙容量	トップトレイ：最大500枚 (64g/m ²) スタックカートレイ：2,100枚 (64g/m ² 、A4サイズ以下のとき)
後処理機能	オフセット排紙

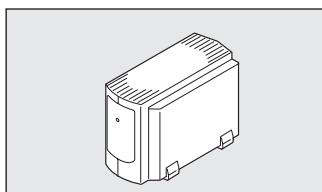
* 印刷ジョブごとに用紙を左右にずらしてトレイに排出する機能です。

マルチプロトコルLANアダプタ(型番PR-NPX-05)



100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、プリンターのパラレルインターフェースに直接接続する外付けLANアダプターです。本プリンターアダプターはPrintAgent、NEC Internet Printing System (IPP)、NEC TCP/IP Port、SNMP (Printer-MIB) には対応していません。詳しくはPR-NPX-05のセットアップガイドをご覧ください。

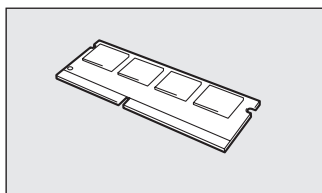
無線LANプリンタアダプタ(型番 PR-WL-01)



WindowsのTCP/IPプロトコルに対応している外置き型の無線LANプリンタアダプタです。

増設メモリ(128MB)(256MB)(512MB)

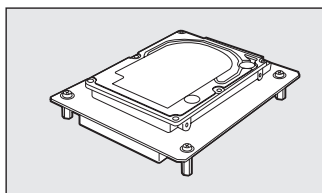
(型番 PR-MW-M022、PR-MW-M023、PR-MW-M024)



このボードは、DDR SDRAMを搭載したDIMMです。MultiWriter 6600には、128MB、256MB、512MBの最大2枚の組み合わせで、取り付けることができます（出荷時は128MBの1枚が実装されています）。取り付けにより次の効果があります。

- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファの拡大

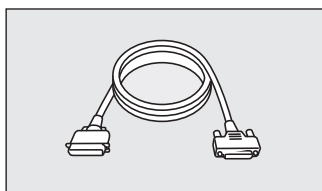
ハードディスク(型番 PR-L4550HD)



プリンター本体に内蔵することにより、より強化された電子ソート機能が可能となります。電子ソートとは、印刷データの複数部コピー要求があった場合にプリンター内部で部数毎に印刷を繰り返し、1つのトレイに出力する機能です。

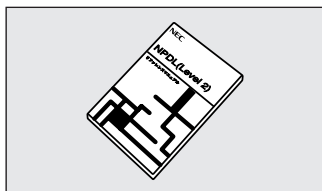
ハードディスクをご使用になることにより、電子ソートの上限は用紙サイズに関係なく200ページとなります。

プリンターケーブル



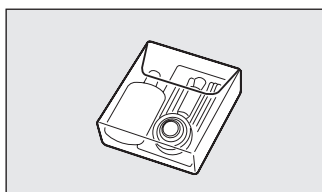
プリンターケーブルはお使いのコンピュータの種類によって違います。詳細については、「使用できるプリンターケーブル」（184ページ）をご覧ください。

日本語ページプリンタ言語NPDL (Level 2) リファレンスマニュアル (型番PC-PRNPDL2-RM)



ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

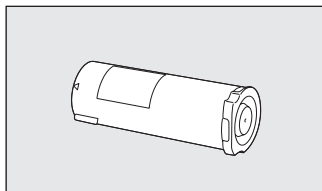
クリーニングキット (型番 PC-PR601-14)



プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

消耗品

トナーカートリッジ(型番 PR-L6600-12)



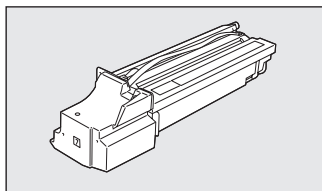
約33,000ページの印刷が可能なトナーカートリッジです。



チェック

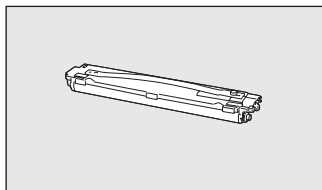
トナーカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の連続印刷を行ったときの値です。印刷用紙サイズ、画像面積比などの印刷に関する設定の要素によって、印刷可能ページ数は異なります。

ドラムカートリッジ (型番 PR-L6600-31)



約110,000ページの印刷が可能なドラムカートリッジです。

クリーニングカートリッジ (型番 PR-L6600-34)



約50,000ページの印刷が可能なクリーニングカートリッジです。

大容量ホッパー

大量印刷をサポートするために、MultiWriter 6600には大容量ホッパーが用意されています。

大容量ホッパーの取り付け

大容量ホッパーの取り付け作業はサービス担当者が行いますので別途料金が必要です。

大容量ホッパーへの用紙のセット

大容量ホッパーへの用紙のセット方法については、3章の「大容量ホッパーに用紙をセットする」(70ページ)をご覧ください。

大容量ホッパーの切り替え

大容量ホッパーを取り付けたときに必要なホッパーの切り替えについて説明します。取り付けた大容量ホッパーから給紙するためには、操作パネル上でホッパー表示を「ホッパ5」にします。ホッパーの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

- プリンターの電源がOFFされるまで維持する方法.....[ホッパ] スイッチによる切り替え
- プリンターが初期化されても大容量ホッパーが選択される方法メニューモードによる切り替え

次にそれぞれの選び方について説明します。

プリンターの電源がOFFされるまで維持する方法

操作パネルの[ホッパ] スイッチを使って大容量ホッパーを選択します。

① [印刷可] スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

② [ホッパ] スイッチを押し、ディスプレイの表示を“ホッパ5”にする。

ホッパ 5	A4ヨコ	ホート
フツウシ		NPD L

③ [印刷可] スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

④ コンピューターからデータを送る。

この状態は以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパーの選択を変更する
- トレー給紙に変更する
- 電源をOFFにする
- コンピューターから変更する
- プリンターを初期化する

プリンターが初期化されても大容量ホッパーが選択される方法

メニューモード内のプリンターの初期設定を変更します。

① メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

テストメニュー →

② [▼] スイッチを2回押す。

“ヨウシメニュー →”を表示されます。

ヨウシメニュー →

③ [▶] スイッチを2回押す。

ホッパー初期設定の表示になります。

ホッパ° ショキセッテイ
← ホッパ° 1*

④ [設定変更] スイッチを押して、ディスプレイ下段を“← ホッパ5”に変更する。

ホッパ° ショキセッテイ
← ホッパ° 5*

⑤ [メニュー終了] スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

ディスプレイ上段に“ホッパ5 XX XXX”と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。

ホッパ° 5 A4ヨコ ポート
フツウシ NPD L

この状態は、同じ方法でホッパーの選択をしない限り維持されます。

テスト印刷

大容量ホッパーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。

① [印刷可] スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

② [メニュー] スイッチを1回押す。

ディスプレイには“テストメニュー →”と表示されます。

テストメニュー →

③ [▶] スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段には“ステータスインサツジッコウ →”と表示されます。

テストメニュー
← ステータスインサツジッコウ →

④ さらに [▶] スイッチを1回押す。

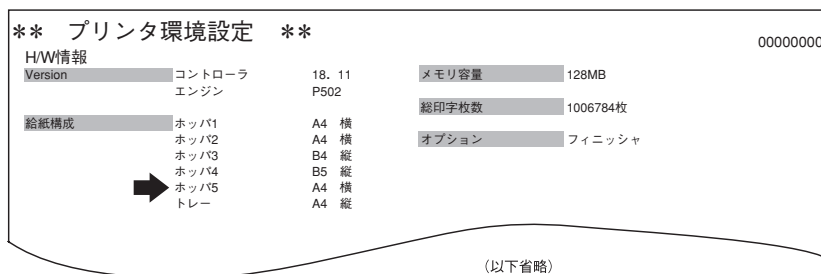
プリンターはステータス印刷を開始し、ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。

テストインサツチュウ



チェック

大容量ホッパーを取り付けた場合は、「給紙構成」に「ホッパ5」と印刷されます。



ステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。

リレー給紙について

印刷している給紙先の用紙がなくなったときに、自動的に別の給紙先から用紙を吸入し印刷を続ける機能です。

リレー給紙を有効にするために、メニューモードのリレー給紙設定をする必要があります。以下の手順で印刷してください。

① メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

② [▼]スイッチを2回押す。

“ヨウシメニュー →”を表示されます。

ヨウシメニュー →

③ [▶]スイッチを1回、[▼]スイッチを3回 [▶]スイッチを1回押す。

リレー給紙設定の表示になります。

リレーキューシ セッテイ
← ホッパ 1 リレー OFF *

④ 操作パネルの [▼] スイッチ、[▲] スイッチ、[設定変更] スイッチを押して、リレー給紙させるホッパーまたはトレイをONにする。

✓ チェック

リレー給紙させるホッパーまたはトレイのすべての“リレーキューシ”をONにしてください。

⑤ [メニュー終了] スイッチを押す。

⑥ 設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはトレイの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。

⑦ プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの [用紙] シートで、給紙方法が [自動] になっていることを確認する。

⑧ [印刷] ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。

大容量ホッパーの取り外し

大容量ホッパーの取り外し作業はサービス担当者が行いますので、添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

フィニッシャー

大量印刷をサポートするために、MultiWriter 6600にはフィニッシャーが用意されています。

フィニッシャーの取り付け

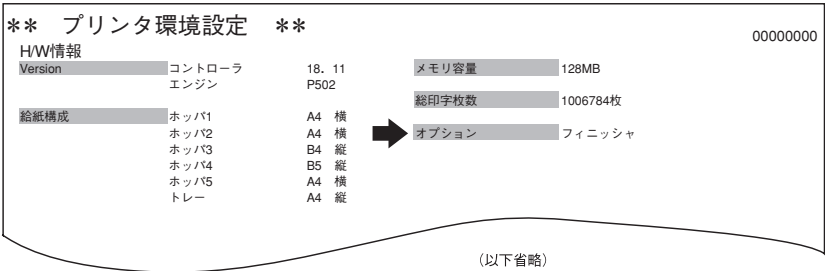
✓

チェック

このオプションは、お客様による取り付けができません。取り付け作業はサービス担当者が行いますので（有償）、ご購入の際は、お買い求めの販売店に取付けを依頼してください。

テスト印刷

フィニッシャーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については本章の「テスト印刷」（174ページ）を参照してください。



ステータス印刷の例

フィニッシャーの取り外し

フィニッシャーの取り外し作業はサービス担当者が行いますので、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

排紙トレー

最大500枚（64g/m²）までスタックできます。

排紙トレーの取り付け、取り外し

排紙トレーの取り付け、取り外し作業はサービス担当者が行いますので、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

LANアダプター

MultiWriter 6600でご使用になれるLANアダプターのオプションは、PR-NPX-05、PR-WL-01の2種類です（170ページ参照）。

LANアダプターの取り付け・取り外し手順を説明します。使い方や操作方法については、LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。



チェック

LANアダプターのコネクタ部には手を触れないでください。手を触れると、コネクタ部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。

LANアダプターの取り付け

ここではマルチプロトコルLANアダプタ（型番PR-NPX-05）の取り付け手順を説明します。

- ① プリンターの電源をOFFにし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。



重要

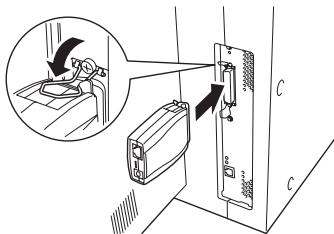
電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

- ② LAN アダプターの平行インターフェース用ソケットとプリンターの平行インターフェースコネクタを直接接続する

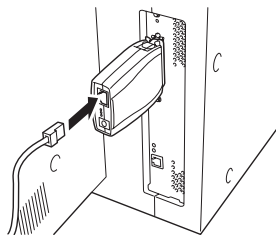


チェック

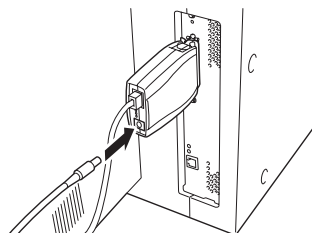
このとき、LANアダプターにACアダプターが接続されていないことを確認してください。



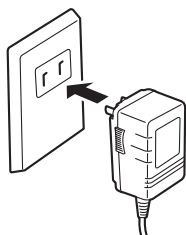
- ③ ネットワークケーブルのコネクタをLANアダプターのイーサネット用コネクタに差し込む。



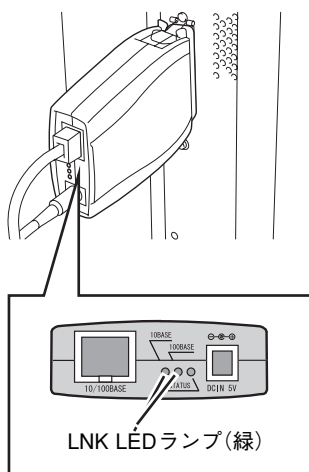
- ④ LAN アダプターに付属の AC アダプターのプラグをLANアダプターの電源コネクタへ差し込む。



- ⑤** LANアダプターのACアダプターをコンセントに差し込む。



- ⑥** LANアダプターの背面にあるLINK LEDランプが緑色に点灯することを確認する。



- ⑦** 電源コードをプリンターに取り付ける。

- ⑧** プリンターの電源をONにする。

LANアダプターの取り外し

LANアダプターを取り外すときは、LANアダプターがデータを受信中でないことを確認してから、プリンターの電源をOFFにして取り付け手順**⑤**から逆に行ってください。

増設メモリー

増設メモリーを取り付けることで、次のような効果があります。

- フォーム登録数の拡大
- 受信バッファの拡大
- 複雑な印刷データの印刷性能向上

重要

MultiWriter用の増設メモリーをご使用ください。また他の情報処理機器用の増設メモリーには使用しないでください。本増設メモリー以外のRAMボードを使用すると、本プリンターが破損する場合があります。

増設メモリーの取り付け

チェック

このオプションは、お客様による増設または取り付けができません。増設または取り付け作業はサービス担当者が行いますので（有償）、ご購入の際は、お買い求めの販売店に増設または取り付けを依頼してください。

テスト印刷

増設メモリーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のスターテス印刷を行います。手順については本章の「テスト印刷」(174ページ)を参照してください。下記のように印刷されていれば、増設メモリーは正しく取り付けられたことになります。

** プリンタ環境設定 **			00000000	
H/W情報				
Version	コントローラ	18. 11	メモリー容量	384MB
	エンジン	P502	総印字数数	1006784枚
給紙構成	ホッパ1	A4 横	オプション	フィニッシャ
	ホッパ2	A4 横		
	ホッパ3	B4 縦		
	ホッパ4	B5 縦		
	ホッパ5	A4 横		
	トレー	A4 縦		

(以下省略)

増設メモリーを取り付けたときのステータス印刷の例 (標準メモリー 128MBに256MBメモリーを増設した場合)

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。

増設メモリーの取り外し

増設メモリーの取り外し作業はサービス担当者が行いますので、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

ハードディスク

ハードディスクを取り付けると、電子ソート機能のページ数を増加できます。

重要

ハードディスクを取り付けた場合、電子ソートが可能なページ数は用紙サイズに関係なく一律200ページです

ハードディスクの取り付け

チェック

このオプションは、お客様による取り付けができません。取り付け作業はサービス担当者が行いますので（有償）、ご購入の際は、お買い求めの販売店に取り付けを依頼してください。

テスト印刷

ハードディスクが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については本章の「テスト印刷」（174ページ）を参照してください。

** プリンタ環境設定 **				00000000
H/W情報				
Version	コントローラ	18. 11	メモリ容量	128MB
	エンジン	P502	総印字枚数	1006784枚
給紙構成			オプション	ハードディスク
	ホッパ1	A4 横		
	ホッパ2	A4 横		
	ホッパ3	B4 縦		
	ホッパ4	B5 縦		
	ホッパ5	A4 横		
	トレー	A4 縦		

（以下省略）

ハードディスクのステータス印刷の例

ハードディスクの取り外し

ハードディスクの取り外し作業はサービス担当者が行いますので、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

使用できるプリンターケーブル

MultiWriter 6600で使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。お使いになっているコンピューターによって使用できるプリンターケーブルが異なります。

コンピューター		プリンターケーブル* ¹
PC98-NX シリーズを含む IBM PC/AT互換機(DOS/V 対応機)	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205* ²
	IBM、富士通、東芝、DELL、その他各社	PC-PRCA-01
PC-9800 シリーズデスク トップタイプミニタワータ イプ	98MATEシリーズ (除くAp・As・Ae・Af) 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ (除くBA・BX) 98MULTiシリーズ (除くCe) 98MULTi CanBeシリーズVALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ* ⁴	PC-CA202* ³ PC-CA204* ²
	PC-98XA・XL・XL ² ・RL4* ⁴	PC-PR801-21 (パソコン本体に標準添付)
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスク トップタイプ	PC-CA203* ²
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ* ⁴ SV-98シリーズ	PC-CA202* ³ PC-CA204* ²
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202* ³ PC-CA204* ²
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ 98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202* ³ PC-CA204* ²
プリンタ増設インタフェースボード (PC-9801-94)		PC-CA202* ³ PC-CA204* ²
Express5800シリーズ		K210-10 (01) * ³ K210-10 (04) * ²

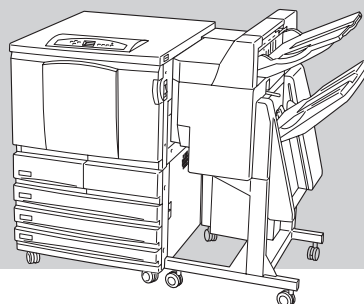
*¹ 他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を追いかねます。

*² PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205、K210-10 (04) のケーブルの長さは 4.0m。

*³ PC-CA202、K210-10 (01) のケーブルの長さは 1.5m。

*⁴ ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

付録 技術情報



仕 様

項目	内容
印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：半導体レーザービーム・スキャニング 定着方式：ヒートロール方式
印刷速度	約71ページ/分*1（A4サイズ横置き、ホッパー 1給紙片面印刷、普通紙モード時）
ウォームアップの待ち時間 （室温22℃）	電源投入時：最大240秒以内 節電時：最大240秒以内
ファーストプリント タイム	片面印刷時 A4サイズ：約8秒（A4用紙横置き、ホッパー 1給紙、印刷間隔30秒以内）
	両面印刷時 A4サイズ：約10秒（A4用紙横置き、ホッパー 1給紙、印刷間隔30秒以内）
用紙容量*2	ホッパ1： 1000枚 ホッパ2： 500枚 ホッパ3： 500枚 ホッパ4： 500枚 トレイ： 40枚 大容量ホッパ（オプション）：4200枚
スタック容量*2	排紙トレイ（オプション）：500枚 フィニッシャ（オプション） トッパートレイ：500枚 スタックカートレイ：2100枚
ドット間隔	0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ）
CPU	RM7000C（500MHz）
RAM	標準128MB、最大1GB（オプション増設時）

*1 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送りなどによって異なります。

*2 坪量 64.0g/m²（連量55kg）用紙

項目		内容
オプションRAMソケット		2ソケット * ¹ (184Pin DIMM用)
インターフェース		セントロニクス仕様に準拠 * ² イーサネット (100BASE-TX/10BASE-T : TCP/IPのみ)
データ形式		NPD L Level2 (201PLエミュレーション含む)
環境 * ³		動作温度 : 10~32.5℃ 動作湿度 : 20~80% (ただし結露しないこと) 保管温度 : 0~35℃ 保管湿度 : 15~85% (ただし結露しないこと) 塵埃量 : 一般事務室程度 ガス成分 : 一般事務室程度 気 圧 : 1013~752.4 hPa (海拔0~2500m)
騒音 (音圧レベル、A補正)		動作時 : 55.0dB以下 (標準)、56.0dB以下 (フルオプション) 待機時 : 39.0dB以下
電源		電 圧 : AC 100V± 10% 周波数 : 50/60Hz± 1Hz
消費電力 * ⁴	動作時最大 * ⁵	プリンター単体時 : 1290W フルオプション時 : 1360W
	動作時平均	プリンター単体時 : 1260W
	節電モード時	プリンター単体時 : 28W以下
外形寸法		620 (幅) x 780 (奥行き) x 968mm (高さ) (突起部除く)
質量		約185kg (本体のみ、消耗品含む)
製品寿命 * ⁶		印刷枚数500万ページ (A4用紙換算) または使用年数5年のいずれか早い方
消耗品寿命		- トナーカートリッジ (型番PR-L6600-12) : 約33,000ページ - ドラムカートリッジ (型番PR-L6600-31) : 約110,000ページ - クリーニングカートリッジ (型番PR-L6600-34) : 約50,000ページ
フォント		アウトラインフォント 2種類 (明朝体、ゴシック体)
対応OS		- Microsoft Windows XP 日本語版 - Microsoft Windows Server 2003 日本語版 - Microsoft Windows 2000 日本語版 - Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 - Microsoft Windows Me 日本語版 - Microsoft Windows 98 日本語版 - Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版 - Microsoft Windows 95 日本語版 - 日本語MS-DOS (Ver.3.3以上)、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM Ver.J5.0/V以上 (DOS/V)

*¹ 1ソケットは標準で使用。

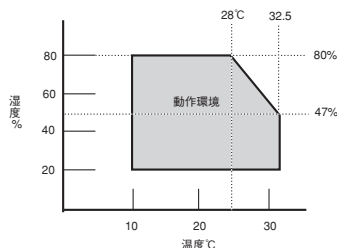
*² IEEE 1284 規格準拠双方向パラレルインターフェース。

*³ 動作環境詳細 (下図参照)

*⁴ 電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

*⁵ 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。また、同系列の電源に入力条件が厳しい機器を接続する場合は、NEC フィールドینگ (株) にご相談ください。

*⁶ 定期交換部品の交換が必要です。



用紙の規格

用紙の種類	寸法	坪量	表面電気抵抗	その他
片面印刷時				
普通紙 (乾式 PPC 用紙)	A3判 (297×420mm) A4判 (210×297mm) A5判 (148×210mm) B4判 (257×364mm) B5判 (182×257mm)	ホッパー、大容量ホッパー 給紙: 64~128g/m ² (連量* 55~110kg) トレー給紙: 64~128g/m ² (連量* 55~110kg)	1×10 ⁹ ~1×10 ¹² Ω	—
厚紙	レターサイズ (約216×約280mm) 定形外用紙 トレー用 (100~297×148~431.8mm) 定形外ホッパ2/3/4用 (148~297×182~431.8mm)	ホッパー、大容量ホッパー 給紙: 129~150g/m ² (連量* 110~129kg) トレー給紙: 129~197g/m ² (連量* 110~170kg)		用紙種別は129~150g/m ² は厚紙1、150~197g/m ² は厚紙2を選択してください。
はがき 官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、坪量のものを使用してください。ただし、往復はがきは折り目がないものを使用してください。	官製はがき (100×148mm) 官製往復はがき (200×148mm)	トレー給紙: 157g/m ² (連量* 135kg)	—	官製はがき、往復はがきとも縦置きのみです。
OHP フィルム 乾式PPC 用、表面処理されているものを使用してください。	A4判 (210×297mm)	厚さ: 0.1mm± 0.025mm (100μm± 25μm)	—	ホッパー2~5、およびトレーからの給紙ができます。用紙種別はOHPを選択してください。
ラベル紙 乾式PPC 用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。	A4判 (210×297mm) B4判 (257×364mm)	—	—	ホッパー2~5、およびトレーからの給紙ができます。用紙種別はラベル紙を選択してください。
両面印刷時				
普通紙 (乾式 PPC 用紙)	A3判 (297×420mm) A4判 (210×297mm) A5判 (148×210mm) B4判 (257×364mm) B5判 (182×257mm)	ホッパー、大容量ホッパー 給紙: 64~128g/m ² (連量* 55~110kg)	1×10 ⁹ ~1×10 ¹² Ω	用紙種別は64~128g/m ² は普通紙を選択してください。
厚紙	定形外用紙	ホッパー、大容量ホッパー 給紙: 129~150g/m ² (連量* 110~129kg)		用紙種別が厚紙1の時のみ両面印刷が可能です。

* 連量とは、用紙788×1091mm (四六判) のサイズ of 用紙1000枚あたりの重さを示します。



一般的に使用されている連量55kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。
用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値を参照ください。

- 坪量 64~67g/m² (JIS P8124)
 - 紙厚 0.085~0.092mm (JIS P8118)
 - 平滑度 25~50sec (JIS P8119)
 - 剛度 60cm³/100以上 (クラーク式 : JIS P8143)
 - 表面電気抵抗 $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12} \Omega$
-

用紙設計に関する事項

用紙の紙質

用紙は1枚毎に切り離された枚葉形体の1枚用紙が使用できます。用紙に使用される原紙の紙質は、JISに規定されている良質な木材化学パルプから製造されたNIP上質紙であり、PPC用紙として開発された実績のある用紙を使用することが必要です。一般には次の要件を満足することが必要です。

- 用紙がバインダー穴から破れないような十分な強さをもつもの
- 鉛筆、万年筆、ボールペンによる筆記性に優れるもの
- 折れ、しわ、裂け目、紙粉、著しい湾曲、波打ち、汚れ、変色、用紙端面、または角部の損傷などがないこと
- 粘着液、油などのしみがないこと
- 表裏面がコーティングされたり、プラスチック（熱可塑性樹脂）物質を含まないこと
- 切れ端やその他の用紙クズ、固形異物（ろう、金属片など）を含まないこと
- 蛍光強度が強くないこと
- 印刷直後のカール状態が最大値20mm以下を満足すること
- 定着により用紙中の水分が変化すると用紙が収縮し、カールしたり波打ちの現象が発生し、紙づまりの原因となったり、印刷の一部がかすれる場合があります。用紙の含水量、繊維の方向、カール量には特に注意を払ってください。
- 繊維は均等かつ不透明で、両面とも印刷に適していること

次ページの表は、坪量64g/m²用紙の各特性の参考値です。

坪量64g/m²用紙の特性参考値

項目	方向	単位	規格値	測定方法	備考
米坪量	—	g/m ²	64～67	JIS-P8124	指定のないものは20℃65%24H
紙厚	—	μ m	85～92	JIS-P8118	—
平滑度	表	sec	30±12	J-TAPPI No.5 B法	—
	裏	sec	23±12		—
透気度	—	sec/ 100cc	+5 10-3	J-TAPPI No.5 B法	—
銅度	タテ	cm ³ /100	90±25	JIS-P8143	クラーク法
	ヨコ	cm ³ /100	40±15		
表面強度	表	A	10以上	JIS-P8129	ワックス法
	裏	A	10以上		
摩擦係数	静	—	0.6±0.15	JIS-P8147	—
	動	—	0.55±0.15		—
引張り強度	タテ	kg	7.5±2.5	JIS-P8113	—
	ヨコ	kg	4.0±1.5		—
引き裂き	タテ	g	50±15	JIS-P8116	—
	ヨコ	g	55±15		—
サイズ度	—	sec	5.0±1.0	J-TAPPI No.12	—
用紙・料量	—	%	5±2	—	重量比
白色度	—	%	82±2	JIS-P8123	—
不透明度	—	%	84±3	JIS-P8138	—
水分	—	%	4.5±0.5	JIS-P8127	—
電気抵抗	体積	Ω・cm	10 ¹⁰ ～10 ¹¹	—	20℃65%24H
	表面	Ω	10 ⁹ ～10 ¹²	—	
引張伸び	タテ	%	2.5±1.0	JIS-P8132	—
	ヨコ	%	5.0±3.0		—
ダート	—	個/m ²	a≤0.08mm ² 規定せず 0.08<a≤0.3 10 0.3<a≤5.0 5 5.0<a 0		jiS-P-8145
PH 値	—	—	7.5±0.5	JIS-P8133	冷却抽水法

用紙サイズ

本装置で使用できる定形用紙サイズは、A系列（A3、A4、A5）、B系列（B4、B5）、レターです。加工仕上がり寸法精度は、JIS規格に準ずることとします。特に裁断面については、バリが発生しないように加工上、注意が必要です。

用紙坪量と慎料

64g/m²から197g/m²のものまで使用できます。

規定範囲外の坪量の用紙を使用すると、紙づまりの原因となりますので、必ず規定内の用紙を使用してください。用紙には、パルプ以外に電気抵抗値を調整したり、表面の平滑さを改善するなどの目的で各種の物質を添付します。これらの物質を填料と呼びます。

坪量が規定範囲外でも填料を多くしてパルプを少なくした用紙の場合は、用紙のこしが弱く、紙づまり、紙折れ、しわの原因となることがあり、特にタルク（酸化マグネシウム、カルシウム、コットン）の多い用紙は、印刷品質の低下や装置の損傷の原因となることがあるので配分率は、5%以下を推奨します。

用紙の水分率

水分率

電子写真印刷では、転写過程（感光体に付着させたトナーを用紙に転写する過程）で静電気を発生させるが、水分量が少なく、電気抵抗が高いと静電気が用紙上に残りやすくなるため、スタック不良の原因となります。また、水分量が多く、電気抵抗が低いと転写過程で適切な静電気を保持することができず、印刷品質低下や紙づまりの原因となります。

このため、電子写真方式の印刷に使用する用紙は、水分率4.5±0.5%で保持する必要があります。

水分量とカール

電子写真印刷では、定着過程（トナーを用紙上に定着する過程）で用紙に高熱が加わり、用紙の水分が瞬間的に蒸発するため、用紙が収縮します。水分量が多い用紙は、カール、波打ち、しわなどを生じやすく紙づまりの原因となります。

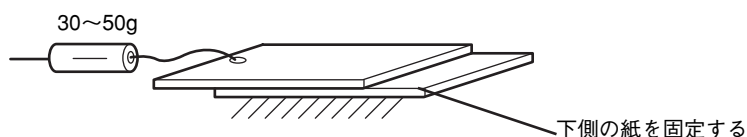
平滑度

平滑度が高すぎると用紙間の密着力が強くなり、給紙ミスの原因となります。特に空気を通さない離型剤の層のあるものやコーティング材を使用したものは、平滑度が高すぎると強い密着力が生じます。

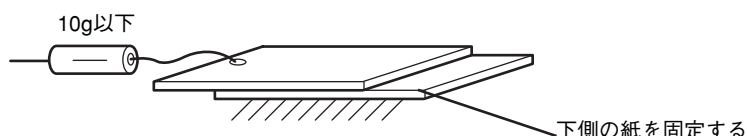
平滑度が低すぎても用紙搬送時の負荷増大による紙づまりや印刷品質低下の原因となります。したがって、適切な範囲内の平滑度の用紙を選択する必要があります。

平滑度は、20～30秒（JIS-P）、高くても40秒以下を目安にしてください。

平滑度が高すぎたり低すぎたりする場合、紙間の密着力が30～50gとなり、給紙ミスの原因となります。



平滑度が20～30秒（JIS）の場合は、紙間の密着力は最も弱く、10g以下となります。



用紙色

ここでの用紙色とは、事前印刷だけでなく紙の製造工程で着色される色（原紙色）についても規定します。用紙の原紙色は、見やすさにも関係しますが、一般的には白色または淡色系が望まれます（色濃度をできる限り薄くして使用すること）。

プレ印刷を行う際の注意事項

- 印刷インクの影響で印刷品質が低下する場合があるので、重要データを印刷する部分へのプレ印刷を避けたデザインが望ましい。
- ベタ印刷を行うと紙面を完全に覆うため、印刷品質への影響が大きくなるため、バックカラー印刷や地紋印刷の場合は、ベタ印刷は避け、網点印刷するのが望ましい。
- プレ印刷した枠内にプリンター印刷を行うと、印刷位置ずれが目立つことがあるので、本装置の印刷精度を考慮し、枠の寸法を大きくする（余白の目安：3.0mm）か、地紋印刷での代替え、オーバーレイで枠を印刷する方が望ましい。
- インク量は極力少なくすむデザインをし、印刷の濃淡は、インク色でカバーし、インク量を減らす方が望ましい。
- 両面印刷時、第1面を定着するときの熱の影響で用紙の収縮を起こすために第2面の寸法が変化します。このため、第2面にプレ印刷枠を印刷するとずれが大きく生じるため、第1面にプレ印刷デザインを持ってくるか、オーバーレイ枠による印刷またはプレ印刷枠を印刷しないでください。
- 両面印刷時、第1面を定着させるときの熱の影響で用紙の収縮を起こすため、紙面に凹凸が生じ、第2面の印刷品質低下の原因となるので水分量の均一化とデザインを考慮してください。

プレ印刷用インクの注意事項

- 金属を含んだインクは使用しないでください。カーボン入り墨インクは、印刷用紙紙質によって変質する場合があるため、事前に通紙確認をしてください。
- インクは十分に乾燥させてください。乾燥が不十分だと定着器、ドラム、ローラーなどに付着し、本装置の障害の原因となります。

プレ印刷用インクを選択

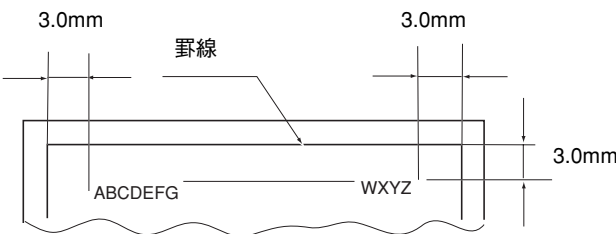
インク乾燥時間	使用インク
即時	耐熱UVタイプ（感光性樹脂のインクと紫外線乾燥による組み合わせ） 推奨インク FDFWO耐熱性シリーズ（東洋インク製造（株）） UVS BOF FCシリーズ（ザ・インテック（株）） 耐熱乾燥用インクシリーズ（大日本インキ化学工業（株）） UVHR（（株）T&K TOKA）
2週間以上	耐熱UVタイプ（酸化重合体の耐熱のインクと一般の乾燥による組み合わせ）
1か月以上	一般フォーム印刷用インク（200℃耐熱仕様インク）

- OCR文字印刷時に使用する用紙のプレ印刷は、ドロップ・アウト・カラーであることを確認してください。
- 乾燥パウダーの使用は、プリンターの故障の原因となることがあるので避けてください。
- 使用できないインクは、以下のとおりです。
 - － クイックセットインク
 - － コールドセットインク
 - － 沈殿乾燥型インク
 - － 析出乾燥型インク
 - － しみ込み乾燥型インク
 - － 金属混入インク
 - － 導電性インク
 - － ラバーベースインク

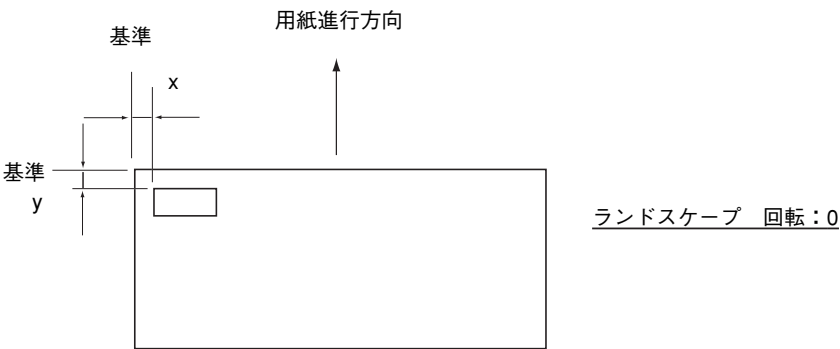
印刷位置精度

本プリンターは、連続用紙ページプリンターに比べ、印刷時の用紙走行性が不安定であり、斜行や左右方向に位置がずれる場合があります。

印字精度を要求されるプレ印刷用紙は、あらかじめ上記斜行および左右方向のずれなどの印字位置誤差が許容される範囲を考慮してプレ印刷の設計をしてください。帳票の罫線は、データ文字から3.0mm以上離して設計してください。



ただし、印刷の位置は次の位置を基準とします。



バインダー穴、カット

ファイル用のバインダー穴が必要になる場合は、用紙送り系の問題、用紙切れ、画像不良を避けるために下表に示す諸点に留意してください。加工上の注意事項の詳細に関しては、「穴あき紙」(200ページ)を参照してください。

付
録

バインダー穴の制限事項

項目	制限事項
バインダー穴の大きさ	バインダー穴の直径 $\phi 6 \pm 0.3\text{mm}$ バインダー穴ピッチ 20未満であってはならない バインダー穴の数 4個以上あってはならない
バインダー穴周辺の印刷禁止領域	バインダー穴から3.0mm以内に印刷しないこと
加工上の注意	穴だれのないこと

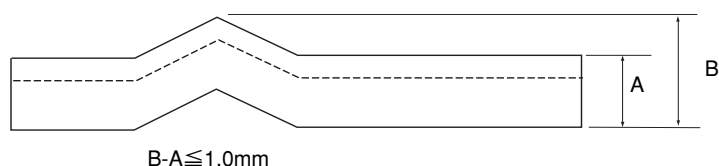
ミシン目用紙

事前評価

サイズ分けや分類などに用いるミシン目加工を施した用紙をご使用になる場合は、本プリンターに対する影響、印刷品質などの事前評価が十分に必要となります。

用紙加工上の注意

- ミシン目に凹凸、ばり、かすがあると紙づまり、印刷品質低下の原因となる。加工時にミシン目の押しつぶしを実施するように加工メーカーに指導してください。凹凸の目安は、1000枚積み重ねたとき、1.0mm以下とします。



- 用紙端部に必ずタイ部（接合部）がくるように加工してください。用紙端部にカット部がくると用紙のめくれなどを発生しやすく、紙づまりや印刷品質低下の原因となります。
- ミシン目のタイカット比の目安は、以下のとおり。

<普通ミシン目の場合>

厚い用紙（81g/m²以上） タイ部0.8mm 比率1:2～1:3

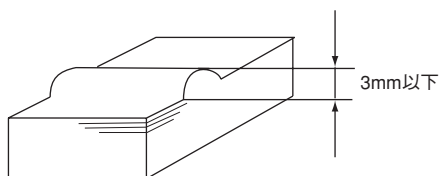
薄い用紙（81g/m²未満） タイ部1.0mm 比率1:2～1:3

<マイクロミシン目の場合>

タイ部0.23mm カット部0.28mm

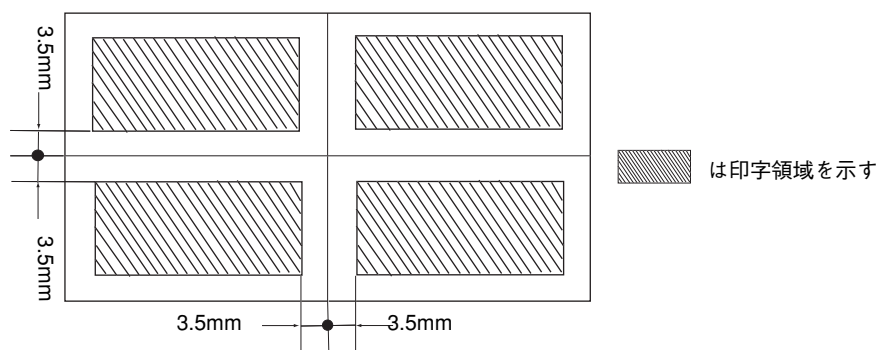
目安よりタイカット比率が大きくなると用紙破断、紙づまりの原因となります。また、目安よりタイカット比が小さくなると事後処理時に扱いにくい用紙となってしまいます。ミシン目加工時には、極力、目安を守るようにしてください。

- ミシン目の膨らみにより用紙を積み上げたときに平らにならず、紙づまりや斜行の原因となります。15cmの高さに積み上げた膨らみを3mm以下とします。



印刷上の注意事項

- ミシン目周囲から3.5mm以内の範囲には、印刷を避けてください。ミシン目は、凹凸やばりが存在している場合、印刷品質が低下してしまいます。したがって、上記範囲内は、印刷不可領域となります。



- ミシン目から裁断したときにデータが分割されてしまうことを防ぐためにミシン目にまたがったデータ作成を避けてください。

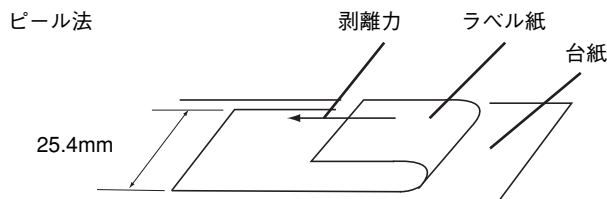
ラベル紙

事前評価

ラベル紙をご使用になる場合は、本プリンター自身に対する影響、印刷品質などの事前評価が十分に必要となります。

用紙加工上の注意事項

- 接着剤がカット面からはみ出すと紙づまりや装置破損の原因となるので、接着剤のはみ出しがないように加工してください。
- 台紙の厚さは、ラベルの厚さと同じか、より厚いものを使用してください。
- 熱の影響が少ないアクリル系接着剤を使用してください。
- 接着剤の強度は、ピール法で50g/25.4mm以上とします。

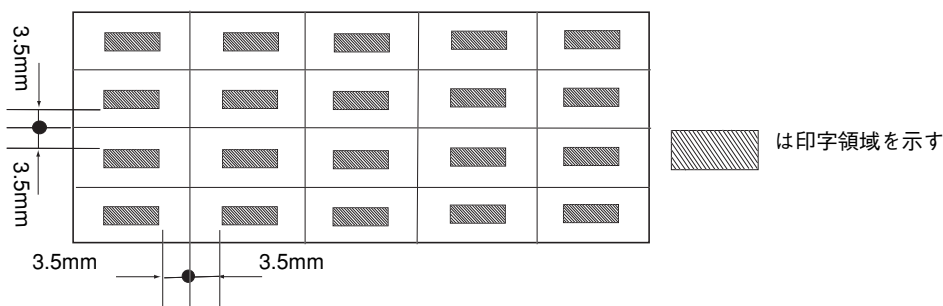


接着剤の強度

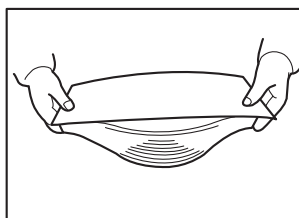
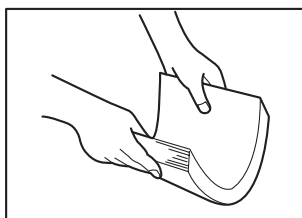
- ラベル紙と台紙の紙質や厚さが異なると定着時の熱で熱収縮差が大きくなり、カールの原因となるのでラベル紙と台紙は、同様の用紙を使用してください。
- 台紙全体がラベル紙で覆われている用紙を使用してください。
- カット部での用紙剛性が小さくなるため、ラベルのサイズは極力大きくし、A4 20面取りを最小サイズとします。
- ラベルのめくれがないことを確認してください。

印刷時の注意事項

- カット部付近は、印刷低下があるので、カット部付近の印刷は避けてください（余白の目安は3.5mm）。



- 両面印刷はできません。
- カールの少ない用紙を使用してください。カールが大きい場合は、しばらく放置して、さばきを入れてカールが小さくなってから使用してください。
- 用紙を下図のようにさばいて使用してください。用紙を両手で持ち、前後に数回曲げてほぐしてください。このとき、用紙を傷めないようにしてください。しわになったり、曲がった用紙は取り除いてください。



メールシール用紙（封筒タイプ）

事前評価

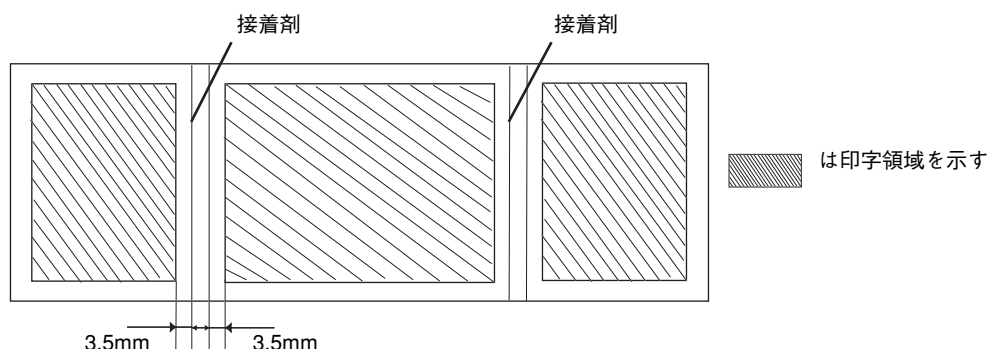
部分的に糊加工されたメール用紙をご使用になる場合は、本プリンターに対する影響、印刷品質などの事前評価が十分に必要となります。ホッパーへの用紙のセットは、用紙端の間近に接着剤がこない方を先端側にしてください。ピックミスの原因となります。

加工上の注意事項

- 接着剤は熱圧着用に開発された感圧接着剤を使用してください。
- 接着剤に盛り上がりりが極力少ないことを確認してください。

印刷時の注意事項

- 接着剤を塗布されている部分に印刷すると印刷低下につながるため、接着剤上および、その近傍（周囲3.5mm）への印刷は避けてください。



- 両面印刷はできません（片面印刷のみサポートする）。

保守上の注意事項

- 用紙の積み重ねは、3000枚以内とします（段ボール箱の積み上げは5段以内）。
- 保管期間は、製造日より3か月以内です。開封後は、指定包装紙に包んでも1か月以内とします。

メールシール用紙（はがきタイプ）

事前評価

用紙の全面に糊加工されたメールシール用紙をご使用になる場合は、本プリンター自身に対する影響、印刷品質などの事前評価が十分必要となります。

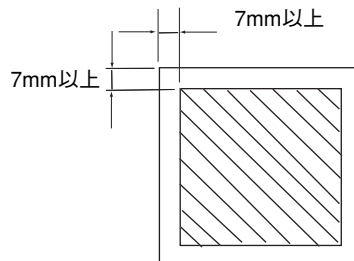
特に糊加工による用紙表面の摩擦抵抗が大きいと、ピックアップの要因となりますので、事前評価を十分に行ってください。また、ご使用になる場合は用紙をさばいてからホッパーにセットしてください。

加工上の注意事項

- 接着剤の剥離が極力ないように、塗布量を十分注意してください。
- 接着剤は熱圧着用に開発された感圧接着剤を使用してください。

印刷上の注意事項

- はがきのシーリングで相対する面の印字が極力左右対称とならないレイアウトにしてください（シーリングの不良防止）。
- ベタ印刷（罫線・文字は除く）は極力使用しないでください（シーリングの不良防止）。
- 網点印刷は10%を上限とします（シーリングの不良防止）。
- シール面を先に印刷してください（給紙部への糊落ち防止）。
- 印刷範囲は用紙端面より7mm以上です（カール防止）。



保管上の注意事項

- 本用紙は湿度に弱いため、余った用紙は必ずビニール包装をしてください。
- 長期保存性に劣るため、保管期間、保管条件を用紙メーカーに確認のしてください。また、先入れ先出しするようにしてください。
- 積み重ね保管をするとブロッキングが発生する場合があります。積み重ねについては、用紙メーカーに確認してください。
- カール、波打ちを起こした用紙は使用しないでください（カール量・波打ち量が3mm 以下）。

その他の注意事項

- メーカーによっては、感圧糊による定着臭がある場合があります。
- 紙づまり発生率は、PPC用紙と比較して悪い場合があります。

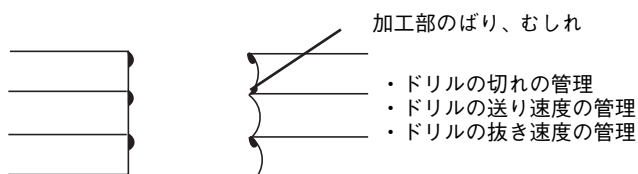
穴あき紙

事前評価

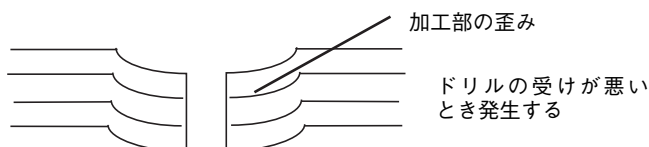
ファイリング用に加工された穴あき紙をご使用になる場合は、本プリンターに対する影響、印刷品質などの事前評価が十分に必要となります。

加工上の注意事項

- 綴じ穴部分に凹凸、ばり、かすがあると紙づまりや印刷品質低下の原因となります。加工時は、用紙裁断時に1枚ずつ穿孔してください。ドリルなどにより重ね穿孔すると穿孔部が盛り上がるので重ね穿孔は行わないでください。
- 残리카すおよび紙紛は完全に除去してください。
- 加工部のばり、むしれ
ロットが少なく加工を行う場合は、加工部のばり、むしれが発生しやすくなるので加工条件の管理を行ってください。



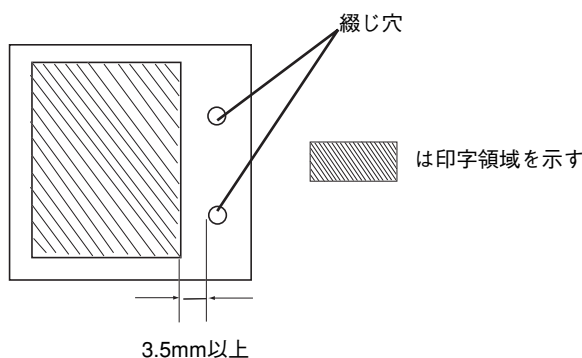
- 加工部の歪み
ロットが少なく、手加工を行う場合は、加工部の歪みが発生することがあるので注意してください。



- 用紙裁断時に穴加工（自動加工）する場合、カッターの切れを管理してください。

印刷上の注意事項

- 綴じ穴部に印刷データがかかり印刷不良となることを防ぐために重要データは、綴じ穴付近に印刷しないでください。
- 綴じ穴付き用紙の印刷保証エリアは、図のとおりです。



再生紙

事前評価

下記のように標準紙と比較し、特性上の差異があるため、事前評価が十分に必要となります。事前に問題がないことを確認の上、使用してください。

特性上の相違

- 密度が低い。同じ坪量の場合、紙厚が厚い。
- 白色度が低い。
- 剛度が低い。
- 引っ張り強度、耐折度等が劣る。
- 含水分が高い。
- 品質のばらつきが大きい（古紙の種類で差が異なる）。

使用上の注意事項

- 紙紛の発生率が多くなるため、こまめに紙紛清掃をしてください。
- カール、低剛度の要因による紙づまりの発生頻度が増加します。特に用紙の目方向を間違えると頻発します。
- カールの大きい用紙は両面印刷に支障をきたします。
- 機械的強度が低いと紙折れ、しわを起こします。
- 平滑度が低いため、印刷品質が劣ります。
- ロット間の差が大きいため、走行性、印刷品質に差があります。
- これらの問題が再生紙にあるため、用紙は防湿処理された梱包紙に包んで保管してください。

エンボス紙

用紙に絞りを入れて浮き彫りにした用紙をエンボス用紙と呼びます。用紙の一部に厚さの差や凹凸があると、紙づまりや印刷品質低下の原因となります。エンボス用紙および、これに類した用紙（厚みに差がある用紙）は使用できません。

シークレットラベル紙

はがきを親展するためにはがきの一部に部分的に貼り付ける剥離可能かつ、再貼り付け不可能なラベルをシークレットラベルと呼びます。事前にシークレットラベルを貼り付けた用紙を使用することはできません。

透かし入り紙

透かし入り用紙は、一度すいた紙に重ねてもう一度すくことにより製造されます。このため、表裏差があり、カールや印刷品質低下の原因となります。また、透かし部分の印刷品質も保証できません。

原則的には透かし入り用紙は使用できません。

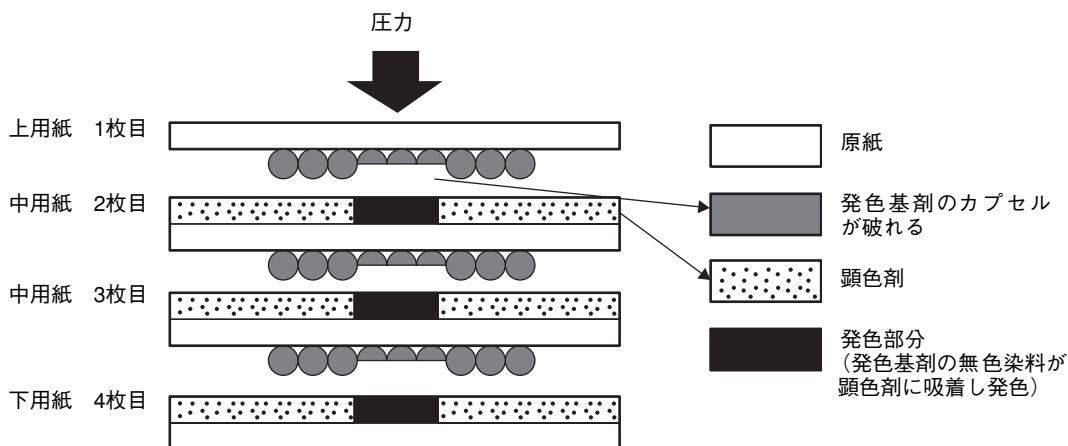
やむを得ず使用せざるを得ない場合は、十分に事前評価確認を行ってください。

コート紙

用紙に樹脂などのコーティングを施したコート紙、アート紙は、トナーの定着性が悪いため、使用できません。また、紙づまりや印刷品質低下の原因となる場合があります。

ノンカーボン紙

筆圧で発色する材料（感圧材）を塗布した用紙3種を組み合わせた複写用紙です。



ノンカーボン紙は基本的には使用できません。

電子写真プリンターで複写用紙を印刷する方法としては3種を別々に印刷した後、2枚以上を綴じ合わせる方法で使用する場合は、次の条件を理解した上で使用してください。

- 事前評価を実施してください。
- 保守部品交換周期、保守条件の見直しが必要です。
- 印刷品質、走行性、紙づまり発生率は保証できません。

OCR用紙

用紙表面に帯電防止剤がコーティングされていないOCR用紙を使用してください。

用紙の納入条件

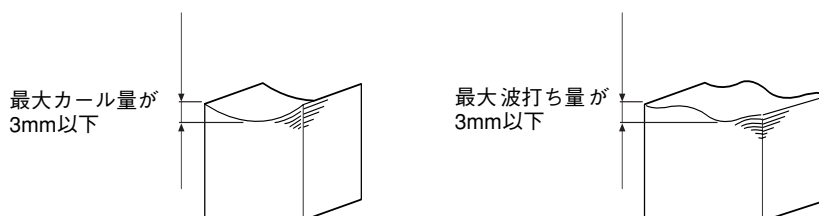
印刷用紙は、印刷実施中においてできるかぎりのオペレーター介入などの問題を避けるために、次の諸点を納入に際し考慮する必要があります。

用紙の加工

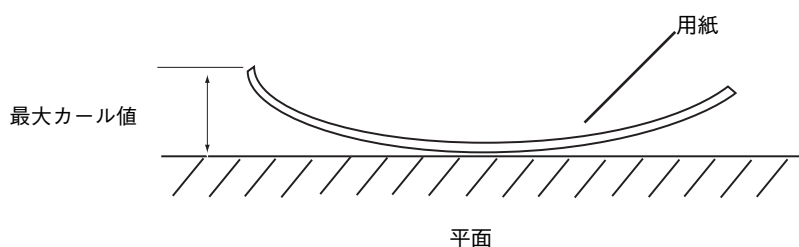
カール量

用紙のカールは、レーザープリンターのスタック性、走行性、および画像品質に大きく影響を及ぼし、不良の原因となります。本装置に使用する印刷用紙は、次の品質を満たしている必要があります。

- 用紙を15cmの高さ（70gの用紙が1000枚程度）に積み上げたときのカール／波打ちが3mm以下の用紙を使用してください。



- レーザープリンターの設置場所相当の環境条件で、1枚の用紙を平面に置き、用紙の持ち上がり量の最大値を図のように測定し、印刷直後に20mm以下であることを確認してください。

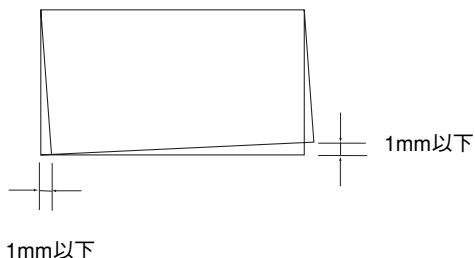


カッティング

加工仕上げ寸法精度は、JIS規格に準ずるようにしてください。

- 裁断角度

菱形形状のずれは、カット面に合わせて直角に対し、1.0mm以内とする。ただし、不等辺四角形は許容されない。



- 裁断部の形状

裁断面は直線とし、良好でばり、だれ（高さ20 μ m以下を目安）などにより機器の給紙動作に支障を与えないものであり、250枚重ね合わせて裁断面に凹凸のないこと。

- 裁断方法

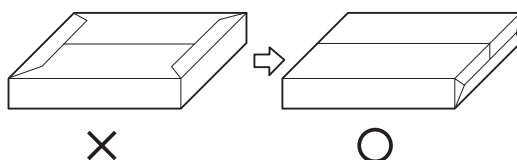
押し切りカットは不可、必ずロータリカットによる裁断のこと。

繊維方向

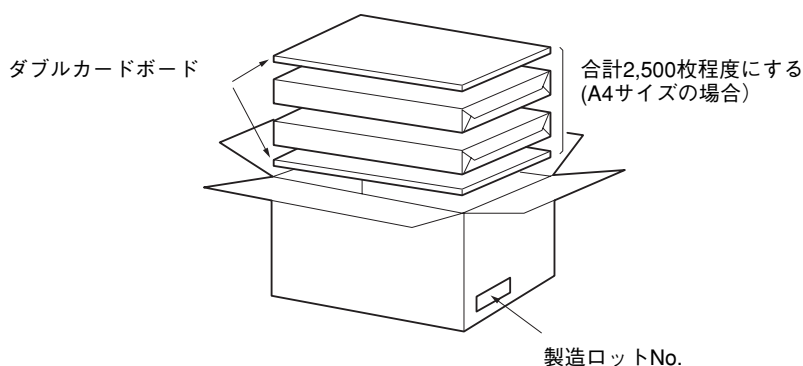
用紙繊維方向は、タテ目にしてください。

梱包および包装

- 梱包および包装は、用紙の輸送時の損傷および環境変化による乾燥や吸湿を防止し、印刷中の用紙走行不良および転写不良をなくすように考慮されることが必要である。したがって、包装紙および段ボールの内側は吸湿防止コーティングを施してください。
- 包装は250枚から500枚の単位で行ってください。
- 包装時の両端ののりしろは、下図のように用紙の印刷面に影響を与えないようにしてください。



- 開封面が表面になるように包装してください。
- 梱包は段ボール紙などで構成される収納箱を使用し、人が持ち運ぶのに負担にならない程度の重さにしてください。
- 包装ごとに製造ロットNOを記載してください。
- 包装された用紙をカートンにまとめる場合、下図に示すようにカートン下部の段差による影響を避けるため、ダブルのカードボードに入れてください。ただし、カードボードは、平滑なものを使用してください。



- 梱包開封時に発見される紙角の折れ、曲がりのないことを確認してください。

用紙の保管条件

用紙は、温湿度により著しく影響を受けますが、特に湿度条件は印刷プロセスに大きく作用します。次の条件下で保管および使用してください。

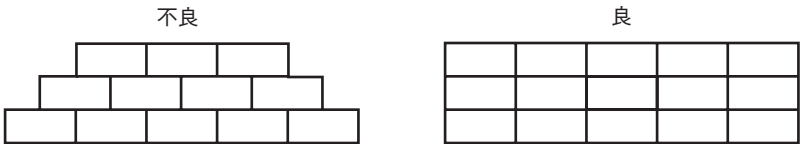
保管条件

保管条件	未開封状態	開封状態
温度	0～35℃	15～25℃
湿度	20～80%	40～50%

- 使用する用紙は少なくとも使用の1日前にプリンター設置場所に移動し、同一環境下に順応させて使用してください。（開封せず、防湿梱包のまま）
- 梱包された用紙は、直射日光の照射する場所などの温度、湿度の変化の多い場所は避けてください。
- 3か月以上を超える用紙の長期保管は避けてください。

保管形態

- 用紙は、プリンターで使用する直前まで輸送されてきた箱のままの状態で保管してください。
- 保管場所として直射日光が照射する場所は避け、用紙が水平になるように保管し、また直接床の上に置かないでパレットなどの上に置いてください。
- 箱の強度と安全性を考慮して積み重ねてください。坪量64g/m²用紙2,500シート／箱の場合、最高5箱までとします。
- 箱の積み重ねは、下図のように積み重ねてください。

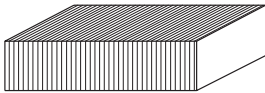
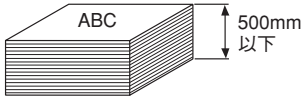


- 箱を移動するときの投げ積みは絶対行わないでください。
- 一部使用済みの箱は、「ごみ」や「ほこり」から用紙を保護するために封印し、一番上に置いてください。また、一部使用済みの箱には適切なマークを付け、それを最初に使用してください。
- 乾燥や吸湿を防ぐために用紙は、防湿処理された段ボール箱と包装紙で包装し、一度開封した用紙は、必ず防湿処理された包装紙で包んで保管してください。

印刷物の保存条件

本装置によって出力される印刷物の長期保存（15年以内）は、以下の条件を守ることが必要です。

印刷物の保存条件

項番	項目	条件	備考
1	保存環境	温度40℃以下 湿度80以下	
2	積み重ね保存	印刷面同士が重ならない場合（印刷面を上重ねる） 長期保存可能	
		印刷面同士が重なる場合 横形積み重ね 長期保存可能 	
		縦形積み重ねの場合、高さが500mm以下で物品による加圧がないとき長期保存可能 	500mm以下の時、1年以上の保存はトナー転移を起こすことがある。
3	耐透明フィルム保存	可塑剤を含有しないプラスチック材料に接するとき長期保存可能 • 塩化ビニール系材料は、可塑剤を含むので使用を禁止する。 • ポリエチレン系または、ポリプロピレン系材料は一般に可塑剤を含まないので長期保存に適する。	(1) 可塑剤はトナーを軟化させプラスチック材料側に転移させる作用がある。 (2) 塩化ビニール系とポリエチレン系、ポリプロピレン系の判別は燃焼させるとよい。 • 塩ビ系は塩素が分解した異臭を発生させる。 • ポリエチエレン、ポリプロピレン系はろうそくが溶けるような臭いがする。
4	耐直射日光	印刷の変色、退色なし。	用紙自身が変色する可能性がある。
5	耐熱性	印刷された部分を折り曲げた保存は禁止する。	曲折線に沿ってトナー剥離を起こすことがある。

用紙設計および管理の指針についての補足

用紙設計および管理の指針の目的とそれらが守られなかった場合に起こる現象について示します。

用紙設計および管理指針の目的

項目	指針	条件	指針が守れなかったときに発生する現象
用紙の紙質	折れ、しわ、裂け目、破れ、著しい湾曲がないこと	用紙走行を安定に保って、紙づまりを防止する	- 用紙斜行、重走不良が生じる - 転写不良が生じ、印刷抜けが生じる
	粘着液、油などのしみがないこと	転写不良、定着不良を防止する	転写不良、定着不良のため、印刷抜けが発生する
	表裏面をコーティングしたり、プラスチック物質を含まないこと	用紙走行を安定に保って、印刷品質を良好に保持する	- 用紙走行エラーとなり、プリンターが停止する - 熱を含みやすい用紙なので、印刷後、トナー同士が融着することがある。この用紙を開くとトナーが一方の用紙に転移し、他方の用紙はトナー剥がれが生じる
	NIP原紙を使用する	定着部での用紙の熱収縮方向により、両面印刷時の紙づまりやスタック時に用紙がカールすることを防止する	- カールにより、両面印刷での紙づまりや排出時の紙づまりが頻発し、プリンターがそのたびに停止する - 紙づまりが起こらなくてもスタック性が悪くなり、ファイルしにくくなる
用紙サイズ	用紙サイズの寸法精度規格を守る	用紙走行の安定性、紙づまりを防止する	用紙走行不良が発生し、プリンターが停止する
用紙坪量	64～197g/m ² まで使用可	走行不良、転写不良、スタック性不良を防止する	- 用紙斜行、重走不良が生じる - 転写不良が生じ、印刷抜けが生じる
用紙水分量	水分率4.5±0.5%を保持する	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	スタック不良、転写不良など
平滑度	20～30秒（JIS-P）、高くても40秒以下	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	給紙不良、用紙走行不良のため、印刷品質の低下など
用紙色	白または淡色系が望ましい	—	—

用紙設計および管理方針の目的（続き）

項目	指針	条件	指針が守られなかったときに発生する現象
事前印刷用紙	用紙走行における印字位置誤差を考慮する	印字位置を良好にする	事前印刷に対し印刷位置ずれが生じ、指定位置に印字があてはまらない
	事前印刷用インクの種類を守る	インクオフセット現象が起こることを防止して、印刷品質を良好にする	インクオフセット現象により、定着ローラーからトナーが余分に転写して印刷面を汚染する <u>不適当インク</u> ・ クイックセットインク ・ コールドセットインク ・ 沈殿乾燥形インク ・ 析出乾燥形インク ・ しみ込み乾燥形インク ・ 金属混入インク ・ 導電性インク ・ ラバーインク
印刷可能領域	印刷可能領域を守る	印刷品質を良好に保持する	印刷不能領域の印刷は、転写不良による印字抜け、文字のにじみが生じる
バインダー穴、カット	バインダー穴の大きさの制限を守る	印刷品質を良好に保持する	バインダー穴周辺に印刷ぼけ、かぶりが生じる
ミシン目用紙	加工上の注意、タイカット比、印刷領域を守る	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	ミシン目の凹凸、ばりなどによる紙づまり、印刷品質の低下が生じる
ラベル紙	事前評価が必要	レーザープリンター自身に対する影響を防止する	紙づまり、印刷品質の低下、さらには装置破損の原因となる場合もある
穴あき紙	加工上の注意、および印刷上の注意を守る	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	とじ穴の凹凸、ばりなどによる紙づまり、印刷品質の低下が生じる
再生紙	事前評価が必要	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	走行性、印刷品質の低下
エンボス、シークレットラベル、透かし入り用紙	使用不可	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	紙づまり、印刷品質の低下、さらには装置破損の原因となる場合もある
コート紙	使用不可	印刷品質を良好に保持する	定着不良が生じる
ノーカーボン紙	使用不可	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	紙づまり、印刷品質の低下、さらには装置破損の原因となる場合もある
OCR用紙	表面に帯電防止剤がコーティングされていないこと	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	印刷品質の低下
用紙の納入条件	カール量の規格を守る	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	紙づまりおよびスタック不良を起こし、また転写不良、にじみなどの画像不良が生じる
	カッティングにばり、だれ等がないこと	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	給紙不良や紙づまり、転写不良が生じる

用紙設計および管理方針の目的（続き）

項目	指針	条件	指針が守れなかったときに発生する現象
用紙の保管条件	温湿度の保管条件を守る	用紙の吸湿を防止する	用紙の吸湿による波打ち、カールのため転写不良となり、印字抜けを生じる
	積み重ね方法などの保管形態を守る	用紙折れ、しわの発生を防止する	用紙走行不良のため、紙づまりとなる。しわ、折れ等の用紙変形部分が印字不良を生じる

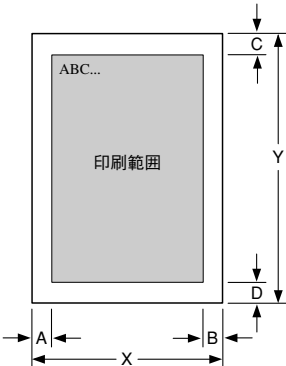
印刷範囲

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。添付のプリンタードライバの標準設定は、余白量（A、B、C、D）がすべて5mmです。添付のプリンタードライバを使用しない場合は、表に示す印刷範囲となります。

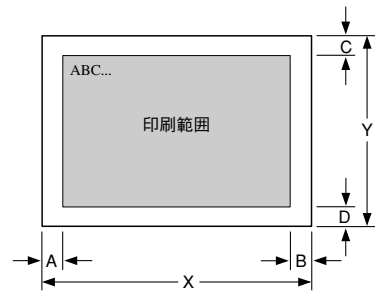


添付のプリンタードライバのプロパティ上で「従来互換の印刷範囲を使用する」をチェックすると、添付のプリンタードライバを使用しても表に示す印刷範囲とすることができます。

ポートレート



ランドスケープ



ポートレート

用紙	X (用紙幅)	Y (用紙長)	A (左余白)	B (右余白)	C (上余白)	D (下余白)
	mm	mm	mm	mm	mm	mm
A3	297	420	5.00	4.98	5.00	6.06
A4	210	297	8.00	3.88	5.00	4.98
A5	148	210	8.00	4.11	5.00	4.34
B4	257	364	8.00	7.70	5.00	5.94
B5	182	257	8.00	3.82	5.00	5.62
はがき	100	148	8.00	5.64	5.00	3.30
往復はがき	200	148	5.00	5.00	5.00	5.00
レター	216	280	8.00	4.80	5.00	5.76
A3 → A4	210	297	14.77	3.88	19.39	4.98
A3 → B4	257	364	10.12	7.70	17.28	5.94
A4 → A3	297	420	7.12	12.49	5.00	13.15
A4 → B4	257	364	8.11	11.09	5.00	14.51
A4 → B5	182	257	10.54	6.36	8.60	9.22
A4 × 2 → A4	210	297	14.77	3.88	21.93	4.98
B4 → A3	297	420	13.47	7.73	10.29	6.17
B4 → A4	210	297	26.84	22.30	30.82	30.80
B4 → B5	182	257	12.66	8.48	10.50	11.12
B5 → A4	210	297	10.12	5.36	9.23	6.14
B5 → B4	257	364	13.29	5.37	11.35	7.63
B5 × 2 → B5	182	257	13.93	3.82	19.39	5.62
LP → A4	210	297	19.85	3.88	30.82	35.88
LP → B4	257	364	25.78	7.70	35.90	51.66

ランドスケープ

用紙	X (用紙幅)	Y (用紙長)	A (左余白)	B (右余白)	C (上余白)	D (下余白)
	mm	mm	mm	mm	mm	mm
A3	420	297	5.00	6.06	4.98	5.00
A4	297	210	5.00	4.98	3.88	8.00
A5	210	148	5.00	4.34	4.11	8.00
B4	364	257	5.00	13.56	7.70	8.00
B5	257	182	5.00	5.62	3.82	8.00
はがき	148	100	5.00	5.84	5.64	8.00
往復はがき	148	200	5.00	5.00	5.00	5.00
レター	280	216	5.00	5.76	4.80	8.00
A3 → A4	297	210	19.39	4.98	10.65	8.00
A3 → B4	364	257	9.66	13.56	9.82	8.00
A4 → A3	420	297	5.00	13.15	12.49	7.12
A4 → B4	364	257	5.00	14.51	7.91	11.28
A4 → B5	257	182	8.60	9.22	6.36	10.54
A4 × 2 → A4	297	210	18.55	8.37	10.65	8.00
B4 → A3	420	297	10.29	14.84	16.20	5.00
B4 → A4	297	210	30.82	35.88	26.74	22.39
B4 → B5	257	182	13.04	13.66	8.48	12.66
B5 → A4	297	210	9.23	6.14	7.48	8.00
B5 → B4	364	257	11.35	7.63	10.66	8.00
B5 × 2 → B5	257	182	12.20	12.82	9.75	8.00
LP → A4	297	210	30.82	35.88	15.73	8.00
LP → B4	364	257	35.90	51.66	25.48	8.00

用語解説

英数字

[?] ボタン

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?] ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。



10BASE-T/100BASE-TX

ネットワークの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターではこれらの規格のケーブルを使ってネットワークに接続することができる。

16進ダンプ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。プリンターの動作を調べるときに使用する。(→ステータス印刷)

1B	48	1C	30	36	46	31	20	30	30	1B	73	30	1B	24
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E
A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AB	AC	AD	AE	AF
B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BA	BB	BC	BD	BE	BF
C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CA	CB	CC	CD	CE	CF
D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	DA	DB	DC	DD	DE	DF	EO
E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EA	EB	EC	ED	EE	EF

201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk

米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウェアまたはプロトコル。

CR

Carriage Return (キャリッジリターン) の略。印刷位置を左端に復帰させるコード。もともとはタイプライターのキャリッジを左端に戻すという意味。プリンターの制御コード (コマンド) のひとつ。

CSV形式

データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する場合の形式のひとつ。データを区切り符号で仕切ることで異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略。ネットワーククライアントにIPアドレスなどのパラメーターを配布するプロトコル。DHCPサーバーにおいてIPアドレスなどを一括管理し、クライアントは起動時にDHCPサーバーにIPアドレスの貸し出しを要求する。IPアドレスの一括管理によりアドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。

DPI (dpi)

Dots Per Inchの略。1インチ当たりのドット数。プリンターの解像度などを表す単位。(→解像度)

ECP

Extended Capabilities Portの略。コンピューターとプリンターをつなぐパラレルインターフェースであるIEEE1284が使用する、データ転送モードのひとつ。マイクロソフト社と米ヒューレット・パッカード社が中心となって提案した。データ転送速度は従来のセントロニクスの最大150KB/秒に比べ、2MB/秒と高速である。また、双方向通信機能やデータ圧縮機能を備える。使用するにはコンピューターとプリンターなど周辺機器の両方が対応している必要がある。

ESC/P

セイコーエプソン株式会社が開発したプリンターを制御する命令 (コマンド) の集まり。

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号 (アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPP

Internet Printing Protocolの略。Windows 2000で標準にサポートされたインターネット印刷プロトコル。イントラネットやインターネットを通じてURLの指定を受けたプリンターに印刷することができる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

ISO 9660

ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採用しており、OSによって異なるフォルダーやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN

Local Area Networkの略。構内情報通信網のこと。

LAN Manager

マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。

LF

Line Feedの略。プリンタ制御命令のひとつで、改行を行うためのもの。

Macintosh

米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピュータの総称。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。

Mac OS

米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピュータのMacintoshのOSのこと。個々の名称はSystem(日本語では漢字Talk)であるが、総称としてMac OSと呼ぶようになった。

MIB

Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピュータ間でやり取りされる管理情報を定義したもの。

MS-DOS

Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。

NetBEUI

ネットビューイと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare

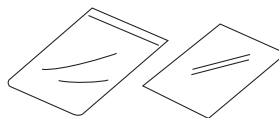
ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。

NPDL

NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム

OHP(オーバーヘッドプロジェクター)用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。



OPC

Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに用いられる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS

Operating System(オペレーティングシステム)の略。コンピュータのハードウェア、ソフトウェアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウェアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウェアを「基本OS」、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

PrintAgent

双方向通信により、コンピュータの画面上で印刷状況の確認、プリンターの設定をすることを実現したソフトウェア。MultiWriterシリーズに搭載。

RGBガンマ

Red Green Blueガンマ
使用しているモニターで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニターの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType

米国アップルコンピュータ社と米国マイクロソフト社が開発したソフトウェアで、Macintosh/Windows用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX

AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB

Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピュータの間を統一したコネクタとケーブルで接続できるインターフェース。

WAN

Wide Area Networkの略。広域情報通信網。離れた場所のLAN同士を接続するネットワークのこと。一般の電話回線や専用回線などを介して接続する。

Windows XP

マイクロソフト社が開発したOS。ビジネスユーザー向けとされるWindows 2000の安定性を受け継ぐ。ただし製品としては、Windows 2000の他、家庭向けのWindows Me/98後継にも位置づけられ、インターネット接続性の機能強化が図れた。

Windows Server 2003

マイクロソフト社が開発したサーバー用OS。Windows 2000 Serverの後継にあたる。

Windows 2000

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまですべての領域をカバーするOS。Windows NT 4.0の後継にあたる。

Windows 95

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 3.1の後継にあたる。

Windows 98

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 95の後継にあたる。不具合の修正と機能の強化を図ったアップデート版としてWindows 98 Second Editionもある。

Windows Me

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 98の後継にあたる。主にマルチメディア、ネットワークなどの機能強化が図られた。

Windows NT

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

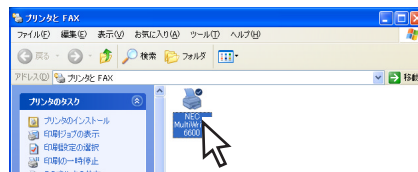
WWW

World Wide Webの略。インターネットに公開されている情報を検索するためのシステムのひとつ。ユーザーはWebブラウザを通して情報の検索や閲覧を行う。

五十音順

アイコン

アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。



アウトラインフォント

文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アクセスポイント

ネットワークに外部から接続（アクセス）するための受け口。MultiWriterのオプション品である無線LANアダプターは、アクセスポイント経由の接続に対応する。

アドホック (ad hoc)

無線LAN機器が備える動作設定のひとつ。無線親機（アクセスポイント）なしに、無線LANボードなどの無線子機同士が相互に通信できる。

アドミニストレーター (Administrators)

管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。(→システム管理者)

アプリケーション

文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール

インストールしたソフトウェアを削除し、インストール前の状態に戻すこと。

イーサネット (Ethernet)

LANの伝送路に関する規格。米ゼロックス社と米ディジタルイクイップメント (DEC) 社と米インテル社が協同で開発、規格した。3社の頭文字をとってDIX規格と呼ぶこともある。IEEE802.3標準の伝送速度10Mbpsの規格とほぼ同義。コンピューター同士をどのようなケーブルで結び、どのような信号で、どうやり取りするかなどを決めている。同軸ケーブル上で電波を使って通信する仕組みで、複数の端末が通信するために、CSMA/CDという信号制御方式を採用している。現在では同軸ケーブルではなくツイストペアケーブルを使うことが多い。

イニシャライズ

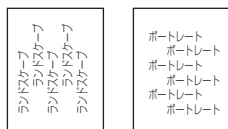
初期状態にすること。例えば、メモリーの内容をクリアしたり、プログラム中のカウンターをクリアしたりすること。

印刷ジョブ

アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長（ランドスケープ）と縦長（ポートレート）がある。



印刷範囲

プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

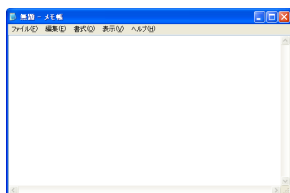
一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウェアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース

2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。

ウィンドウ

アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。



ウォームアップ

プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度になり印刷が可能になるまでの状態をいう。

エミュレーション機能

他のプリンターのために開発されたソフトウェアの制御コードを本プリンターでできるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

エリート文字

1インチ当たり12文字の等間隔で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

オフセット排紙

用紙の排紙を用紙の向きはそのままに水平方向にずらして出力する機能。

解像度

プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ（25.4mm）当たりのドット数で表す。

拡張子

MS-DOS、Windowsなどでファイル名の最後に付加する文字列で、ファイルの種類を表すためのもの。ピリオドに続けて表記される。「.txt」や「.jpg」など。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC（1BH）、FS（1CH）のように後に続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。（⇔基本制御コード）

紙づまり

用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

かんたん設定

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート右上のリストビュー。リストビューのアイコンをクリックすると、プリンターで登録済みの設定や、ユーザーが用途に合わせて登録した設定が読み込まれる。

輝度

モニターなどの画面の明るさ。

機能選択バー

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート左側にある縦向きのバー。ボタンをクリックすると[複数ページレイアウト]、[リプリント]などの機能の設定項目が[メイン]シート右下に表示される。

基本制御コード

制御コードのうち、CR（0DH）、LF（0AH）のように単独で機能を表すコード。（⇔拡張制御コード）

クライアント

ネットワークを介して他のコンピューター（またはサーバー）にアクセスしている利用者、または利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー（システム）

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター（サーバー）が共有の資源（ハードディスクやプリンター）を管理し、接続を許されたコンピューター（クライアント）が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。（→ピア・ツー・ピア）

クリック

マウスのボタンを押して素早く放す動作。



クリーニングカートリッジ

定着ユニット内のヒートローラーの汚れをクリーニングするもの。消耗品のため「80 ユニットジュミョウクリナー」が表示されたら交換が必要。1個で約50,000ページまで使用可能（詳細は「6章 日常の保守」参照）。

グレースケールイメージ

白黒写真のように色彩情報がなく、ドットの多少により明暗を表現するグラフィックスイメージ。
(→ハーフトーン)

コマンド

コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

コンデンス文字

1インチ当たり約 17文字で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

コントラスト

グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル

Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などパソコンのさまざまな設定を行うための画面をいう。

サスペンド機能

データやプログラムを作業時の状態のままにしてパソコンの動作を一時停止させる機能。

システム管理者

コンピューターシステムを管理する人。
あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウェアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。

自動給紙

カット紙（単票用紙）を連続して自動的に給紙することという。

自動排出

コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター

文字単位で印刷を行うプリンターの総称。

〔スタート〕ボタン

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95でアプリケーションソフトの選択、起動、ファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。



ステータス印刷

テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

スプール

ドキュメント（文書）を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード

プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、LF（改行コード）やFF（改ページ）など。

セントロニクス・インターフェース

旧セントロニクス社が開発したプリンターとコンピューター間の通信仕様。仕様名として当時の会社名がそのまま使われ続けている。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターは標準の36ピン・パラレルコネクターで使用できる。

双方向通信

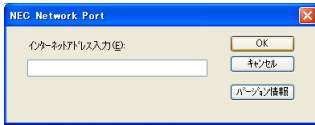
コンピューターとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信には、セントロニクスインターフェースが双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターである、またはUSBやネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウェア

コンピューターやプリンターなどハードウェアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバなどの総称。（⇔ ハードウェア）

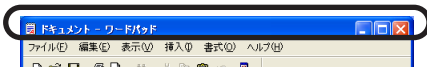
ダイアログボックス

設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。



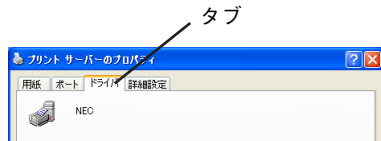
タイトルバー

ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのパバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー] ボックスや [最大表示]、[アイコン化]、[最小化] ボタンなどもついている。



タブ

Windowsで、ダイアログボックスの中に複数の設定画面（シート）がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみのこと。



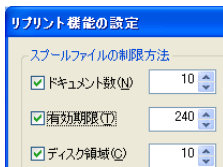
ダブルクリック

マウスのポインター（矢印）を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。



チェックボックス

ダイアログボックスの中の小さな正方形で、ON/OFFの切り替えができるオプション（機能）を示す。オンにするとチェックボックスに×や✓印が表示される。



通常使うプリンタ

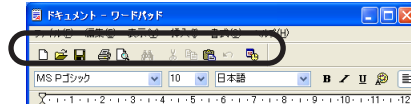
アプリケーションで [印刷] コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。

坪量

用紙の重さを表す単位。用紙1枚1m²単位の重さをいう。（本マニュアルで使用している用紙の坪量は、64.0g/m²）。

ツールバー

ウィンドウのメニューバーの下にボタンがついている部分。



定着器

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷

プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート

複数部数を印刷する場合にコンピュータから一部目だけ印刷データを送り、二部目以降はプリンターのメモリーやハードディスク上で印刷データ処理を行う機能。

動作環境

ソフトウェアや周辺機器が正しく動作するために必要な環境条件。

トナーカートリッジ

トナーを補給するためのカートリッジ。消耗品のため「76 トナーナシ カートリッジコウカン」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数はデータによって異なる（詳細は「6章 日常の保守」参照）。

ドライバー

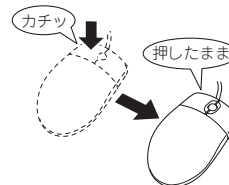
周辺装置やそのインターフェースをコントロールするプログラム。
(→プリンタードライバー)

ドライブ名

ハードディスク内やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの領域に割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。



ドラムカートリッジ

ドラムにトナーを付着させ印刷イメージを形成させる働きをする。消耗品のため「80 ユニットジュミョウドラム」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数は約110,000ページ（詳細は「6章 日常の保守」参照）。

ネットワーク

複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したり機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。

バーコード

白と黒の縞模様を線の太さと間隔を変えながら書き並べてデータを表し、印刷されたコード。国名、商品名、価格など、主として流通や商品管理に必要な管理情報、POS用のコードを表すのに使われる。本製品は、カスタマバーコード、NW-7、JAN、CODE 39、Industrial2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128に対応する。

ハードウェア

コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。（⇔ソフトウェア）

ハーフトーン

画像を表示・出力する際に、一定間隔の点（網点）に分解し、それぞれの黒い点の大きさを変えることで濃淡を表現する。大きい点は濃いグレー、小さい点は薄いグレーになる。

バッファフル

ページバッファに1ページ分の印刷データがたまることをバッファフルという。バッファフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハブ

LANでコンピューターなどの端末を放射線状に配線する際、中心に配置する集線装置。一般には10BASE-Tや100BASE-TXのLANケーブルを接続する集線装置を指す。RJ-45のジャックを4～32口程度持つ箱で、各コンピューターのLANボードとツイストペアケーブルで接続して使う。動作によってリピーターハブとスイッチングハブ（スイッチ）に大別できる。

パラレルインターフェース

同時に複数の信号を並列に送るデータ転送方式、あるいは物理的な接続コネクタのこと。MultiWriterとコンピューター間ではセントロニクス仕様で準拠した方式（IEEE 1284規格準拠双方向パラレルインターフェース）が用いられる。

ピア・ツー・ピア

小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューターどうし、コンピューターとプリンター間で相互に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード／LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。（⇔クライアント・サーバー）

ピア・ツー・ピア・グループ

無線LAN機器が備える設定のひとつ。無線接続なしに、無線LANボードなどの無線子機が相互に通信できる。

ヒートローラー

定着器にあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル

Pixel（Picture elementからの合成語）。画素とも言う。ディスプレイの画面に表示できる情報の最小単位。

ビットマップ

画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷

見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またはその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー

電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラウザー

インターネット上のWebページを閲覧（ブラウズ）するためのソフトウェア。WWWブラウザーとも呼ぶ。主なものに、Microsoft Internet Explorer やNetscape Navigatorがある。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすための一定のパターン。

プリンターケーブル

コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

プリンタードライバ

コンピューターとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、OSに提供する。

プリンターバッファ

一般にコンピュータの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピュータは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピュータから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピュータは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され、別の仕事をすることができる。この記憶装置をプリンターバッファと呼ぶ。

プリンタープール

複数の同じ印刷装置をひとつの論理プリンターとして関連づけて印刷を行うこと。

プロトコル

コンピュータが他のコンピュータや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ

ファイルやソフトウェアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポショナル文字

印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

ページ記述言語

1ページ分のテキスト（文字）やグラフィック（図形）のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター

ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開（作成）して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント（マウスの）

マウスのポインターを目的の項目の上に置く動作。

ポイント（文字の）

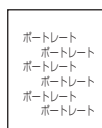
印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート

コンピュータが外部とデータをやり取りするとき使用するケーブルの接続部分。

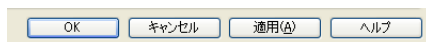
ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。（↔ランドスケープ）



ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK] ボタンや [キャンセル] ボタンなどがある。



マウスポインター

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。ポインターの形は設定やアプリケーションによって異なる。



丸め誤差

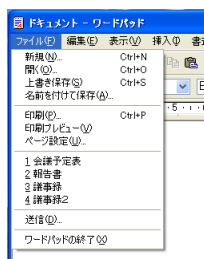
四捨五入や切り捨て、切り上げなどで、切りのいい数字にすることによって生じた誤差。

無線LAN

ケーブルの代わりに電波などを利用してネットワーク（LAN）を構成するシステム。IEEE802委員会がIEEE802.11標準として勧告しているシステムが代表例。MultiWriterのオプション品である無線LANアダプターはIEEE802.11bに準拠している。

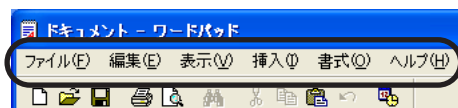
メニュー

ウィンドウで利用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。



メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。



メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリスイッチ（MSW）

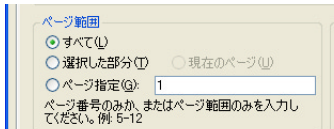
不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にON/OFFを切り替えるスイッチではなく、電氣的に切り替えるスイッチ。

メモリースイッチ設定モード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

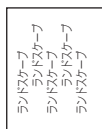
ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の項目の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでONだったものが連動してOFFになる。



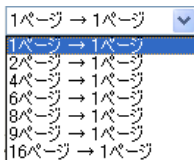
ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。(↔ポートレート)



リストボックス

ユーザーに対して項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。



リプリント

一度印刷した印刷データのスプールファイルを利用して再印刷する機能。この機能を使うと、アプリケーションを再起動する必要がない。

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズ of 用紙 1000枚当たりの重さをいう（本マニュアルで使用する用紙の連量は、70kg）。

ローカルプリンター

コンピューターと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

136桁モード有効/無効	91
1バイト系コード	91
1バイト系ゼロ	88
2バイト系ゼロ	88
7ビット/8ビットデータの切り替え	91

A

A4ポートレート桁数	89, 91
Administrators	40
Adobe Acrobat Reader	36
ANK	88

C

CR機能の切り替え	91
-----------------	----

D

DC1、DC3の有効/無効	91
DHCP	
～を有効にする	28
DocuWorks	36
Domain Admins	40

E

EASY設定ユーティリティ	31, 36
ESC/P	78

F

FontAvenue	36
FS fコマンド	92

I

I/F設定メニュー	89
-----------------	----

L

LANアダプター	179
マルチプロトコルLANアダプタ	170
無線LANプリンタアダプタ	170
LAN初期化	89
LANステータス印刷	87

M

MS-DOS	59
両面印刷のために必要な設定項目	59

N

NEC e-mailメンテナンス	110
NEC Internet Printing System	36
NEC TCP/IP Port	42
NECサービス網一覧表	18
NPDL	78

O

OCR用紙	204
OHP	74
OHPフィルム	62, 74, 187
OS	186

P

PC-PR101	59
PC-PR201	59
PrintAgent	37
～が利用できるネットワーク環境	37
システムアイコン	44
～の削除	56
～の制限事項	143
～の追加	56
～の動作中は	143
～を正しく動作させるために	138

～を動作させる前に.....	138
----------------	-----

T

TCP/IP.....	37
TrueType.....	36

W

WEP.....	32
Windows 2000 日本語版.....	48, 54
Windows 95 日本語版.....	40, 52, 55
Windows 98 日本語版.....	40, 51, 55
Windows Me 日本語版.....	40, 50, 55
Windows NT 4.0 日本語版.....	55
Windows Server 2003 日本語版.....	46, 54
Windows XP 日本語版.....	46, 54

ア

アクセスポイント.....	29, 32
厚紙.....	62
アップグレード	
OSを～する場合.....	143
穴あき紙.....	200
アラーム表示.....	128
アラーム表示が出ているときは.....	128
暗号キー.....	29, 33
安全上のご注意.....	2
安全にかかわる表示.....	i

イ

イーサネットインターフェースコネクタ.....	20
異常	
印刷に～が見られるときは.....	130
印刷.....	99
アプリケーションから印刷する.....	102
思うように～できないときは.....	134
詳細設定.....	103
～速度.....	185
定形外用紙サイズに印刷する.....	105
～できないときは.....	126
～に異常が見られるときは.....	130
～方向.....	78
印刷位置精度.....	195
印刷位置をずらす.....	110

印刷指令の切り替え.....	91
印刷範囲.....	213
印刷物の保存条件.....	209
インストール方法の選択.....	39
インターフェース.....	186

ウ

ウォームアップ.....	185
裏面微調整.....	88
運搬	
プリンターを～するときは.....	158

エ

エミュレーションモード.....	91
エンボス紙.....	202

オ

往復はがき.....	74
お客様登録申込書.....	18, 160
オプション品.....	167, 169
オフセット排紙.....	109
表面微調整.....	88
オンラインマニュアル.....	36

カ

海外でのご使用について.....	126
回収	
使用済み消耗品の～について.....	122
各給紙位置での動作対応表.....	101
各国文字の切り替え.....	91
拡大・縮小印刷.....	109
各用紙サイズでの動作対応表.....	100
各用紙種類での動作対応表.....	101
画像面積比5%の印刷例.....	115
活用マニュアル.....	viii
～印刷用.....	xi
～閲覧用.....	x
～の内容.....	xiii
紙づまり	
～処理後の確認.....	156
トレイ内部での～.....	153
～の処理.....	146
～のときは.....	144

～の発生箇所	144
フィニッシャー上部での～	148
フィニッシャー排出部での～	149
プリンター内部での～	150
プリンター排出部での～	154
プリンター右側面下部での～	147
ホッパー 1～4の～	152
ホッパー 5（大容量ホッパー）での～	154
ホッパー 5（大容量ホッパー）トップカバーでの～ ..	155
環境	186
漢字	88
かんたん設定	103, 104
管理銘板	160

キ

共有プリンターの利用／提供について	139
-------------------------	-----

ク

国別	88
クライアント	140
クライアント・サーバーシステムでお使いの場合	140
グラフィックモード	91
クリーニングカートリッジ	20, 172
～取り扱い上のご注意	116
～の交換	116
～の交換手順	117
クリーニングキット	123, 171
クリッピング機能について	60
グループホッパー	97
グレースケールの網点を細かく印刷	91

ケ

警告ラベル	1
契約保守	161
ゲートウェイアドレス	172
～を設定する	32
ケーブル	
使用できるプリンター～	184

コ

交換	
クリーニングカートリッジの～	116
トナーカートリッジの～	111

ドラムカートリッジの～	119
故障かな？と思ったら	125
コート紙	203
コネクター	
フィニッシャー接続用	20
コンピューター	
使用できる～とプリンターケーブル	184
コンフィグレーションページ	
工場出荷時の印刷例	27

サ

再生紙	64, 202
-----------	---------

シ

シークレットラベル紙	202
自動排出	88
自動復帰改行の切り替え	91
修理	
～に出す前に	125
従量課金回線	140
縮小／拡大モード	78
出張修理	161
寿命	161
仕様	185
使用できる用紙サイズと種類	100
消費電力	186
商標	ii
情報サービス	162
消耗品	161, 172
使用済み～の回収について	122
プリンター・～を廃棄するときは	158
仕分け印刷	109

ス

スイッチ	80
[印刷可] スイッチ	81
[印刷方向] スイッチ	83
[シフト] スイッチ	85
[縮小／拡大] スイッチ	83
[ストップ] スイッチ	82
[設定変更] スイッチ	84
[トレイ] スイッチ	81
[排出] スイッチ	85
[ホッパ] スイッチ	82
[メニュー終了] スイッチ	84
[メニュー] スイッチ	82

[リセット] スイッチ	85
[両面] スイッチ	81
[▶] スイッチ	84
[◀] スイッチ	84
[▲] スイッチ	84
[▼] スイッチ	84
透かし入り紙	203
スタックートレー	19
スタック容量	185
寸法	186

セ

清掃	123
設置	13
～してはいけない場所	17
～に必要なスペース	15
設定初期化メニュー	89
節電機能	88

ソ

騒音	186
操作パネル	77
増設メモリ	170
増設メモリー	181
双方向通信	141
反り	74

タ

大容量ホッパ	169
大容量ホッパー	173
大量・連続印刷する	109

チ

丁合い	109
-----------	-----

テ

定形外用紙	75, 105
ディスプレイ	78
データ保護	32

データラッチタイミング	92
デジタル署名	49
テスト印刷	156, 174
電源	186
電源コード	18
電源コネクタ	20
電子ソート	109

ト

同期コードの無効/有効	92
動作エミュレーション	88
動作自動切り替え	88
特長	9
トップトレイ	19
トナーカートリッジ	18, 20, 172
～取り扱い上のご注意	112
～の交換	111
～の交換手順	112
～の寿命	115
ドラムカートリッジ	20, 172
～取り扱い上のご注意	119
～の交換	119
～の交換手順	120
取り付け	
LANアダプター	179
取り外し	
LANアダプター	180
トレイ	19
トレイ微調整	88

ニ

日本語MS-DOS環境	58
日本語ページプリンタ言語NPDL (Level 2)	
リファレンスマニュアル	168, 171

ネ

ネットワーク共有プリンタ	41
ネットワークタイプ	29
ネットワーク名	29

ノ

ノブスクリー	70
ノンカーボン紙	203

ハ

バージョンアップ	36
ハードディスク	170, 183
廃棄	
プリンター・消耗品を～するときは	158
排紙トレイ	19, 169, 178
パインダー穴	195
はがき	74, 187
箱の中身を確認する	18
パラレルインターフェース	20
パラレルインターフェースコネクター	20

フ

ファーストプリントタイム	185
フィニッシャ	169
フィニッシャー	177
フィニッシャートップカバー	19
フィニッシャーフロントカバー	19
フォント	186
複数ページ印刷	109
ブザー機能の有効/無効	91
普通紙	62
フューザーカートリッジ	20
フューザーユニット	20
ブラグ・アンド・プレイ	39
プリンター	
～・消耗品を廃棄するときは	158
～の設置	13
～を運搬するときは	158
～を設定する	59
～を選択する	58
プリンターケーブル	170
プリンターソフトウェア	
～CD-ROMについて	36
～の動作環境	37
～の容量	38
～をフロッピーディスクで必要な場合	162
プリンターソフトウェアCD-ROM	18
プリンターソフトウェアのインストール	35
インストールプログラムからのインストール	40
ブラグアンドプレイによるインストール	46
プリンタードライバーの削除	54
プリンター覧	44
プリンタステータスウィンドウ	110
プレ印刷	193
プレ印刷用インク	194
プレ印刷用紙	75
フロッピーディスク	

～でインストールする場合	35
プロパティダイアログボックス	103
フロントユニット	0

ヘ

平滑度	192
-----------	-----

ホ

ポートレート	78, 213
保守	111
補修用性能部品	161
保守サービス	161
保守情報をメール通知する	110
保証	160
保証書	18
ホッパ微調整	88
ホッパー	19
大容量ホッパー	173
定形外用紙を～にセットする	72
本体サイドカバー	20
本体フロントカバー	19

ミ

ミシン目用紙	196
--------------	-----

ム

無線LANアクセスポイント	32
無線LANアダプタ	29
無線LANプリンタ導入ウィザード	36

メ

メールシール用紙	198
メニューツリー	93
メニューモード	86
設定項目	87
メモリースイッチ	
～の設定変更のしかた	90
～の内容	91
メモリースイッチメニュー	89
メモリー設定	88

モ

文字セット	88
-------------	----

ユ

ユーザズマニュアル	viii
再購入	162

ヨ

用紙	
加工	205
紙質	189
梱包および包装	207
サイズ	191
使用できる～	62
慎料	191
水分率	191
大容量ホッパーに～をセットする	70
坪量	191
定形外～のご使用について	63
定形外～をホッパーにセットする	72
トレーに～をセットする	68
～について	62
～についての注意事項	63
～の規格	187
～のセット	61
～のセット方向	64
～の保管について	64
～の保管方法	67, 71
納入条件	205
保管条件	208
ホッパーに～をセットする	66
～をセットする時の注意	74
用紙位置の設定	91
用紙位置微調整方向	91
用紙サイズ	78
用紙サイズシール	71
用紙坪量	63
用紙容量	185

ラ

ラベル紙	62, 64, 74, 187, 197
ランドスケープ	78, 213
ランドスケープ方向の切り替え	91

ランプ	79
印刷可ランプ	79
消耗品ランプ	79
データランプ	79
電源ランプ	79
両面ランプ	79

リ

両面印刷	109
～の設定	59
リレー 給紙	96, 175

レ

レフトマージン量の設定	91
-------------------	----

ロ

ローカルポート	41
---------------	----



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、経済産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講じるよう要求されることがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

MultiWriter 6600

レーザープリンター

